SHARP

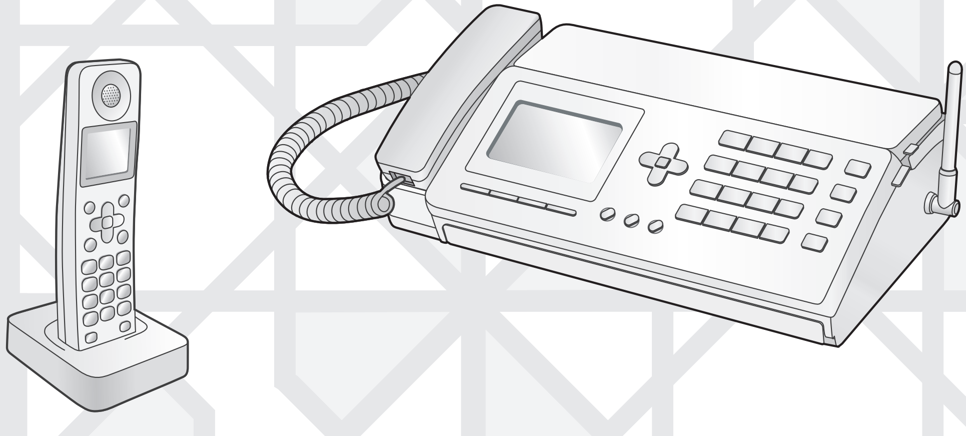
# デジタルコードレス<br>ファクシミリ

[ファッピィ:]
fappy*
FAX makes it happy.

# 取扱説明書

形　名 UX-D28CL（ユーエックス ディー シー エル）
UX-D28CW（ユーエックス ディー シー ダブル）

（技術基準適合品）



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  **ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」**
  **（☞9～12ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

Ni-MH
ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

※NTTへのサービス申し込みが必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイサービスのお問い合わせは
局番なしの116番へ

**別売品・消耗品　<ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください>**

別売品・消耗品は当社の純正品や指定品をお使いください（詳しくは ☞ 177ページ）。

| 品名 | 形名 | サイズ | 希望小売価格（税抜価格） |
|---|---|---|---|
| ファクシミリ用普通紙 | PP110MA4 | A4サイズ（250枚） | 630円（600円） |
| インクリボン（お買いあげ時にセットされているインクリボンはお試し用です。お早めに新しいインクリボンをお買い求めください） | UX-NR8G | A4幅×33m 1本 | 1,312円（1,250円） |
| | UX-NR8GW | A4幅×33m 2本1組 | 2,415円（2,300円） |
| デジタルコードレス子機用充電池（ニッケル水素充電池） | A-002 | | 1,800円（1,715円） |

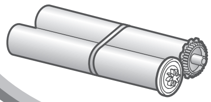
# 知りたいこと もくじ

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは4～5ページをご覧ください。

## 別売品について



使えるインクリボンの品番は？



**UX-NR8G**
（1本入り）
**UX-NR8GW**
（2本入り）

## 取り付けについて






## ファクスの受信について





## ファクスの送信について





## 迷惑電話への対策について






## 便利な機能について





# もくじ

## ナンバー・ディスプレイ



## こまったときは



## ご参考に



お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（☞ 192～193ページ）をご覧になると見つかる場合があります



### お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☞ 191ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

# 特長

## 電話や操作を音声でお知らせ！<br>音声お知らせ機能

### ● 誰からコール/誰あてコール/どこからコール（☞138～140ページ）

**※ナンバー・ディスプレイの契約が必要です**

・親機も子機もかかってきた相手の名前を音声でお知らせするので、遠くからでも電話に出る前に相手がわかり安心です（**誰からコール**）。

・電話帳に登録するとき、その相手からは家族の誰あてにかかってくることが多いのかを登録しておくと、その相手から電話があったときに、登録した名前を音声でお知らせします。誰あてへの電話なのかが分かるので、無駄な取りつぎが少なくなり、便利です（**誰あてコール**）。

・電話帳に登録していない相手から電話がかかってくると、市外局番から自動的に判断し、どこの地域から電話がかかってきたかを音声でお知らせします（**どこからコール**）。

### ● おしゃべり電話帳（音声電話帳）（☞71ページ）

**※親機のみです**

電話帳で相手を選ぶときに名前を音声でお知らせします。画面と音声でしっかり相手を確認できます。



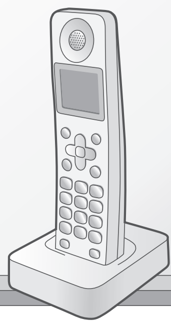

### ● 音声操作ガイド

音声でエラー解除や操作方法をわかりやすく説明します。

※ 音声お知らせ機能の音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

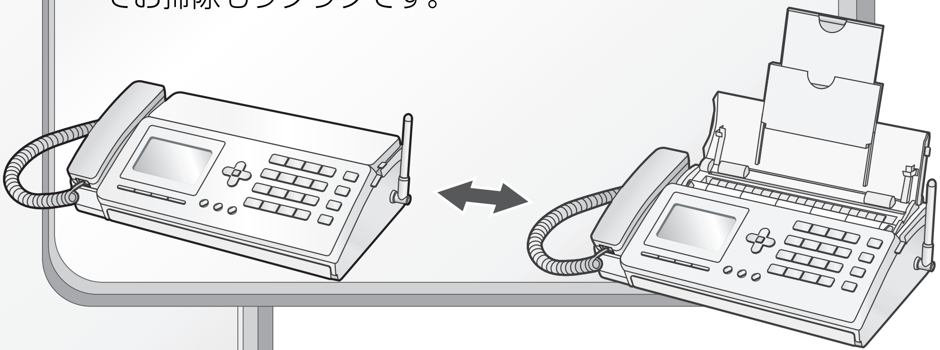
## 見やすい！使いやすい！ 漢字 デジタルコードレス子機

・バックライト付き漢字表示液晶で見やすい
・大きなボタンで使いやすい
・置くだけできちんと充電できる「すっきり充電」（無接点充電方式）を採用



## 片手でスルッと引き出せる しまえるトレイ

ファクシミリ機能を使わないときは、記録紙トレイをスッキリ収納できます。お部屋の雰囲気をこわさず、コンパクトに置けるだけでなく、ホコリが防げてお掃除もラクラクです。



## 迷惑電話をお断り！セキュリティ機能

● **戻って録音、今から録音**（☞119～120、122～124ページ）

ボタンを押す前の会話を45秒さかのぼって録音できる「戻って録音」
ボタンを押した後の会話を、証拠やメモ代わりに録音できる「今から録音（通話録音）」

● **迷惑電話拒否機能**（3種類）（☞154～155ページ）

・チャイムでお断り／メッセージでお断り／録音でお断り



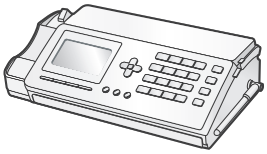
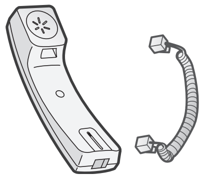
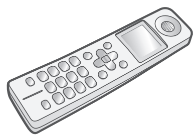
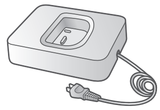
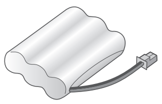
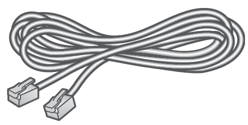
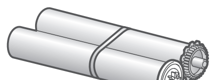

● **おやすみモード**（☞150～153ページ）

**※特定の番号からの着信だけ受けるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です**

特定の時間だけ、着信音を鳴らさないように設定できます。
夜間など、おやすみのときに急な電話で起こされることはありません。
特定の相手からの電話だけ受けることができるため、緊急のときも安心です。

# 付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **親機** 1台<br> | **受話器** 1個<br>**受話器コード** 1本<br> | **子機**<br>UX-D28CL： 1台<br>UX-D28CW： 2台<br> | **充電器（子機用）**<br>UX-D28CL： 1個<br>UX-D28CW： 2個<br> |
| **充電池ふた（子機用）**<br>UX-D28CL： 1個<br>UX-D28CW： 2個<br> | **充電池（子機用）**<br>UX-D28CL： 1個<br>UX-D28CW： 2個<br> | **電話機コード**<br>（約1.5m） 1本<br> | **お試し用インクリボン** 1本<br>●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。<br> |

●付属のお試し用のインクリボンは、工場出荷時に本機が正しく動作できることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっていますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください（☞ 177ページ）。

**●インクリボンは、必ず当社の純正品をお使いください（☞ 177ページ）。**

■UX-NR8G（33m×1本入り）

■UX-NR8GW（33m×2本入り）

●記録紙は付属していませんので、お買い求めください（☞ 177ページ）。

| | |
|---|---|
| **取扱説明書（本書）※1冊** | **取り付けと基本操作※1部** |

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

# 安全に正しくお使いいただくために



この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 図記号について

**⚠危険** 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

**⚠警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

**⚠注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

## 図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

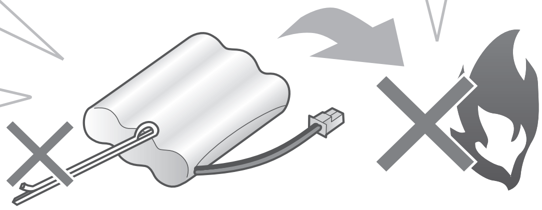
## ⚠危険

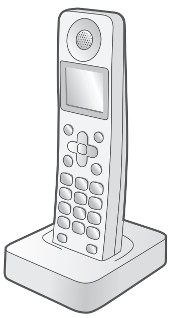
充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

- ■充電池をネックレス・ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。
- ■充電池の端子は⊕⊖を逆にして接続しないでください。

- ■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

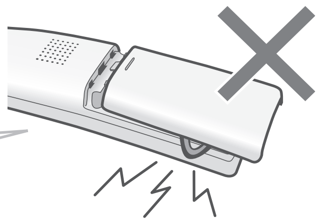
- ■充電池は、専用のものを使用してください。
- ■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
  失明のおそれがあります





- ■充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。
- ■充電するときは、専用の充電器以外では使用しないでください。

- ■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

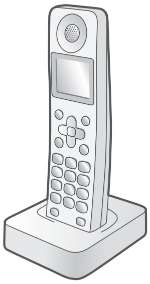


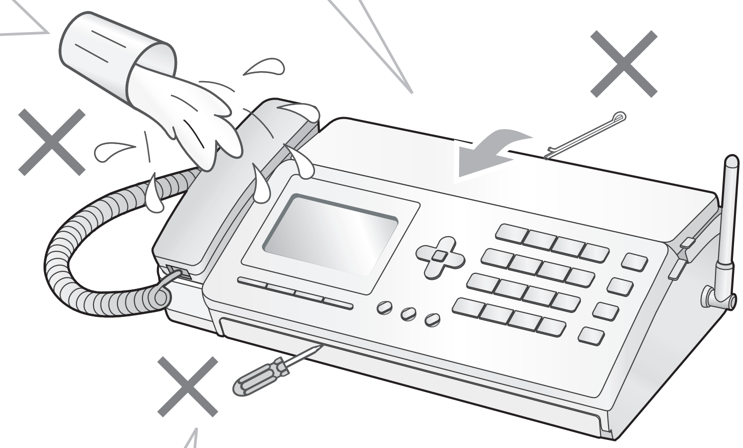
## ⚠警告

■水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

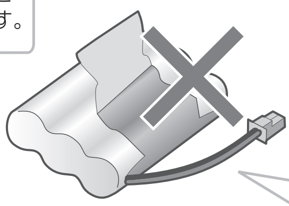




■万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池をはずして販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

■病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

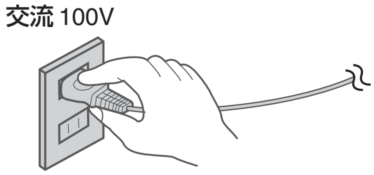


■充電池のビニールカバーを、はがさないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■充電池を水や海水につけたり、濡らしたりしないでください。
充電池が発熱したり、サビの原因となります。

■充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚に障害をおこすことがあります。

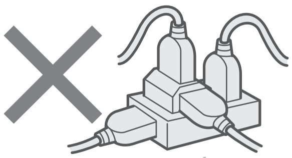
## ⚠警告



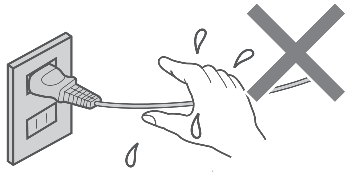

■**差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。**
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。**
感電の原因になります。

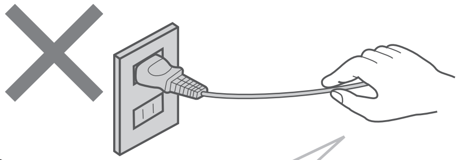
■**この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流 100V）に接続してください。**
海外や交流 100V 以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



■**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



■**ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。**
感電の原因になります。



■**電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
次のようなことはしないでください。

- 傷つける
- 加工する
- 熱器具に近づける
- 無理に引っ張る
- 無理に曲げる
- 無理にねじる
- 重い物を載せる
- 束ねる

傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

■**この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。**
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■**雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
火災・感電・故障の原因になります。

■**煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。**
火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

## ⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■充電器の上に、コインなどの金属を置かないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。

■充電器から磁力線が出ていますので、磁気に弱い物（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。また、磁気に弱いものは使えなくなることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直接日光のあたるところ、冷暖房機の近くにはおかないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてから（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

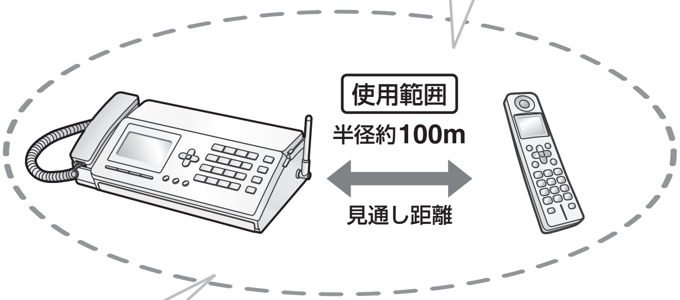
○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管／電話専用アース／避雷針／
水道管や蛇口

# ご使用の前に知っていただきたいこと

## 本機の取り扱いについて

**■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

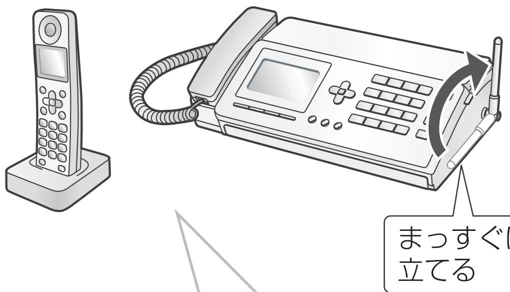


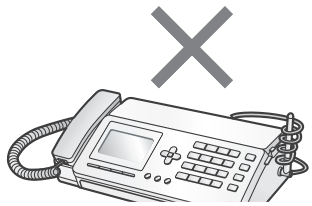

**■ 子機の使用範囲を確かめる**

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態)。内線通話（☞58～59ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

**■ 親機のアンテナは、立ててお使いください**

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。



**■ アンテナにコードを巻き付けない**

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

**■ 本機を設置するときは**

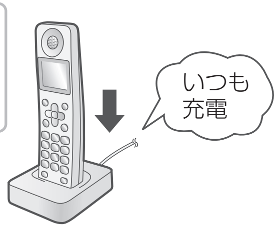
電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約３m以上離してください。

●電子レンジ　●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局　●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム　●マイクロ波治療器
●2.4GHzコードレス電話機

その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

■ **子機はいつも充電器に戻しておく**

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。




■ **子機の電波について**

**子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です**

移動体識別装置の帯域が回避できません。
変調方式：FH-SS方式　与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

**本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

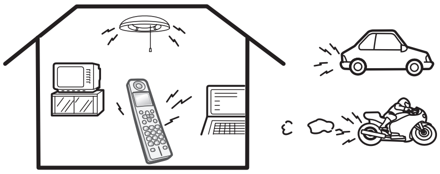
·本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
·万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。



■ **“傍受”にご注意ください**

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。



■ **子機に雑音が入ることがあります**

●磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。

●テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。
これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

●アンテナの近くに、AC アダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。

●本機の近くに携帯電話の充電器や AC アダプターを置くと、声がとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。

●親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声がとぎれることが多くなります。

●動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。

●補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**
受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**
こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません**
電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ **取り扱いについて**
ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **使用中に温かくなることがあります**
親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありますが、故障ではありません。

## ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、
**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

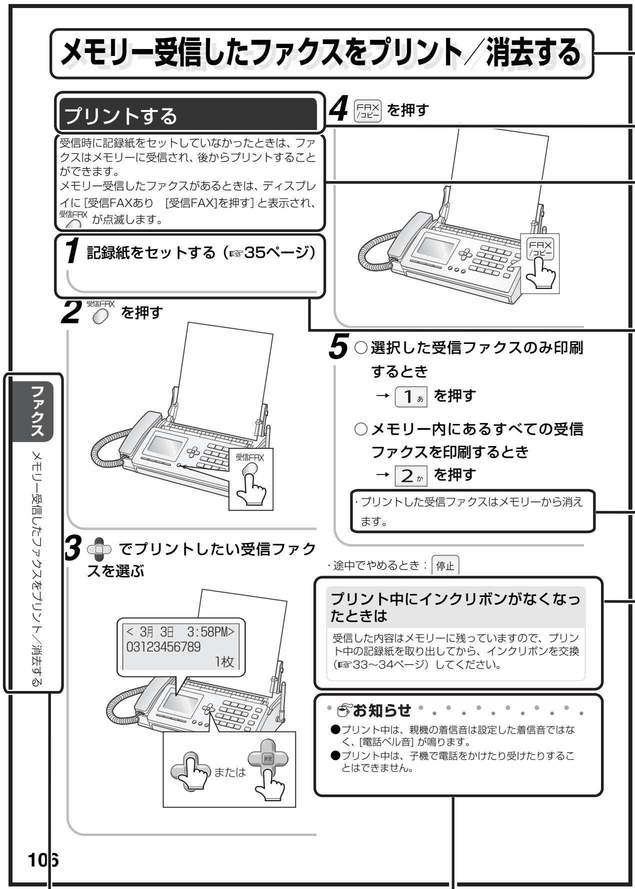
**この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。**

**This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.**

## この装置について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 取扱説明書の見かた




**タイトル**
項目の大まかな内容を表しています。

**中見出し**
説明している操作などの具体的な内容を表しています。

**機能説明**
機能の内容を説明しています。

**操作手順**
基本的な操作を説明しています。
特に指定がない場合、待受画面の状態（何も操作をしていない状態）で、説明のとおりに最初から順番にボタンを押してください。
イラストは、必要なボタンの位置や、操作をしているときに表示されるディスプレイの画面例を表しています。
項目の最後に「次ページへ」と書かれているときは、操作手順は次のページへ続いています。続けて、次ページをご覧ください。

**補足説明**
操作に関する補足事項を説明しています。

**追加説明**
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

**インデックス**
操作したい項目を簡単に検索できます。

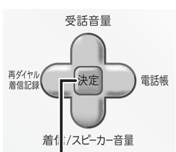
**お知らせ**
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

### 操作手順でのボタンやマークの意味

操作手順にある の形のマークは、マルチファンクションキーを表しています。
マルチファンクションキーとは、親機や子機の真ん中にある の形のキーです。ディスプレイの項目の選択や決定に使います。上下左右を選ぶときは、それぞれ十字キーの上下左右を、決定を選ぶときは、真ん中の決定／機能ボタンを押してください。

**＜マルチファンクションキーおよび決定／機能ボタンの表記について＞**

親機




決定ボタン

子機




決定／機能ボタン

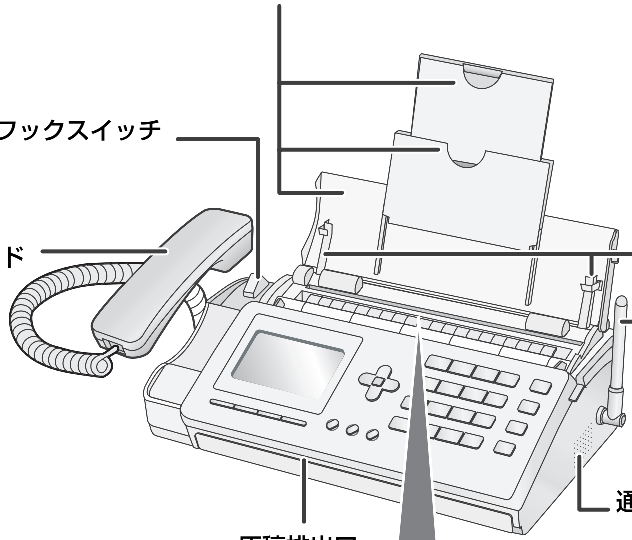
**左図のマルチファンクションキーを使った操作は、略図で示しています。**

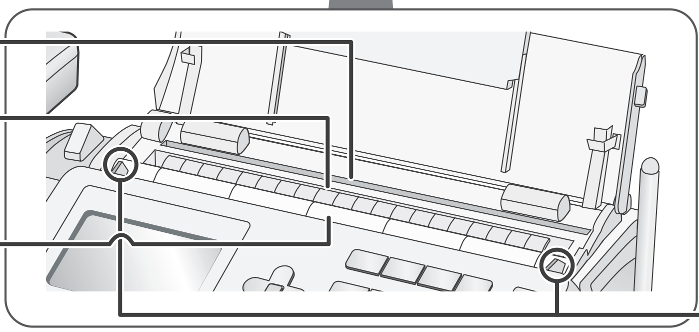
上を押すとき：　下を押すとき：
左右いずれかを押すとき：　上下いずれかを押すとき：
決定／機能ボタン（マルチファンクションキー中央部）を押すとき：
親機は 決定 、子機は

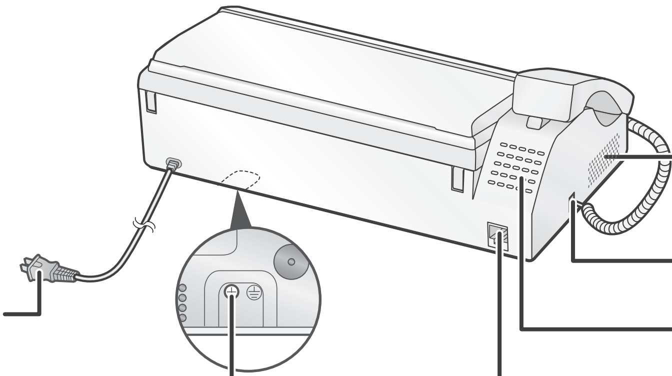
### お知らせ

●表記されている画面例は、実際のものと多少異なる場合があります。
●操作説明によっては、画面表示例がついていないものがあります。

# 親機各部のなまえ


記録紙トレイ・
延長トレイ
（☞35ページ）
フックスイッチ
受話器・
受話器コード
記録紙押さえ
（☞35ページ）
アンテナ
通気孔
原稿排出口


記録紙挿入口
（☞35ページ）
記録紙排出口
原稿挿入口
（☞90ページ）
原稿ガイド
（左右2か所）
（☞90ページ）


スピーカー
受話器接続端子
（☞23ページ）
通気孔
電源コード・
差し込みプラグ
（☞23ページ）
アース端子（底面）
（☞24ページ）
回線接続端子（回線差込口）
（☞23ページ）

# 親機各部のなまえ

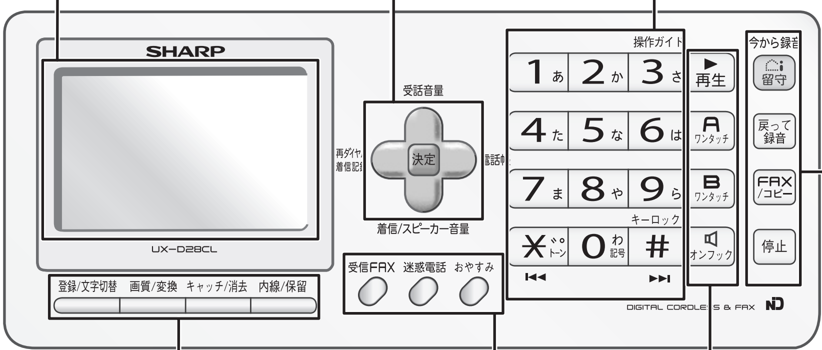
（マルチファンクション）キー／決定ボタン

・項目の選択、決定など

| | | | |
|---|---|---|---|
| | **上を押す**<br>・受話音量変更（☞40ページ） | | **左を押す**<br>・再ダイヤル（☞55ページ）<br>・着信記録（☞141ページ）<br>・待ち時間（ポーズ）の入力（☞69ページ） |
| | **下を押す**<br>・着信音量変更（☞39ページ）<br>・スピーカー音量変更（☞40～41ページ） | | |
| | **右を押す**<br>・電話帳（☞63ページ） | 決定 | **決定ボタン**<br>・選択した項目の決定 |

・キーの操作は、本書では上記のように略図で示しています。
上下いずれかを押すときは　、左右いずれかを押すときは　と示しています。

液晶ディスプレイ（☞21ページ）




| | |
|---|---|
| 登録/文字切替 | **登録／文字切替ボタン**<br>・登録メニュー表示<br>・文字入力切替 |
| 画質/変換 | **画質／変換ボタン**<br>・コピーやファクス送信時の画質切替（☞95ページ）<br>・文字変換 |
| キャッチ/消去 | **キャッチ／消去ボタン**<br>・各種消去<br>・キャッチホン（☞135ページ） |
| 内線/保留 | **内線／保留ボタン**<br>・内線通話（☞58ページ）<br>・通話の保留（☞51ページ） |

| | |
|---|---|
| 受信FAX | **受信FAXボタン**<br>ファクスをメモリー受信すると、ランプが点滅します（☞106ページ）。 |
| 迷惑電話 | **迷惑電話ボタン**<br>・チャイムでお断り（☞154ページ）<br>・メッセージでお断り（☞154ページ）<br>・録音でお断り（☞154ページ） |
| おやすみ | **おやすみボタン**<br>おやすみモードが設定されると、ランプが点灯します。<br>・おやすみモード（☞150～151ページ） |

**ダイヤルボタン**
電話をかける／文字入力／登録操作など

| | |
|---|---|
| 操作ガイド 3 さ | 音声操作ガイド（☞22ページ） |
| ＊ トーン ⏮ | 録音を聞き直す（☞89ページ）<br>プッシュホンを利用する（☞51ページ） |
| キーロック ＃ ⏭ | ・次の録音へとばす（☞89ページ）<br>・キーロック（☞126ページ） |

| | |
|---|---|
| 今から録音 留守 | **留守／今から録音ボタン**<br>・留守の設定（☞82ページ）<br>・留守の解除（☞84ページ）<br>・今から録音（☞119ページ） |
| 戻って録音 | **戻って録音ボタン**<br>・戻って録音（☞122ページ） |
| FAX／コピー | **FAX／コピーボタン**<br>・ファクスの送受信（☞90～93、100ページ）<br>・メモリー受信したファクスをプリント（☞106ページ）<br>・コピー（☞108ページ） |
| 停止 | **停止ボタン**<br>・操作や送信の中止 |

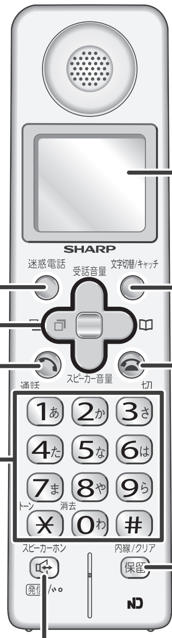
| | |
|---|---|
| ▶ 再生 | **再生ボタン**<br>・録音再生（☞87ページ）<br>・通話中再生（☞125ページ） |
| A ワンタッチ<br>B ワンタッチ | **ワンタッチボタン**<br>・ワンタッチダイヤル（☞79ページ） |
| オンフック | **オンフックボタン**<br>・受話器を置いたままダイヤル（☞51ページ） |

**点灯（点滅）するボタンは**
今から録音 留守
受信FAX
おやすみ
**の3つです。**

# 子機各部のなまえ



**前面**




**（マルチファンクション）キー／（機能／決定）ボタン**
・項目の選択、決定など

| | |
|---|---|
| 上を押す | **上を押す**<br>・受話音量変更（☞44ページ） |
| 下を押す | **下を押す**<br>・スピーカー音量変更（☞44ページ） |
| 左を押す | **左を押す**<br>・再ダイヤル（☞56～57ページ）<br>・着信記録（☞142～143ページ）<br>・待ち時間（ポーズ）の入力（☞75ページ） |
| 右を押す | **右を押す**<br>・電話帳登録（☞73～74ページ）<br>・電話帳検索（☞66ページ） |
| 機能／決定ボタン | **機能／決定ボタン**<br>・選択した項目の決定<br>・機能メニューの呼出<br>・ファクスの送受信（☞92、101ページ）<br>・通話中の録音再生 |

キーや ボタンは、本書では上記のように略図で示しています。

上下いずれかを押すときは 、左右いずれかを押すときは と示しています。

**通話ボタン**
・電話をかける・受ける（☞50～54ページ）

**ダイヤルボタン**
電話をかける／文字入力など

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5な | 録音を聞き直す（☞89ページ） | 9ら | 録音の早聞き（☞89ページ） |
| 6は | 次の録音へとばす（☞89ページ） | ✳ | プッシュホンを利用する（☞51ページ） |

**迷惑電話ボタン**
・チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り（☞155ページ）
・戻って録音（☞122ページ）
・今から録音（☞119～120ページ）

**液晶ディスプレイ**
**（☞21ページ）**

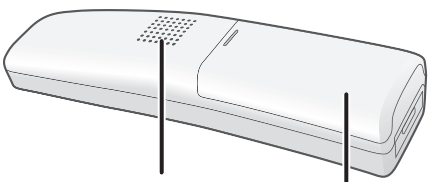
**文字切替／キャッチボタン**
・文字切替（☞76ページ）
・キャッチホン（☞135ページ）

**切ボタン**
・通話の終了
・登録メニューの終了

**保留/内線/クリアボタン**
・保留（☞51ページ）
・内線通話（☞59ページ）
・文字消去（☞78ページ）

**スピーカーホンボタン**
・スピーカーホン通話（☞51、54ページ）
・受話通話（☞51ページ）

**背面**

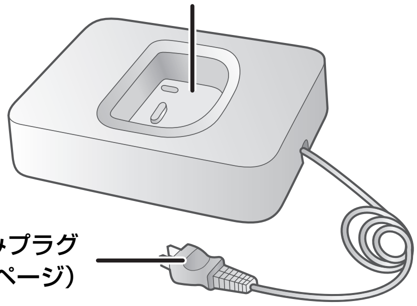


スピーカー

充電池ふた

**充電器**

充電部
（☞37ページ）



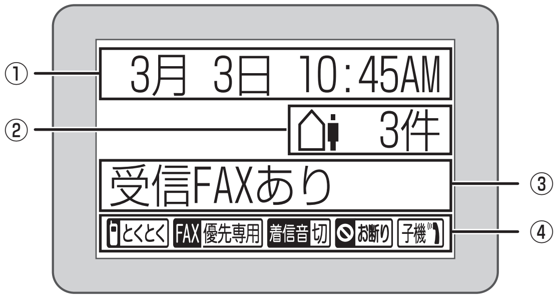
差し込みプラグ
（☞37ページ）

# 液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

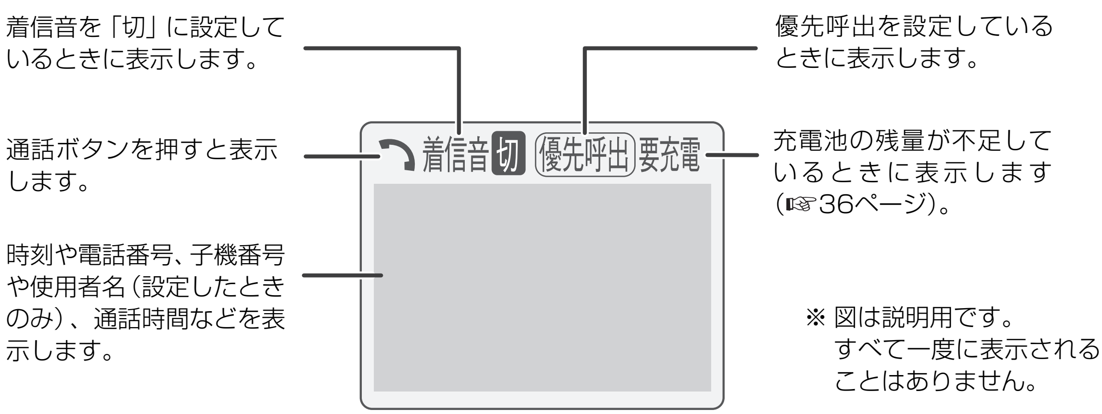
## 親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、ふたたび通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。




| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | **日付・時刻表示**<br>日付・時刻を表示します。 | ④ | **設定状態表示**<br>[とくとく]<br>携帯とくとくダイヤル機能（☞109～110ページ）が設定されているときに表示します。<br>[FAX 優先] または [FAX 専用]<br>FAX 優先や FAX 専用に設定されているとき（☞104～105ページ）に表示します。<br>[着信音切]<br>着信音を鳴らさない設定のときに表示します。<br>[お断り]<br>各種の着信お断り機能（☞147～149ページ）に設定されているときに表示します。<br>[子機]<br>子機を使用しているときに表示します。 |
| ② | **メモリー表示**<br>**（留守録音件数表示）**<br>留守録音やメモ録音の件数を表示します。 | | |
| ③ | **エラー／メッセージ表示（☞173～174ページ）**<br>各種のメッセージを表示します。 | | |

## 子機



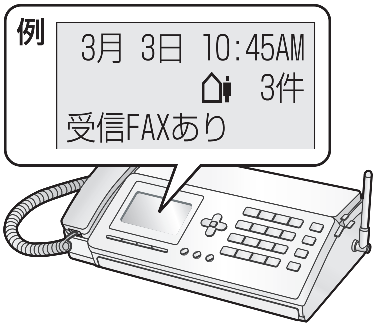

※ 図は説明用です。
すべて一度に表示されることはありません。

# 音声操作ガイド

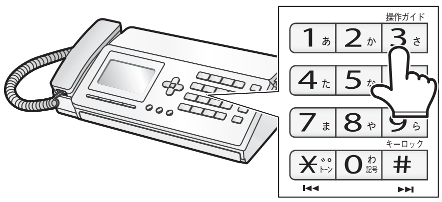
待受画面にエラーメッセージ（☞173～174ページ）が表示されているときに、メッセージの説明を音声で確認することができます（音声操作ガイド）。

## 音声操作ガイドを聞く

**1** 待受画面にお知らせやエラーメッセージが表示されていることを確認する




**2** 操作ガイド［3 さ］を押す




**3** 音声で説明される内容を聞き、エラーを解除する操作を行う




・説明された操作を行ってもエラーが解除されないときや、操作が分からないときは、「こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）」（☞173～174ページ）をご覧ください。

### 音声操作ガイドを聞き直すときは

もう一度 操作ガイド［3 さ］を押してください。

### 音声操作ガイドの説明を途中でやめるときは

音声再生中に［停止］を押してください。

**音声操作ガイドの音量を変えるときは**
スピーカー音量を変更してください（☞40～41ページ）。音声操作ガイドのみの音量を個別に変更することはできません。

### お知らせ

- 音声操作ガイドを再生中は、音声を聞き直したり、途中でやめたりする以外の操作を行うことができません。
- 音声操作ガイドの再生中に、受話器を上げたり、電話がかかってきたりすると、音声は途中で止まります。
- 表示されるエラーメッセージによっては、音声操作ガイドが働かないことがあります。
- 音声操作ガイドの音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

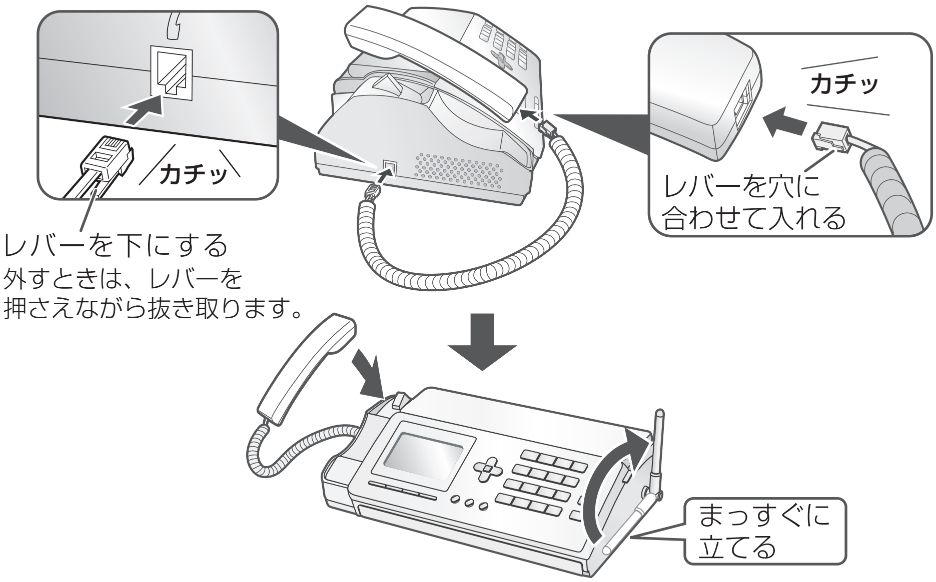
# 親機を接続する



## 親機を接続する

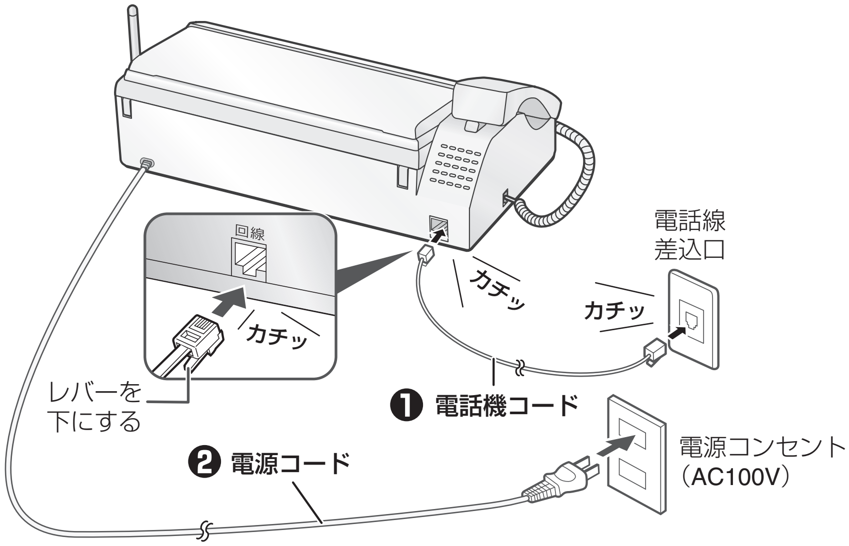
ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、29～31ページをご覧ください。

### 1 受話器を取り付け、アンテナを立てる




### 2 電話機コードを接続したあと（❶）、電源コードを接続する（❷）

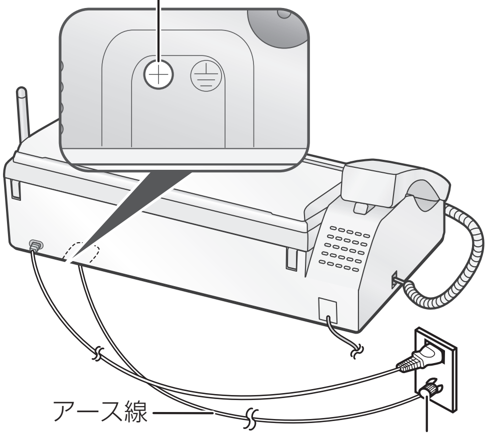
**必ず電話機コードを電源コードより先に接続してください。順序を変えると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。**




**電源コードを接続すると、日付・時刻の設定画面が表示されます（☞25ページ）**

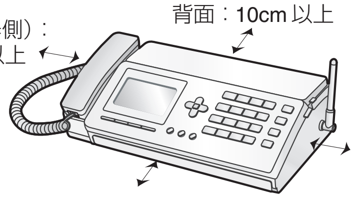
## アース端子について

**アース端子（本体の底面にあります）**
万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。



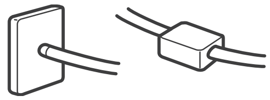

## 設置について

本機の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

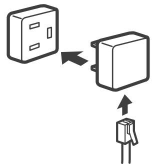



## 電話線コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。

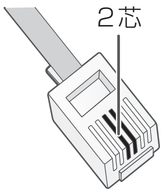


また、３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。



### お知らせ

- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリとブランチ式（並列）に接続しないでください（☞31ページ）。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、177ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極２芯と表示されているものをお求めください。

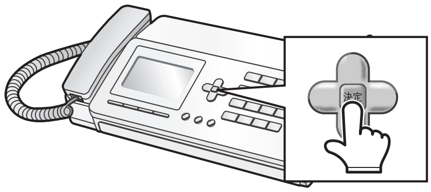


## 日付・時刻を設定する

電源コードを接続すると、右記の画面が表示されます。画面にしたがって設定してください。

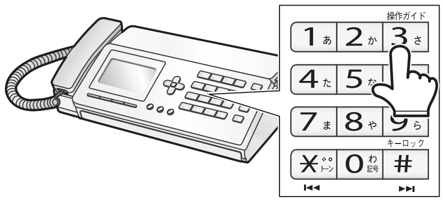
日付・時刻を設定
[決定]で決定
[停止]で中止

### 1 決定 を押す



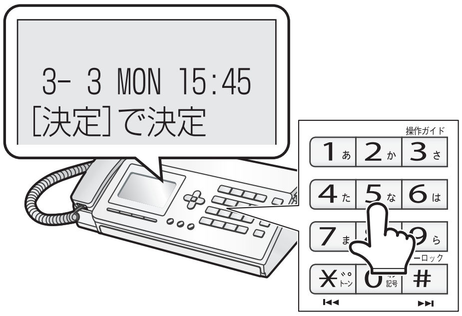

### 2 ダイヤルボタンで日付を入力する

例：0 8 0 3 0 3
2008年　3月　3日

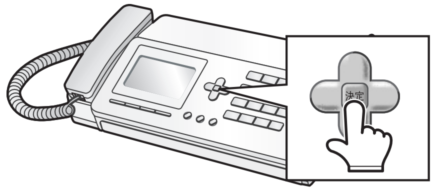



### 3 ダイヤルボタンで時刻を入力する（24時間制）

例：1 5 4 5
午後3時　45分




### 4 決定 を押す




**日付・時刻を入力、または入力をキャンセルすると、携帯とくとくダイヤルの設定画面になります（☞次ページ）**

・先に子機を充電している場合、親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（☞181ページ）が、[使用する]に設定されているときのみ）。

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

**日付・時刻を設定し直すときは**
途中で間違えて設定してしまったり、日付、時刻を後から設定したいときは、45ページを参照して、あらためて設定し直してください。

**お知らせ**

●時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
●日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日･時刻･曜日は送信したファクスにプリントされます。

## 携帯とくとくダイヤルを設定する

電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルすると、下記の画面がディスプレイが約5秒ごとに切り替わります。

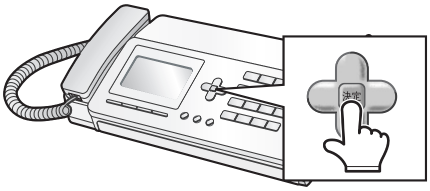
| 携帯電話に電話をかけるとき料金がおトクになる→ | ⇔ | サービスをご利用いただけます[決定]で設定へ |
|---|---|---|

ディスプレイの指示のとおり操作すると、携帯電話への通話料金がおトクになる「携帯とくとくダイヤル（☞109ページ）」を設定することができます。

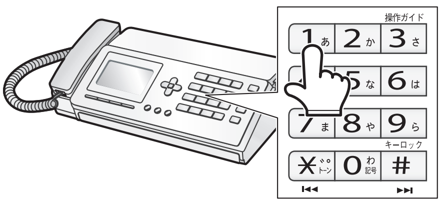
携帯とくとくダイヤルを利用しないときは、[停止] を押します（[使用しない]になります）。

> **ひかり電話（NTT東日本、西日本の光回線電話）では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれません。**
> **手順2で [1あ] を押してください。**

### 1 [決定] を押す




### 2 ダイヤルボタンで[<ひかり電話利用>]の項目を選択する



○ ひかり電話をご利用のとき

[1あ] を押す

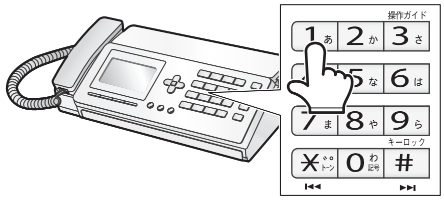
[ひかり電話利用時には、ご利用できません］と表示され、設定が終了します。

→ **9** へ

○ ひかり電話をご利用にならないとき

[2か] を押す → **3** へ

### 3 ダイヤルボタンで、使用したい「携帯とくとくダイヤル番号」を選択する



○ [NTT東日本0036]を選ぶ

[1あ] を押す → **6** へ

○ [NTT西日本0039]を選ぶ

[2か] を押す → **6** へ

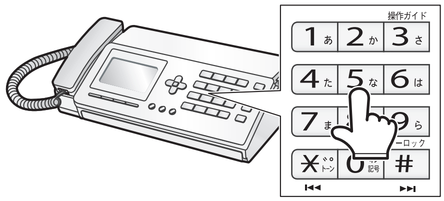
○ [その他事業者]を選ぶ

[3さ] を押す → **4** へ

○ [使用しない]を選ぶ

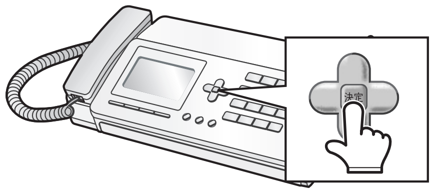
[4た] を押す → **9** へ

### 4 ダイヤルボタンで事業者識別番号を入力する（最大6ケタ）



・事業者識別番号とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

### 5 [決定] を押す

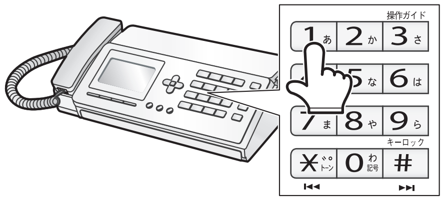



次ページへ

・途中でやめるとき：[停止]

・１つ前に戻るとき：[キャッチ/消去]

## 6 ダイヤルボタンで［<IP電話利用>］の項目を選択する




○ IP 電話（ひかり電話などを除く）をご利用のとき

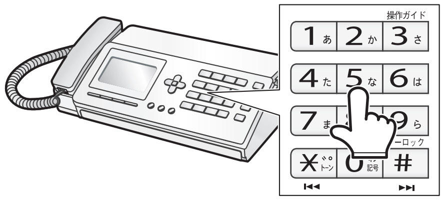
［1あ］を押す → **7** へ

○ IP電話をご利用にならないとき

［2か］を押す → **9** へ

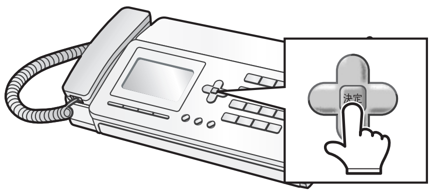
・IP電話を利用していないときは、［IP電話利用］を［なし］にしてください。

## 7 ダイヤルボタンで、ご利用のIP電話の「加入電話選択番号」を入力する（最大6ケタ）




・「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。
・最初は「0000」が入力されています。加入電話選択番号を入力するときは、「0000」を消去せず、そのまま入力してください。

## 8 ［決定］を押す




## 9 自動的に電話回線種別が設定される

・途中でやめるとき：［停止］
・１つ前に戻るとき：［キャッチ/消去］

## 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定するときは

電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないときがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

○20PPSにする

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 4た 1あ と順に押す

③ 停止 を押す

○トーン（プッシュホン）にする

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 4た 2か と順に押す

③ 停止 を押す

○10PPSにする

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 4た 3さ と順に押す

③ 停止 を押す

○自動で回線種別を設定する

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 4た 4た と順に押す

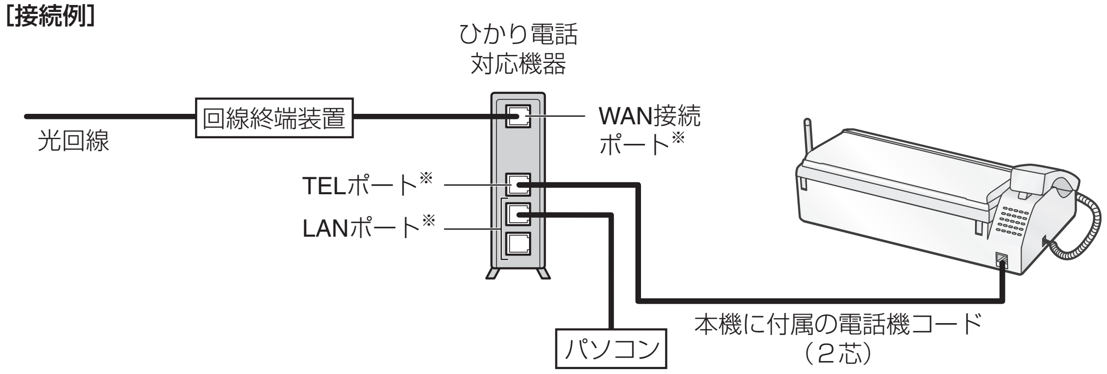
### お知らせ

- IP 電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください（☞上記）。

# いろいろな接続



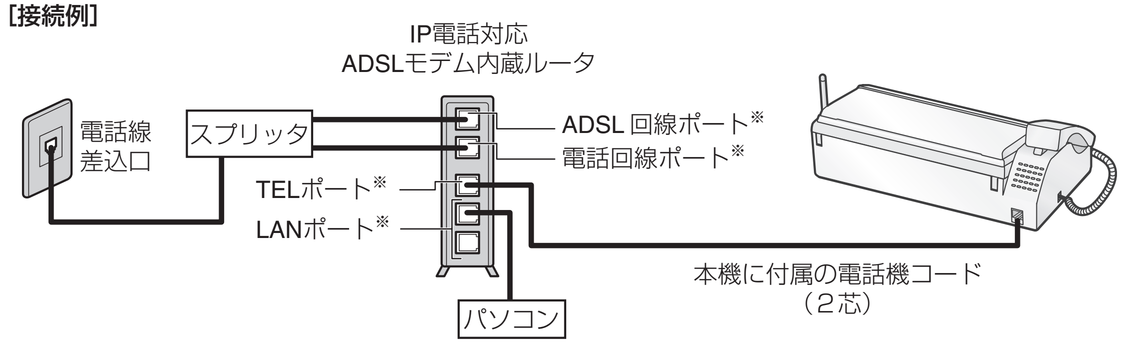
## ひかり電話などの光回線をご利用のとき



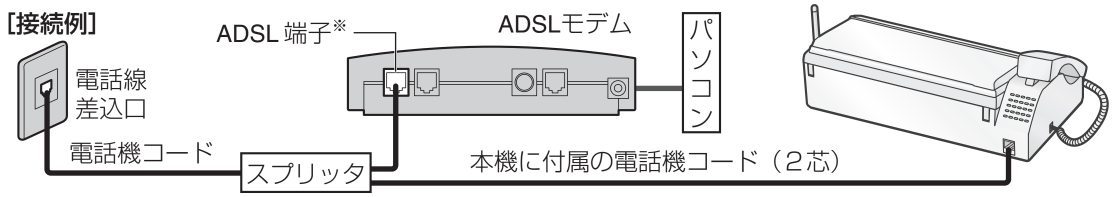

## ADSLによるIP電話をご利用のとき

基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプタ」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。
接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

- 本機はIP電話に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので、完全な動作を保証するものではありません。




## ADSL回線に接続するとき



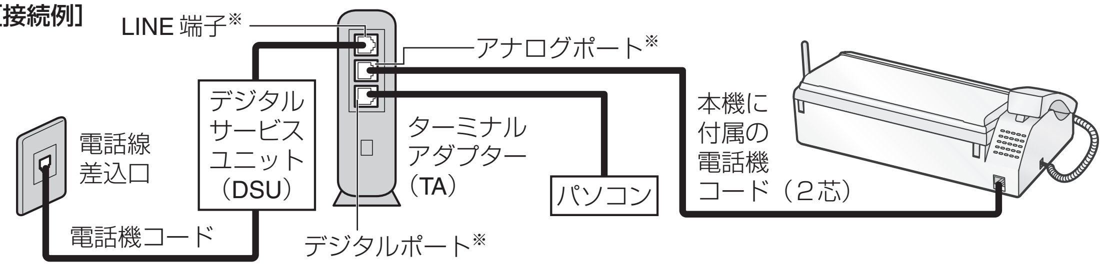

ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

- ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。
  タイプ2のときは、基本的には本機をお使いになれませんが、IP電話のサービスによってはお使いになれる場合もあります。
- 本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

# ISDN回線に接続するとき

［接続例］




■ISDN回線に接続後は、回線種別を［トーン］に設定してください（☞28ページ）。

ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を［使用しない］に設定してください（☞137ページ）。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

### お知らせ

● 一般回線やISDNからADSL、光回線に変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。
・FAXが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすることなどがあります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。
・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。通知したいときは、NTTを選択して発信してください（NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください）。
・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990などをつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122などの番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定を確認し、手動で設定しなおしてください（☞28ページ）。

●一般回線から光回線やIP電話などに変更した場合、携帯電話につながらなくなることがあります。このときは、「携帯とくとくダイヤル」の設定を［使用しない］にしてください（☞109～110ページ）。

## 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

**ビジネスホンとは**
電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

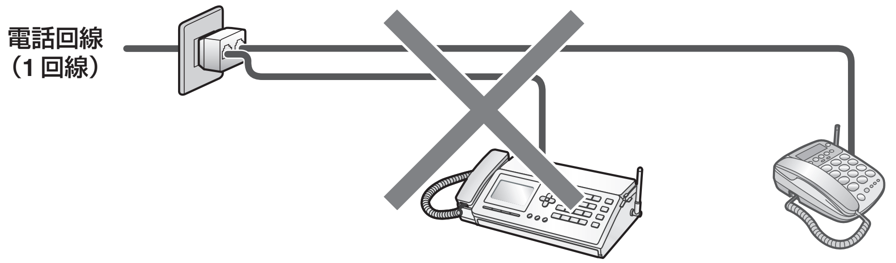
**ホームテレホンとは**
電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

- **構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は、工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認お願いします。**
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を [使用しない] にしてお使いください（☞137ページ）。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

## 1回線に複数の機器を接続するとき（並列接続）

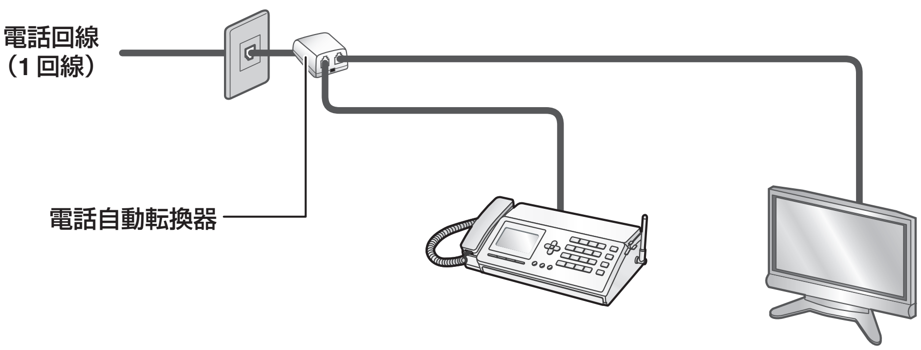
- 電話機やほかのファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

[接続例]




- 建物に複数の電話線差込口があっても、電話回線は1つだけの場合があります。そのときは、別々に機器をつないでも並列接続になります。
- ナンバー・ディスプレイやモデムダイヤルインサービスをご利用のときは、他の機器と並列にしないでください。誤動作の原因になります。
- 並列に接続している機器が使用中のときは、電話やファクスを使用することができません。
- 他の機器と並列に接続すると、共鳴りすることがあります。
- ガスメーターやBS／CSチューナー、パソコン、AV機器などを並列に接続してお使いの場合、それらの機器が動作中のときは、電話やファクスを使用することができません。並列して接続する機器に関しては、その機器のメーカーにお問い合わせください。
- AV機器などに電話回線を並列して接続するときは、市販の「電話自動転換器（両切りタイプ）」をお使いになることをおすすめします（動作の保証をするものではありません）。

[接続例]



# インクリボンを確認する／交換する



ファクスやコピーのプリントに必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボン（ギヤつきタイプ）は、必ず当社の純正品をお使いください（☞177ページ）。

○ **UX-NR8G（33m×1本）**

○ **UX-NR8GW（33m×2本）**

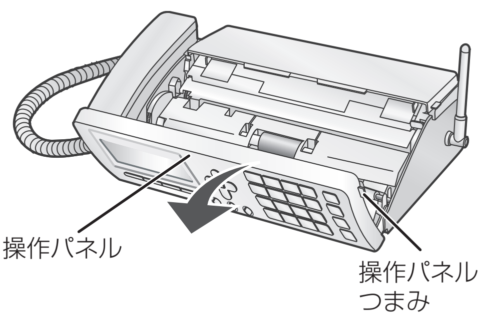
33mでA4原稿を最大で約105枚（※）プリントすることができます（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）。
※1件5枚の受信FAXデータをくり返し印刷した場合

## インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

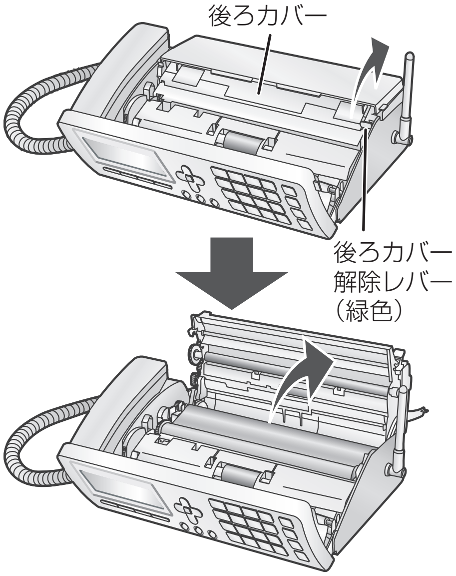
インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

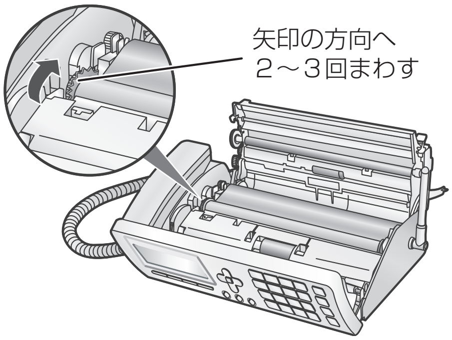
**1** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす




**2** 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

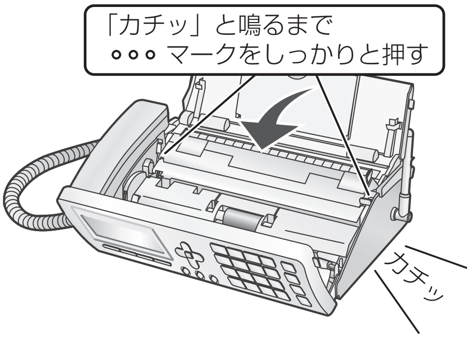



**3** インクリボンのたるみを取る

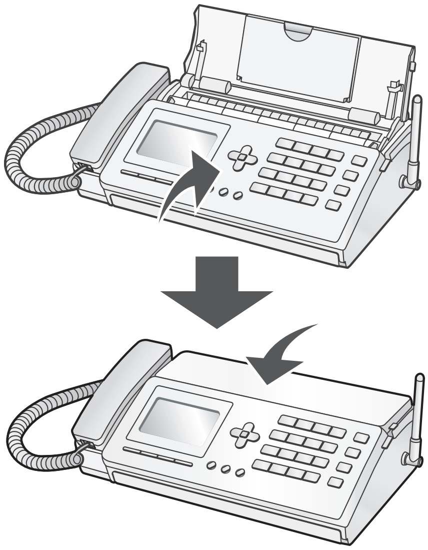



次ページへ

**4** 後ろカバーを閉める



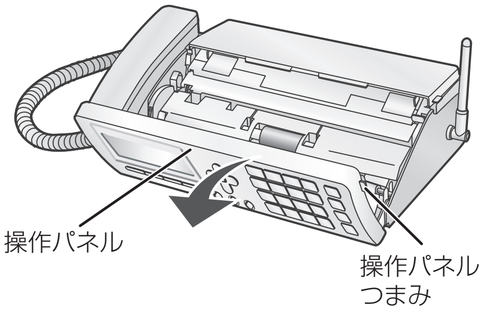

**5** 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



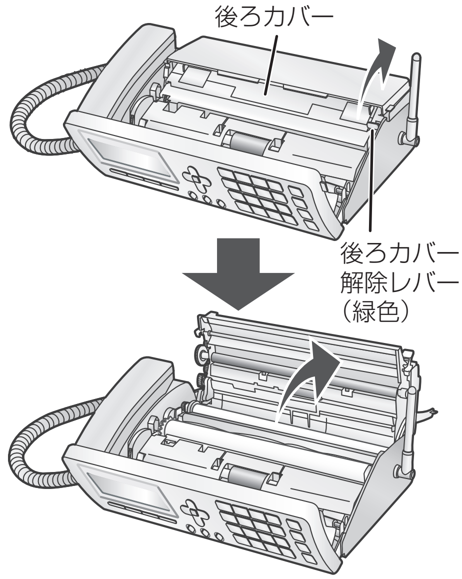
## 使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに［インクリボン切れ　型番は UX-NR8G/GW］と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。
インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。
記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

**1** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす

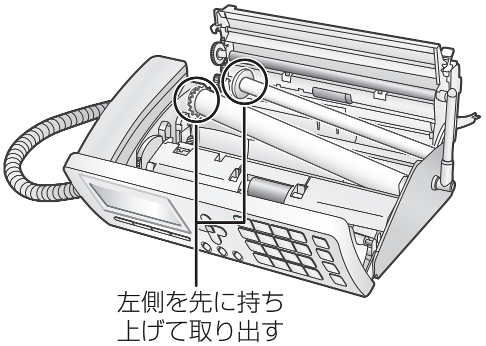



**2** 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

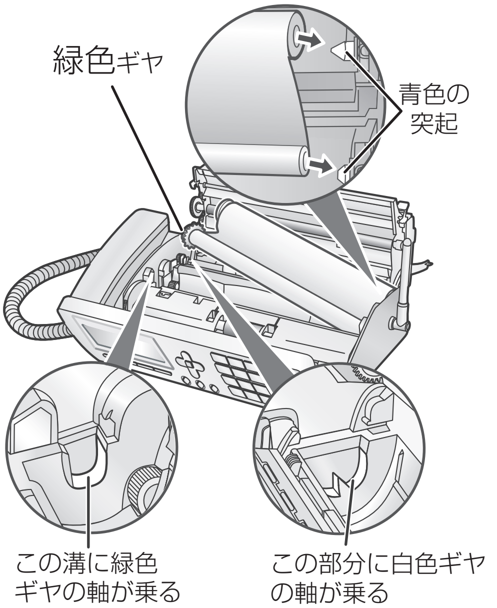



次ページへ

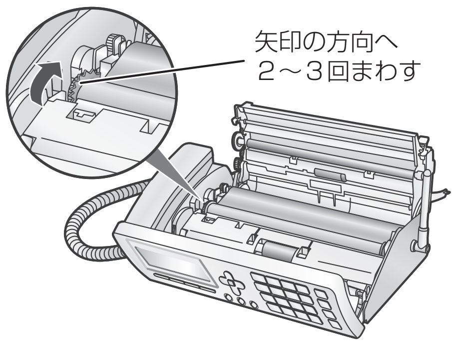
## 3 使用済みのインクリボンを取り出す



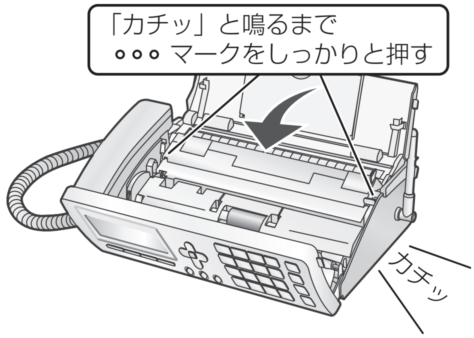

## 4 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける



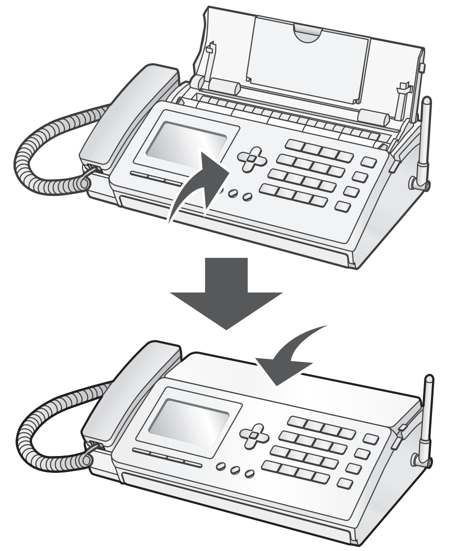

## 5 インクリボンのたるみを取る




## 6 後ろカバーを閉める




## 7 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



### お知らせ

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
  - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
  - ・インクリボンの芯やギヤは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属でできています。
- 使用済みのインクリボンのギヤだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギヤつきタイプ）をお使いください。

# 記録紙のセットのしかた

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

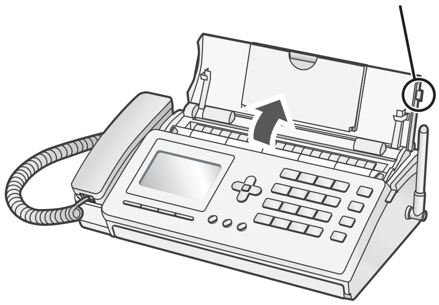
**記録紙はA4サイズの当社推奨品（☞177ページ）をお買い求めください。**

**○ 普通紙（PP110MA4）**

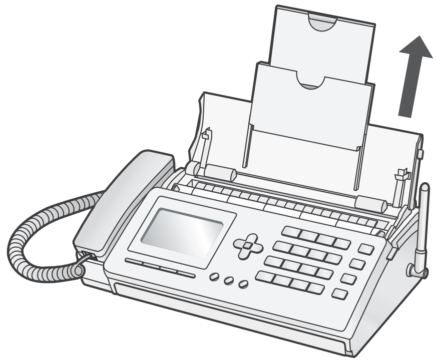
**推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くなることがあります。ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。**

## 記録紙をセットする

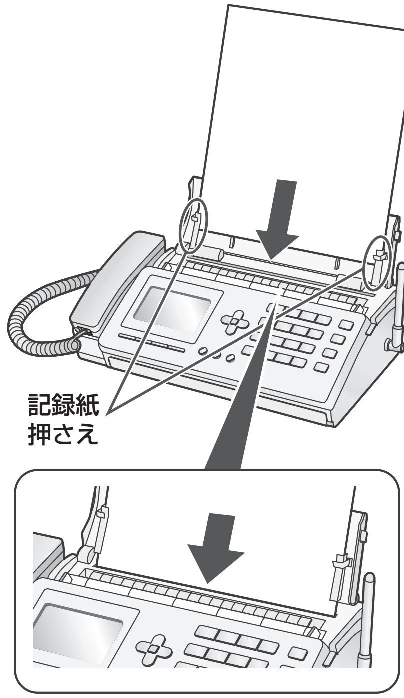
### 1 記録紙トレイを開ける




### 2 延長トレイを引き出す



### 3 記録紙押さえの間に、印刷する用紙をセットする




・ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

### 記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙をつぎ足ししないでください。

記録紙がつまったときは（☞ 163ページ）

### お知らせ

●しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
●ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
●一度使用した裏紙はセットしないでください。

# 子機を充電する／充電池を交換する



**通話時間について**

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で **約6時間** です。

●通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、子機のディスプレイに 要充電 が表示され“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**[電池残量がありません]**と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。登録操作中のときは、充電してください。

## 電池残量を確認したいときは

① を押す

② で [電池残量] を選び を押す

アラーム
電話帳転送
▶電池残量

・ディスプレイの表示と電池パックの残量については、以下の通りです。

残量 ■■■ ： 充分に残っています。
残量 ■■ ： 少なくなっています。
残量 ■ ： ほとんどありません。すぐに充電してください。

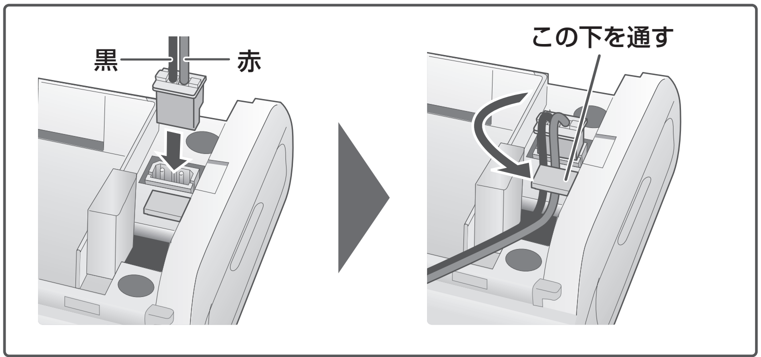
ディスプレイに 要充電 や [電池残量がありません] と表示されているときは、使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。

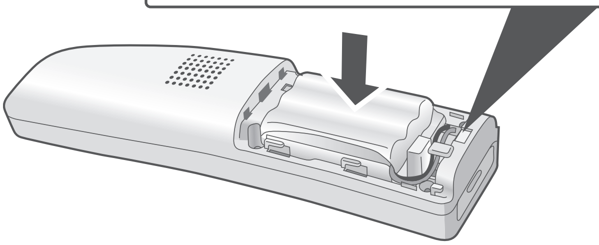
充電が完了すると 要充電 は消えます（ただし、充電が完了する前に子機を充電器から取り上げて戻したときも 要充電 は消えます）。

## 充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

### 1 充電池のコネクタを接続して、充電池を子機にセットする



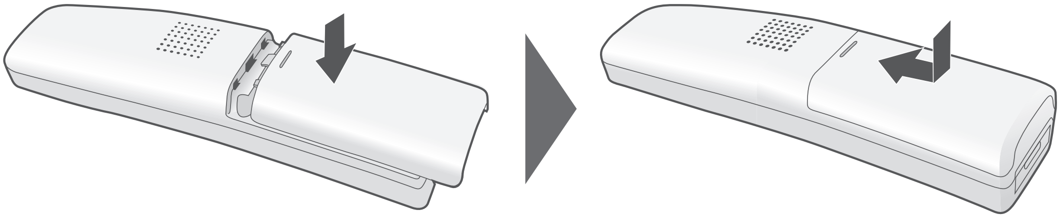



**⚠ 警告**

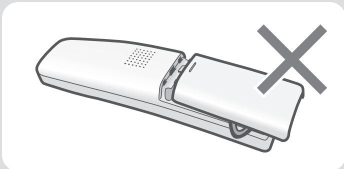
充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

次ページへ

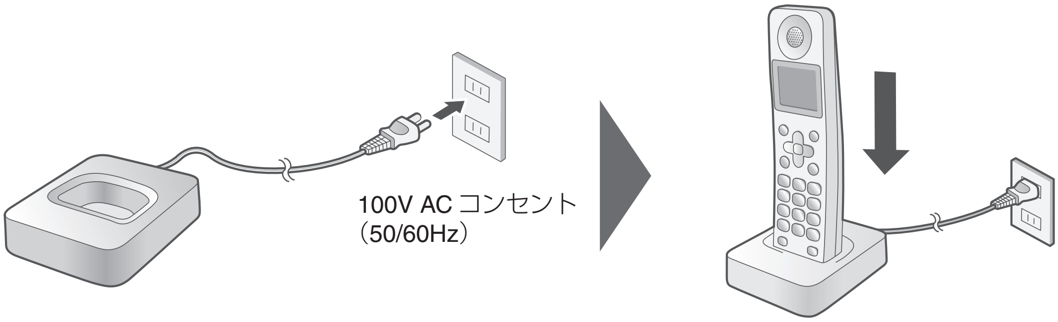
## 2 充電池ふたを取り付ける



コードをはさまないようご注意ください。



## 3 充電器の電源コードを接続し、子機を充電器に置いて充電する




・初めて使用するときは、必ず**10時間以上**充電してください。
・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
・充電中は、ディスプレイに [<充電中>] と表示されます（充分に残っている状態から充電した場合は、表示されません）。

### お知らせ

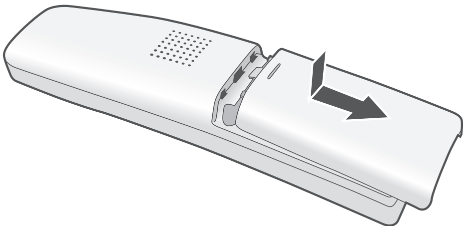
●UX-D28CWをお使いのときや、UX-D28CLに子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
●子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
●充電中は充電部や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
●電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
●電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

# 充電池を交換する

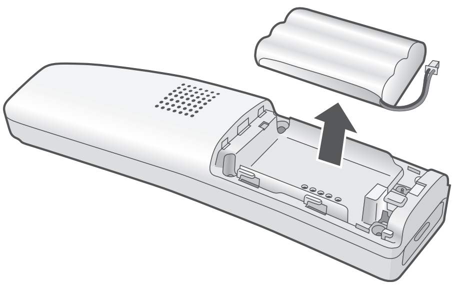
## 充電池は約2年程度で交換してください

子機に内蔵している専用の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で充電池の容量が減少していきます。
長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときには、新しい別売りの充電池（☞177ページ）に交換してください。

### 1 充電池ふたを外す



### 2 充電池を取り外す



### 3 新しい充電地を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞36～37ページ）の手順 **1** ～ **3** を参考に、新しい充電地を入れて10時間以上充電してください。

## 充電式電池のリサイクルご協力のお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

Ni-MH　ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
  - この商品またはニッケル水素電池をお買いあげいただいた販売店または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
  - （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センタ、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

  詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
  - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
  - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池を分解しないでください。

# 音の設定を変える

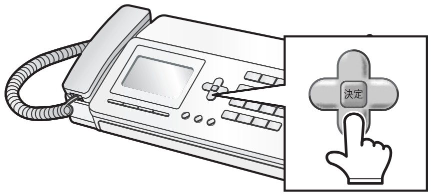
親機や子機から鳴る音の音量や音色などを設定できます。

## 親機の着信音の大きさを変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

**1** 受話器を置いたまま [着信/スピーカー音量]

押すごとに切替：５段階

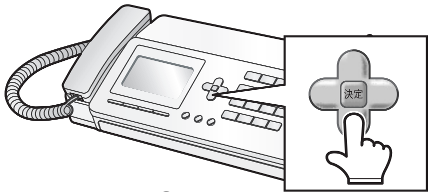



・はじめは「3段階目」に設定されています。
・はじめに１回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。
・音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

## 親機の着信音を鳴らさないようにする

**1** 受話器を置いたまま [着信/スピーカー音量] を

「ピー」と鳴るまで約5秒間押し続ける

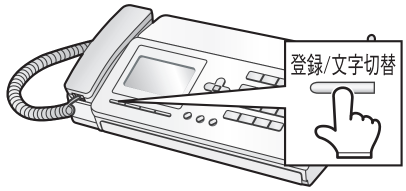



・もう一度 [着信/スピーカー音量] を押すと、最小の音量で鳴らす設定になります。
・「鳴らさない」にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。
・着信音を鳴らさない設定にしていても、他の子機からの着信音は最小の音量で鳴ります。

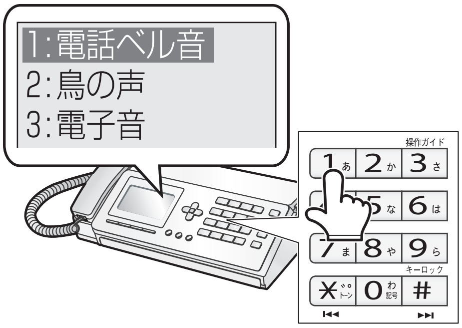
## 親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（9種類）。

**1** [登録/文字切替] を押す




**2** [2 か] [1 あ] と順番に押す



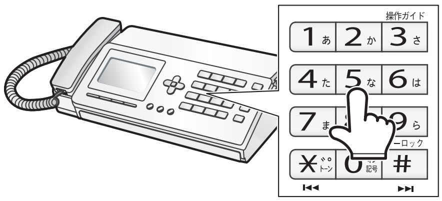

次ページへ

ご使用の前に

音の設定を変える

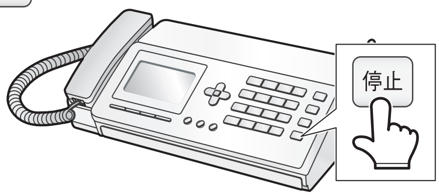
## 3 [1あ] ～ [9ら] で、着信音色を選ぶ

| | |
|---|---|
| 1あ | 電話ベル音 |
| 2か | 鳥の声 |
| 3さ | 電子音 |
| 4た | バッハのインベンション |
| 5な | ジュ・ト・ブ |
| 6は | シンフォニー 40 番 |
| 7ま | ショートメロディ 1 |
| 8や | ショートメロディ 2 |
| 9ら | ショートメロディ 3 |




・はじめは [電話ベル音] に設定されています。

## 4 [停止] を押す




・途中でやめるとき：[停止]

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 設定した着信音を確認するとき

[着信/スピーカー音量] を押す

### お知らせ

● 「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☞ 138～140ページ) を設定していると、固定の着信音が鳴ります。

● 「FAX 優先」(☞ 104 ページ) の設定をすると、親機の着信音は [電話ベル音] になります。

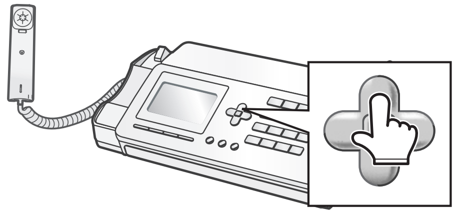
● 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

## 親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

### 1 通話中に [受話音量] を押す

押すごとに切替：５段階

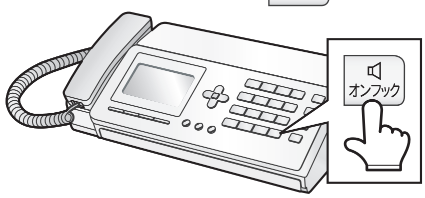


・はじめは「2段階目」に設定されています。
・はじめに 1 回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。

## 親機のスピーカー音量を変える

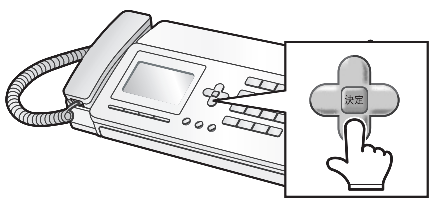
録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、音声操作ガイドの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

### 1 受話器を置いたまま [オンフック] を押す




### 2 [着信/スピーカー音量] を押す

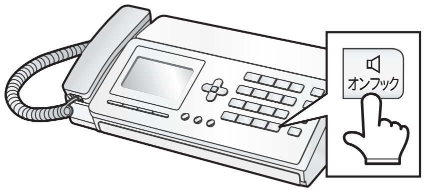
押すごとに切替：５段階




・はじめは「3段階目」に設定されています。
・はじめに 1 回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量を変更できます。

次ページへ

## 3 [オンフック] を押す




## 親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

**親機で操作します。**

① [登録/文字切替] を押す

② [#] を4回押す

③ [3 さ] [1 あ] と順番に押す

④ [小] を選ぶときは [1 あ]

[標準] を選ぶときは [2 か]

[大] を選ぶときは [3 さ] を押す

⑤ [停止] を押す

## 子機送話音量を調整する

子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

**親機で操作します。**

① [登録/文字切替] を押す

② [#] を4回押す

③ [3 さ] [2 か] と順番に押す

④ [小] を選ぶときは [1 あ]

[標準] を選ぶときは [2 か]

[大] を選ぶときは [3 さ] を押す

⑤ [停止] を押す

## 子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。子機で通話中に受話音量を変えることもできます（☞44ページ）。

**親機で操作します。**

① [登録/文字切替] を押す

② [#] を4回押す

③ [3 さ] [3 さ] と順番に押す

④ [小] を選ぶときは [1 あ]

[標準] を選ぶときは [2 か]

[大] を選ぶときは [3 さ] を押す

⑤ [停止] を押す

## 子機受話音質を調整する

すべての子機の受話音質を調整できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」（☞44ページ）をご覧ください。

**親機で操作します。**

① [登録/文字切替] を押す

② [#] を4回押す

③ [3 さ] [4 た] と順番に押す

④ [低い] を選ぶときは [1 あ]

[標準] を選ぶときは [2 か]

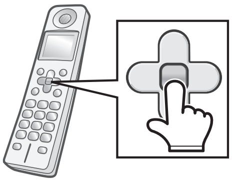
[高い] を選ぶときは [3 さ] を押す

✎ **IP電話やADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなることがあります。**
このようなときには、上記の「親機送話音量を調整する」「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ「小」に設定すると、通話品質が改善されることがあります。

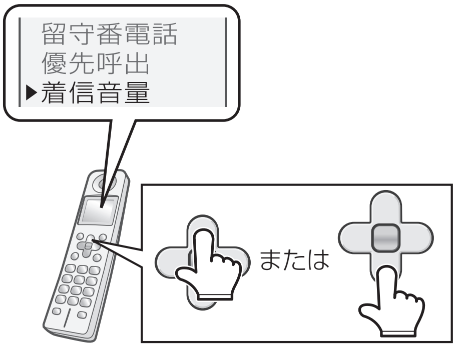
## 子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

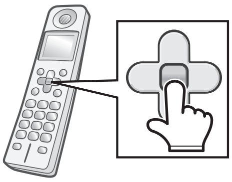
**1** を押す



**2** で [着信音量]を選ぶ




**3** を押す



**4** で 着信音量の大きさを

○ [大]

○ [標準]

○ [小]

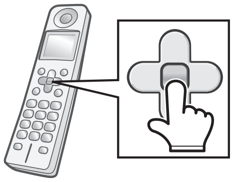
○ [切]

から選ぶ




・はじめは [標準] に設定されています。
・[切] にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。

**5** を押す



・途中でやめるとき：切

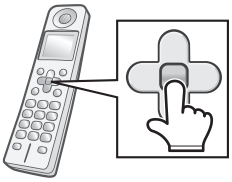
### お知らせ

- 子機の呼出音は親機と同じタイミングでは鳴りません。
- 着信音を鳴らさない設定にしていても、親機や他の子機からの着信音は子機では [小] の音量で鳴ります。
- 優先呼出（☞ 127ページ）を設定した子機の着信音量を [切] にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

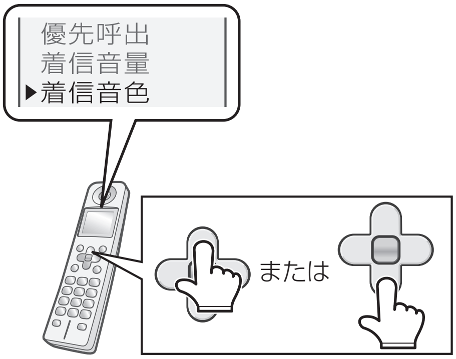
## 子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（10種類）。

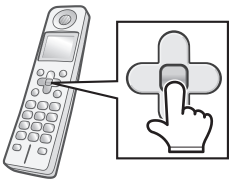
### 1 を押す



### 2 で [着信音色]を選ぶ




### 3 を押す



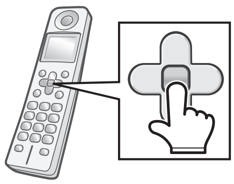
### 4 で 着信音色の種類を選ぶ

| | |
|---|---|
| 1 | プルルル　プルルル |
| 2 | ポロロロ　ポロロロ |
| 3 | ピロン　ピロン |
| 4 | ショートメロディ① |
| 5 | ショートメロディ② |
| 6 | ショートメロディ③ |
| 7 | ショートメロディ④ |
| 8 | ショートメロディ⑤ |
| 9 | ジムノペディ |
| 10 | ジュピター |




・曲名はディスプレイには表示されません。音を聞きながら設定してください。
・はじめは「プルルル　プルルル」に設定されています。

### 5 を押す



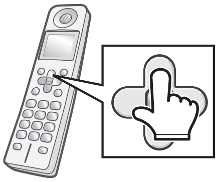
・途中でやめるとき：切

## 子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

**1** **通話中に を押す**

**押すごとに切替：4段階**



・はじめは「2段階目」に設定されています。
・聞こえにくいときは、さらに親機の設定で変更することもできます(☞41ページ「子機受話音量を調整する」)。

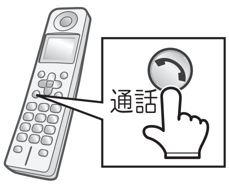
## 子機の通話音質を変える

受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

**1** **通話中に 通話 を押す**

**押すごとに切替**

**○ [高い]（高音を強調する）**
**○ [低い]（低音を強調する）**
**○ [標準]**

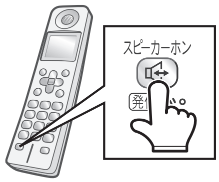



・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。
・すべての子機の通話音質を変更したいときは、「子機受話音質を調整する」（☞41ページ）をご覧ください。
・[標準] を選ぶと、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
・通話 を押したときに、[高い] [低い] [標準] が約5秒間表示されます。

## 子機のスピーカー音量を変える

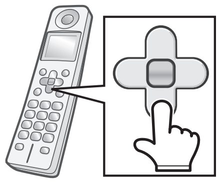
録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

**1** スピーカーホン 発信/ハ。 **を押す**




**2** **スピーカーから音が聞こえているときに を押す**

**押すごとに切替：4段階**



・はじめは「2段階目」に設定されています。

**3** 切 **を押す**



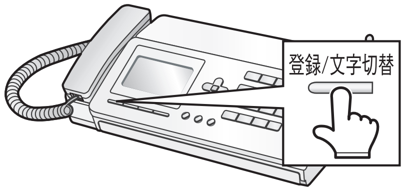
# 日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定することができます。
親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機の時計を転送して子機の時計を設定したり、子機の時計を転送して親機の時計を設定したりすることもできます。

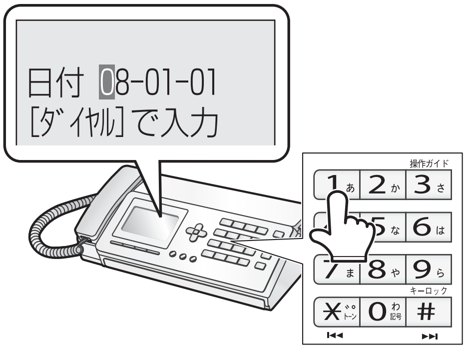
## 親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わすときは、次の操作を行います。

### 1 [登録/文字切替] を押す

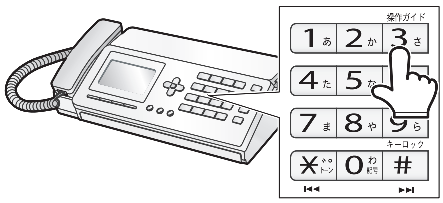



### 2 [1あ] [1あ] と順に押す




### 3 ダイヤルボタンで日付を入力する

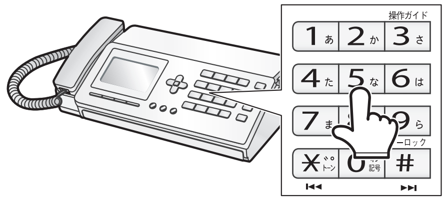
例：[0] [8] [0] [3] [0] [3]
２００８年　３月　３日



・年は、西暦年の下二ケタで入力します。
・数字を入れ間違えたときは、[キャッチ/消去] で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

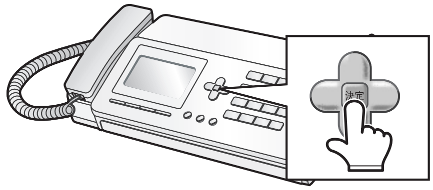
### 4 ダイヤルボタンで時刻を入力する

例：[1] [5] [4] [5]
午後３時　４５分

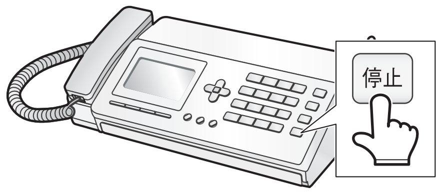


・時間は、24時間制で入力します。
・数字を入れ間違えたときは、[キャッチ/消去] で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

### 5 [決定] を押す



### 6 [停止] を押す




・**親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます**（時計バックアップ（☞181ページ）が、[使用する] に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に転送されて親機の登録が上書きされます。

・途中でやめるとき：[停止]
・１つ前に戻るとき：[キャッチ/消去]

## 子機の日付と時刻を合わせる

「時計バックアップ」（☞181ページ）が［使用する］に設定されているときは、親機の日付と時刻を設定すると、子機にも転送されますので、子機で設定する必要はありません。また、親機から手動で日付と時刻を転送することもできます（時計転送 ☞下記）。

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

① [決定] を押す

② [上下] で［システム設定］を選び、[決定] を押す

電話帳転送
電池残量
▶システム設定

③ [上下] で［日時登録］を選び、[決定] を押す

▶日時登録
キータッチ音出力
クイック通話

④ ダイヤルボタンで日付を入力する（年は西暦年の下二ケタ）

例：0 8 0 3 0 3
2008年 3月 3日

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する（時間は24時間制）

例：1 5 4 5
午後3時 45分

⑥ [決定] を押す

・途中でやめるとき：[切]

・数字を入れ間違えたときは、[左右] で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

## 親機に登録されている日付や時刻を子機に転送する（時計転送）

**親機で操作します。**

親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を４回押す

③ 5 2 と順に押す

・途中でやめるとき：停止 ／１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・子機が２つ以上あるときは、子機番号の１から順番に転送します。

・時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

## 子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）

**親機で操作します。**

子機の日時が登録されていないときは、転送できません。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を４回押す

③ 5 3 と順に押す

・途中でやめるとき：停止 ／１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・親機に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の１です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

**停電などで親機の日時登録が消えたときは**

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、親機の日時を登録します。
時計転送を行わないようにするには、「時計バックアップ」（☞181ページ）を［使用しない］に設定してください。

### お知らせ

- 時計の精度は、１カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 子機の充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」（☞181ページ）が［使用する］に設定されているとき、子機が充電されると、親機から自動的に日時が登録されます。
- 時刻だけを合わせたいときも、手順に従って日付から入力してください。
- 時計転送しているとき、親機のディスプレイには「子機使用中」と表示されます。

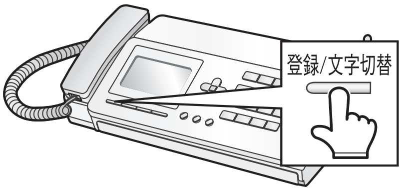
# 自分の番号・名前を登録する

親機には、自分の番号や名前を登録することができます。
子機には、使う人の名前を登録することができます。

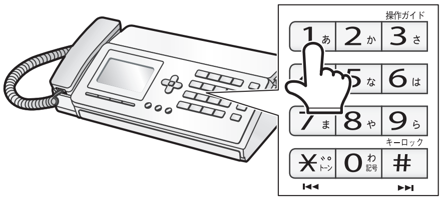
## あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（親機）

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

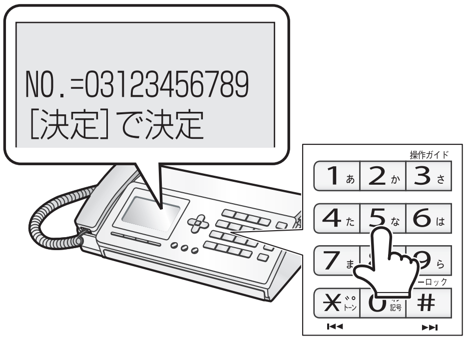
**1** 登録/文字切替 を押す




**2** 1あ 2か 1あ と順番に押す

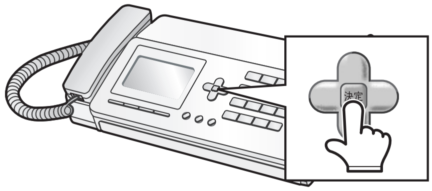



**3** ダイヤルボタンで電話番号を入力する（最大20ケタ）

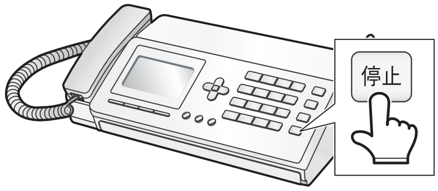



・番号を入れ間違えたときは、キャッチ/消去 で消去してから、あらためて入力します。

**4** 決定 を押す




**5** 停止 を押す




・登録した番号を変更したいときは、一度消去してからあらためて登録してください。

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 親機に登録した番号を消去するとき

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 2か 2か と順に押す

③ 2か を押す

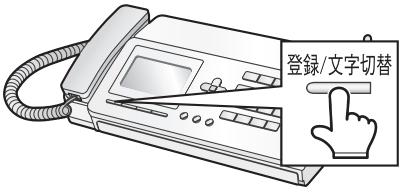
④ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

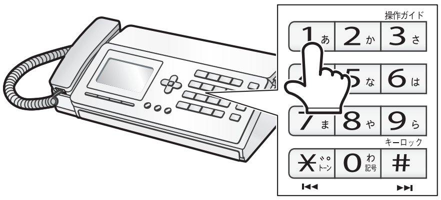
## あなたの名前（発信元名）を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

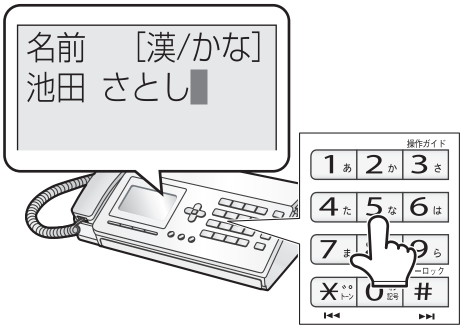
**1** 登録/文字切替 を押す




**2** 1あ 3さ 1あ と順に押す

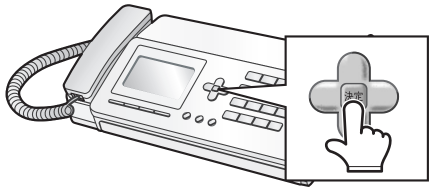



**3** ダイヤルボタンで名前を入力する（最大全角12文字／半角24文字）

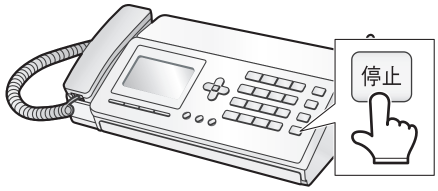



・文字を入力するには（☞76～77ページ）
・文字を入れ間違えたときは、キャッチ/消去 で消去してから、あらためて入力します。

**4** 決定 を押す




**5** 停止 を押す




・登録した名前を変更したいときは、一度消してからあらためて登録してください。

・途中でやめるとき：停止
・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 親機に登録した名前を消去するとき

① 登録/文字切替 を押す
② 1あ 3さ 2か と順に押す
③ 2か を押す
④ 停止 を押す

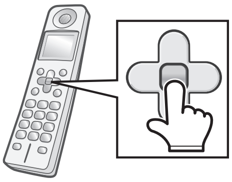
・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 使う人の名前を子機に登録する

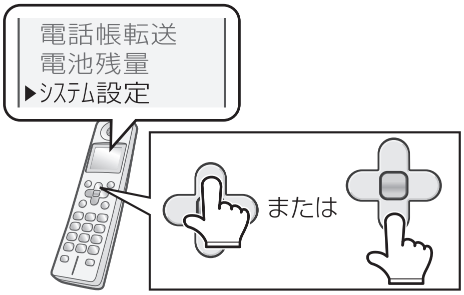
登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。

**親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。**

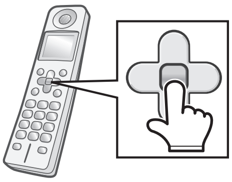
**1** を押す



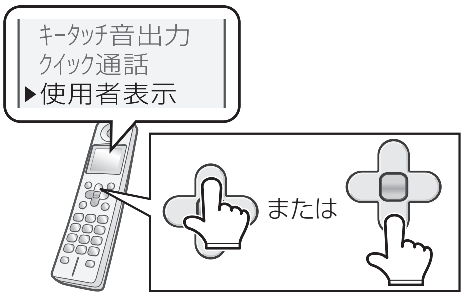
**2** で［システム設定］を選ぶ



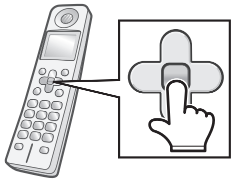

**3** を押す



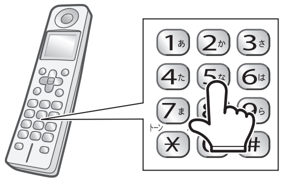
**4** で［使用者表示］を選ぶ




**5** を押す

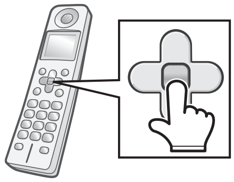


**6** ダイヤルボタンで名前を入力する（最大全角5文字／半角10文字）



・文字を入力するには（☞76～78ページ）

**7** を押す



・登録した名前を変更したいときは、手順 **1** からやりなおしてください。

・途中でやめるとき：切

### 子機に登録した名前を消去するとき

①手順 **1** ～ **5** の操作をする

② 手順 **6** の名前の入力画面で、入力した文字を 内線/クリア 保留 ですべて消す

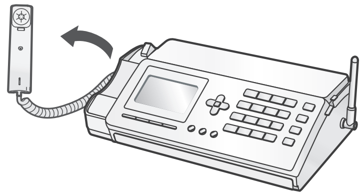
③ を押す

# 電話をかける・受ける・かけ直す

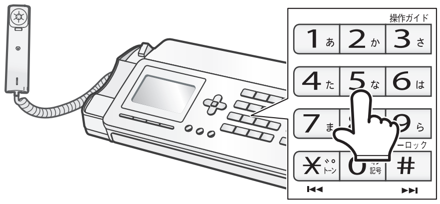


## 親機で電話をかける

### 1 受話器を取る



### 2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す

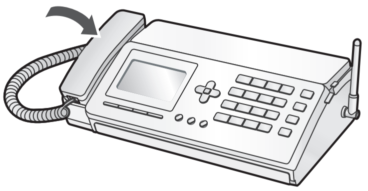



・ まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、ダイヤルしてください。

### 3 相手の方とお話しする

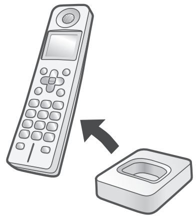
・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

### 4 通話が終わったら受話器を戻す

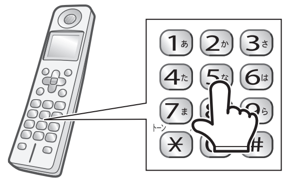


## 子機で電話をかける

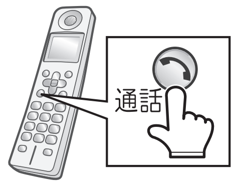
### 1 子機を充電器から取る



### 2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す



### 3 通話 を押す




### 4 相手の方とお話しする

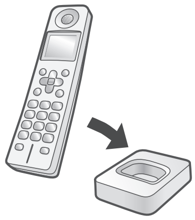
・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

### 5 通話が終わったら 切 を押す




次ページへ

## 6 充電器に戻す



## 通話中にお待たせするときは（保留）

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

**親機でお待たせする**

① 通話中に 内線/保留 を押す

② 受話器を戻す

・再び通話するときは受話器を取る

**子機でお待たせする**

① 通話中に 内線/クリア 保留 を押す

・再び通話するときは 内線/クリア 保留 を押す、または 通話 を押す

## 子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）

電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。

① 子機で通話中に 決定 を押す

② 上下 で［電波サポート］を選ぶ

FAX受信
録音再生
▶電波ｻﾎﾟｰﾄ

③ 決定 を押す

・電波サポートを常に［設定］にするときは（電波サポート ☞ 127ページ）

## ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

親機： ＊ ﾄｰﾝ を押してからダイヤルボタンを押す

子機： トーン ＊ を押してからダイヤルボタンを押す

電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

## 子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）

① ダイヤルボタンを押す

② スピーカーホン 発信/ﾊﾟﾙｽ を押す

③ 相手につながったら、マイクに向かって話す

④ 通話が終わったら 切 を押す

・ディスプレイに[<SP通話中>]と表示されます。
・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてお使いください（☞44ページ）。

## 受話器を取らずに電話をかけるときは（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）

親機： オンフック を押してからダイヤル

子機： スピーカーホン 発信/ﾊﾟﾙｽ を[<受話通話中>]と表示されるまで3秒以上押してからダイヤル

スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。
続けて通話する場合は、親機では受話器を上げて、子機では スピーカーホン 発信/ﾊﾟﾙｽ を押してからお話しします。

**電話がかけられないときは**
52〜53ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

### お知らせ

● ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
● 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
● 親機でコピーやプリントをしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。
● 子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがありますが、そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは、お話ししている場所を移動するか、送話音量や受話音量を下げてお使いください（☞41、44ページ）。

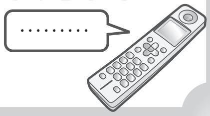
## 電話がかけられないときは…

相手の方に電話をかけられないときは、以下の表を参考にして確認してください。
- ○どこにも電話がかけられないとき……☞ 下記
- ○特定の番号にかけられないとき………☞ 下記
- ○携帯電話にかけられないとき…………☞ 次ページ





### どこにも電話がかけられない




取り付けの手順にしたがって、電源コード、電話機コードが正しくつながっているかを確かめます（☞ 23ページ）。

↓

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。

ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞ 28ページ）。

↓

電話をかける
・つながったらこのままお使いください。
（特定の番号だけつながらないときは　☞右記へ）

**それでもつながらない**

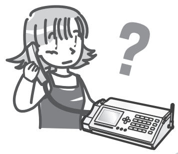
↓

引っ越しの直後など回線の工事が完了していないことがあります。

ご契約と工事の日程を確認してください。

### 特定の番号にかけられない

例：フリーダイヤル（0120～）
　　ナビダイヤル　（0570～）
　　など




↓

IP電話（ADSLなど）または光電話（NTTのひかり電話など）のどちらかを契約されていますか

**光電話（NTTのひかり電話など）を契約している**

↓

光電話（NTTのひかり電話など）を契約している場合は、特定の番号にかけることができません。
(例：ナビダイヤル 0570～など）

詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

**IP電話（ADSLなど）を契約している**

↓

NTTなどの一般加入回線も同時に契約されていますか

**契約していない**

↓

NTTなどの一般加入回線を同時に契約していない場合は、特定の番号にかけることができません。
（例：フリーダイヤル　0120～、ナビダイヤル　0570～　など）

詳しくは、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

**契約している**

↓

一般加入回線を選択するための「加入電話選択番号」をダイヤルしないとつながりません。

「加入電話選択番号」（☞ 182ページ）をダイヤルしてからフリーダイヤルなどの番号をダイヤルしてください。

**それでもつながらない**

↓

本機を設置時に、ご契約の回線種別に自動で設定されますが、まれに正しく設定されないことがあります。

ご契約の回線種別を確認して手動で変更します（☞ 28ページ）。

**ご契約の電話会社またはサービス会社とは？**

通話料金や電話サービスの請求書を送ってくる会社です。

● 上記以外で電話をかけられないなど困ったことがあれば、「こんなときは」（☞ 164～175ページ）もご覧ください。

# 携帯電話にかけられない



IP電話（ADSLなど）や光電話（NTTのひかり電話など）を契約されていますか？

**契約していない**

「携帯とくとくダイヤル機能」の設定で電話会社（通信事業者）が合っていないとつながりません。

正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞ 109～110ページ）。




**光電話（NTTのひかり電話など）を契約している**

光電話（NTTのひかり電話など）をご契約の場合「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません。

設定を「使用しない」に設定します（☞ 109 ～ 110ページ）。

**IP電話（ADSLなど）を契約している**

NTTなどの一般加入回線も同時に契約している

- **契約している**

  「携帯とくとくダイヤル機能」の電話会社（通信事業者）や「加入電話選択番号」が合っていないとつながりません。

  正しい電話会社（通信事業者）に設定します（☞ 109 ～ 110ページ）。

- **契約していない**

  「携帯とくとくダイヤル機能」はご利用になれません。

  設定を「使用しない」に設定します（☞ 109～110ページ）。

携帯電話にかけます（通話料は有料）。つながったら、設定は完了です。

**●それでもつながらない場合**

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

● 上記以外で電話をかけられないなど困ったことがあれば、「こんなときは」（☞ 164～175ページ）もご覧ください。

**回線種別とは…**

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本機の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

**回線種別の自動設定について**

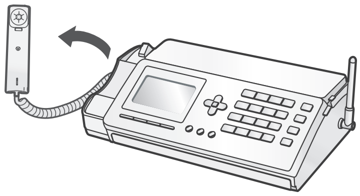
本機では、電話機コードを回線につなぐと、回線種別が自動で設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。
電話がかけられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていなければ手動で変更してください（☞ 28ページ）。

**IP電話とは**

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol（インターネットプロトコル）の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。
ただし、フリーダイヤル（0120）などの番号にかけるときはNTTの一般加入電話回線を使うため、回線種別設定がご契約の種別と合わないとつながりません（NTTのひかり電話をのぞく）。
フリーダイヤルの他にも、一部の電話番号にかけられない場合があります。かけられない電話番号は、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

## 親機で電話を受ける

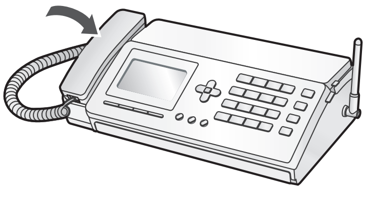
**1** 電話がかかってきたら受話器を取る



**2** 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**3** 通話が終わったら受話器を戻す



✐ **電話を受けているときの文字の大きさを変更するには（デカ文字着信　☞126ページ）**

✐ **着信音の大きさを変えるときは**
親機の着信音の大きさを変える（☞39ページ）
子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする（☞42ページ）

✐ **子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けるには（クイック通話　☞127ページ）**

✐ **通話中にお待たせするときは（保留　☞51ページ）**

✐ **子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート　☞51ページ）**

✐ **ナンバー・ディスプレイの契約をすると‥‥**

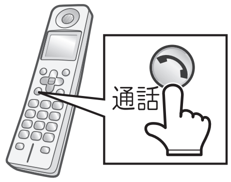
●電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます（☞137ページ）。

●子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、［切］を押すと、子機の着信音を止めることができます。
親機の着信音は鳴ります。

## 子機で電話を受ける

**1** 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

**2** ［通話］を押す




**3** 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**4** 通話が終わったら［切］を押す




**5** 充電器に戻す

### 子機を持たずに電話を受ける（スピーカーホン通話）

① 着信音が鳴ったら［スピーカーホン 発信/ハ。］を押す

② 相手につながったら、マイクに向かって話す

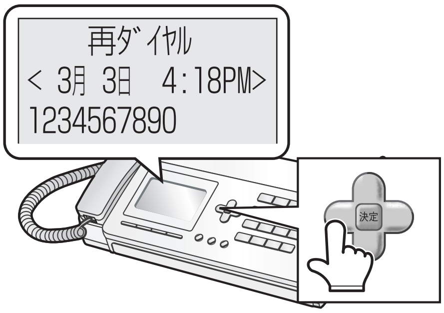
③ 通話が終わったら［切］を押す

・ディスプレイに[<SP通話中>]と表示されます。
・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてお使いください（☞44ページ）。

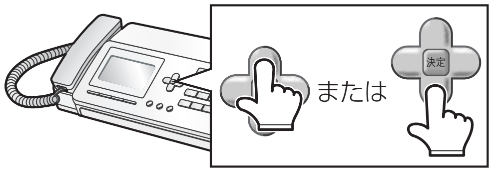
## 親機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記憶されます。

### 1 再ダイヤル 着信記録 を押す

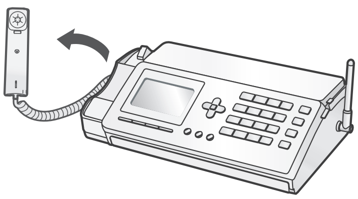



### 2 でかけ直したい番号を選ぶ




・親機で再ダイヤルできる番号は 32 ケタまでです。

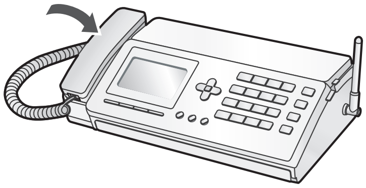
### 3 受話器を取る



### 4 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

### 5 通話が終わったら受話器を戻す



#### 受話器を取ったあと、再ダイヤルで電話をかけ直すときは

受話器を取ってから再ダイヤルを押すと、１番最後にかけた電話番号を使ってかけ直します。

① 受話器を取る
② 再ダイヤル 着信記録 を押す
③ 相手の方とお話しする
④ 通話が終わったら受話器を戻す

#### 親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

① 再ダイヤル 着信記録 を押す
② で消去したい番号を選ぶ
③ キャッチ/消去 を2回押す
④ 停止 を押す

### 親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

① キャッチ/消去 を押す

② 2か 2か と順に押す

### 親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

① 再ダイヤル 着信記録 を押す

② で登録したい番号を選ぶ

③ 登録/文字切替 を押す

④ ダイヤルボタンで名前を入力して 決定 を押す
（☞76〜77ページ）

⑤「読み」を確認して 決定 を押す

⑥ 第1番号を確認して 決定 を押す

⑦ 第2番号を入力して 決定 を押す（省略可）

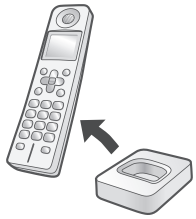
⑧ で「誰あてコール」で発声する名前を選び、 決定 を押す

⑨ 停止 を押す

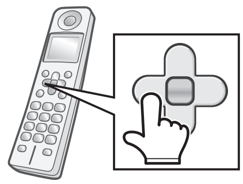
## 子機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記憶されます。

**1** 子機を充電器から取る



**2** を押す

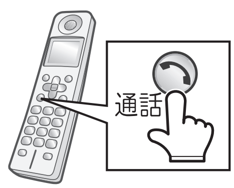


**3** でかけたい番号を選ぶ




・子機で再ダイヤルできる番号は最大 32 ケタまでです。

**4** 通話 を押す




次ページへ

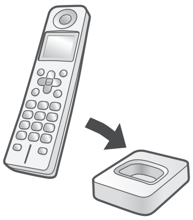
## 5 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

## 6 通話が終わったら 切 を押す




## 7 充電器に戻す



・途中でやめるとき：切

### 子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

① を押す

② で登録したい番号を選び を押す

③ で［電話帳へ登録］を選び を押す

④ 名前を入力して を押す（☞76～78ページ）

⑤ 読みを確認して を押す

⑥ 第1番号を確認して を押す

⑦ 第2番号を入力して を押す（省略可）

### 子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

① を押す

② で消去したい番号を選び を押す

③ で［1件消去］を選ぶ

電話帳へ登録
▶1件消去

④ を2回押す

### 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

① を押す

② で［全消去］を選び を押す

電池残量
ｼｽﾃﾑ設定
▶全消去

③ で［再ダイヤル］を選ぶ

▶再ﾀﾞｲﾔﾙ
着信記録
電話帳

④ を2回押す

### お知らせ

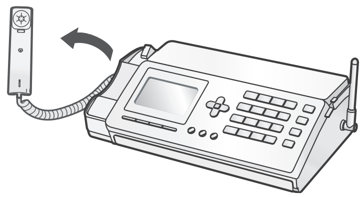
●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

# 親機と子機、子機と子機の間でお話しする（内線通話）

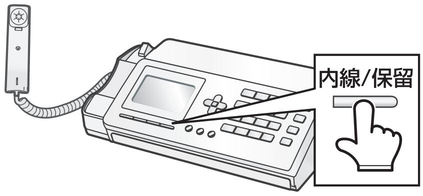
親機と子機、子機と子機の間でお話しすることができます。通話料はかかりません。

## 親機から子機を呼び出してお話しする

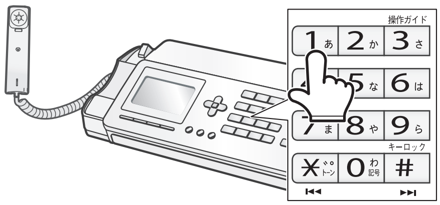
### 1 受話器を取る



### 2 内線/保留 を押す




### 3 通話したい子機の内線番号（ 1あ ～ 4た ）を押す



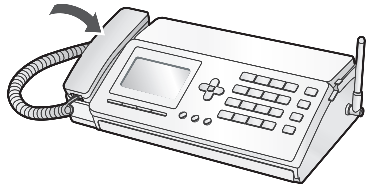
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。

・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

・登録されているすべての子機を呼び出すときは、 ＊トーン を押してください。

### 4 相手の方とお話しする

### 5 通話が終わったら受話器を戻す



## 子機で内線通話を受ける

① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る

② 通話 を押す

③ 相手の方とお話しする

④ 通話が終わったら 切 を押す

⑤ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 切 を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

## 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ　ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

**親機で話すには**

① 受話器を戻す

② 再び受話器を取る

**子機で話すには**

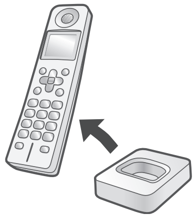
① 切 を押す

② 子機の着信音が鳴ったら、 通話 を押す

・子機で優先呼出（☞127ページ）を設定しているときは、親機で電話に出ることはできません。

## 子機から親機や子機を呼び出してお話しする

### 1 子機を充電器から取る

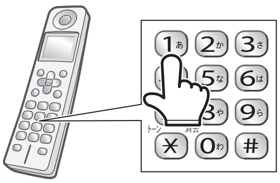


### 2 内線/クリア 保留 を押す




### 3 ○ 親機にかける：0わ を押す

### ○ 子機にかける：通話したい子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す



・子機と子機での内線通話は、UX-D28CWをお使いのとき、またはUX-D28CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（☞49ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、通話したい子機の使用者名を [カーソル] で選んで [決定] を押してください。

### 4 相手の方とお話しする

・子機と子機の間での内線通話は親機を通して行われますので、子機と子機が近くても、親機から離れているときは、通話できないことがあります。

### 5 通話が終わったら 切 を押す




### 6 充電器に戻す

### 親機で内線通話を受ける

① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
② 相手の方とお話しする
③ 通話が終わったら、受話器を戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 停止 を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

### お知らせ

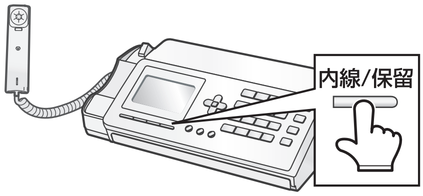
●内線通話では、保留はできません。
●子機では、内線通話中に スピーカーホン 発信/小。 を押して、スピーカーホンで通話することができます。
●内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
●内線通話の着信音色を変えることはできません。
●子機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は [小] の音量で鳴ります。
●親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の音量で鳴ります。

# 電話をとりつぐ／3人で電話でお話しする（3者通話）

電話がかかってきたときに、親機から子機へ、または子機から親機へと電話をとりつぐことができます。
また、外の相手の方とお話し中に、内線電話と外の相手との３人でお話しすることもできます。

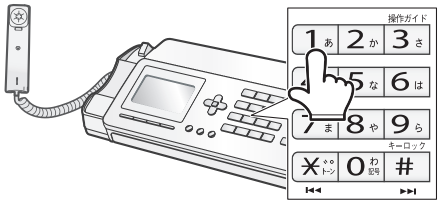
## 親機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

### 1 外線通話中に 内線/保留 を押す




・相手の方は保留状態になります。

### 2 とりつぎ／3者通話したい子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す

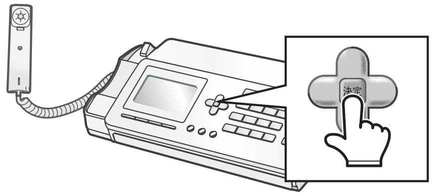



・呼出中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、内線/保留 を2回押してください。
・続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
・相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・登録されているすべての子機を呼び出すときは、＊トーン を押してください。

### 3 内線通話でお話しする

○ 電話をとりつぐときは
とりつぐことを伝え、受話器を戻す

○ 外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話）
決定 を押す → 4へ



・呼び出された子機で 〇 を押しても、3者通話はできません。

### 4 3者通話をする

・親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
・3者通話中は、保留を行うことができません。３者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

#### 子機側での操作

① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る
② 通話 を押す
（呼び出した側が操作したら、3者通話をする）
③ 通話が終わったら 切 を押す
④ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 切 を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

## 子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

### 1 外線通話中に 内線/クリア 保留 を押す

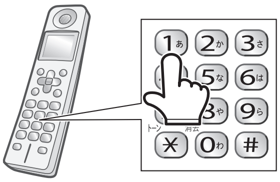



・相手の方は保留状態になります。

### 2 とりつぎ／3者通話したい相手の内線番号を押す

**○親機にかける：0わ を押す**

**○子機にかける：相手の子機の内線番号（1あ ～ 4た）を押す**



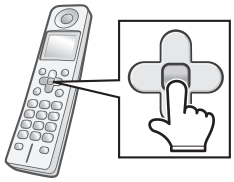
・子機と子機での内線通話は、UX-D28CWをお使いのとき、またはUX-D28CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
・呼出中、または通話中に外線通話に戻るときは、内線/クリア 保留 を2回押してください。または 内線/クリア 保留 を押したあと、通話 を押してください。

・相手の親機または子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（☞49ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号が分からないときは、通話したい子機の使用者名を で選んで を押してください。

### 3 内線通話でお話しする

**○電話をとりつぐときは**
**とりつぐことを伝え、電話を切る**

**○外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話）**
**を押す → 4 へ**



・呼び出された親機で 決定 を押しても、3者通話はできません。また、呼び出された子機で を押しても、3者通話はできません。

### 4 3者通話をする

・親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
・3者通話中は、保留を行うことができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

### 親機側での操作

① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
（呼び出した側が操作したら、3者通話をする）
② 受話器を戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 停止 を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。


電話をとりつぐ／3人で電話でお話しする（3者通話）

## 電話を自分ひとりでとりつぐときは（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

**親機から子機へ**

① 親機で通話中に 内線/保留 を押す
② 受話器を戻す
③ 子機を充電器から取って 通話 を押す
④ 相手の方とお話しする

**子機から親機へ**

① 子機で通話中に 内線/クリア 保留 を押す
② 子機を充電器に戻す
③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る
④ 相手の方とお話しする

**子機から他の子機へ**

① 子機で通話中に 内線/クリア 保留 を押す
② 子機を充電器に戻す
③ 他の子機を充電器から取って 通話 を押す
④ 相手の方とお話しする

**お知らせ**

- 着信音を鳴らさない設定にしていても、内線からの着信音は「プルルル、プルルル」と鳴ります。
- 子機から親機へひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「プルルル」と鳴ります。

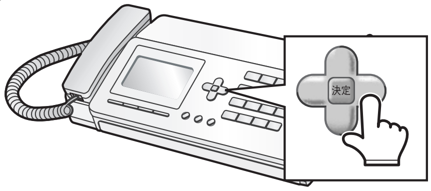
# 電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておくと、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。毎回ダイヤルボタンで電話番号を入力する手間が省け、大変便利です。また、相手先を選ぶと登録した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳（音声電話帳） ☞71ページ）

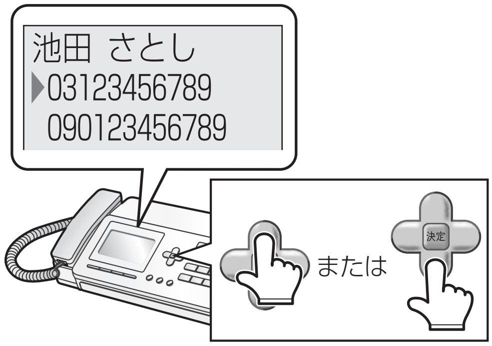
●電話帳登録　親機 ☞67ページ／子機 ☞73ページ

## 親機の電話帳でかける

### 1 電話帳 を押す




### 2 電話をかけたい相手の方が出るまで、を押す

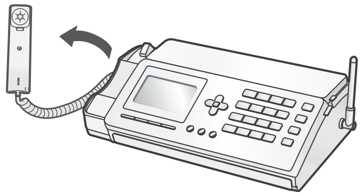



○ **第1番号にかけるとき**
**そのまま 3 へ**

○ **第2番号にかけるとき**
**で第2番号を選択 → 3 へ**

・液晶ディスプレイに、選んだ相手の方の名前が表示されます。また、選んだ相手の方の名前を、音声でお知らせします（おしゃべり電話帳（音声電話帳） ☞71ページ）。

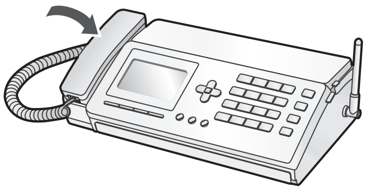
### 3 受話器を取る



### 4 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

### 5 通話が終わったら受話器を戻す



・途中でやめるとき：停止

## 親機の電話帳から名前で検索して電話をかけるときは

① 電話帳 を押す
② ダイヤルボタンで、名前の「読み」を入力する（途中まででも可能）
③ を押す
④ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、を押して選ぶ
第2番号でかけるときは を押して選ぶ
⑤ 受話器を取る
⑥ 相手の方とお話しする
⑦ 通話が終わったら受話器を戻す

## 親機で33ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

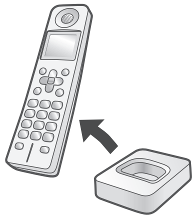
① 受話器を取る
② 電話帳 を押す
③ 相手の番号が出るまで を押す
第2番号でかけるときは を押して選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ すぐに、もう一度 電話帳 を押す
⑥ で次の番号を選ぶ
第2番号でかけるときは を押して選ぶ
⑦ 決定 を押す
⑧ 相手の方とお話しする
⑨ 通話が終わったら受話器を戻す

✐ **おしゃべり電話帳（音声電話帳）を設定または解除するときは（☞71ページ）**

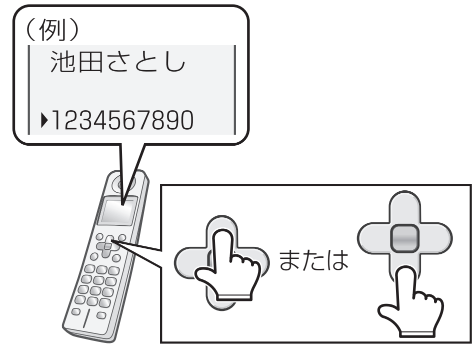
✐ **おしゃべり電話帳（音声電話帳）のアクセントを変更するときは（☞72ページ）**

## 子機の電話帳でかける

**1** 子機を充電器から取る



**2** 電話をかけたい番号が出るまで、 を押す




○第1番号にかけるとき
そのまま **3** へ

○第2番号にかけるとき
で第2番号を選択 → **3** へ

**3** 通話 を押す



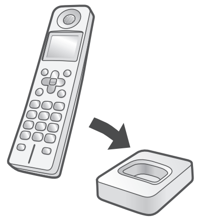

**4** 相手の方とお話しする

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

**5** 通話が終わったら 切 を押す




**6** 充電器に戻す



・途中でやめるとき：切

### 子機で25ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① 子機を充電器から取る

② 相手の番号が出るまで を押す

第2番号でかけるときは を押す

③ 通話 を押す

④ 電話が発信される前に、 を押す

⑤ で次の番号を選ぶ

第2番号でかけるときは を押して選ぶ

⑥ 通話 を押す

⑦ 相手の方とお話しする

⑧ 通話が終わったら 切 を押す

⑨ 充電器に戻す

## 子機の電話帳から名前で検索して電話をかけるときは

① 子機を充電器から取る

② （右）を押す

③ （上下）で［電話帳検索］を選び（決定）を押す

▶電話帳検索
電話帳登録

④ ダイヤルボタンで名前を入力する
（途中まででも可能）（☞76～78ページ）

⑤ （決定）を押す

⑥ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、（上下）を押して選ぶ

第2番号でかけるときは（右）を押して選ぶ

⑦ 通話 を押す

⑧ 相手の方とお話しする

⑨ 通話が終わったら 切 を押す

⑩ 充電器に戻す

## 子機で名前の頭文字から検索してかけるときは

ダイヤルボタンを使って、あ行、か行などの行単位でおおまかに検索します。

① 子機を充電器から取る

② （上下）のいずれかを押す

③ ダイヤルボタンで相手の名前の行を入力する
（例：「井上」を探すときは 1あ）
（☞76～78ページ）

④ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、
（上下）を押して選ぶ

第2番号でかけるときは（右）を押して選ぶ

⑤ 通話 を押す

⑥ 相手の方とお話しする

⑦ 通話が終わったら 切 を押す

⑧ 充電器に戻す

## 子機の電話帳で、184（非通知）や186（通知）をつけて電話をかけるときは

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

① 子機を充電器から取る

② （上下）を押し、相手の番号を選ぶ

第2番号でかけるときは（右）を押して選ぶ

③ （決定）を押す

④ （上下）で［特番ダイヤル］を選び、（決定）を押す

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳変更
1件消去

⑤ ダイヤルボタンで

非通知でかけるときは 1あ 8や 4た

通知してかけるときは 1あ 8や 6は

などの番号を順に押す（最大8ケタ）

⑥ 通話 を押す

⑦ 相手の方とお話しする

⑧ 通話が終わったら 切 を押す

⑨ 充電器に戻す

### お知らせ

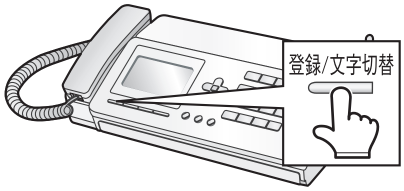
- 電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字（0～9）→英字（A～Z）→カナ（50音順）
- 親機でコピー中、プリント中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

# 電話帳の登録／修正／消去

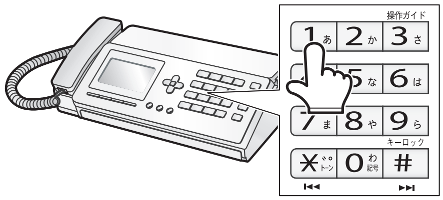
よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。また、親機の電話帳に登録した名前を、音声で確認したり（おしゃべり電話帳（音声電話帳））、電話がかかってきたときに相手の方の名前を音声でお知らせ（誰からコール ☞138～140ページ）することができます。また、最初に登録しておくことで、かかってきた電話が誰あてなのかを音声でお知らせすることもできます（誰あてコール ☞138～139ページ）。

## 親機の電話帳に登録する

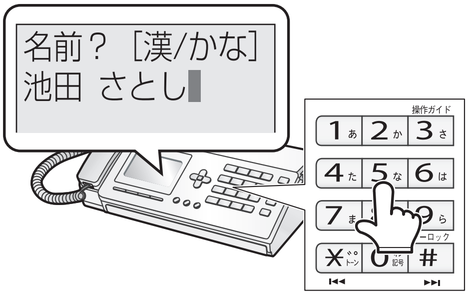
**1** 登録/文字切替 を押す




**2** 3さ 1あ と順に押す



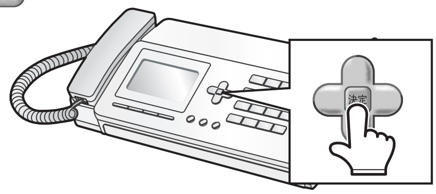
**3** ダイヤルボタンで名前を入力する（最大全角10文字／半角20文字）




○ 名前の入力を省略するときは
何も入力しないで **4** へ

・文字を入力するには（☞76～77ページ）
・名前を入力するとき、「姓」と「名」の間にスペースを入力しておくことをおすすめします。名前を音声で確認するときに、姓と名それぞれにアクセントを変更することができます（☞72ページ）。
・名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに電話番号が表示されます。

**4** 決定 を押す




○ 名前の入力を省略しているときは
**6** へ

**5** 「読み」を確認する

○ 正しいときは
そのまま（決定）を押す

○ 間違っているときは
（左右）で修正したい文字まで移動して、キャッチ/消去 で文字を消去、ダイヤルボタンで修正して
（決定）を押す

・「読み」が間違っていると、おしゃべり電話帳（音声電話帳）（☞71ページ）が正しく働きません。

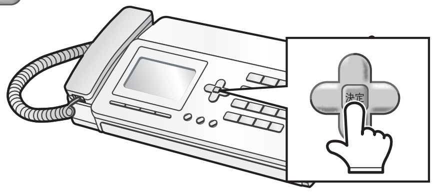
**6** ダイヤルボタンで第1番号を入力する（最大32ケタ）



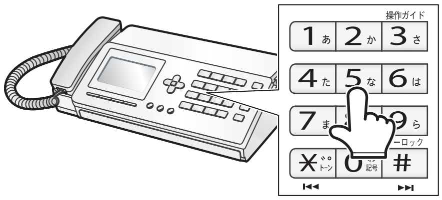

・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、着信時に電話帳の名前表示（☞137ページ）や着信鳴り分け（☞145ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

次ページへ

## 7 決定 を押す

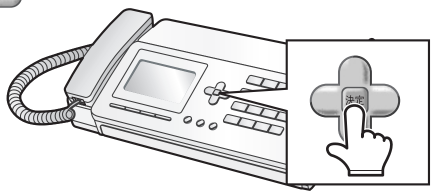



## 8 ダイヤルボタンで第2番号を入力する（最大32ケタ）



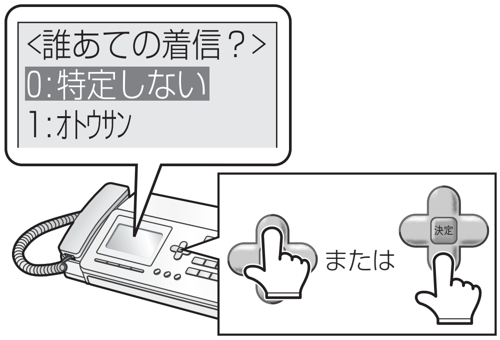

○ 第2番号の入力を省略するときは何も入力しないで **9** へ

## 9 決定 を押す



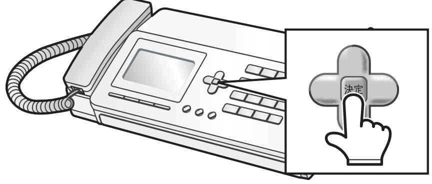

## 10 誰あてコール（☞138〜139ページ）で、音声でお知らせする名前を ◆ で選ぶ

※ナンバー･ディスプレイのご契約が必要です（☞137ページ）

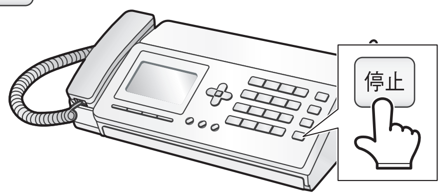



・誰あてコールを設定しないときは、[0:特定しない] を選んでください。
・誰あてコールでお知らせする名前を登録したいときは、139ページをご覧ください（誰あてコール設定）。

## 11 決定 を押す




## 12 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止
・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去
・◆電話帳 を押してから、登録/文字切替 を押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

## 親機の電話帳を修正する

① 電話帳 を押す

② で修正したい相手先を選ぶ

③ 登録/文字切替 を押す

名前？［漢/かな］
池田 さとし

④ ダイヤルボタンで名前を修正して 決定 を押す

⑤「読み」を修正して 決定 を押す

⑥ 第1番号を修正して 決定 を押す

⑦ 第2番号を修正して 決定 を押す

⑧ で「誰あてコール」で発声する名前を選び 決定 を押す

⑨ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止
／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・修正しない項目は、修正せずにそのまま 決定 を押してください。

## 親機の電話帳を消去する

① 電話帳 を押す

② で消去したい相手先を選ぶ

③ キャッチ/消去 を2回押す

④ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：

・電話帳消去の操作を行うと、登録した1人分の名前、第1番号、第2番号がすべて消去されます。名前、第1番号、または第2番号だけを消去したいときは、電話帳の修正で、消去したい項目だけを消去してください。

## 登録した内容を確認するときは

登録されている番号の一覧を表示します。

① 電話帳 を押す

② で確認したい相手先を選ぶ
選択すると、登録した名前を音声でお知らせします。

③ 確認したら 停止 を押す

## 親機の電話帳の内容をプリントするときは

登録されている番号の一覧をプリントします。

① 記録紙をセットする（☞35ページ）

② 登録/文字切替 を押す

③ 9ら 2か 2か と順に押す

④ 電話帳の内容がプリントされる

## 親機のポーズについて

・電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、再ダイヤル/着信記録 を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から0発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

・ディスプレイには－（ハイフン）で表示されます。

・電話帳でハイフンを表示するためにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがありますので、おすすめできません。

✐親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは
(☞80ページ)

✐親機の電話帳をすべて消去するときは
(☞ 178ページ)

✐おしゃべり電話帳（音声電話帳）を設定または
解除するときは（☞71ページ）

✐おしゃべり電話帳（音声電話帳）のアクセントを
変更するときは（☞72ページ）



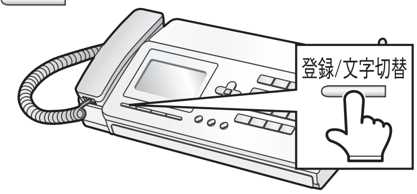
### お知らせ

- 親機の電話帳には、あらかじめ［≫時報 117］、［≫天気予報 177］の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- 「おしゃべり電話帳（音声電話帳）」（☞71ページ）や「誰あてコール」、「誰からコール」（☞138〜140ページ）は、親機の電話帳にのみ対応しています。子機の電話帳では動作しません。
- 親機の着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞ 142ページ）。

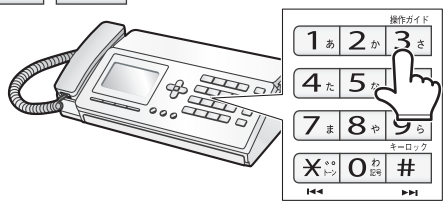
## 親機の電話帳を音声でお知らせする（おしゃべり電話帳（音声電話帳））

親機の電話帳を音声でお知らせする／お知らせしないを設定できます。電話帳に登録されている「読み」にしたがってお知らせします。
工場出荷時は、お知らせする設定になっています。

**1** 登録/文字切替 を押す

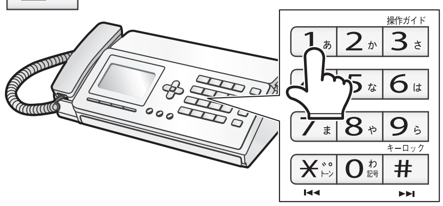



**2** 3さ 3さ と順番に押す



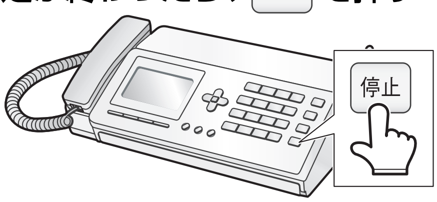

**3** ○お知らせする設定にするには
1あ を押す

○お知らせしない設定にするには
2か を押す




・「おしゃべり電話帳（音声電話帳）」を［使用しない］に設定しても、「誰からコール」（☞138～140ページ）は音声でお知らせします。

**4** 設定が終わったら、停止 を押す




・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### お知らせする名前の後に「さん」を付けるには／「さん」を外すには

親機の電話帳を新しく登録したり、子機から親機へ電話帳を転送したときは、お知らせする名前のあとに「さん」を付ける設定になっています。
電話帳1件ごとに「さん」を付けるかどうかを設定できます。

① 電話帳 を押す

② で変更したい名前を選ぶ

③ ▶再生 を押す
名前を「さん」付けでお知らせします。

④ もう一度 ▶再生 を押す
名前を「さん」なしでお知らせします。
▶再生 を押すごとに「さん」あり、「さん」なしが変更されます。

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・あらかじめ登録されている［≫時報 117］、［≫天気予報 177］の2件には、「さん」を付ける設定にすることはできません。

### お知らせ

- おしゃべり電話帳（音声電話帳）の音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- おしゃべり電話帳（音声電話帳）では、「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声できないことがあります。「親機の電話帳でかける」（☞63ページ）の手順1～2の操作をして確かめてください。
- おしゃべり電話帳（音声電話帳）は、受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。
- おしゃべり電話帳（音声電話帳）では、記号は次のように発声します。

  ＊（スター）、 #（シャープ）、 .（テン）、
  @（アット）、 &（アンド）

  次の記号は発声しません。

  − スペース ， ： ／ ！ ？ （ ） ［ ］

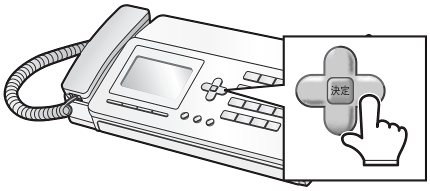
## おしゃべり電話帳（音声電話帳）のアクセントの位置を変更する

登録した親機の電話帳の音声を聞いたとき、アクセントの位置によっては不自然に聞こえることがあります。このときは、アクセントの位置を「姓」、「名」それぞれについて変更することができます。
また、会社名や愛称などに「さん」を付けるとおかしく聞こえる場合は、登録されている名前ごとに「さん」を取ることもできます（はじめは「さん」が付くように設定されています）。

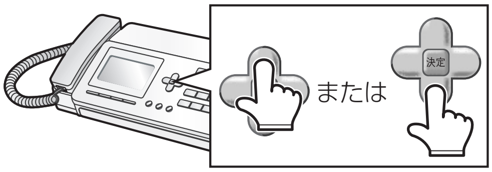




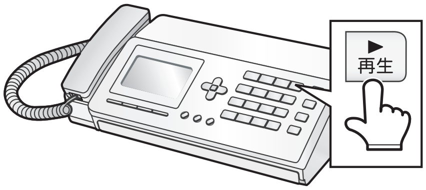
**1** 電話帳 を押す




**2** 変更したい相手の方が出るまで、 を押す

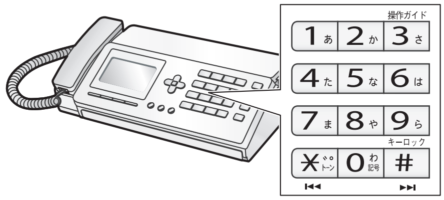



**3** ▶再生 を押す
（名前を音声でお知らせします）




・おしゃべり電話帳（音声電話帳）を解除していても、名前を発声します。

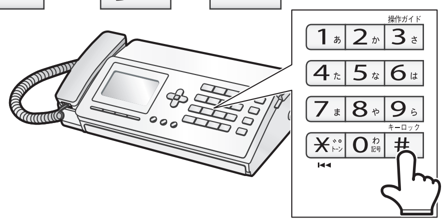
**4** 「姓」のアクセントを変更するときは、名前を発声して3分以内に
1あ ～ 9ら 、0わ記号 で調整する




（例）1文字目にアクセントを付けたいときは 1あ を押す

・電話帳の「読み」のスペースで区切られている部分までのアクセントを変更しますので、「読み」の「姓」と「名」の間にスペースを入れておいてください。
・ 9ら を選ぶと、親機に登録されているアクセントに自動で設定されます。はじめは 9ら に設定されています。
・ 0わ記号 は平坦なアクセントになります。

**5** 「名」のアクセントを変更するときは
# ▶▶| を押して、
1あ ～ 9ら 、0わ記号 で調整する




・「姓」のアクセント変更に戻るときは ＊トーン |◀◀ を押してください。

**6** アクセントの変更が終わったら、停止 を押す

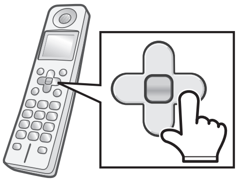
・続けて変更したいときは、停止 を押さずに、 で変更したい番号を選んでください。

・途中でやめるとき：停止
・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

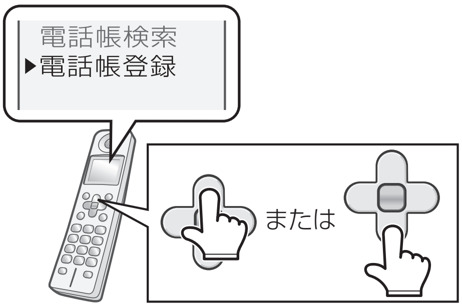
## 子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100人分×2番号を登録できます。
**親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。**

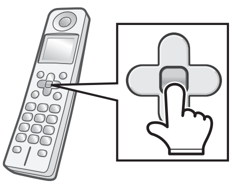
### 1 を押す



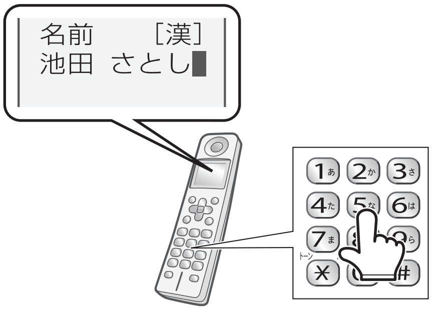
### 2 で［電話帳登録］を選ぶ




### 3 を押す



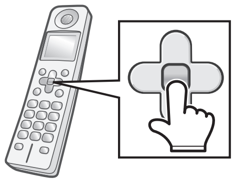
### 4 ダイヤルボタンで名前を入力する（最大全角10文字／半角20文字）




○ **名前の入力を省略するとき**
**→ 何も入力せずに 5 へ**

- 文字を入力するには（☞76〜78ページ）
- 名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに電話番号が表示されます。

### 5 を押す



○ **名前の入力を省略しているとき**
**→ 7 へ**

### 6 「読み」を確認する

○ **正しいときは**
**そのまま を押す**

○ **間違っているときは**
**で修正したい文字まで移動して、内線/クリア 保留 で消去、ダイヤルボタンで修正したあと を押す**

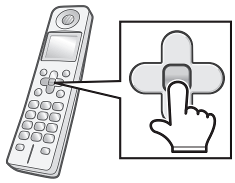
次ページへ

## 7 ダイヤルボタンで第1番号を入力する（最大24ケタ）

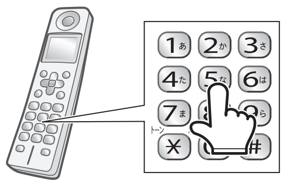



・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示（☞137ページ）や着信鳴り分け（☞146ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

## 8 を押す

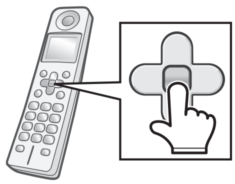


## 9 ダイヤルボタンで第2番号を入力する（最大24ケタ）



○ 第2番号の入力を省略するとき
→ 何も入力しないで **10** へ

## 10 を押す



・途中でやめるとき：切

### 子機の電話帳を修正する

① 子機を充電器から取る
② を押し、修正したい相手の番号を選ぶ
③ を押す
④ で［電話帳変更］を選び、を押す

特番ダイヤル
▶電話帳変更
1件消去

⑤ ダイヤルボタンで名前を修正して を押す
⑥ ダイヤルボタンで「読み」を修正して を押す
⑦ ダイヤルボタンで第1番号を修正して を押す
⑧ ダイヤルボタンで第2番号を修正して を押す

・途中でやめるときは 切 を押してください。
・修正しない項目は、修正せずにそのまま を押してください。

### 子機の電話帳を選んで消去する

① 子機を充電器から取る
② を押し、消去したい相手の番号を選ぶ
③ を押す
④ で［1件消去］を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳変更
▶1件消去

⑤ を2回押す

・途中でやめるときは 切 を押してください。

## 子機の電話帳を全て消去する

① 子機を充電器から取る

② を押す

③ で [全消去] を選び を押す

電池残量
ｼｽﾃﾑ設定
▶全消去

④ で [電話帳] を選ぶ

再ﾀﾞｲﾔﾙ
着信記録
▶電話帳

⑤ を2回押す

・途中でやめるときは 切 を押してください。

## 子機のポーズについて

・電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、 を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。

・ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から0発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

・ディスプレイには＿（アンダーバー）で表示されます。

**子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは（☞81ページ）**

### お知らせ

●子機の電話帳には、あらかじめ [≫時報 117] と [≫天気予報 177] の2件の番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。

●子機の着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞144ページ）。

# 文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、親機では[漢/かな]／[ｶﾅ]／[英]／[数]／半[ｶﾅ]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が、子機では[漢]／[ｶﾅ]／[英]／[数]／半[ｶﾅ]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が入力できます。

## 文字入力のしかた

**1** ○ **親機： 登録/文字切替 を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）**

○ **子機： 文字切替/キャッチ を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）**

| 親機：[漢/かな] 子機：[漢] | [ｶﾅ] | [英] | [数] |
| --- | --- | --- | --- |
| 漢字･ひらがなの全角 | カタカナの全角 | 英字の全角 | 数字の全角 |

| [区点] | 半[数] | 半[英] | 半[ｶﾅ] |
| --- | --- | --- | --- |
| 区点コード | 数字の半角 | 英字の半角 | カタカナの半角 |

**2** **ダイヤルボタンで文字を入力する**

（入力例）

**親 機** [漢/かな]

ゆ う じ ん
8 や（2回） 1 あ（3回） 3 さ（2回） ＊ トーン（1回） 0 わ 記号（3回）

ひらがなのまま入力 → 決定 を押す

漢字に変換して入力 → ① 画質/変換 または（下ボタン）を押す ②「友人」が表示されたら 決定 を押す

[ｶﾅ] 半[ｶﾅ]

ユ ウ ジ ン
8 や（2回） 1 あ（3回） 3 さ（2回） ＊ トーン（1回） 0 わ 記号（3回）

[英] 半[英]

S H O P
7 ま（4回） 4 た（2回） 6 は（3回） 7 ま（1回）

[数] 半[数]

1 2 3
1 あ 2 か 3 さ

[区点]

区点コード4567の「翼」を入力するとき
4 た 5 な 6 は 7 ま
→「翼」が入力されます

**子 機** [漢]

ゆ う じ ん
8 や（2回） 1 あ（3回） 3 さ（2回） スピーカーホン 発信/ﾞﾟ（1回） 0 わ（3回）

ひらがなのまま入力 → （決定ボタン）を押す

漢字に変換して入力 → ①（上下ボタン）を押して選ぶ ②「友人」が表示されたら（決定ボタン）を押す

[ｶﾅ] 半[ｶﾅ]

ユ ウ ジ ン
8 や（2回） 1 あ（3回） 3 さ（2回） スピーカーホン 発信/ﾞﾟ（1回） 0 わ（3回）

[英] 半[英]

S H O P
7 ま（4回） 4 た（2回） 6 は（3回） 7 ま（1回）

[数] 半[数]

1 2 3
1 あ 2 か 3 さ

[区点]

区点コード4567の「翼」を入力するとき
4 た 5 な 6 は 7 ま
→「翼」が入力されます

- ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では1ボタンにつき1文字）。
  例：[ｶﾅ]モードの 1 あ（親機）／ 1 あ（子機）の場合　ア→イ→ウ→エ→オ→ｧ→ｨ→ｩ→ｪ→ｫ
- 「イエ」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、（右ボタン）（親機）／（右ボタン）（子機）を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。
- 親機で文字を消すときは、 キャッチ/消去 を押します（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。
  子機で文字を消すときは、 内線/クリア 保留 を押してください（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、 内線/クリア 保留 を押し続けると、すべての文字が消去されます。

## 文字入力一覧表（親機）

| 表示／ボタン | 漢／かな | カナ | 半角 カナ | 英 ・半角 英 ※1 | 数 | 半角数 | 区点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 あ | あ い う え お<br>ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ | ア イ ウ エ オ<br>ァ ィ ゥ ェ ォ | | @ . ／ − _ | 1 | | ※2 |
| 2 か | か き く け こ | カ キ ク ケ コ | | A B C a b c | 2 | | |
| 3 さ | さ し す せ そ | サ シ ス セ ソ | | D E F d e f | 3 | | |
| 4 た | た ち つ て と っ | タ チ ツ テ ト | ッ | G H I g h i | 4 | | |
| 5 な | な に ぬ ね の | ナ ニ ヌ ネ ノ | | J K L j k l | 5 | | |
| 6 は | は ひ ふ へ ほ | ハ ヒ フ ヘ ホ | | M N O m n o | 6 | | |
| 7 ま | ま み む め も | マ ミ ム メ モ | | P Q R S<br>p q r s | 7 | | |
| 8 や | や ゆ よ ゃ ゅ ょ | ヤ ユ ヨ ャ ュ | ョ | T U V t u v | 8 | | |
| 9 ら | ら り る れ ろ | ラ リ ル レ ロ | | W X Y Z<br>w x y z | 9 | | |
| 0 わ 記号 | わ を ん ー<br>（スペース） 。 、 | ワ ヲ ン ー<br>（スペース） 。 、 | ワ ヲ ン ー<br>（スペース） | , : ! ? & ／<br>( ) [ ]<br>（スペース） | 0 | | |
| ＊ ゛゜ トーン | 濁点／半濁点　※3 | | | 無効 | ＊ | ＊ | 無効 |
| # | 無効 | | | | # | | 無効 |
|  | カーソル左右移動 | | | | | | |
|  | かな漢字変換／カーソル上下移動 | カーソル上下移動 | | | | | |
| 画質/変換 | かな漢字変換 | 無効（非表示） | | | | | |
| キャッチ/消去 | 1文字消去 | | | | | | |
| 登録/文字切替 | 文字の種類の切り替え | | | | | | |

※1：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
※2：区点コードについては184〜185ページをご覧ください。
※3：濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

# 文字入力一覧表（子機）

| 表示＼ボタン | 漢　※1 | カナ | 半角 カナ | 英 ・半角 英 ※2 | 数 | 半角数 | 区点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1あ | あ い う え お<br>ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ | ア イ ウ エ オ<br>ァ ィ ゥ ェ ォ | | @ . ／ − _ | 1 | | ※3 |
| 2か | か き く け こ | カ キ ク ケ コ | | A B C a b c | 2 | | |
| 3さ | さ し す せ そ | サ シ ス セ ソ | | D E F d e f | 3 | | |
| 4た | た ち つ て と っ | タ チ ツ テ ト | ッ | G H I g h i | 4 | | |
| 5な | な に ぬ ね の | ナ ニ ヌ ネ ノ | | J K L j k l | 5 | | |
| 6は | は ひ ふ へ ほ | ハ ヒ フ ヘ ホ | | M N O m n o | 6 | | |
| 7ま | ま み む め も | マ ミ ム メ モ | | P Q R S<br>p q r s | 7 | | |
| 8や | や ゆ よ ゃ ゅ ょ | ヤ ユ ヨ ャ ュ | ョ | T U V t u v | 8 | | |
| 9ら | ら り る れ ろ | ラ リ ル レ ロ | | W X Y Z<br>w x y z | 9 | | |
| 0わ | わ を ん ー<br>(スペース) 。 、 | ワ ヲ ン ー<br>(スペース) 。 、 | ワ ヲ ン ー<br>(スペース) | , : ! ? & (<br>) [ ] (スペース) | 0 | | |
| ＊ | 無効 | | | | ＊ | ＊ | 無効 |
| ＃ | 無効 | | | | # | | 無効 |
| スピーカーホン 発信/゛゜ | 濁点／半濁点　※4 | | | 無効 | | | |
|  | カーソル左右移動 | | | | | | |
|  | かな漢字変換／カーソル上下移動 | カーソル上下移動 | | | | | |
| 内線/クリア 保留 | 1文字消去（2秒以上押し続けると、全ての文字を消去） | | | | | | |
| 文字切替/キャッチ | 文字の種類の切り替え | | | | | | |

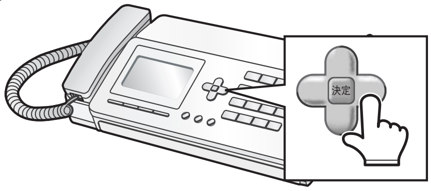
※１：子機が親機の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。
※２：半角英字のアルファベットは大文字のみです。
※３：区点コードについては184〜185ページをご覧ください。
※４：濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

# ワンタッチダイヤルを使う（親機）

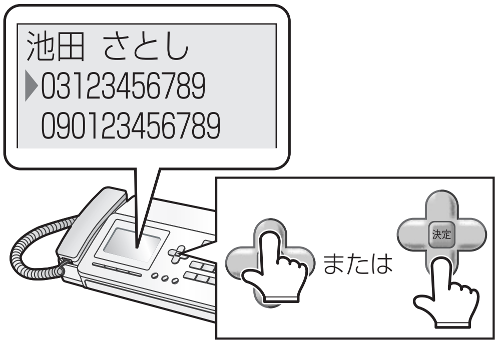
よく電話をかける相手の方を、ワンタッチダイヤル（2件、親機のみ）に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチダイヤルに登録する電話番号は電話帳から選びます。あらかじめ相手の方を電話帳に登録（☞67～68ページ）しておいてください。

## ワンタッチダイヤルに番号を登録する

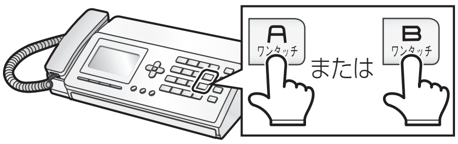
**1** 電話帳 **を押す**




**2** **でワンタッチダイヤルに登録したい相手先を、電話帳から選ぶ**




**3** [A ワンタッチ] **または** [B ワンタッチ] **のいずれかから登録したいボタンを押す**




・ワンタッチダイヤルに第２番号を登録することはできません。

・途中でやめるとき：[停止]

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### ワンタッチダイヤルで電話をかける

①受話器を取る

② かけたいワンタッチダイヤルを選び、[A ワンタッチ] または [B ワンタッチ] のいずれかを押す

③ 相手の方とお話しする

④ 通話が終わったら受話器を戻す

・途中でやめるとき：受話器を戻す

### ワンタッチダイヤルの登録を消すときは

消去したいワンタッチダイヤルボタンを2秒以上押し続けてください。

✐**ワンタッチダイヤルの登録を変更するときは**
ワンタッチダイヤルボタンに、別の番号をあらためて登録してください。

**お知らせ**

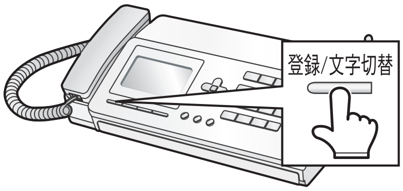
●ワンタッチダイヤルに登録した元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

# 親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

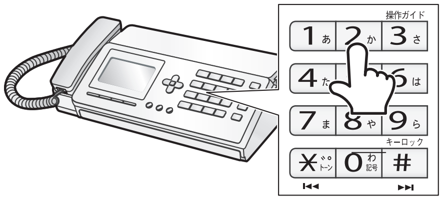
親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。
親機から子機へ転送すると、電話帳の内容（名前と「読み」と電話番号）が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると、電話帳の内容（名前と「読み」と電話番号）が親機に追加されます。

## 親機の電話帳を子機に転送する

**1** 登録/文字切替 を押す

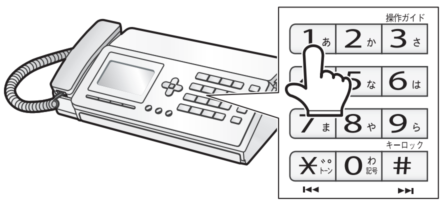



**2** 3さ 2か と順に押す

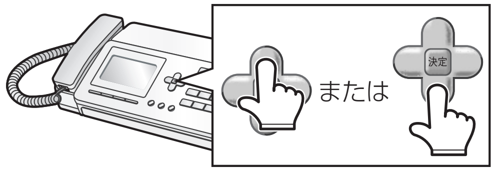



**3** ○ すべて転送するとき
1あ を押して **6** へ

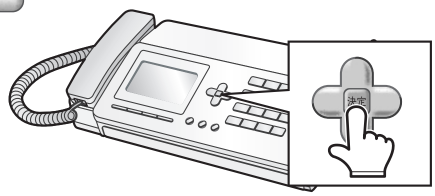
○ 1件ずつ転送するとき
2か を押して **4** へ



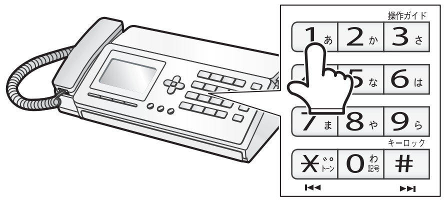

**4** 転送したい相手先を ✚ で選ぶ




**5** 決定 を押す




**6** 転送する子機の番号（ 1あ ～ 4た ）を押す




・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### ［転送できないデータがあります　操作を続けますか？］と表示されたときは

この表示は親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。

決定 を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

# 親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

## 子機の電話帳をすべて転送する

子機から子機への電話帳の転送は、UX-D28CWをお使いのとき、またはUX-D28CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① を押す

② で［電話帳転送］を選び、 を押す

着信鳴り分け
アラーム
▶電話帳転送

③ で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

全転送
▶親機
子機2

④ を押す

・途中でやめるときは 切 を押してください。
・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録(☞49ページ)をしている場合は、その名前が表示されます。
・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません

## 子機の電話帳を1件ずつ転送する

子機から子機への電話帳の転送は、UX-D28CWをお使いのとき、またはUX-D28CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① で転送したい相手を選ぶ

② を押す

③ で［1件転送］を選び、 を押す

電話帳変更
1件消去
▶1件転送

④ で親機、または他の子機から転送したい相手を選び を押す

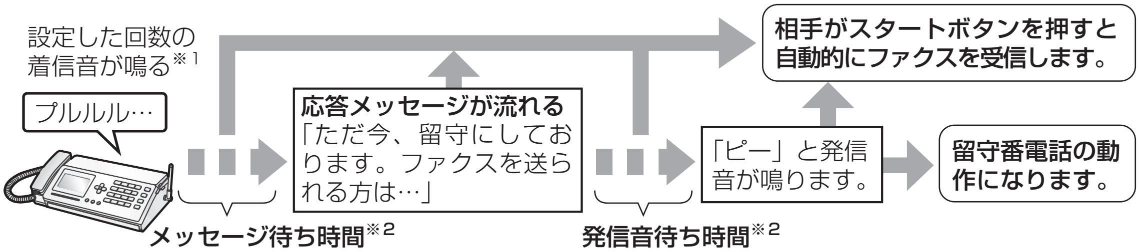
・途中でやめるときは 切 を押してください。
・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません

## お知らせ

●子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。
●転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
●名前の先頭が“》”ではじまっている電話番号（天気予報、時報）は、転送動作は完了しますが、電話帳には登録されません。
●転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
●転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
●名前と読みと電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。

# 留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」☞179ページ）。すべての録音を合わせて、最大約15分間または、最大30件までです。



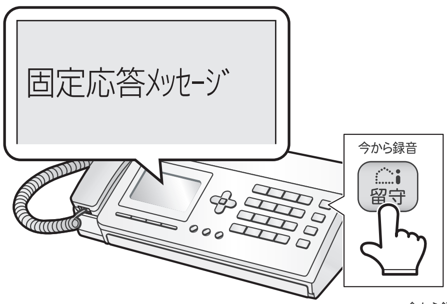

※１ 着信音の回数は変更できます（「応答メッセージが流れるまでの応答回数を変えるときは（留守時応答回数）」 ☞83ページ）。お買いあげ時の回数は「４回」です。
着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。

●自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。
●メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。

※２ メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（☞179ページ）。お買いあげ時の設定は[4秒] です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

## 親機で留守に設定する

**1** 今から録音／留守 **を押す**




・固定応答メッセージが流れ、親機の 今から録音／留守 が点灯し、子機のディスプレイには［留守］と表示されます。
・録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り○分、録音できます」と流れます。
残り時間が1分以下のときは、「メモリーが、もうすぐいっぱいです」と流れます。
残り時間がないときは、留守に設定できません。不要な録音を消去（☞89ページ）するか、メモリー受信したファクスをプリント／消去（☞106～107ページ）してください。

## 子機で留守に設定する

① 決定 を押す
② 上下 で［留守番電話］を選び 決定 を押す

▶留守番電話
　優先呼出
　着信音量

③ 上下 で［留守設定切替］を選び 決定 を押す

　用件再生
▶留守設定切替
　全消去

④ 上下 で［設定］を選び 決定 を押す

　解除
▶設定

・途中でやめるときは 切 を押してください。

### お知らせ

●録音できる残り時間がなくても、次のときは留守に設定できます。
・リモート暗証番号が登録されているとき

## 固定応答メッセージ

留守に設定しているとき、相手の方に流れる固定応答メッセージの一覧です。
「固定応答メッセージを変更する」（☞右記）の操作で ［固定メッセージ2］を選択すると、「ただ今、留守にしております」の部分が「ただ今、電話に出ることが出来ません」に変わります。留守であることを知られたくないときなどは、[固定メッセージ2]、または自作メッセージ（☞86ページ）をお使いください。

| 通常 |
|---|
| **固定メッセージ1：**<br>「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」<br>**固定メッセージ2：**<br>「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」 |
| **ファクス受信できるが、録音できないとき** |
| **固定メッセージ1：**<br>「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください」<br>**固定メッセージ2：**<br>「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください」 |
| **録音はできるが、ファクス受信できないとき（記録紙受信時に、インクリボンがないときなど）** |
| **固定メッセージ1：**<br>「ただ今留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」<br>**固定メッセージ2：**<br>「ただ今、電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」 |
| **ファクス受信も録音もできないとき（メモリー受信設定時にメモリー不足になったときなど）** |
| 着信音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回）<br>※ただし、リモート操作（☞133 ページ）の暗証番号が登録されていないと応答しません。 |

## 固定応答メッセージを変更する

留守番電話設定中に、相手の方に流す応答メッセージを変更できます。
最初は [固定メッセージ1] に設定されています。

① 登録/文字切替 を押す
② 4た 4た 1あ と順に押す
③ 1あ を押して[固定メッセージ1] を選ぶ
　または
　2か を押して[固定メッセージ2] を選ぶ
④ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止／
　1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 応答メッセージが流れるまでの応答回数を変えるときは（留守時応答回数）

① 登録/文字切替 を押す
② 4た 2か 2か と順に押す
③ コール回数(01回～25回)を入力して 決定 を押す
④ 停止 を押す

## 留守時の応答回数を「トールセーバー」にするときは

[トール セーバー] に設定しておくと、外出先から電話をかけたとき、応答メッセージが流れるまでの応答回数で、新しい用件が入っているかを確認できます。3回目のコール音が鳴った場合はメッセージが録音されていませんので、そのまま電話を切れば通話料はかかりません。
**メッセージがあるとき：コール音2回で着信／**
**メッセージがないとき：コール音5回で着信**

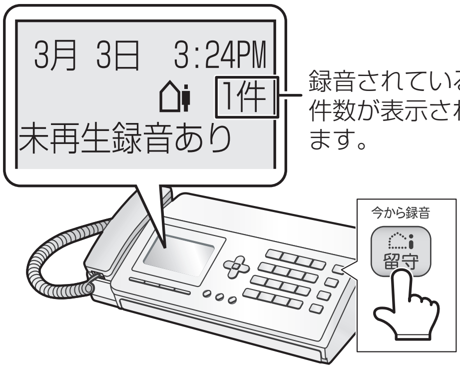
① 登録/文字切替 を押す
② 4た 2か 1あ と順に押す
③ 停止 を押す

✐ **自分で応答メッセージ（自作メッセージ）を録音するときは（☞86ページ）**

✐ **留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」 ☞179ページ）**

## 親機で留守設定を解除する

**1 留守設定時に 今から録音 [留守] を押す**




○ **再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。→ 2 へ**

○ **再生を途中でやめるときは、[停止] を押す**

- 留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅します。留守を解除すると消灯します。
- 親機で留守を解除すると、留守設定以後の録音内容を自動的に1回再生します（ない場合は再生しません）。
- 再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます（☞89ページ）。
- 録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

**2 再生終了後に下記の画面が表示されます**




○ **聞き直したいときは [▶再生] を押す**

○ **再生した録音をすべて消去するときは キャッチ/消去 を2回押す**

○ **終了するときは [停止] を押す**

- この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- 録音メッセージを個別に消去したいときは、再生中に消去を行ってください（☞89ページ）。

### 子機で留守設定を解除する

① [決定] を押す

② [上下] で［留守番電話］を選び [決定] を押す

▶留守番電話
優先呼出
着信音量

③ [上下] で［留守設定切替］を選び [決定] を押す

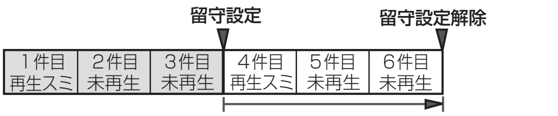
用件再生
▶留守設定切替
全消去

④ [上下] で［解除］を選び [決定] を押す

▶解除
設定

- 途中でやめるときは [切] を押してください。
- 子機で留守を解除すると、留守設定をした後に録音があっても再生しません（親機の留守ボタンの点滅も消えません）。

## 留守設定以後の再生について




留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

## 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に点滅（1回ずつの点滅）しているときは、新しく入った録音があります（子機ディスプレイには [新着：XX件] と表示されます）。また、「今から録音」、「戻って録音」、留守録が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、点滅（2回続けての点滅）しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（「今から録音」、「戻って録音」、留守録）があります。
  再生ボタンを押して約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生／消去する」（☞87～88ページ）の操作をします。

## 親機のディスプレイに [受信FAXあり　[受信FAX]を押す] と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データをプリントまたは消去（☞106～107ページ）すると、[受信FAXあり　[受信FAX]を押す] の表示が消えます。




✐ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（☞87～88ページ）

✐ 再生中にできる操作について（☞89ページ）

### お知らせ

- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
- 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください（☞89ページ）。
- 留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の声がスピーカーから聞こえます（お声拝聴機能）。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

# 自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます（自作メッセージ）。自作メッセージを録音すると、留守に設定したとき、自作メッセージが流れます。

## 親機で自作メッセージを録音する

① 登録/文字切替 を押す

② 4た 4た 2か 1あ と順に押す

③ 受話器を取る

④ 決定 を押し、受話器で自作メッセージを録音する

⑤ 録音が終わったら、停止 を押す

⑥ 受話器を戻す

・途中でやめるとき：停止

## 自作メッセージの内容を変えるときは

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

## 自作メッセージの内容を聞くときは

① 登録/文字切替 を押す

② 4た 4た 2か 2か と順に押す

## 自作メッセージを消すときは

① 登録/文字切替 を押す

② 4た 4た 2か 3さ と順に押す

③ 2か を押す

## 固定メッセージに戻すときは

上記の操作で、録音した自作メッセージを消すと自動的に固定応答メッセージに戻ります。

**お知らせ**

- 自作メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。
- 自作メッセージを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定メッセージに切り替わります（☞83ページ）。記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去すると自作メッセージに戻ります。
- 画面に ［FAX受信メモリー一杯　不要なファクスを消去］または［録音メモリー一杯　不要な録音を消去］と表示されているときは録音できません。不要な録音を消去（☞89ページ）するか、メモリー受信したファクスをプリント／消去（☞106～107ページ）してください。

# 録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「戻って録音」、「メモ録音」）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。

## 親機で録音内容を再生する

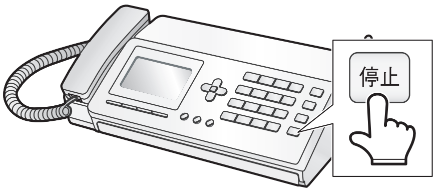
**1** ▶再生 **を押す**




・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守設定にしていないときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

**2** ○ **再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。→ 3 へ**

○ **再生を途中でやめるときは、停止 を押します。**




**3** **再生終了後に下記の画面が表示されます**




○ **聞き直したいときは ▶再生 を押す**

○ **再生した録音をすべて消去するときは キャッチ/消去 を2回押す**

○ **終了するときは 停止 を押す**

・この画面で約1分操作しないと、自動的に待受画面に戻ります。
・録音メッセージを個別に消去したいときは、再生中に消去を行ってください（☞89ページ）。

✐ 通話中に録音内容を再生するには（☞ 125ページ）

### 再生中に電話がかかってきたら

着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

### 親機の録音メモリーの残量を確認するには（FAX/録音メモリー残量表示）

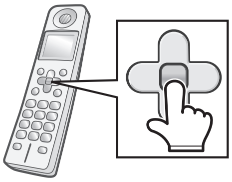
① 登録/文字切替 を押す

② 8ゃ を押す

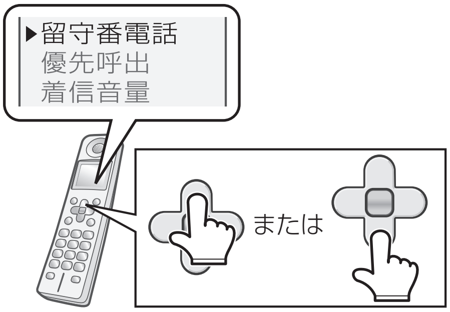
③ 確認したら 停止 を押す

## 子機で録音内容を再生する

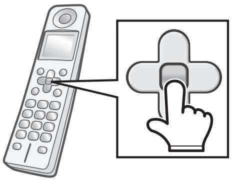
**1** を押す



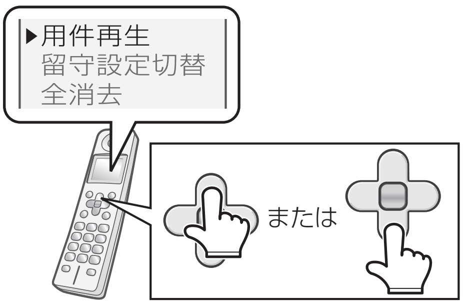
**2** で「留守番電話」を選ぶ



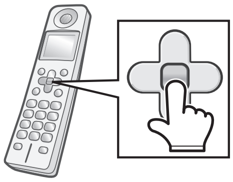

**3** を押す



**4** で「用件再生」を選ぶ




**5** を押す



・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守設定にしていないときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

**6** ○ **再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。**

○ **再生を途中でやめるときは 切 を押します。**



## 再生中にできる操作について

### 再生を途中でやめる

再生中に 停止 （親機）
切 （子機）

### 再生中の録音を聞き直す

再生中に ＊トーン （親機）
5な （子機）

### 次の録音へとばす

再生中に ＃ （親機）
6は （子機）

### 1つ前の録音に戻す

3秒以上再生したあと ＊トーン （親機） 5な （子機） を2回続けて押す

・聞きたい録音まで戻すときは、＊トーン または 5な を繰り返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。

### 早聞きや遅聞きをする（親機）

再生中に ▶再生

・押すたびに、再生の速さが「速い」→「遅い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。

### 早聞きをする（子機）

再生中に 9ら

・押すたびに、再生の速さが「速い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。

### 再生中の録音を1件消去するには

消したい録音を再生中に

キャッチ/消去（2回）（親機）

消去 0わ（2回）（子機）

## 録音をすべて消去するには

親機：① 登録/文字切替 を押す

② 4た 1あ と順に押す

③ 2か を押す

または

① キャッチ/消去 を押す

② 1あ 2か と順に押す

子機：① ◉ を押す

② ◉ で「留守番電話」を選び ◉ を押す

▶留守番電話
優先呼出
着信音量

③ ◉ で「全消去」を選ぶ

用件再生
留守設定切替
▶全消去

④ ◉ を2回押す

### お知らせ

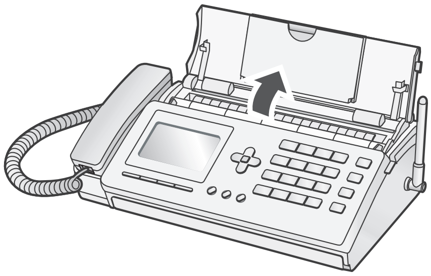
- 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音を消去、またはメモリー受信したファクスをプリント／消去（☞106～107ページ）するなどしてください。

# ファクスを送る

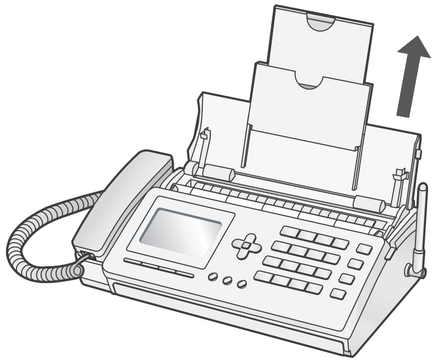
## 親機でお話ししてからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話ししてからファクスを送るときの操作です。

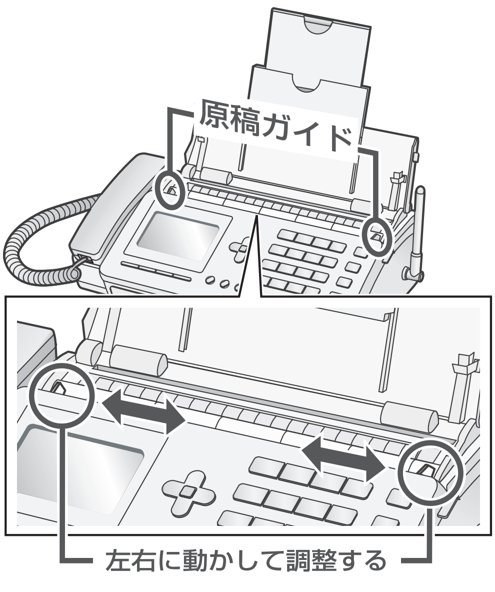
### 1 記録紙トレイを開ける



### 2 延長トレイを引き出す



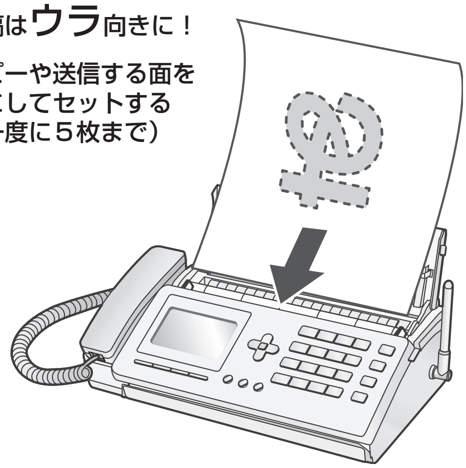
### 3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる




### 4 原稿をセットする

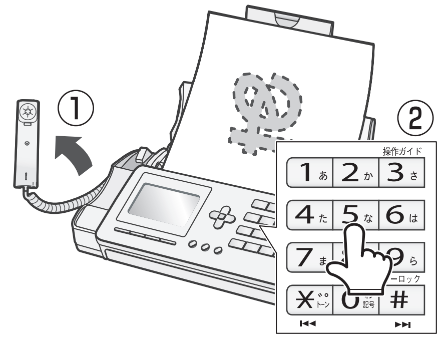
原稿はウラ向きに！

コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に５枚まで）



- セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については95ページをご覧ください。
- 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- 原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます（☞95ページ）。
- ６枚以上の原稿があるとき：一度にセットできるのは５枚までです。読み取りが終わったら、その分の枚数を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

### 5 受話器を取ってダイヤルする




次ページへ

## 6

**相手の方が電話に出たら…**

相手の方にファクスを送信することを伝えて…

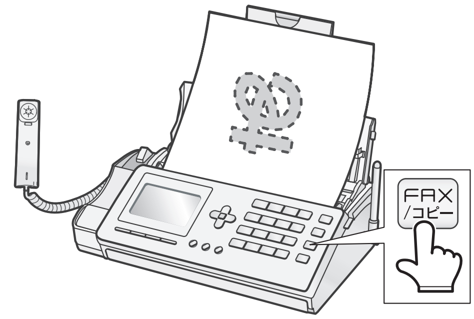
**留守番メッセージが聞こえたら…**

「ファクスを送られる方は、送信してください」と聞こえたら…

**「ピー」という音が聞こえたら…**

相手の方が、すでにファクスの受信操作をしているか、自動でファクスを受信する設定にしていますので…

**FAX/コピー を押して、ファクスを送信する**




・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（「おまかせ送信とは」 ☞92ページ）。

**相手の方が電話に出ないときは…**

「プルルルル　プルルル」と鳴り続けているときは、ファクスを送信することはできません。

### こんなときは

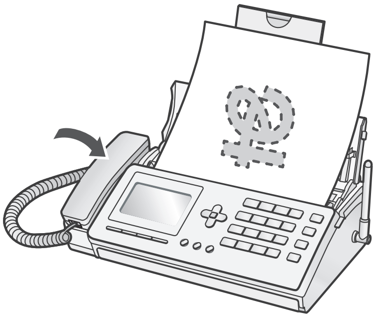
相手の方のファクスの状態によっては、「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえないときや、こちらのファクス送信が完了していても、相手の方に送られないときがあります。

例）・相手の方のファクスが用紙切れ、インクリボン切れ、受信メモリー不足になっているとき
・相手の方のファクスが受信できない設定になっているとき（ファクスを自動で受信できない留守番電話など）
・相手の方がファクス機能のない電話機などをお使いのとき

次ページへ

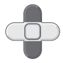
## 7 受話器を戻す

送信が始まります



・途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／ 送信中は 停止 （原稿がつまった状態になります）

### 子機でファクスを送るときは

① 親機に原稿をセットする
（☞90ページ　手順 1 ～ 4 ）
(☞90ページ　手順 1 ～ 4 )
② 子機で電話をかける
③ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝える
④  を押す
⑤  で [FAX送信] を選び、 を押す

▶FAX送信
FAX受信
録音再生

⑥ 子機を充電器に戻す

・上記③で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、「ピー」という音が聞こえたときも、続けて④～⑥の操作をしてください。

### 原稿を取り出すときは

① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
② 登録/文字切替 を押す
③ 0 わ 記号 を押す（原稿が排出される）
排出されないときは、「原稿がつまったときは」（☞161～162ページ）をご覧ください。

### おまかせ送信とは

**親機、子機ともに動作します。**
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。
※ お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは FAX/コピー 、子機をお使いのときは「子機でファクスを送るときは」（☞上記）の操作を行って送信してください。

✎「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞173ページ）

✎ 原稿がつまったときは（☞161～162ページ）

## 親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

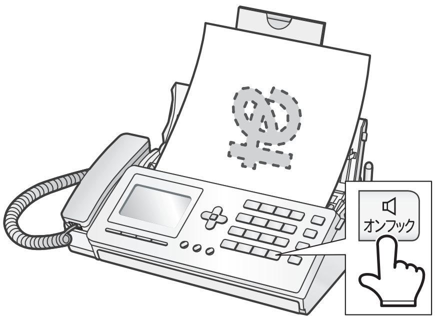
**以下のようなときは、ファクスを送信することができません。**

- 相手の方が、自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- 相手の方が、ファクス受信の操作をしていないとき
- 相手の方が電話に出ないとき　　　など

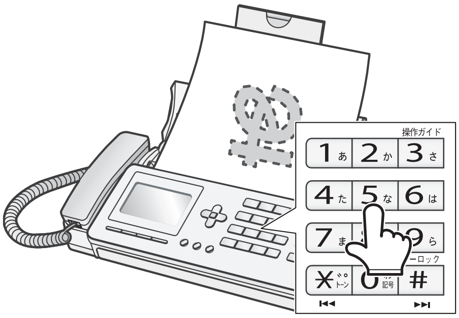
**このようなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞90 ページ）をご確認のうえ、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください。**

**1** 原稿をセットする（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

**2** [オンフック] を押す

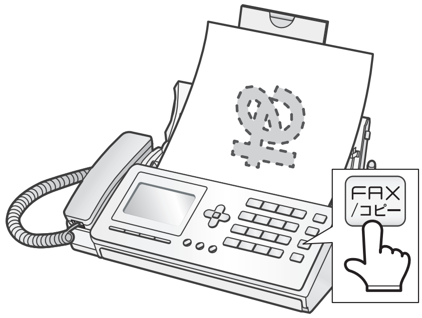



**3** 「ツー」という音が聞こえたら、ダイヤルボタンで電話番号を入力する




**4** 電話がつながったら [FAX/コピー] を押す

送信が始まります




・途中でやめるとき：送信前は [オンフック] ／

送信中は [停止] （原稿がつまった状態になります）

✐ **原稿を取り出すときは（☞92ページ）**

✐ **原稿がつまったときは（☞161～162ページ）**

### 再ダイヤルでファクスを送る

① 原稿をセットする（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

② 再ダイヤル 着信記録 [◀] を押し、[▲▼] で番号を選ぶ

③ [決定] （または [FAX/コピー] ）を押す（ファクスを送信します）

・相手の方とお話ししてから送るときは

① 上記の ①② の操作をする

② 受話器を取り、相手の方とお話しして、ファクスを送信することを伝える

③ [FAX/コピー] を押す

④ 受話器を戻す

## 電話帳でファクスを送るときは

① 原稿をセットする（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

② 電話帳 を押す

③ で相手の方を選ぶ

検索して選ぶときは、名前を入力（途中まででも可能）して を押す（目的の相手の番号が選ばれていないときは で選ぶ）

④第2番号でかけるときは を押して選ぶ

⑤相手の方とお話ししないで送るときは 決定 （または FAX/コピー ）を押す（ファクスを送信します）

・相手の方とお話ししてから送るときは

①上記の ①～④ の操作をする

②受話器を取り、相手の方とお話しして、ファクスを送信することを伝える

③ FAX/コピー を押す

④ 受話器を戻す

・途中でやめるとき：停止

## ワンタッチダイヤルでファクスを送るときは

① 原稿をセットする（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

② ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを A ワンタッチ または B ワンタッチ のいずれかから選んで、押す（ファクスを送信します）

・相手の方とお話ししてから送るときは

①原稿をセットする（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

②受話器を取る

③ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを A ワンタッチ または B ワンタッチ のいずれかから選んで、押す

④相手の方とお話しして、ファクスを送信することを伝える

⑤ FAX/コピー を押す

⑥ 受話器を戻す

## 海外へファクスを送るときは

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。
（ひかり電話をご利用のときは、「電話会社の識別番号」は不要です）

### お知らせ

●国際通話や国際通信については、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

●本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。

●相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど［応答がありません］と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」（☞90～92ページ）の方法で送信してください。

●相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」という音が聞こえます。

## コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

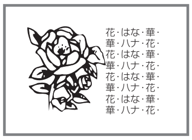
### 1 原稿をセットした状態で 画質/変換 を押す

**[普通字]**
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。



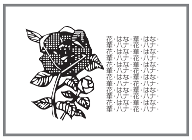

↓

**[小さな字]**
［普通字］の2倍の密度で読み取ります。文字が小さな字のときに選びます。
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。



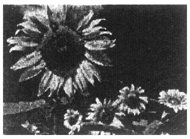
↓

**[精細]**
［普通字］の4倍の密度で読み取ります。細い線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。
受信側に［精細］がないときは、自動的に［小さな字］に切り替わります。



↓

**[写真]**
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。



↓

[普通字：濃く]

↓

[小さな字：濃く]

↓

[精細：濃く]

↓

[写真：濃く]

（[普通字]に戻る）

・押すごとに画質・濃度が変わります。
・原稿の文字などが薄いときは、各画質の［：濃く］を選びます。
・画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは[普通字]、コピーのときは［小さな字］に設定されます。

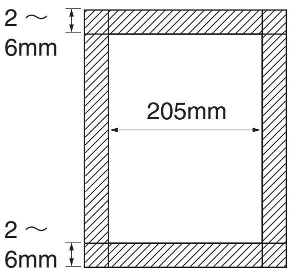
## 使用できる原稿

### セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ～ 210mm ／長さ 128mm ～ 500mm ／厚さ 0.06mm ～ 0.18mm
●厚さの目安
新聞紙：約0.05～0.06mm　上質紙：約0.10mm

### 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。
原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。
●最大読み取り幅
205mm
●最大読み取り長
送信原稿長（128 ～ 500mm）から上下とも2～6mmを引いた長さ




### 一度に2枚以上セットできない原稿

●長さ　297mmを超える原稿
●厚さ　0.12mmを超える原稿
●厚さや大きさの異なる原稿

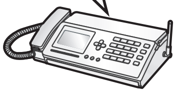
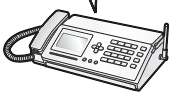
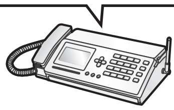
### そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。
●セットできる原稿のサイズより小さすぎるもの（写真など）
●フィルム状のもの、透明のもの
●紙の厚さが薄すぎるもの
●しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
●裏カーボン紙、感熱紙など
●コーティングされているもの

#### お知らせ

●クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
●糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙づまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは158～160ページをご覧のうえ、清掃してください。

# ファクスの受けかた

| | |
|---|---|
| **電話に出てからファクスを受ける**<br>(☞100ページ) | プルルルル…<br><br>着信音が鳴り続けます<br>(着信音の回数：無制限呼出)<br><br>相手がファクスのとき<br>FAX/コピー を押して受信します。<br>相手が電話のとき<br>引き続きお話しします。 |
| **電話に出ないでファクスを受ける**<br><br>設定が必要です<br>(☞102ページ)。 | プルルルル…<br><br>設定した回数の着信音が鳴ります<br>「ただ今、近くにおりません…」<br><br>相手の方に応答メッセージが流れます<br>相手がファクスのとき<br>自動的に受信します。<br>相手が電話のとき<br>メッセージが流れている間に受話器を取ると通話ができます。 |
| **FAX優先またはFAX専用にする**<br><br>設定が必要です<br>(☞104 ～ 105ページ)。 | FAX優先<br>相手がファクスのときは、着信音を鳴らさず、自動的に受信します。<br>相手が電話のときは、着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。 |
| | FAX専用<br>相手がファクスのときのみ、自動的に受信します。<br>※電話を受けることはできません。 |

# ファクスを受信するときのプリントのしかた

ファクスを受信するときのプリントのしかたは、次の2通りです。お買いあげ時は、**[メモリー受信]** に設定されています。
変更するときは「FAX受信方法」(☞180ページ)で設定します。

| | | |
|---|---|---|
| **メモリー受信** | ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙にプリントします(あらかじめ記録紙をセットしている場合)。<br>記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。 | メモリーがいっぱいになると受信できません。 |
| **記録紙受信(事前に記録紙をセットしておきます)** | ファクスを自動的に記録紙へプリントします。<br>メモリーの残量にかかわらずファクスを受信することができます。 | 記録紙やインクリボンの残量がなくなったときは受信できません。 |

**メモリー受信とは**

送られてきたファクスを直接記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

## メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度の原稿)を [普通字] で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大でも約60枚または30件までです)。
受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

## 親機のFAX/録音メモリーの残量を確認するには(FAX/録音メモリー残量表示)

① 登録/文字切替 を押す

② 8や を押す

③ 確認したら 停止 を押す

## メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります( [通信エラー(1~15)] と表示されます)。メモリー受信した内容をプリントまたは消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。
また、「FAX受信方法」(☞180ページ)の操作で [記録紙受信] に設定しておくと、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

**お知らせ**

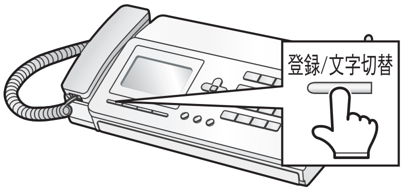
●ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは「縮小受信」(☞180ページ)の設定を [なし] にします。ただし、[なし] に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。
また、1枚でおさまらない(2枚に印刷される)場合もあります。

# 質問に答えて自動的にファクスの受信方法を設定する（着信設定ガイド）

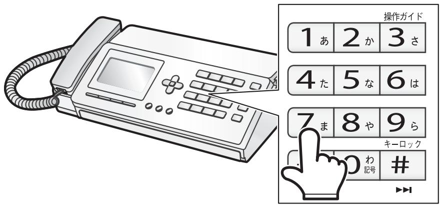
ファクスの受信方法が分からないときは、お使いの状況について質問に答えるだけで、自動的にファクスの受信方法を設定することができます（着信設定ガイド）。

## 着信設定ガイドを利用する

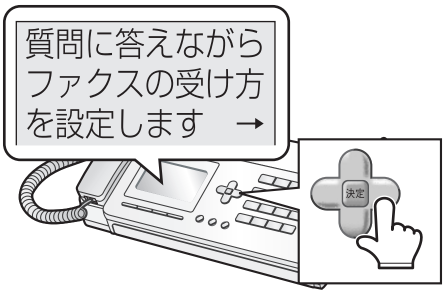
**1** 登録/文字切替 を押す




**2** 1あ 7ま と順番に押す



**3** 表示される文章を確認し、読み終わったら を押す




**4** 質問が表示されたら内容を確認し、お答えの番号をダイヤルボタンを押して選ぶ




・ で番号を選び、決定 で決定することもできます。

**5** 項目の設定が完了するまで、

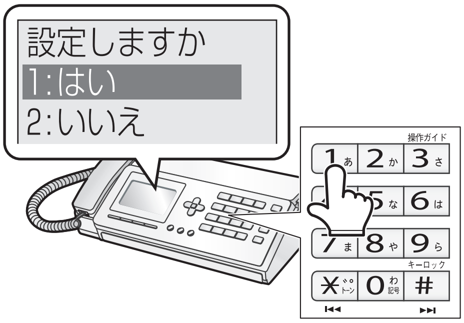
○ を押す

または

○お答えの番号をダイヤルボタンを押して選ぶ

をくり返す

**6** 設定内容を確認し、この設定でよければ 1あ を押す




・設定を変更したい場合は 2か を押して、はじめから設定し直してください。

・設定が完了すると、自動的に待受画面に戻ります。

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき: キャッチ/消去 、着信設定ガイド使用中は

# 質問に答えて自動的にファクスの受信方法を設定する（着信設定ガイド）

## 設定される受信モードについて

着信設定ガイドで設定される受信モードは、以下の4種類です。

### ①「いつも留守に設定する」

おうちにいるときも電話に出られない方におすすめのモードです。
電話があると、応答メッセージが流れ、電話の場合はメッセージを録音することが、ファクスの場合は自動的に受信することができます。

**設定内容**
- ・留守に設定（☞ 82ページ）
- ・「FAX優先」または「FAX専用」（☞ 104～105ページ）：設定しない

### ②「電話に出てからファクス」

電話を主にお使いの方におすすめのモードです（お買いあげ時の設定です）。相手の方の電話に出ないと、ファクスを受信することができません。
電話の着信音は、電話に出るか、相手の方が電話を切るまで鳴り続けます。

**設定内容**
- ・在宅時応答回数（☞ 102ページ）：無制限呼出
- ・「FAX優先」または「FAX専用」（☞ 104～105ページ）：設定しない

### ③「電話に出ないでファクス」

電話に出られないとき、ファクスだけを受信したい方におすすめのモードです。
着信音が6回鳴ると、相手の方に応答メッセージが流れ、自動的にファクスを受信する設定になります。
着信音が6回鳴るまでに電話に出ると、相手の方とお話しができます。

**設定内容**
- ・在宅時応答回数（☞ 102ページ）：6回
- ・「FAX優先」または「FAX専用」（☞ 104～105ページ）：設定しない

### ④「着信し自動判別」

ファクスを主にお使いの方におすすめのモードです。
電話があると、本機が自動的に電話に出て、相手の方が電話かファクスかを自動で判別します。
電話の場合は着信音を鳴らします。ファクスの場合は着信音を鳴らさず、自動で受信します。
本機が電話に出てから判別するため、こちらが不在でも相手の方には通話料金がかかります。

**設定内容**
- ・「FAX優先」に設定（☞ 104ページ）
- ・「FAX優先」時の着信音の回数（☞ 104ページ）：7回

## 前回設定した受信モードを、もう一度表示して確認するには

着信設定ガイドで設定した受信モードを、もう一度確認することができます。

① 登録/文字切替 を押す

② 1あ 7ま と順に押す

③ 着信設定ガイドが表示されたら 9ら を押す

④ 確認しながら ▶ を押す

⑤ 確認が終わったら 2か を押して終了する

着信設定ガイドをやり直すときは 1あ を押す

**✐FAX専用に設定したいときは（☞ 105ページ）**

FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。電話を取れなくなりますので、ご注意ください。

**お知らせ**

- ●着信設定ガイドの再生中に、受話器を上げたり、電話がかかってきたりすると、設定は途中で止まります。
- ●着信設定ガイドで左記②～④の設定を選んでいるとき、留守に設定すると（☞ 82ページ）、左記②～④の設定より留守設定が優先されます。留守設定を解除すると（☞ 84ページ）、左記②～④の設定で受信します。
- ●留守に設定しているとき、着信設定ガイドで左記②～④の設定を選んでも、留守設定は解除されません。留守設定中は左記②～④の設定では受信しませんので、84ページの操作で留守設定を解除してください。

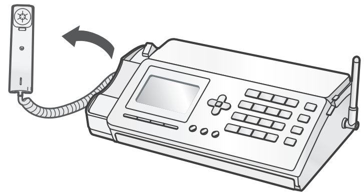
# 電話に出てからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えることができます。
お買いあげ時、着信音の回数は「無制限呼出」になっていますので、ご不在のときは自動でファクスを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをおすすめします。

## 親機で電話に出てからファクスを受ける

原稿がセットされているときに FAX/コピー を押すと送信になりますので、原稿はセットしないでください。

**1** 着信音が鳴ったら受話器を取る



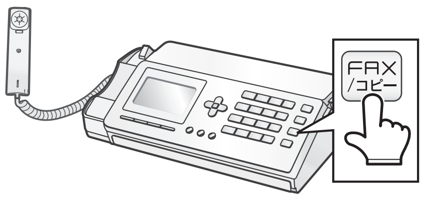
**2**

**受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…**

相手の方がファクス送信の操作をしているので、そのまま FAX/コピー を押す

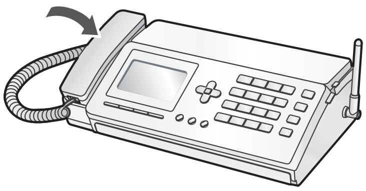
**相手の方がファクスを送りたいとおっしゃったら…**

相手の方がファクス送信の操作をしたら、FAX/コピー を押す




・「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」とメッセージを流して自動的にファクスを受信することができます（おまかせ受信）。解除するときは180ページをご覧ください。
・こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。
・おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、FAX/コピー を押してください。

**3** 受信が始まるので、受話器を戻す



・ファクスを受信すると、自動的に電話が切れます。

## 子機で電話に出てからファクスを受ける

① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

② 通話 を押す

③ **受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…**

相手の方がファクス送信の操作をしています。

を押し、 で [FAX受信] を選び、 を押す

**相手の方がファクスを送りたいとおっしゃったら…**

相手の方がファクス送信の操作をしたあと、

を押し、 で [FAX受信] を選び、 を押す

FAX送信
▶FAX受信
録音再生

④ 子機を充電器に戻す

### お知らせ

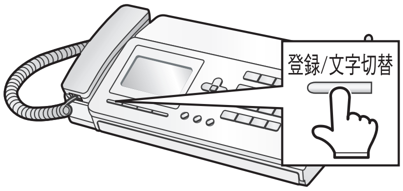
- 「FAX 受信方法」(☞180 ページ) の設定によって、ファクスを受ける方法が変わります。
  **[メモリー受信]** :
  記録紙をセット (☞35ページ) しているときは、ファクスをプリントします。記録紙がないときは親機のメモリーに記録されます。
  後からプリントしてください (☞106ページ)。
  **[記録紙受信]** :
  記録紙をセットしていないとファクスを受信することができません。
- 受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります (☞100ページ)。
- キャッチホンをご利用のときは、通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話しください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたときは、電話を受けても無音の場合があります。呼びかけて応答がないことを確認してから、親機、または子機のファクス受信操作を行ってください。

# 電話に出ないで自動的にファクスを受ける

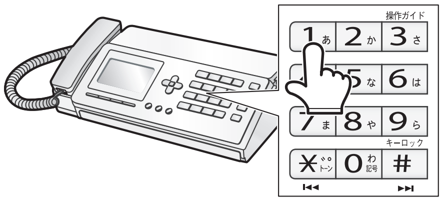
着信音の回数を設定すると、設定した回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクスを受けることができます。
お買いあげ時は [無制限呼出]（着信音が鳴り続ける設定）になっています。

## ファクスの自動受信に切り替わる着信音の回数を設定する

**1** 登録/文字切替 を押す

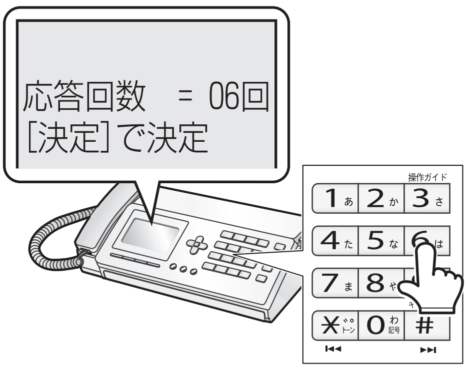



**2** 4た 3さ 1あ と順番に押す



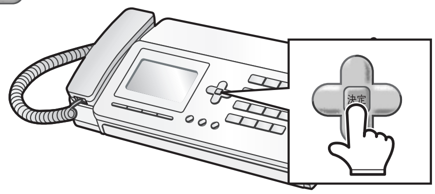

**3** ダイヤルボタンで着信音の回数を入力する（01〜25回）

○例：6回　0わ記号 6は

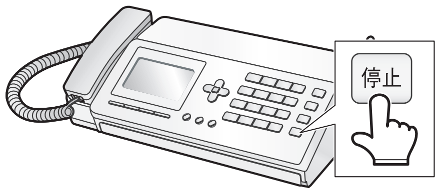



・着信音の回数を７回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を６回以下に設定してください。

**4** 決定 を押す




**5** 停止 を押す




・途中でやめるとき: 停止 ／１つ前に戻るとき: キャッチ/消去

### ファクスが届いたとき

回数を設定しておくと、下記のようにファクスを自動受信します。

① 着信音が鳴る

② 設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動的に応答メッセージが流れる




③「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信する

・着信音が鳴っている間や、応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

### [無制限呼出] になっているときは

ファクスの自動受信は行いません。
着信音が鳴り続けます。
お買いあげ時は [無制限呼出] に設定されています。

### [無制限呼出] に戻すときは

① 登録/文字切替 を押す

② 4た 3さ 2か と順に押す

③ 停止 を押す

**インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは**
着信音が鳴り続けます。

### お知らせ

- 着信音の回数を 1 回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、FAX/コピー を押して受信してください。

# FAX優先またはFAX専用にする（着信音を鳴らさずに受ける）

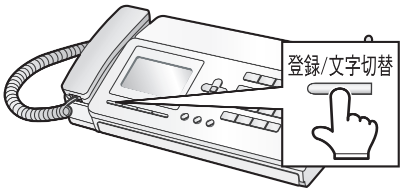
電話よりもファクスを受けることが多い方のために、電話の着信をFAX優先、またはFAX専用にすることができます。

## FAX優先にする

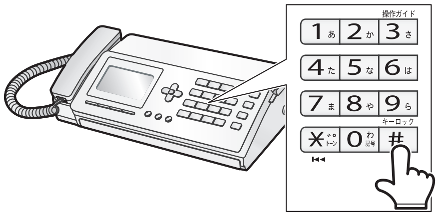
**FAX優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断する機能です。**
**ファクスを受信することが多い方におすすめの機能ですが、電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。**

FAX優先に設定すると、ディスプレイに FAX優先 と表示されます（留守設定時、おやすみモード設定時は表示されません）。

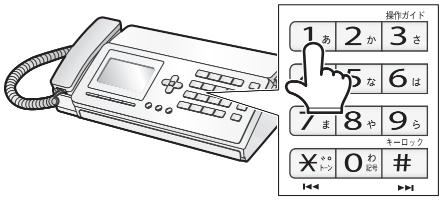
### 1 登録/文字切替 を押す




### 2 ＃ を4回押す



### 3 2か 2か 1あ と順番に押す



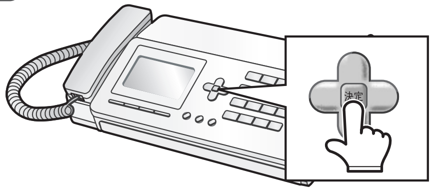
### 4 ダイヤルボタンで着信音の回数を入力する（04～25回）



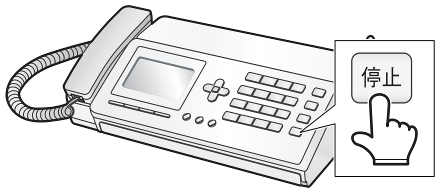

**例：6回** 0わ記号 6は

・お買いあげ時は「7回」になっています。回数を多くすると、着信のタイミングによってはファクスを受信できないことがあります。

### 5 決定 を押す




### 6 停止 を押す

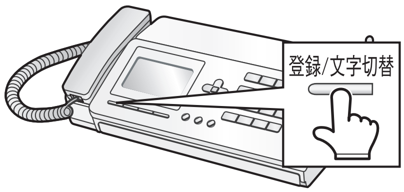



・途中でやめるとき: 停止 ／1つ前に戻るとき: キャッチ/消去

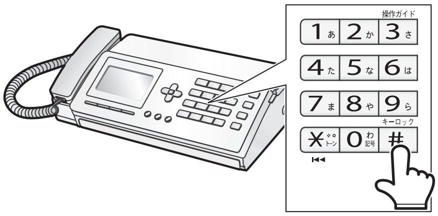
## FAX専用にする

FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。
FAX専用にすると、ディスプレイに FAX 専用 と表示されます（留守設定時、おやすみモード設定時は動作しません）。

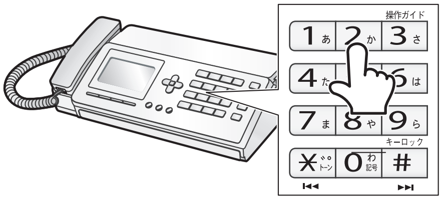
### 1 登録/文字切替 を押す



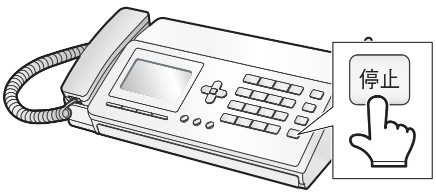

### 2 ＃ を４回押す




### 3 2か 2か 2か と順番に押す




### 4 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### FAX優先またはFAX専用を解除するときは

① 登録/文字切替 を押す
② ＃ を４回押す
③ 2か 2か 3さ と順に押す
④ 停止 を押す

### お知らせ

- ●おやすみモード（☞150～153ページ）を設定しているときに、FAX優先またはFAX専用に設定すると、選んで着信番号に登録された相手の方からの電話のみ、FAX優先またはFAX専用の機能が働きます。
- ●「FAX 受信方法」（☞180 ページ）の設定によって、ファクスを受ける方法が変わります。
  **［メモリー受信］：**
  記録紙をセット（☞35ページ）しているときは、ファクスをプリントします。記録紙がないときは親機のメモリーに記録されます。
  後からプリントしてください（☞106ページ）。
  **［記録紙受信］：**
  記録紙をセットしていないとファクスを受信することができません。
- ●FAX優先に設定していると、子機の優先呼出（☞127ページ）は設定できますが、動作しません。
- ●ファクス受信後の終了音は鳴ります。
- ●FAX 専用に設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話しできます。

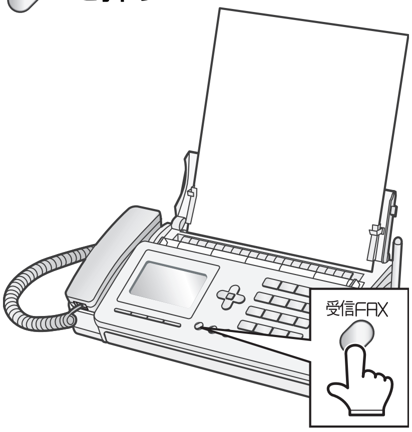
# メモリー受信したファクスをプリント／消去する

## プリントする

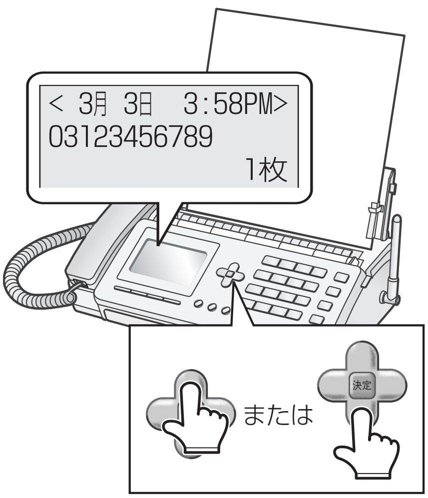
受信時に記録紙をセットしていなかったときは、ファクスはメモリーに受信され、後からプリントすることができます。
メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに [受信FAXあり　[受信FAX]を押す] と表示され、受信FAX が点滅します。

**1** 記録紙をセットする（☞35ページ）

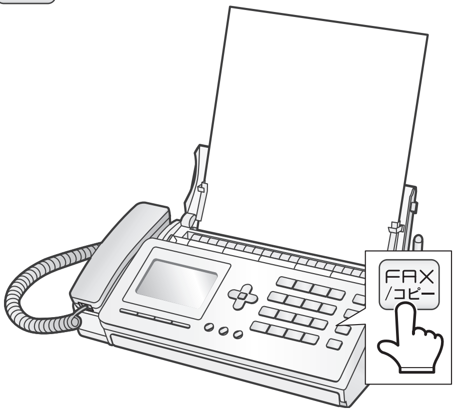
**2** 受信FAX を押す




**3** ✥ でプリントしたい受信ファクスを選ぶ




**4** FAX/コピー を押す




**5** ○選択した受信ファクスのみ印刷するとき

→ 1ぁ を押す

○メモリー内にあるすべての受信ファクスを印刷するとき

→ 2ゕ を押す

・プリントした受信ファクスはメモリーから消えます。

・途中でやめるとき：停止

### プリント中にインクリボンがなくなったときは

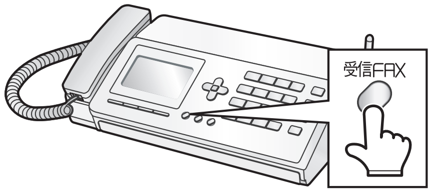
受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☞33～34ページ）してください。

### お知らせ

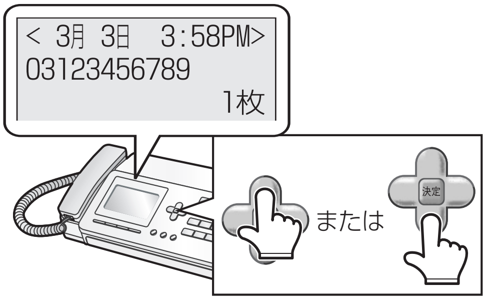
- プリント中は、親機の着信音は設定した着信音ではなく、[電話ベル音] が鳴ります。
- プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

## 消去する

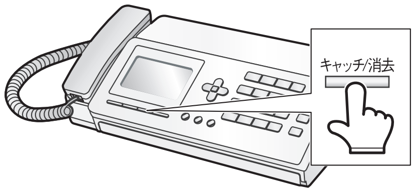
**1** 受信FAX を押す



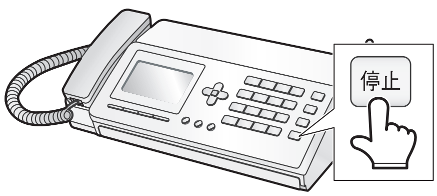

**2** で消去したい受信ファクスを選ぶ




**3** キャッチ/消去 を２回押す




**4** 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止

### すべての受信ファクスを消去するときは

① キャッチ/消去 を押す

② 4た を押す

③ 確認して 2か を押す

# コピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

## コピーする

受話器を置いた状態で操作します。

**1** 記録紙をセットする（☞35ページ）

**2** 原稿をセットする
（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）

**3** [FAX/コピー] を押す




・画質を選ぶとき：[画質/変換]（[画質/変換] を押さなかったときは、自動的に [小さな字] でコピー）
・途中でやめるとき：[停止]（コピーが中止され、記録紙または原稿が自動的に排出されます）
・コピーが終了すると、[鳥の声] でお知らせします。

### コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に [画質/変換] を押すと次のページから画質が切り替わります（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません）。

### セットできる原稿のサイズ

幅　148mm　～　210mm　／　長さ　128mm　～ 297mm ／ 厚さ 0.06mm ～ 0.18mm
●厚さの目安　新聞紙：約0.05～0.06mm
　　　　　　　上質紙：約0.10mm


✐一度に2枚以上セットできない原稿（☞95ページ）
✐原稿がつまったときは（☞161～162ページ）
✐記録紙がつまったときは（☞163ページ）


## コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

### 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
- 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。（印紙等模造取締法）

### コピー（複製）する場合に注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

### 著作権に注意するもの

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

### お知らせ

●コピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
●通話中にコピーを始めることはできません。通話中に原稿をセットしてFAX／コピーボタンを押すと、ファクス送信になるので、ご注意ください。
●コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

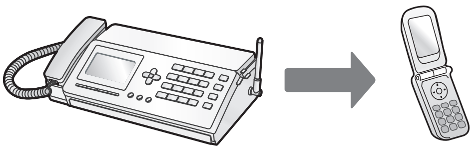
# 携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。
電源を入れたあとに設定していれば（☞26ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、下記の手順で設定してください。

**ひかり電話（NTT東日本、NTT西日本の光回線電話）では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください（[使用しない]のままでお使いください）。**

00□□－090/080－XXXX－XXXX

**事業者識別番号**　**携帯電話番号**



**携帯電話**

**IP電話をご利用の方へ**

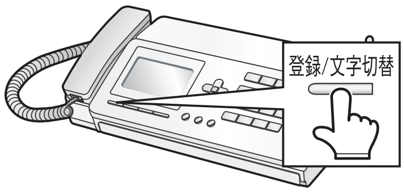
IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線で発信する必要があります。
携帯電話に発信するときだけ自動的に一般回線にするときは、「携帯とくとくダイヤルご利用時のIP電話利用」（☞182ページ）の設定を［あり］にしてください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

## 携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。

**1** 登録/文字切替 を押す




**2** 1あ 5な と順番に押す

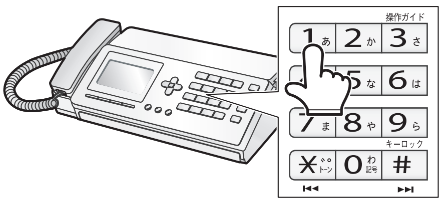



**3**
○［NTT東日本0036］を選ぶときは 1あ を押し**6**へ

○［NTT西日本0039］を選ぶときは 2か を押し**6**へ

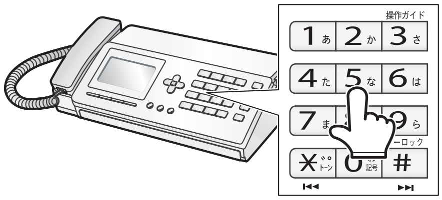
○［その他事業者］を選ぶときは 3さ を押す

○［使用しない］を選ぶときは 4た を押し**6**へ



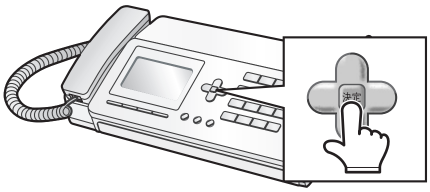

次ページへ

## 4 事業者識別番号を入力する（最大6ケタ）

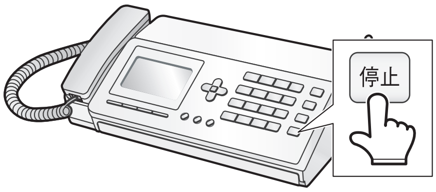


・「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

## 5 決定 を押す




## 6 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 携帯とくとくダイヤル機能を設定すると




携帯とくとくダイヤル設定マークが液晶ディスプレイに表示されます。

### 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

### 携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加するときは（「携帯とくとくダイヤルで利用する携帯番号帯登録」）

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話の番号頭4ケタとしてあらかじめ登録されているのは「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加して登録することができます。（☞183ページ）

携帯とくとくダイヤルの設定を確認するときは（「携帯とくとくダイヤル機能の現在の設定表示」☞183ページ）

### お知らせ

- ひかり電話では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください。
- 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- 通話先･通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
- 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
- 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

# 1つの電話回線で複数の番号を使う（モデムダイヤルインサービス）



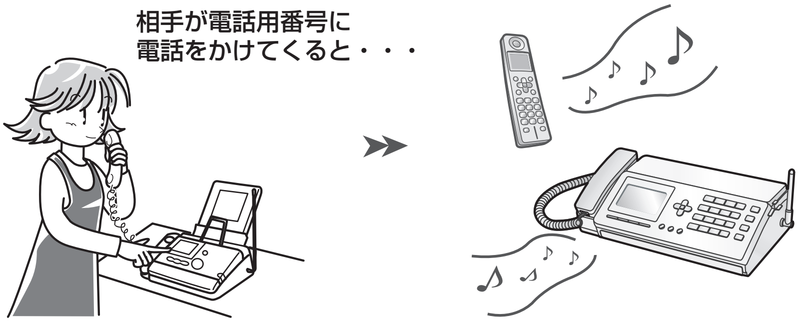
モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。
**ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用ください。**

●１つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、**NTTとのご契約が必要です**

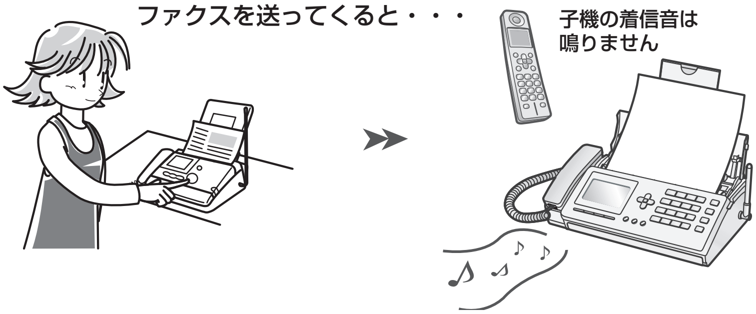
相手側　　　　こちら側

相手が電話用番号に
電話をかけてくると・・・



**電話に出てお話しください。**
**相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。**
**着信音は番号ごとに変えることができます。**

相手がファクス用番号に
ファクスを送ってくると・・・




**設定された呼出回数のあと、ファクス受信に切り替わります。**
**着信音は電話のときの着信音と変えることができます(☞114ページ)。着信音が鳴っている間に、受話器を取ると通話もできます。**
**ファクスに切り替わるまでの呼出回数（FAX時応答回数）は変更できます(☞114ページ)。**

## 設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号（契約者回線番号）を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号（ダイヤルイン追加番号）に設定することをおすすめします。

| | |
|---|---|
| **電話用番号** | 最初の番号（契約者回線番号） |
| **ファクス用番号** | 追加された番号（ダイヤルイン追加番号） |

また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

| | |
|---|---|
| **親機用番号** | 最初の番号（契約者回線番号） |
| **子機用番号** | 追加された番号（ダイヤルイン追加番号） |
| **2台目以降の子機番号** | どちらでも可 |

### お知らせ

●「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
●他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
●モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
●ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
●他のサービスとの併用については、NTT窓口へご確認ください。
●ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプター）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

● [モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
● [ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）のご利用の手順]

**サービスに関するお問い合わせ、お申し込み先**

**NTT窓口**
TEL：局番なしの
**116（通話料金無料）**
受付時間　午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

**1** **NTTと契約する（有料）**
上記NTT窓口にお申し込みください。

**2** **サービス開始の連絡を待つ**

**3** **本機の設定をする（☞右記）必ずサービスの開始後に行ってください**

ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用のときは、ひかり電話対応アダプタ／ルータ側の設定も必要となります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

## モデムダイヤルインサービスを設定する

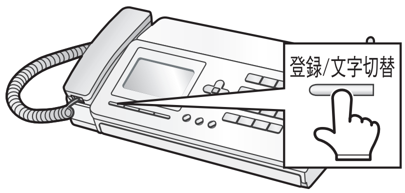
① [登録/文字切替] を押す
② [6 は] [3 さ] と順に押す
③ [使用する］を選ぶときは [1 あ] を、
[使用しない］を選ぶときは [2 か] を押す
④ [停止] を押す

・途中でやめるとき：[停止]　／1つ前に戻るとき：[キャッチ/消去]

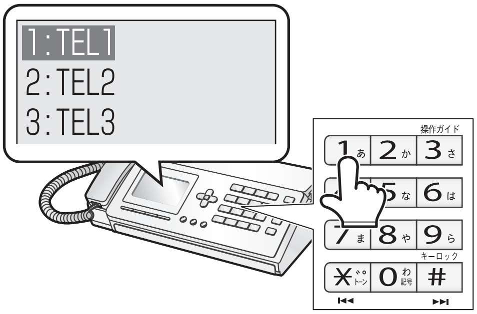
## モデムダイヤルインサービスで使用するダイヤルイン番号を登録する

必ずモデムダイヤルインサービスの設定を［使用する］にしてください（☞左記）。

### 1 [登録/文字切替] を押す

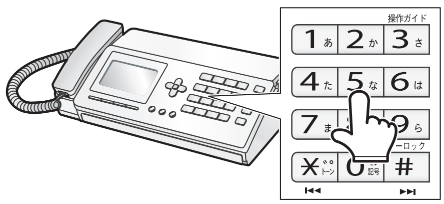



### 2 [6 は] [1 あ] を押す



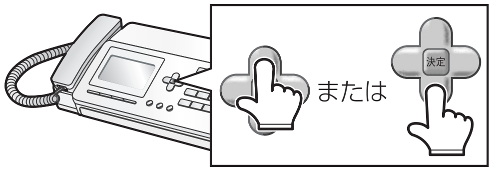

### 3 ○TEL1～5（電話番号）を選ぶときは [1 あ] ～ [5 な] を押す

○FAX（ファクス専用番号）を選ぶときは [6 は] を押し **6** へ



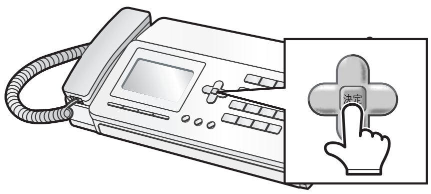

次ページへ

**4** 登録したい親機、または子機の組み合わせを ✥ で選ぶ

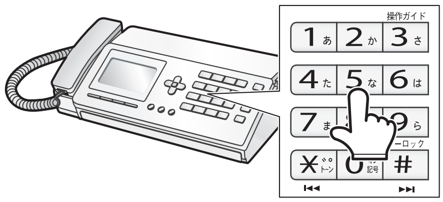



| | | | |
|---|---|---|---|
| 01 | 親機 | 07 | 子機1～4 |
| 02 | 子機1 | 08 | 親機、子機1 |
| 03 | 子機2 | 09 | 親機、子機2 |
| 04 | 子機3 | 10 | 親機、子機3 |
| 05 | 子機4 | 11 | 親機、子機4 |
| 06 | 親機,<br>子機1～4 | | |

**5** 決定 を押す

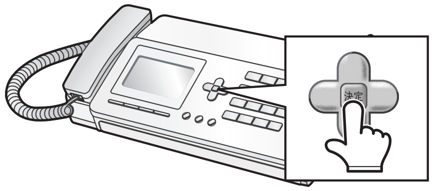



**6** ダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力する（最大20ケタ）

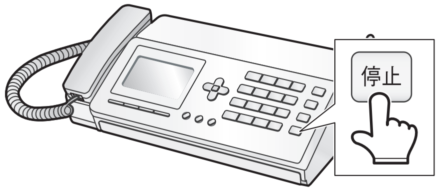



・ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。

**7** 決定 を押す




**8** 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 設定内容を消去するには

① 登録/文字切替 6は 2か と順に押す

② 1あ ～ 6は の消去したい番号を押す

③ 2か を押す

④ 停止 を押す

## 設定した内容を表示するには

① 登録/文字切替 6は 6は と順に押す

② ✥ を押して確認する

③ 確認が終わったら 停止 を押す

## FAX時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。
必ずモデムダイヤルインサービスの設定を［使用する］にしてください(☞112ページ)。

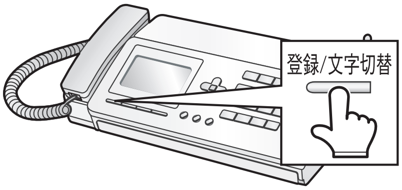
① 登録/文字切替 を押す
② 6は 4た と順に押す
③ 0わ記号 、2か ～ 6は で回数を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

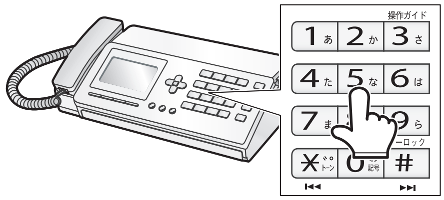
## 親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（☞138～140ページ）との併用はできません。ご使用になるときは、**「誰からコール」の設定を［使用しない］にしてください(☞139ページ)。**

**1** 登録/文字切替 **を押す**

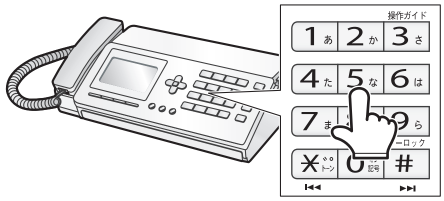



**2** 6は 5な **を押す**



**3** ○TEL2～5を選ぶときは
1あ ～ 4た を押す

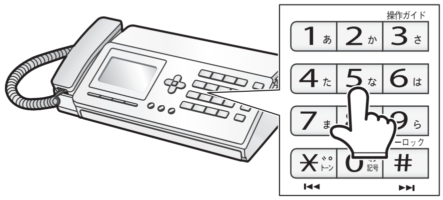
○FAXを選ぶときは 5な を押す



・[TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください(☞39～40ページ)。

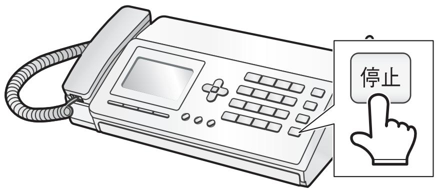
次ページへ

## 4 [1あ] ～ [9ら]、[0わ記号] を押して選ぶ



・鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☞39～40ページ)。
・鳴り分けをやめるときは、[0わ記号] を押してください。

## 5 [停止] を押す




・途中でやめるとき：[停止]
・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

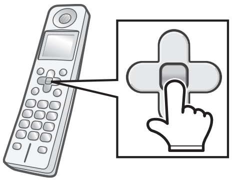
### ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号（TEL1～5）に着信しているのかが表示されます。ただし、[FAX] にかかってきたときや「デカ文字着信」（☞126ページ）を［使用する］に設定しているときは、表示されません。

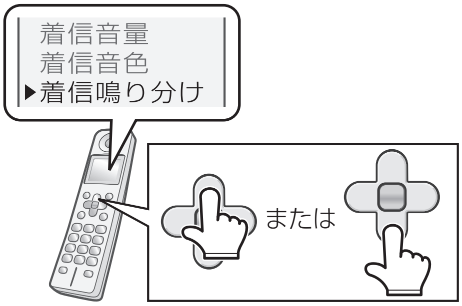
## 子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2～5] の番号専用の着信音を設定することができます。
ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（☞138～140ページ）との併用はできません。ご使用になるときは、**「誰からコール」の設定を [使用しない] にしてください（☞139ページ）。**

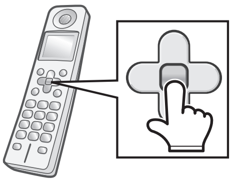
### 1 を押す



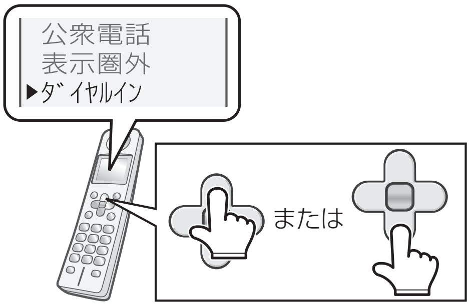
### 2 で [着信鳴り分け]を選ぶ



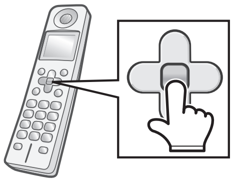

### 3 を押す



### 4 で [ダイヤルイン]を選ぶ




### 5 を押す



### 6 で 着信音を設定する電話番号を

○ [TEL 2 鳴り分け]

○ [TEL 3 鳴り分け]

○ [TEL 4 鳴り分け]

○ [TEL 5 鳴り分け]

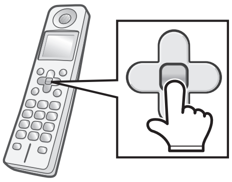
から選ぶ



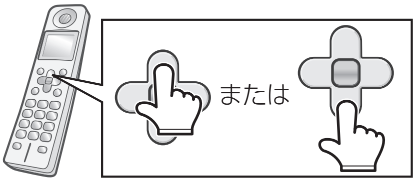

・[TEL1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください（☞43ページ）。

次ページへ

## 7 を押す



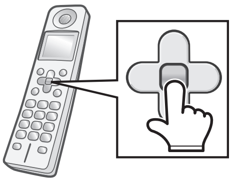
## 8 で 着信音を選ぶ




・鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☞43ページ)。

・鳴り分けを解除するときは、「ピピッ」と鳴るまで で選ぶ

## 9 を押す



・途中でやめるとき：切

### お知らせ

●TEL1～5に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。ただし電話のとりつぎ（☞60～62ページ）を行ったときは、通話をすることができます。

●ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「FAX専用」ではなく、ダイヤルインの「FAX」を設定することをおすすめします。

●ダイヤルイン番号を設定した子機を優先呼出（☞127ページ）にすると、設定したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、優先呼出が働きます。

●ナンバー・ディスプレイ（☞136 ページ）を契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け（☞145～146ページ）を設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

●親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴り、登録した子機からは着信音は鳴りません。登録した子機に着信音を鳴らしたいときは、内線通話を終了してください。

●TEL1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。

●親機でコピーやプリントをしているときに、子機に設定されているダイヤルイン番号に着信があった場合、親機で着信音が鳴り、登録した子機からは着信音が鳴りません。コピーやプリントが終了すると、登録した子機からも着信音が鳴ります。

# 子機を増やす

## 増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
  UX-D28CLはあと３台まで、UX-D28CWはあと２台まで増設できます。
- 増設できる子機はJD-KS25、JD-KS17、JD-KS15、JD-KS21、JD-KS11です（☞177ページ）。
  他の子機は増設できませんのでご注意ください（2008年1月現在）。
- 子機を増設する方法は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。

●UX-D28CL／UX-D28CWに増設した場合の機能比較

| 機能名＼機種名 | | 付属の子機 | JD-KS25（付属の子機と同等） | JD-KS17 | JD-KS15 | JD-KS21 | JD-KS11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話機能 | 電話帳機能 | ○（100人×２番号） | ○（100人×２番号） | ○（100人×１番号） | ○（100人×１番号） | ○（100人×２番号） | ○（100人×１番号） |
| | 液晶表示 | 漢字表示 | 漢字表示 | カナ表示 | カナ表示 | 漢字表示 | カナ表示 |
| | 誰からコール（子機） | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| | 電話帳転送（親機⇔子機） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 再ダイヤル | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（10件） |
| | 優先呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | モーニングコール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 子機間通話 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 電波サポート機能 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 子機で設定 | 常に設定※1 |
| ナンバー・ディスプレイ関連 | 番号・名前表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 着信記録 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 着信鳴り分け | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | キャッチホン・ディスプレイ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ネーム・ディスプレイ | ○ | ○ | × | × | ○ | × |
| 設定関連 | 液晶バックライト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 受話音量切換 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 | 特大・大・標準・小 |
| | 時計転送機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ×※2 |

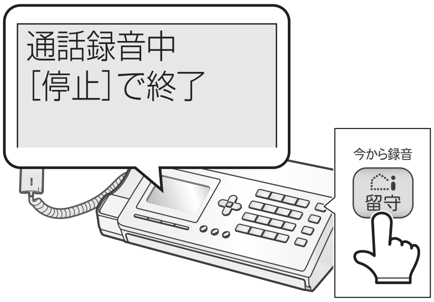
※1：JD-KS11を増設すると、電波サポートが常に設定されます。このため、連続通話時間は約4時間になります。
※2：JD-KS11を増設してお使いの場合は、JD-KS11の時計設定で時刻の設定をしないか、本体の時計バックアップを［使用しない］に設定してお使いください。

# 通話内容を録音する（今から録音）

通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモのかわりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができるので便利です。
すべての録音を合わせて、最大約15分間または、最大30件まで録音できます。

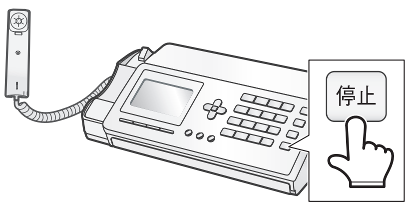
## 親機で「今から録音」する

**1** 通話中に 今から録音 [留守] を押す




**2** 録音が終わったら [停止] を押す

（録音時間を過ぎると、自動的に終了します）



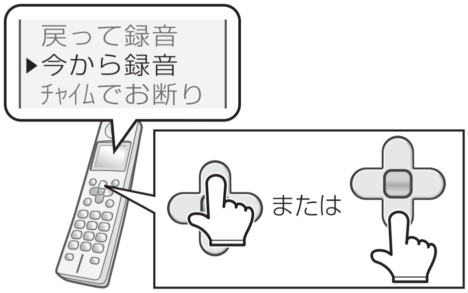

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

## 子機で「今から録音」する

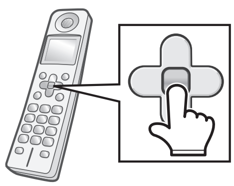
**1** 通話中に 迷惑電話 を押す




**2** で [今から録音]を選ぶ




**3** を押す



次ページへ

## 4 録音が終わったら 迷惑電話 を押す

（録音時間を過ぎると、エラー音が鳴って自動的に終了します）




・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

・キータッチ音を［設定］に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

**通話中に録音内容を再生するときは（☞125ページ）**

**通話が終わったあとで録音内容を再生するときは（☞87～88ページ）**

**録音内容を消去するときは（☞89ページ）**

### 子機で［<保存中>］と表示されているときは

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。表示中は親機の通話以外の操作はできません。保存が終了すると、続けて「今から録音」することができます。

### お知らせ

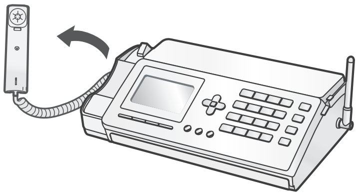
- すべての録音を合わせて最大約 15 分間録音できます（メモリー受信データがない場合）。
- 内線通話やオンフック（☞51 ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
- 「戻って録音」（☞122 ページ）したあと、その通話を続けるときは、「今から録音」はできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- １件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。
- 子機で長時間録音した場合、子機の［<保存中>］が消えても、親機の保存が続いていることがあります。このとき、「今から録音」や保留ができなくなりますので、その場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

# 伝言メモを録音する（メモ録音）

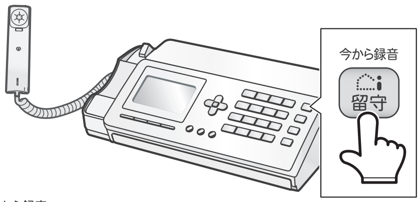
親機でメモ録音することができます
すべての録音を合わせて、最大約15分間または、最大30件まで録音できます。

## 親機でメモ録音をする

### 1 受話器を取る

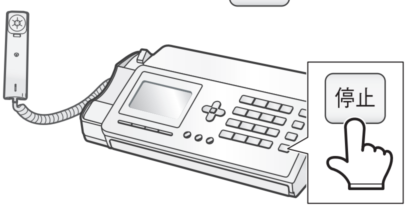


### 2 今から録音 留守 を押す

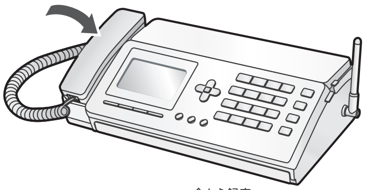



・今から録音 留守 を押すと、録音が開始されます。

### 3 録音が終わったら 停止 を押す




### 4 受話器を戻す



・メモを録音すると、今から録音 留守 が点滅します。
・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

### 録音したメモを再生するときは

録音されたメモは、留守録メッセージと同じように未再生の録音として登録されます。他の録音と同じ操作で再生してください。

親機：▶再生 を押す

子機：

① を押す

② で［留守番電話］を選び を押す

▶留守番電話
優先呼出
着信音量

③ で［用件再生］を選び を押す

▶用件再生
留守設定切替
全消去

### メモを録音中に電話がかかってきたときは

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

**お知らせ**

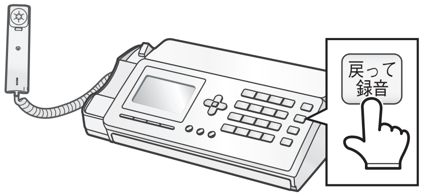
●メモを録音しているときは、子機で電話をかけたり、内線通話を行ったりすることはできません。

# 通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、約45秒前から「戻って録音」するまでの通話内容を、さかのぼって録音します。
しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使い方もできます。録音できる件数は1回の通話につき1件です。録音時間を変更することはできません。
通話が終わったあとで再生することもできます。

## 親機で「戻って録音」する

### 1 通話中に [戻って録音] を押す

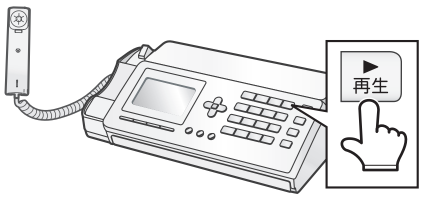



・キータッチ音を［あり］に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

## 親機で通話中に「戻って録音」を再生する

### 1 通話中、「戻って録音」したあと、[▶再生] を押す

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声が流れ、再生が開始されます）




・キータッチ音を［あり］に設定していても、再生操作中は音が鳴りません。
・通話中に「戻って録音」を再生するときは、再生速度を変更することができません（☞89ページ）。

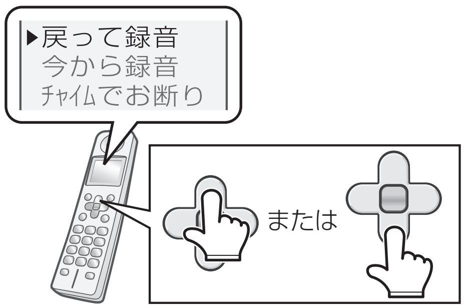
・再生を途中でやめるとき：[停止]

## 子機で「戻って録音」する

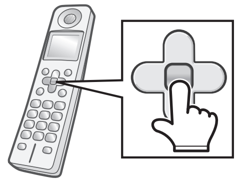
### 1 通話中に [迷惑電話] を押す




### 2 [十字キー] で［戻って録音］を選ぶ



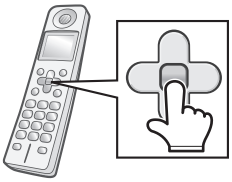

### 3 [十字キー] を押す



・キータッチ音を［設定］に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。
・操作を途中でやめるとき：[十字キー]

## 子機で通話中に「戻って録音」を再生する

**1** 通話中、「戻って録音」したあと、
を押す

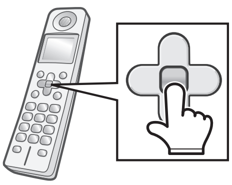


**2** で [録音再生]を選ぶ




**3** を押す

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声が流れ、再生が開始されます）



・再生を途中でやめるとき： 通話
・キータッチ音を [設定] に設定していても、再生操作中は音が鳴りません。
・通話中に「戻って録音」を再生するときは、再生速度を変更することができません。

### 通話終了後、「戻って録音」を再生するときは

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されます。

親機： ▶再生 を押す

子機：

① を押す

② で [留守番電話] を選び を押す

③ で [用件再生] を選び を押す

※再生中にできる操作について（☞89ページ）

### 「戻って録音」したあと、その通話を続けるときは

「戻って録音」すると、その通話中は以下の操作を行うことができません。

・「今から録音」
・FAX送受信
・「戻って録音」以外の録音再生
・保留
・登録操作、操作ガイド、チャイムでお断り、メッセージでお断りなど

### 「今から録音」（☞119～120ページ）したあとに、続けてお話ししているときは

「戻って録音」ができません。

### 「戻って録音」の仕組みについて

本機では、つねに通話内容を約45秒間、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。
一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、通話終了後にあらためてメモリーに保存し直すので消えません（「戻って録音」の内容を消すときは ☞124ページ）。

### 親機で [録音データ保存中] と表示されているときは

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、親機の電話の着信以外の操作はできません。
また、このときの着信音は、他の着信音に設定していても親機は [電話ベル音] になります。子機は鳴りません。

### 「戻って録音」の内容を消すときは

通話中は「戻って録音」を消去することができません。通話を終了し、保存が終了したら再生して個別に消去してください。

親機：「戻って録音」を再生中に キャッチ/消去 を２回押す

子機：「戻って録音」を再生中に 消去 0わ を２回押す

### 通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りするときは

「録音でお断り」をお使いください（☞154〜155ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。
また、通話内容は保存されません。

### お知らせ

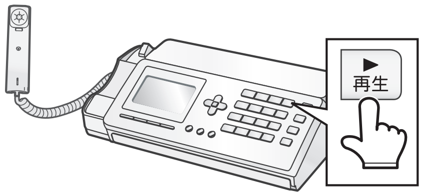
- 内線通話（☞58〜59ページ）やオンフック（☞51ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
- 録音データ保存中は、留守番電話を設定することができません。保存が終わってから設定してください。
- 「戻って録音」をしたあともう一度「戻って録音」しようとすると、エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます（親機では音は鳴りませんが、子機ではエラー音が鳴ります）。
- 通話中に「戻って録音」をしたあとは、キャッチホンディスプレイ（☞135ページ）は使用できません。
- 録音データ保存中は、親機の通話など一部の機能しか使用できません。

# 録音した内容を通話中に再生する

留守番電話の内容や通話録音した内容を通話中に再生することができます。

## 親機で通話中に再生する

**1** 通話中に [▶再生] を押す



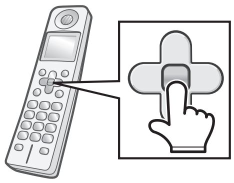

・ 途中でやめるとき：[停止]

### 録音再生中の通話について

親機で通話中に録音した内容を再生しているときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。
子機で通話中に録音した内容を再生しているときや、親機、子機ともに「戻って録音」（☞122〜123ページ）を再生しているときは、こちらの声は相手に聞こえず、相手の声もこちらに聞こえません。

## 子機で通話中に再生する

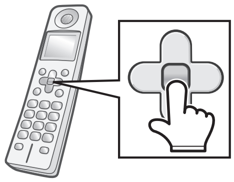
**1** 通話中に [決定] を押す



**2** [上下] で [録音再生]を選ぶ




**3** [決定] を押す



・ 途中でやめるとき：[通話]
・ 録音内容を再生するときは、未再生の録音以降から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

✐再生中にできる操作について（☞89ページ）

# 親機をもっと便利に使う

## キーロック

本機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。
本機のお手入れ中や、お子様がお手をふれたときなどによる誤動作を防止できます。

### キーロックを設定する

① 待受画面で [キーロック #] を [キーロックを設定しました] と表示されるまで押し続ける

・キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
・キーロック中はディスプレイに ［ [キーロック中] ］ と表示されます。[ [キーロック中] ] が表示されているときは、ディスプレイで日時を確認することができません。
・キーロックは親機のみの操作です。キーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

### キーロックを解除する

① ディスプレイに [ [キーロック中] ] と表示されているときに、[キーロック #] を [キーロックを解除しました] と表示されるまで押し続ける

## デカ文字着信

電話を受けているときに表示される文字を大きくすることができます。
最初は [使用する]（大きく表示）に設定されています。

① [登録/文字切替] を押す

② [1 あ] [6 は] と順に押す

③ ［使用する］を選ぶときは [1 あ] を押す

［使用しない］を選ぶときは [2 か] を押す

④ [停止] を押す

## 液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

① [登録/文字切替] を押す

② [7 ま] を押す

③ [◀▶] で濃度を調整する

| 液晶濃度調整 |
|---|
| 淡い▌▌▌▌　濃い |

④ [決定] を押す

⑤ [停止] を押す

・途中でやめるとき：[停止]

・１つ前に戻るとき：[キャッチ/消去]

# 子機をもっと便利に使う

## 優先呼出

電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音を鳴らす機能の設定ができます。
設定後、9時間経過すると自動的に解除されます。
工場出荷時の設定は [解除] です。

① を押す

② で [優先呼出] を選び を押す

留守番電話
▶優先呼出
着信音量

③ で[解除]または[設定] を選び を押す

・「FAX 優先」（☞ 104ページ）を設定しているときは、優先呼出は働きません。

## クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [解除] です。

① を押す

② で [システム設定] を選び を押す

電話帳転送
電池残量
▶システム設定

③ で [クイック通話] を選び を押す

日時登録
キータッチ音出力
▶クイック通話

④ で [解除] または [設定] を選び を押す

## キータッチ音

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は [設定] です。

① を押す

② で [システム設定] を選び を押す

③ で [キータッチ音出力] を選び を押す

日時登録
▶キータッチ音出力
クイック通話

④ で [解除] または [設定] を選び を押す

## 電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。
ただし、連続通話時間が約6時間から以下のようになります。

[自動]　：約４～６時間
[解除]　：約６時間
[設定]　：約４時間

工場出荷時の設定は [自動]（電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定）です。

① を押す

② で [システム設定] を選び を押す

③ で [電波サポート] を選び を押す

使用者表示
LCDコントラスト
▶電波サポート

④ で [自動] 、[解除] または [設定] を選び

を押す

## 液晶画面（LCD）コントラストの調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

① を押す

② で [システム設定] を選び を押す

③ で [LCDコントラスト] を選び を押す

クイック通話
使用者表示
▶LCDコントラスト

④ で調整して を押す

・途中でやめるとき：切

## アラーム（モーニングコール）

子機で、アラームを設定することができます。
設定した時間になると「ピッ・ピッ…」と鳴ってお知らせします（約5分間隔で1分間・7回くり返し）ので、朝の目覚ましなどに使用すると便利です。
アラームの設定は、鳴り終わると自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときはそのたびごとに設定してください。
工場出荷時の設定は [解除] です。

### アラームを鳴らす時刻を設定する

① を押す

② で [アラーム] を選び を押す

着信音色
着信鳴り分け
▶アラーム

③ で [アラーム時刻] を選び を押す

▶アラーム時刻
アラーム設定

④ アラーム時刻を入力(24時間制)して を押す

・アラーム時刻を設定すると、自動的にアラームが設定されます。

### アラームを設定／解除する

① を押す

② で [アラーム] を選び を押す

③ で [アラーム設定] を選び を押す

アラーム時刻
▶アラーム設定

④ で[解除]または[設定] を選び を押す

・途中でやめるとき：切

## アラーム（モーニングコール）を途中で止めるには

・いずれかのボタンを押す
（約5分後に再びアラーム音が鳴り始めます）。

・アラームを解除するとアラーム音は止まります。

① を押す

② で [アラーム] を選び を押す

着信音色
着信鳴り分け
▶アラーム

③ で [アラーム設定] を選び を押す

アラーム時刻
▶アラーム設定

④ で [解除] を選び を押す

▶解除
設定

（以後は鳴りません）

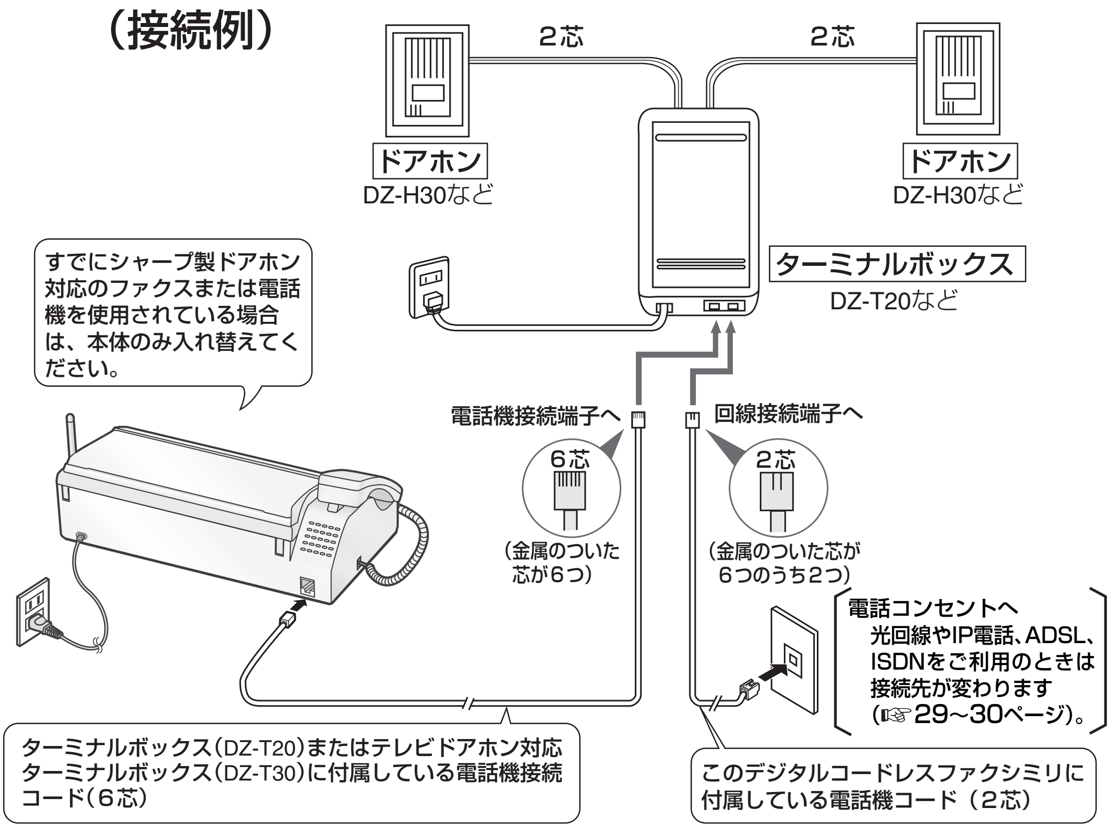
### お知らせ

●アラームを毎日鳴らす設定にすることはできません。毎日鳴らしたいときは、そのたびごとにアラームを設定してください。
●子機の時計を登録していないときは、アラームの設定はできません（エラー音が鳴ります）。
●アラーム音は、子機で設定されている着信音量と同じ大きさで鳴ります。
[切] に設定しているときは [小] の大きさで鳴ります。

# ドアホンをつなぐ

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

## ドアホンのつなぎかた




✐ **ADSLやISDN、IP電話や光回線をご利用のときは（☞29〜30ページ）**

✐ **現在お使いのドアホンが次の機種のときは**
専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。
**（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30が必要です。）**

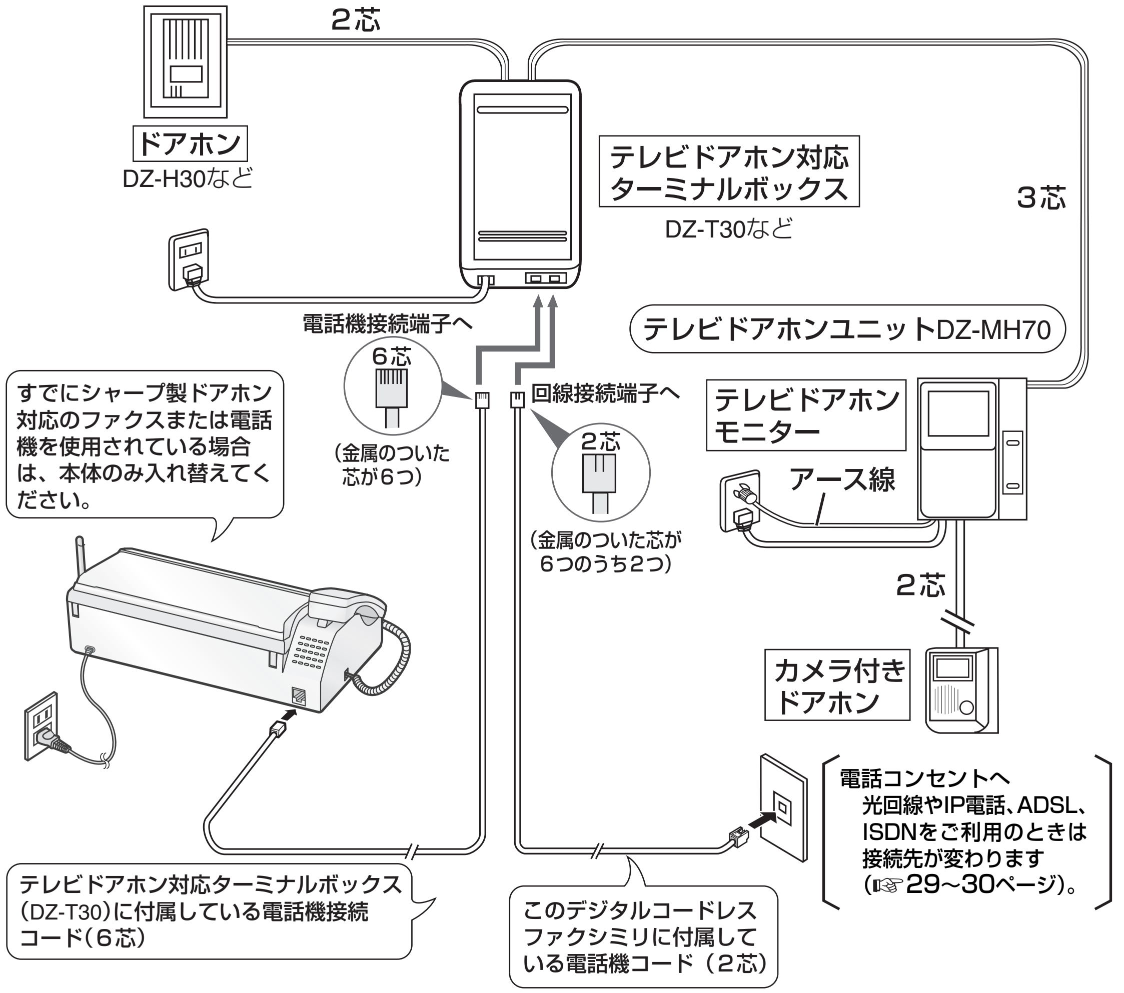
| メーカー名（50音順） | 適合するドアホン（室外機の機種名）2008年1月現在 |
|---|---|
| アイホン | IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC |
| 岩通 | ドアホンN |
| ＮＴＴ | E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン |
| パイオニア | TF-DR2 |
| 富士通 | FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D |
| 松下電器産業(株) パナソニック マーケティング本部 | VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A |
| | EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B |

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

## カメラ付ドアホンのつなぎかた

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

### （接続例）




・カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
・カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

✐ 光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用のときは（☞29～30ページ）

# ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

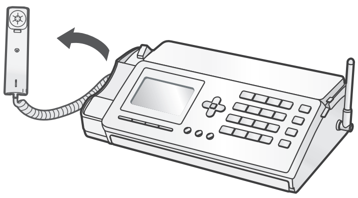
## ドアホンの着信音について

ドアホン１とドアホン２からの着信音は鳴り方が違います。

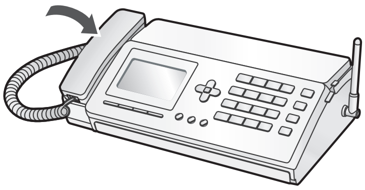
| | | |
|---|---|---|
| 親機 | ドアホン１ | ピン　ポン |
| | ドアホン２ | ピン　ポン　ピン　ポン |
| 子機 | ドアホン１ | ピロピロピロピロ　ピロピロピロピロ |
| | ドアホン２ | ピロリロ　ピロリロ |

## 親機でドアホンと話す

**1** 着信音が鳴ったら受話器を取る



**2** 通話が終わったら受話器を戻す



### 着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと

10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

### 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
　ドアホン通話は切れます。

② 受話器を取り上げる

### 親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは［1あ］を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは［2か］を押す

② ［1あ］または［2か］（または［キャッチ/消去］）を押すごとに、２台のドアホンと交互に通話できます。

### 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に［内線/保留］を押す
　電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。

② 電話に戻るときは、もう一度［内線/保留］を押す
　ドアホン通話は切れます。

### 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

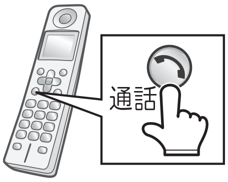
内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、20 秒以内に受話器を戻す
　内線通話は切れます。

② 受話器を取り上げる

## 子機でドアホンと話す

**1** 着信音が鳴ったら 通話 を押す




**2** 通話が終わったら 切 を押す




### 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

①「ピピ」と聞こえたら、切 を押す

ドアホン通話は切れます。

② 通話 を押す

### 子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。
ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは 1あ を、
「ピロリロ ピロリロ」と聞こえたときは 2か を押す
1あ または 2か （または 文字切替/キャッチ ）を押すごとに、
２台のドアホンと交互に通話できます。

### 着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと

10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

### 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 内線/クリア 保留 を押す

電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。

② 電話に戻るときは、内線/クリア 保留 を２回押す

ドアホン通話は切れます。

### 子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 切 を押す

内線通話は切れます。

② 通話 を押す

### お知らせ

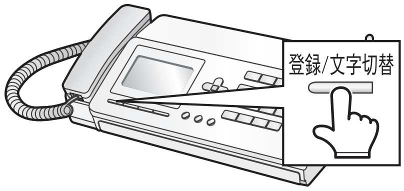
- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約20秒以内に応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ３者通話中は、ドアホンとの通話はできません。

# 外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

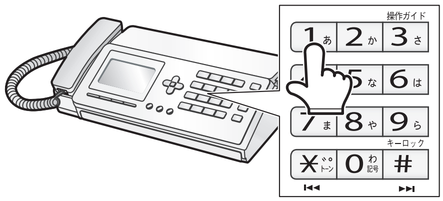
外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

## 暗証番号を登録する

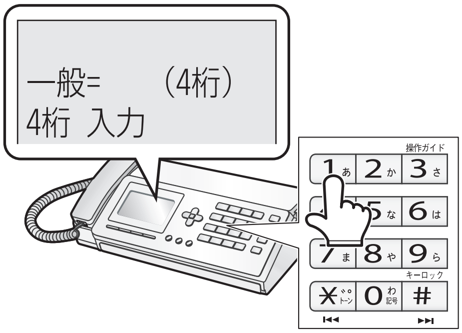
### 1 登録/文字切替 を押す



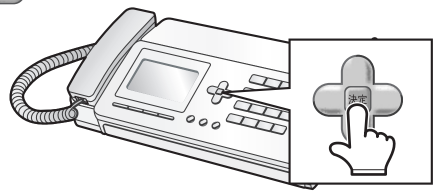

### 2 4た 5な 1あ と順番に押す



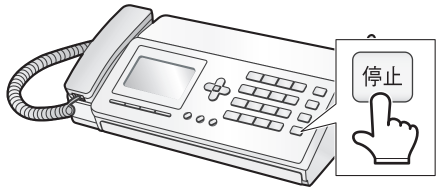
### 3 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する（4ケタ）




### 4 決定 を押す



### 5 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 登録した暗証番号を消すときは

① 登録/文字切替 を押す

② 4た 5な 2か 2か と順に押す

③ 停止 を押す

**暗証番号を変えるときは**
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

**暗証番号を忘れたときは**
忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

## 外出先からリモート操作する

① 自宅に電話をかける
② 応答メッセージが聞こえている間に[#]を押す
③ 暗証番号を入力する
④ [#]を押す
⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

### リモート操作表

| | |
|---|---|
| 録音内容を聞く | [1][#] |
| 早聞きや遅聞きをする | 再生中に [1] [#]<br>（押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→「速い」…） |
| 録音内容を聞き直す | 再生中に [3] [#] |
| 1件前の録音を聞く | 再生中に [3] [#] [3] [#] |
| 次の録音内容を聞く | 再生中に [4] [#] |
| 止める | 再生中に [5] [#] |
| 再生済みの録音を消す | 停止中に [0] [1] [#] |
| 録音内容をすべて消す | 停止中に [0] [2] [#]<br>未再生の録音も消えます。<br>応答メッセージは消えません。 |
| 留守を設定／解除する | 停止中に [6] [#] |

### 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

### トールセーバーに設定したときは

着信音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません（☞83ページ）。

### お知らせ

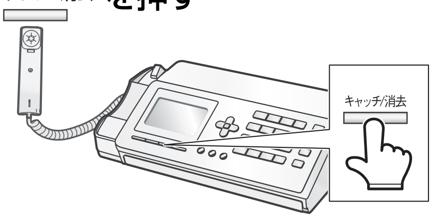
- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。1分以上あけると電話が切れます。
- 留守設定を解除している場合、親機の「在宅時応答回数」が [無制限呼出] のときはリモート操作できません。リモート操作をお使いになるときは、「ファクスの自動受信に切り替わる着信音の回数を設定する」（☞102ページ）で着信音の回数を設定しておいてください。

# キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用には**NTTとの契約（有料）**が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

## キャッチホンを利用する（親機）

**1** 通話中に着信音が聞こえたら キャッチ/消去 を押す




**2** もとの通話に戻るときはもう一度 キャッチ/消去 を押す

## キャッチホンを利用する（子機）

**1** 通話中に着信音が聞こえたら 文字切替/キャッチ を押す




**2** もとの通話に戻るときはもう一度 文字切替/キャッチ を押す

### キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは

キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☞182ページ）。

### キャッチホン・ディスプレイの設定をする

ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。
「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、必ず設定を［使用する］にしてください（はじめは、［使用しない］に設定されています）。電話を受けられないことがあります。
また、ナンバー・ディスプレイが［使用する］になっていることを確認してください（☞137ページ）。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を４回押す

③ 7ま 1あ と順に押す

④ 使用する場合は 1あ を、
使用しない場合は 2か を押す

⑤ 停止 を押す

### お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、フックスイッチを押さずにキャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は働きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（☞137ページ）をご覧ください。

# ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。

**このサービスを利用するには、NTTとのご契約が必要です**

**[ナンバー・ディスプレイを利用するには]**

**1** **NTTと契約する（有料）**
右記NTT窓口にお申し込みください。

**2** **本機のナンバー・ディスプレイの設定は、必要ありません。**
お買いあげ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は［使用する］になっています。

**3** **NTTの工事終了後にサービスが利用できます。**
工事日数については、右記NTT窓口にお問い合わせください。

**ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先**

NTT窓口
TEL：局番なしの
**116（通話料金無料）**
受付時間　午前９時〜午後９時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

**ナンバー･ディスプレイを契約することで、以下のサービスをご利用できます。**

| | |
|---|---|
| **着信記録**（☞141 〜 144 ページ） | **着信鳴り分け**（☞145 〜 146 ページ） |
| かかってきた電話番号を最大20件まで保存できます。着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ったりすることができます。 | かかってきた相手の電話の種類にあわせ、着信音を変更します。電話帳に登録した相手から、非通知から、公衆電話から、表示圏外からの着信音を鳴り分けします（誰からコール、誰あてコール、どこからコールとの併用はできません）。 |
| **誰からコール**（☞138 〜 140 ページ） | **誰あてコール**（☞138 〜 140 ページ） |
| かかってきた相手の電話の種類にあわせ、音声でお知らせすることができます。電話帳に登録した相手からなら登録したお名前、非通知からなら非通知とお知らせします。 | 電話帳に登録した相手の方とよく話す人の名前を事前に登録しておくと、その相手の方から電話があったときに、音声で登録した名前をお知らせします。電話に出る前に、誰あての電話か分かり、便利です。 |
| **どこからコール**（☞138 〜 140 ページ） | **非通知・公衆電話・表示圏外お断り**（☞147 ページ） |
| 電話帳に登録されていない相手の電話が、どこの地域からかけられているかを音声でお知らせします。携帯電話やPHSからの着信は、その種類をお知らせします。どこからコールを［使用しない］に設定するには、140ページをご覧ください。 | 非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を、自動的にお断りします。<br>**特定番号お断り**（☞148 〜 149 ページ）<br>登録した番号からの電話を、自動的にお断りします。 |
| **おやすみモード**（☞150 〜 153 ページ） | **迷惑電話拒否機能**（☞154 〜 156 ページ） |
| 設定すると、着信音や動作音が鳴らなくなり、登録していない相手からの電話には、自動的に留守番電話に変更します。登録した番号からの電話のみ、受けることができます。 | 迷惑電話を拒否したときに、自動的に相手の番号を「お断り番号」に登録します。非通知などからの電話のときは、自動的に「非通知お断り」など対応したお断りを行います。 |
| **キャッチホン･ディスプレイ**（☞135 ページ） | **ネーム･ディスプレイ**（☞157 ページ） |
| **キャッチホン･ディスプレイのご契約が必要になります**<br>キャッチホンが入ったときに、ディスプレイに相手の方の番号が表示されます。 | **ネーム･ディスプレイのご契約が必要になります**<br>電話をかけてきた相手の方が登録している名前や会社名が、ディスプレイに表示されます。 |

## ナンバー・ディスプレイを設定するときは

お買いあげ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は [使用する] になっています。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 6は を押す

④ 使用する場合は 1あ を、
使用しない場合は 2か を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき: 停止 ／1つ前に戻るとき: キャッチ/消去

### 市外局番について

「090」「080」からの電話は、携帯電話からです。
「070」からの電話は、PHSからです。
「050」からの電話は、IP電話からです。

### お知らせ

- ●構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを [使用しない] に設定してください。
- ●ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。
- ●ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定を [使用しない] にされていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ●ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、留守時応答回数（☞83ページ）を2回以上に設定してください。
- ●ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ●ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは [使用しない] に設定してください。

## 電話がかかってきたときのディスプレイ表示

| 親機の表示 | 子機の表示 | 着信情報 |
| --- | --- | --- |
| 電話番号 | 電話番号 | 相手の方が自分の番号を通知して電話をかけてきた場合 |
| 相手の方の名前と番号 | 相手の方の名前と番号 | 電話帳に登録されている相手の方が電話をかけてきた場合 |
| 相手の方の名前 | 相手の方の名前と番号 | 親機でデカ文字着信（☞126ページ）を設定中に、電話帳に登録されている相手の方が電話をかけてきた場合 |
| [非通知] | [ - 非通知 - ] | 相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけてきた場合 |
| [表示圏外] | [ - 表示圏外 - ] | 相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけてきた場合 |
| [公衆電話] | [ - 公衆電話 - ] | 相手の方が公衆電話を使ってかけてきた場合 |
| [外線着信] | [ ((( 着信 ))) ] | 相手の方の着信情報が受信できなかった場合 |

## 電話をかけてきた相手の情報を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）

電話がかかってきたとき、相手の電話番号から自動的に判断し、親機の電話帳で登録した相手の名前や電話が誰からなのか／誰あてなのかや、どこからかかってきているのかなどの情報を、音声でお知らせします。最初は [使用する] に設定されています。

**ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、お買いあげ時は「どこからコール」を使用する設定になっています（電話がかかってくると、地名や電話の種類をお知らせします）。**[使用しない] にするときは、140ページをご覧ください。

| | 聞こえてくる音声 | 着信内容 |
|---|---|---|
| 誰からコール・誰あてコール | 「○○さんからです」または「○○からです」※1、※2 | 電話帳に登録されていて、「誰あてコール」でお知らせする名前を選んでいない相手の方からの電話 |
| | 「△△あてにお電話です」※3 | 電話帳に登録されていて、「誰あてコール」でお知らせする名前を選んでいる、「読み」が発声できない相手からの電話 |
| | 「△△あてに○○さんからです」または「△△あてに○○からです」※2、※3 | 電話帳に登録されていて、「誰あてコール」でお知らせする名前を選んでいる相手の方からの電話 |
| | 「お電話です」 | 電話帳に登録されている相手の方からの電話で、「誰あてコール」でお知らせする名前を選んでいない、「読み」が発声できない相手からの電話 |
| どこからコール | 「□□（地名）からです」※4 | 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、市外局番から地名を判断できる場所からかけている電話 |
| | 「携帯電話からです」 | 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、携帯電話からかけている電話 |
| | 「PHSからです」 | 電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、PHSからかけている電話 |
| その他 | 「非通知です」 | 相手の方が自分の番号を通知していない電話 |
| | 「公衆です」 | 相手の方が公衆電話を使ってかけた電話 |
| | 「圏外です」 | 相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけた電話 |
| | 音声お知らせなし | ・ナンバー・ディスプレイを設定していないときの電話<br>・誰からコールを [使用しない] に設定しているときの電話<br>・電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、地域番号帯設定（☞140ページ）で [発声しない] に登録されている地域からの電話<br>・電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、市外局番から地名を判断できない場所からかけている電話　※4 |

※1 親機の電話帳に登録されている名前を音声でお知らせします。子機の電話帳にのみ登録されている名前はお知らせしません。

※2「誰からコール」での発声のしかたはおしゃべり電話帳（音声電話帳）と同じです。アクセントの位置を変更したいときは、72ページをご覧ください。

※3「誰あてコール」でお知らせする名前は、相手の方の電話番号を親機に登録、修正するときに選んだ名前です。名前を変更したいときは、「誰あてコール設定」で変更してください（☞139ページ）。

※4 同じ市外局番で2都道府県にまたがっているときや、新しい市外局番が増えたときは、正しい都道府県を発声しない場合があります。地名の発声のしかたを変更したり、発声しないようにしたいときは、地域番号帯登録（☞140ページ）を変更してください。

## 誰からコールを使用する／使用しないを設定する

誰からコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は [使用する] に設定されています。

① 登録/文字切替 を押す

② 2か 2か 1あ と順に押す

③ [使用する] を選ぶときは 1あ を押す

[使用しない] を選ぶときは 2か を押す

④ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。誰からコールのみを解除することはできません。「どこからコール」のみを解除する場合は、140ページをご覧ください。

## 誰あてコールでお知らせする名前を登録するときは（誰あてコール設定）

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。最初は [1：オトウサン][2：オカアサン][3：オニイサン][4：オネエサン][5：オジイサン][6：オバアサン] の6つがすでに登録されています。7～9に追加登録できます。

① 登録/文字切替 を押す

② 2か 2か 2か と順に押す

③ 名前を登録する場所を ✥ で選ぶ

④ 決定 を押す

⑤ ダイヤルボタンで名前を入力する
（最大半角20文字）

⑥ 決定 を押す

⑦ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・名前を変更したいときは、手順③で変更したい名前を選び、新しい名前を入力してください。

・お知らせしたい名前を15文字以上で登録しても、ディスプレイには14文字までしか表示されません。

・登録している名前を変更すると、その名前で誰あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変更されます。

## 誰あてコールを使用するには

電話帳の登録、または修正時に音声でお知らせする名前を選んでください（☞68ページ）。
また、誰からコールを［使用する］に設定してください（☞左記）。

## 誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは

① 登録/文字切替 を押す

② 2か 2か 2か と順に押す

③ アクセントを変えたい名前を ✥ で選ぶ

④ ▶再生 を押す

⑤ 名前を発声してから3分以内に、1あ ～ 9ら 、0わ記号 でアクセントを調整する

・1文字目にアクセントを付けたいときは 1あ 、2文字目に付けたいときは 2か を押します。

・9ら を押すと、アクセントが自動的に設定されます。

・0わ記号 を押すと、平坦なアクセントになります。

⑥ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

**✐誰あてコールを鳴らさないように設定するには**
登録されている電話帳を個別に修正して、誰あての着信か選ぶ画面で [特定しない] に登録してください（☞68ページ）。一括ですべて鳴らさないように設定することはできません。

## どこからコールを使用する／しないを設定する

どこからコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は [使用する] に設定されています。

どこからコールを使用するときは、誰からコールを[使用する] に設定しておいてください（☞139ページ）。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 3さ 6は 1あ と順に押す

④ [使用する] を選ぶときは 1あ を、

[使用しない] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### お知らせ

- 誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
- 発声の確かめかた
誰からコールの場合：「親機の電話帳でかける」（☞63ページ）の手順1～2の操作をして確かめてください。
誰あてコールの場合：「誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは」（☞139ページ）の手順1～4の操作をして確かめてください。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声は、音声合成システムで作ったものです。肉声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固定の着信音で鳴ります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信鳴り分けは使用できません。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、ダイヤルイン鳴り分けは使用できません。ただし、次のときは、ダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。
  - ・ナンバー･ディスプレイを設定していないとき
  - ・誰からコール、誰あてコールの場合は、電話帳に登録されていない相手の方からの電話
- 内線通話中やドアホン通話中での電話や、キャッチホンでは、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。
- コピー中は誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません（通常の着信音が鳴ります）。コピーが終了すると、誰からコールが働きます。
- どこからコールで地域番号帯を登録すると、指定した市外局番から始まる電話番号からの電話は都道府県名を発声しない設定にすることもできますので、自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなり、わずらわしさがありません。

## どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更するときは（地域番号帯登録）

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名があっていないときなどに変更してください。また、「携帯電話」、「PHS」や「発声しない」に設定することもできます。登録できる番号は、最大30件です。

### 地域番号を新しく登録するには

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 3さ 6は 2か と順に押す

④ 登録/文字切替 を押す

⑤ ダイヤルボタンで発声のしかたを変更したい市外局番を入力する

⑥ 決定 を押す

⑦ ◇ で発声のしかたを下から選ぶ

[00：発声しない] [1～47：47都道府県名]
[48：携帯電話] [49：PHS]

⑧ 決定 を押す

⑨ 停止 を押す

### 登録した地域番号を消去するには

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 3さ 6は 2か と順に押す

④ ◇ で消去したい地域番号を選ぶ

⑤ キャッチ/消去 を2回押す

⑥ 停止 を押す

### 登録した地域番号を確かめるには

①「地域番号を新しく登録するには」の手順①～③の操作をする

② 停止 を押す

### 登録した地域番号を修正するには

消去してから、登録し直してください。

・途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

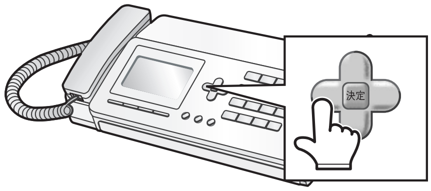
# 着信記録を使う

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です**

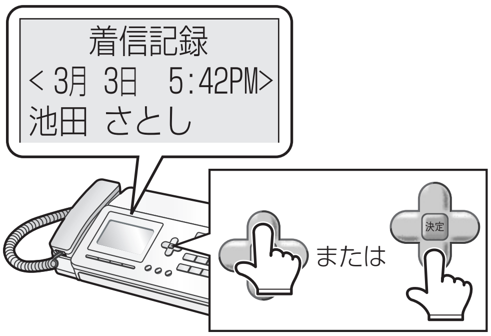
電話がかかってくると、相手の方の電話番号や着信した日時などが最大20件まで記録されます（着信記録）。
20件を超えると古い着信記録から消去されます。
着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。

## 親機で着信記録を使って電話をかける

### 1 再ダイヤル/着信記録 を2回押す

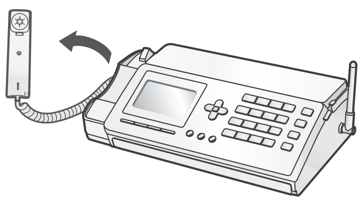



### 2 で番号を選ぶ

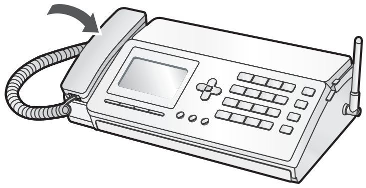



・再ダイヤルのデータがないときは 再ダイヤル/着信記録 を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

### 3 受話器を取る



### 4 通話が終わったら受話器を戻す



・途中でやめるとき：停止

・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

### 親機で着信記録を使ってファクスを送るときは

① 原稿をセットする
（☞90ページ　手順 **1** ～ **4** ）

② 再ダイヤル/着信記録 を2回押す

③ でファクスを送りたい番号を選ぶ

④ FAX/コピー を押す

⑤ 相手の方につながったら、送信が始まる

・「通信エラーがありました」と聞こえたら（☞173ページ）

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

### 親機の着信記録をプリントするときは

① 記録紙をセットする（☞35ページ）

② 登録/文字切替 を押す

③ 9ら 1あ 2か と順に押す

## 親機の着信記録を消すときは

**1件だけ消す：**

① 再ダイヤル 着信記録 を2回押す

② で消去したい番号を選ぶ

③ キャッチ/消去 を２回押す

④ 停止 を押す

**すべて消す：**

① キャッチ/消去 を押す

② 3さ 2か と順番に押す

## 親機の着信記録を電話帳に登録するときは

① 再ダイヤル 着信記録 を2回押す

② で登録したい番号を選び 登録/文字切替 を押す

③ ダイヤルボタンで名前を入力し 決定 を押す

名前？［漢/かな］
池田 さとし

④「読み」を確認して 決定 を押す

⑤ 第１番号を確認して 決定 を押す

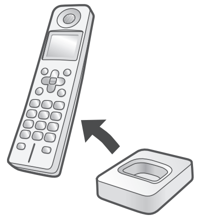
⑥ 第２番号を入力（省略可）して 決定 を押す

⑦ で「誰あてコール」で発声する名前を選び 決定 を押す

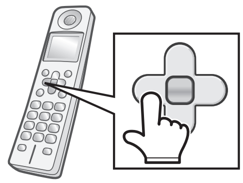
⑧ 停止 を押す

# 子機で着信記録を使って電話をかける

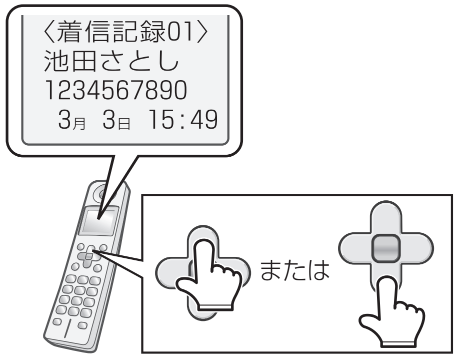
**1** 子機を充電器から取る



**2** を２回押す



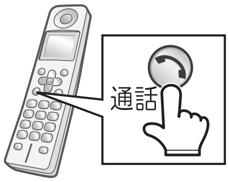
**3** で番号を選ぶ




・再ダイヤルのデータがないときは を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

次ページへ

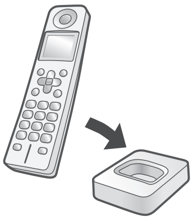
## 4 通話 を押す




## 5 通話が終わったら 切 を押す




## 6 充電器に戻す



・途中でやめるとき：切
・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

### 184（非通知）や186（通知）をつけて、着信記録で電話をかけるには（子機）

184や186などの番号を、着信記録の前に入れてダイヤルします。

① を2回押す
② で番号を選び、を押す
③ で［特番ダイヤル］を選び、を押す

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳へ登録
1件消去

④ 184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して 通話 を押す
⑤ 通話が終わったら 切 を押す
⑥ 充電器に戻す

### 子機で着信記録を使ってファクスを送る

① 親機に原稿をセットする
（☞90ページ　手順 **1** ～ **4**）
② を2回押す
③ でファクスを送りたい番号を選ぶ
④ 通話 を押す
⑤ 相手の方にファクスを送ることを伝え、を押す
⑥ で［FAX送信］を選び、を押す
⑦ 充電器に戻す

・途中でやめるとき：切 ／通話中は
・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

## 子機の着信記録を消すときは

**1件だけ消す：**

① を２回押す

② で消去したい番号を選び を押す

③ で［1件消去］を選び を２回押す

特番ダイヤル
電話帳へ登録
▶1件消去

**すべて消す：**

① を押す

② で［全消去］を選び を押す

電池残量
システム設定
▶全消去

③ で［着信記録］を選び を２回押す

再ダイヤル
▶着信記録
電話帳

## 子機の着信記録を電話帳に登録するときは

① を２回押す

② で登録したい番号を選び を押す

③ で［電話帳へ登録］を選び を押す

特番ダイヤル
▶電話帳へ登録
1件消去

④ 名前を入力して を押す

⑤ 読みを確認して を押す

⑥ 第1番号を確認して を押す

⑦ 第2番号を入力（省略可）して を押す

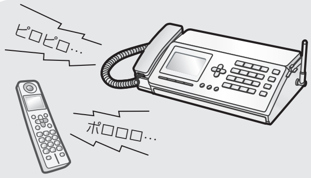
### お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [特定番号お断り] を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

# 着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です**

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。
親機、子機が別々に「電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機・子機とも設定されていません。
着信鳴り分けは、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（☞138～140ページ）との併用はできません。はじめは、「誰からコール」を使用する設定になっていますので、着信鳴り分けを使用するときは、**必ず「誰からコール」を［使用しない］に設定してください（☞139ページ）。**

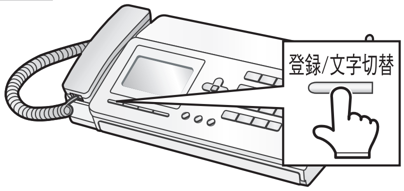



**着信鳴り分けを設定したとき**

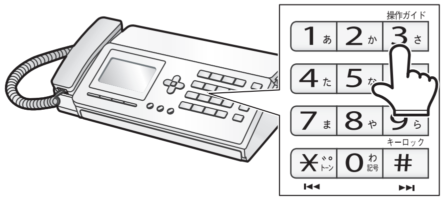
着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（☞39～40、43ページ）、またはダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音（☞114～117ページ）が鳴ります。

## 親機の鳴り分けを設定する

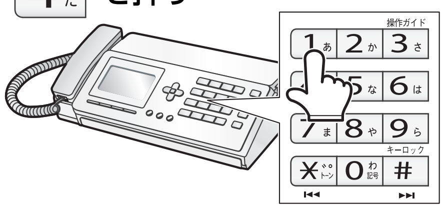
**1** 登録/文字切替 を押す



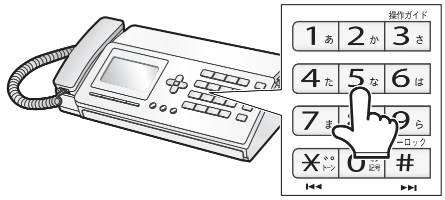

**2** 2か 3さ と順に押す



**3** ○［電話帳］を選ぶときは
1あ を押す
○［非通知］を選ぶときは
2か を押す
○［公衆電話］を選ぶときは
3さ を押す
○［表示圏外］を選ぶときは
4た を押す

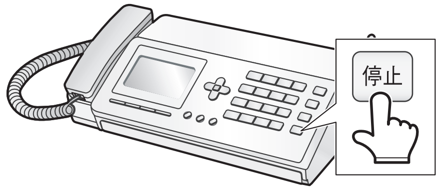


**4** 1あ ～ 9ら 、0わ記号 で、着信音を選ぶ



・鳴り分け用として設定できる着信音は、「親機の着信音の種類を変える」（☞39～40ページ）で設定できるものと同じです。
・着信鳴り分けを解除するときは 0わ記号 を押してください。

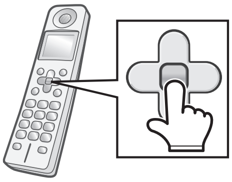
**5** 停止 を押す



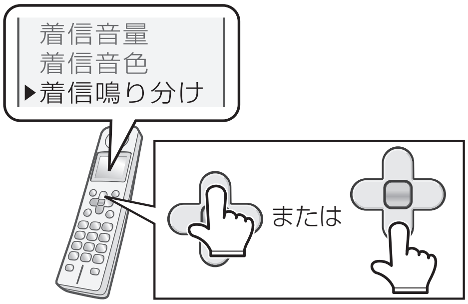

・途中でやめるとき：停止
・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

**1** を押す



**2** で [着信鳴り分け]を選ぶ




**3** を押す

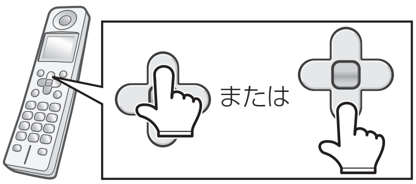
**4** で 着信音を設定する着信の種類を選ぶ

○ [電話帳]

○ [非通知]

○ [公衆電話]

○ [表示圏外]




・[ダイヤルイン] については、116～117ページをご覧ください。

**5** を押す

**6** で 着信音を聞きながら選ぶ




・鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」(☞43ページ)で設定できるものと同じです。
・着信鳴り分けを解除するときは、「ピピッ」と鳴るまで で選んでください。

**7** を押す

・途中でやめるとき：切

### お知らせ

●「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」との併用はできません。
●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
●ダイヤルイン鳴り分け（☞114～117ページ）と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

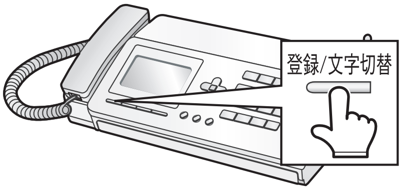
# 非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を受けない

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

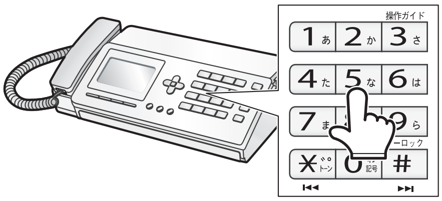
「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。
お買い求め時は設定されていません。

## 非通知／公衆電話／表示圏外お断りを設定する

**1** 登録/文字切替 を押す




**2** [5 な] を押したあと、



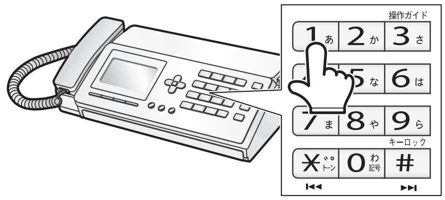

○ [非通知お断り]を選ぶときは [1 あ] を押す

○ [公衆電話お断り]を選ぶときは [2 か] を押す

○ [表示圏外お断り]を選ぶときは [3 さ] を押す

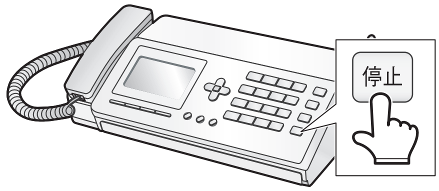
**3** ○ [なし]を選ぶときは [1 あ] を押す

○ [お断り]を選ぶときは [2 か] を押す




・[非通知お断り] に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直しください」と3回流れて電話が切れます。
・[公衆電話お断り]、[表示圏外お断り]に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

**4** [停止] を押す




・設定すると、ディスプレイに [お断り] が表示されます。

### お知らせ

- お断りの設定をしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音は鳴りません（親機のディスプレイが点灯します）。

・途中でやめるとき：[停止]

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

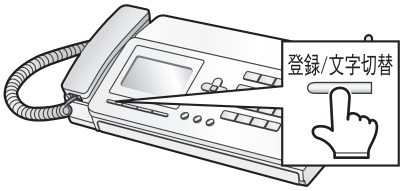
# 特定の番号の電話を受けない（特定番号お断り）

**ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です**

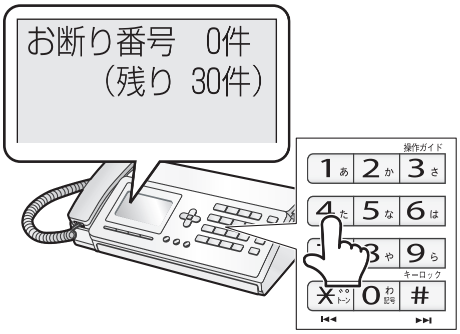
電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

## お断りしたい番号を登録する

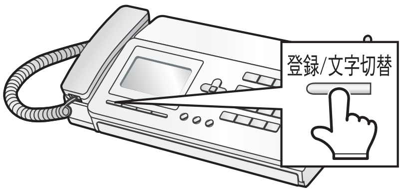
### 1 登録/文字切替 を押す



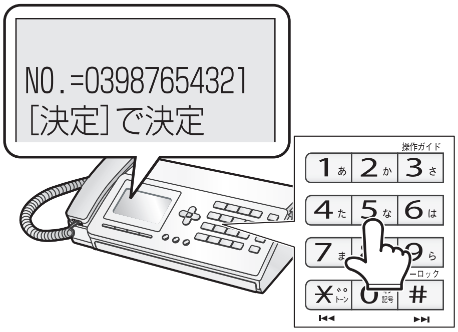

### 2 5な 4た と順番に押す



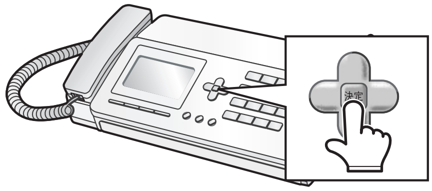

### 3 登録/文字切替 を押す



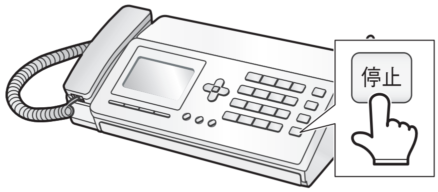

### 4 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（最大20ケタ）




### 5 決定 を押す




### 6 停止 を押す




・設定すると、ディスプレイに ⊘お断り と表示されます。

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

### 特定番号お断りの内容について

「この電話は、お受けすることはできません」と３回流れて電話が切れます

### 登録したお断り番号を１件ずつ消すときは

① 登録/文字切替 を押す

② 5な 4た と順に押す

③ (十字キー) で消去したい番号を選ぶ

④ キャッチ/消去 を2回押す

⑤ 停止 を押す

### 登録したお断り番号をすべて消すときは

① キャッチ/消去 を押す

② 5な 2か と順に押す

### 登録したお断り番号のリストをプリントするときは

① 記録紙をセットする

② 登録/文字切替 を押す

③ 9ら 3さ 2か と順に押す

**お知らせ**

●お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。

# 着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

就寝中や電話/ファクスの動作音が気になるときなど、着信音などを鳴らさないように設定ができます（おやすみモード）。

・毎日、あらかじめ設定した特定の時間帯に、おやすみモードにタイマー設定することもできます。
・特定の番号からの電話/ファクスのみ、着信音を鳴らすことができるので、たとえばお子様がひとりでお留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使いかたができます（選んで着信 ☞ 152〜153ページ）。

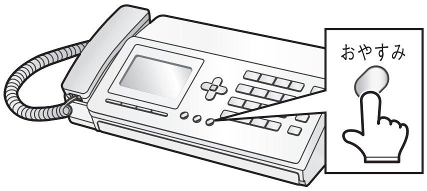
**特定の番号からの電話/ファクスのみ、着信音を鳴らすためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です**

おやすみモードに設定したときは

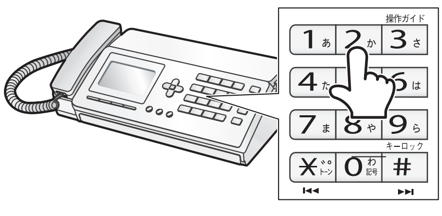
・**親機・子機・ドアホンの着信音が鳴りません（内線の着信音は鳴ります）。**
・特定の番号以外からの着信に留守応答します。
・キータッチ音やFAX/コピー終了音は鳴りません。
・メモリー受信の場合、記録紙がセットされていても、受信したファクスは自動でプリントされません（おやすみモードを解除すると、自動でプリントします）。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動でプリントします。

## 手動でおやすみモードに設定する

**1** おやすみ を押す




**2** 1あ 2か と順に押す



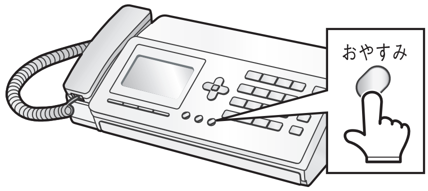

・途中でやめるとき：停止

・設定すると、ディスプレイに 着信音切 が表示され、おやすみ が点灯します。

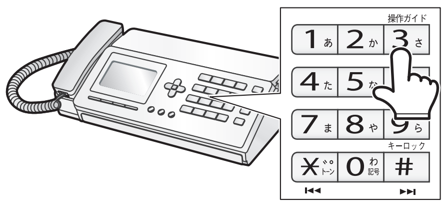
## 特定の時間だけ自動で、おやすみモードに設定する

毎日、特定の時間だけおやすみモードが働くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

**1** おやすみ を押す



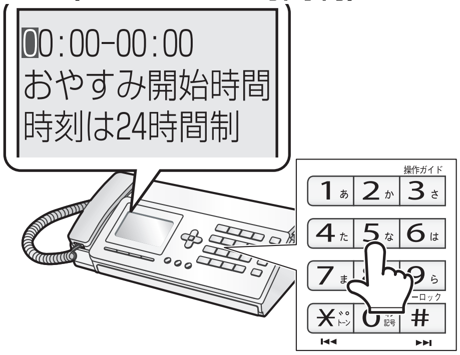

**2** 1あ 3さ と順に押す




次ページへ

# 着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

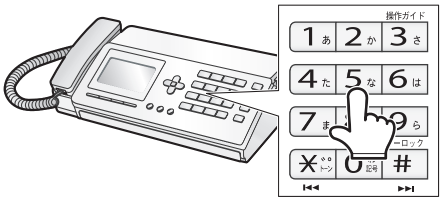
**3** **ダイヤルボタンで開始時間を入力する（4ケタ、24時間制）**



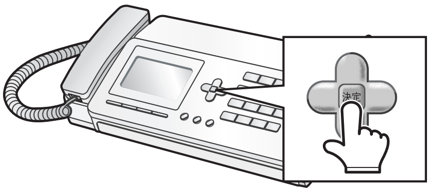

・設定時間になると、ディスプレイに 着信音切 が表示され、おやすみ が点灯します。

・開始時間と終了時間を同じ時刻に設定すると、24時間の設定になります（設定中は常に 着信音切 が表示され、おやすみ が点灯します）。

**4** **ダイヤルボタンで終了時間を入力する（4ケタ、24時間制）**




**5** **決定 を押す**




・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## おやすみモードを解除する

① おやすみ を押す

② 1あ を2回押す

## おやすみモードの設定内容を確認する

① おやすみ を押す

② 3さ を押す

③ 確認が終わったら 停止 を押す

**おやすみモードを設定すると**

**相手の方には…**
留守応答メッセージ（固定応答メッセージ2）が流れます。ファクス送信または留守録音を残すことができます。

**本機では…**
着信音や応答メッセージは流れません。また、メモリー受信に設定しているときは、ファクスを受信しても自動的にプリントされないため、プリントによる音も鳴りません（記録紙受信に設定しているときはプリントします）。

**おやすみモード中にファクスを受信したときは**
おやすみモードを解除したときに、自動でプリントが開始されます。記録紙がない場合は、エラー音が鳴ります。

**おやすみモード中に留守番メッセージを録音したときは**
今から録音 留守 が2回点滅します。おやすみモードを解除しても自動的には再生されませんので、▶再生 を押して再生してください。

### お知らせ

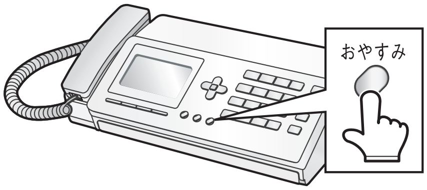
●タイマー設定時のおやすみモードの開始時間と終了時間は、前回に入力した時間が表示されます。お買いあげ時と、「手動で、おやすみモードに設定する」（☞150ページ）にしているときは、「00：00－00：00」と表示されます。

●タイマー設定で、毎日特定時間帯におやすみモードが働くようにしていても、「おやすみモードを解除する」の操作を行うと、タイマー設定も解除されます。再びタイマー設定で使いたいときは、時間を入力し直してください。

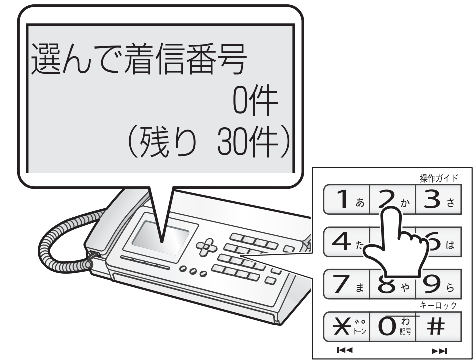
## 着信させる番号を登録する（選んで着信）

**ナンバー･ディスプレイのご契約が必要です。**
電話番号を登録しておくと、おやすみモードが設定されているときでも、登録した番号からの電話／ファクスだけ着信音を鳴らすことができます。登録できる番号は、最大30件です。

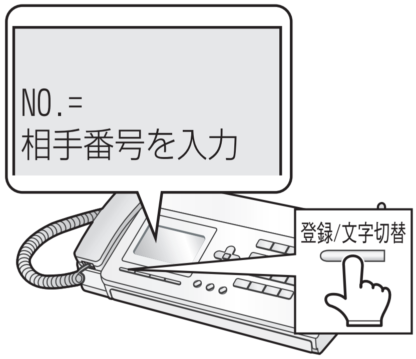
**1** おやすみ を押す




**2** 2か を押す

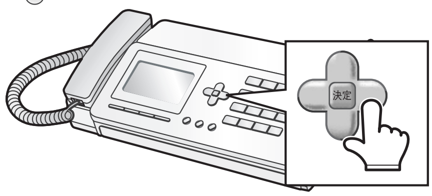



**3** 登録/文字切替 を押す

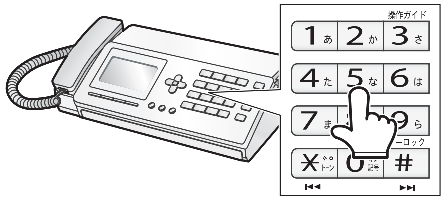



・登録できる番号は最大30件です。

**4** ○電話帳から登録するときは 電話帳 を押して**5**へ

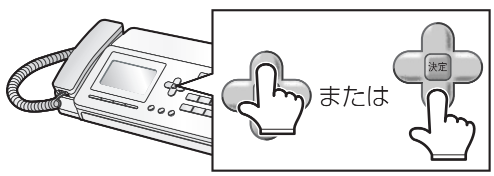



○直接番号を入力して登録するときは、ダイヤルボタンで電話番号を入力し**6**へ



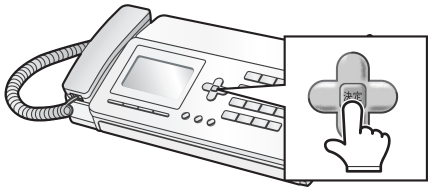

・着信させる番号は、市外局番から登録してください。
・電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
・電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。
・電話帳から登録できる番号は、第1番号のみです。第2番号を登録することはできません。

**5** で登録したい相手を選ぶ

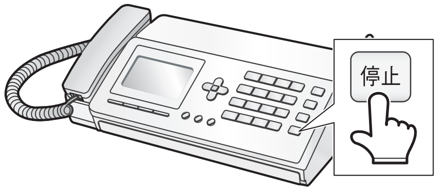



次ページへ

**6** 決定 を押す




**7** 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 登録した番号を1件ずつ消去する

① おやすみ を押す

② 2か を押す

③ （十字キー）で消去したい番号を選ぶ

④ キャッチ/消去 を2回押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止 ／１つ前に戻るとき：（十字キー）

## 登録した番号を全て消去する

① キャッチ/消去 を押す

② 6は 2か と順番に押す

### お知らせ

●FAX優先またはFAX専用（☞104〜105ページ）に設定しているときは、おやすみモードを設定すると、選んで着信番号登録で登録した相手の方からの電話にのみFAX優先またはFAX専用が働きます。

●日付・時刻を設定していないとおやすみモードは設定できません。

●非通知・公衆電話・表示圏外お断り（☞147ページ）や、特定番号お断り（☞148ページ）が設定されているときは、お断り登録を優先し、お断りメッセージが流れます。

●登録していない番号からの着信中に受話器を取ると、親機で通話することができます。子機では通話ボタンを押すと、通話することができます。

# 迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）、通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。

### ○ チャイムでお断り

チャイムが鳴るので、「すみません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切ります。

### ○ メッセージでお断り

「この電話はお受けすることはできません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。

### ○ 録音でお断り

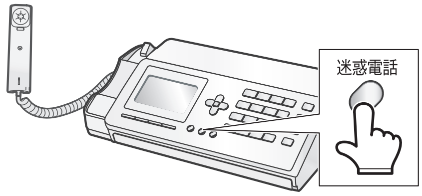
この機能を操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます。

ナンバー・ディスプレイ（☞136ページ）をご契約でないときもお使いいただけますが、ナンバー・ディスプレイをご利用のときは次の機能がお使いいただけます。

- ●電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。
- ●非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、一定時間だけ同じ種別の着信をお断りすることもできます（迷惑電話拒否機能）。

## 親機で設定する

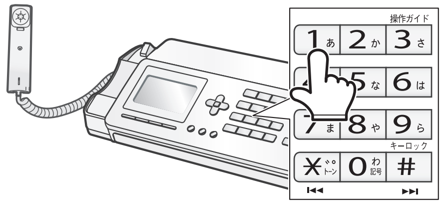
**1** 通話中に 迷惑電話 を押す




**2** ○ [チャイムでお断り]を選ぶときは 1あ を押す

○ [メッセージでお断り]を選ぶときは 2か を押す

○ [録音でお断り]を選ぶときは 3さ を押す




・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☞148ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
・「録音でお断り」は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、「戻って録音」（☞122ページ）を行ってください。
・「録音でお断り」 は、「戻って録音」（☞122ページ）を保存していても使用することができます。

## 子機で設定する

**1** 通話中に 迷惑電話 を押す



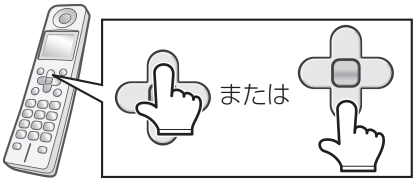

**2** でお断りの種類を

○ [チャイムでお断り]

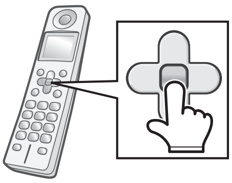
○ [メッセージお断り]

○ [録音でお断り]

から選ぶ




**3** を押す



・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☞148ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。

### 間違えて操作してしまったときは

**「チャイムでお断り」の操作をしたとき：**

親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に 停止 を押します。このときは自動的に特定番号や非通知などのお断り設定をしません。

また、子機では自動的に設定することを止められません。

**「メッセージでお断り」「録音でお断り」の操作をしたとき：**

親機では、お断りメッセージが流れている間に、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

子機で「メッセージでお断り」を操作したときは、お断りメッセージが流れている間に 通話 または スピーカーホン 発信/ハ。 を押します。

子機で「録音でお断り」を操作したときは、通話 を押してください。

### 間違えて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞149ページ）。

また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストをプリント（☞149ページ）して確認してください。

### 間違えて非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、[なし]に設定してください（☞147ページ）。

### [チャイム後自動設定] の設定をするには

「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [する] に設定されています。

① 登録/文字切替 を押す

② 5な 5な と順に押す

③[しない] を選ぶときは 1あ を、
[する] を選ぶときは 2か を押す

④ 停止 を押す

**お知らせ**

- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- 子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。子機で操作してください。
- 「今から録音」したあとは、録音でお断りが使用できません。
- 子機で「録音でお断り」を再生中に 切 を押したり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

# ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイとは、電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービスです（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ）。

**このサービスを利用するには、ネーム・ディスプレイの利用契約（有料）のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。詳しくは局番なしの116にお問い合わせください。**
**サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が［使用する］になっていることを確認してください（☞137ページ）。**

**ひかり電話などをご利用のときは、このサービスはご使用になれません。**

## 電話がかかってきたときのディスプレイ表示

**親機の表示**

デカ文字着信(☞126ページ)が［使用する］のとき

友人

デカ文字着信(☞126ページ)が［使用しない］のとき

友人
03123456

**子機の表示**

友人

03123456
((( 着信 )))

**着信情報**

電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。

### お知らせ

- かかってきた電話番号が親機または子機の電話帳に登録している方と一致したときは、登録している名前を表示します（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても、発信者番号が親機または子機の電話帳に登録している電話番号と一致すると、親機または子機の電話帳に登録している名前を表示します）。親機または子機の電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。
- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイ上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☞135ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

# 記録紙に白や黒の線が入るときは

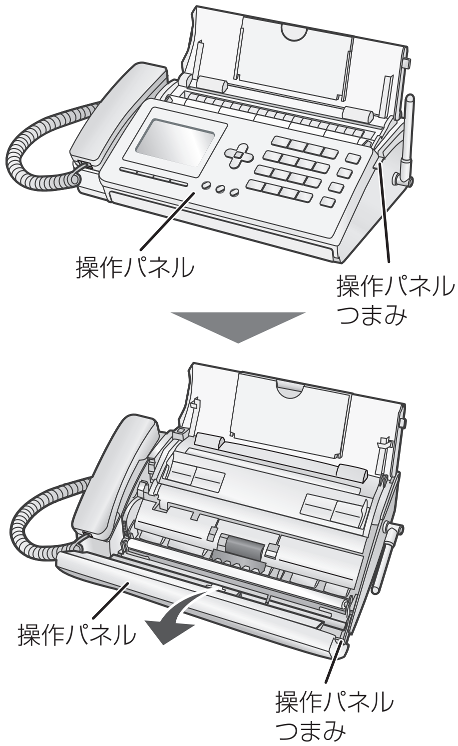
コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。
こんなときは、読み取り部を清掃してください。

## 読み取り部を清掃する

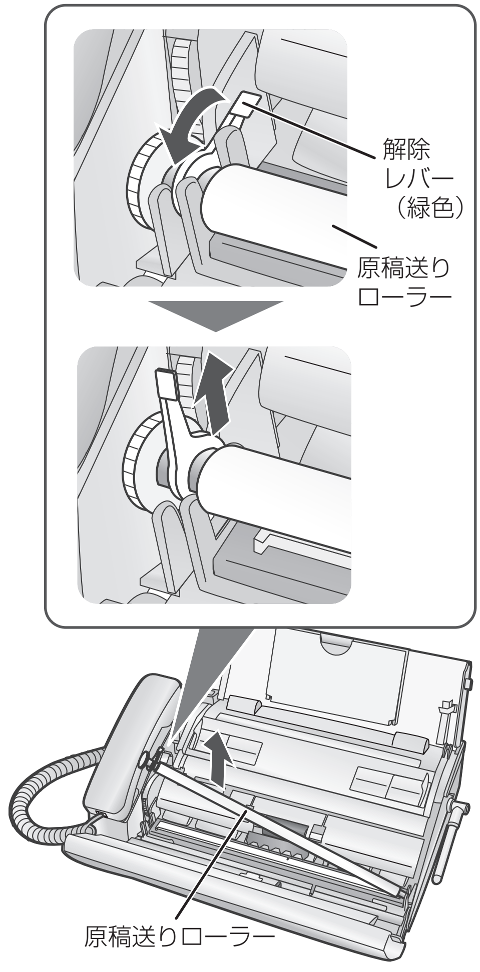
**1** 記録紙トレイつまみを持って、記録紙トレイを後ろに起こす



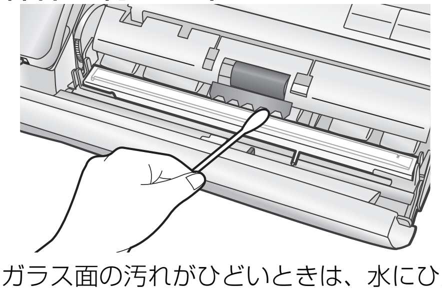

**2** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす




**3** 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げて、はずす



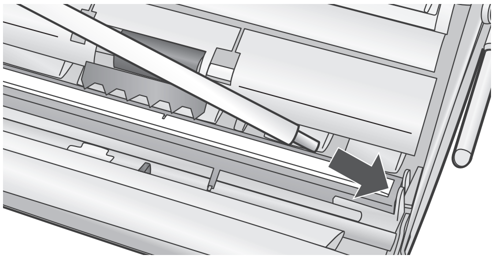

**4** 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



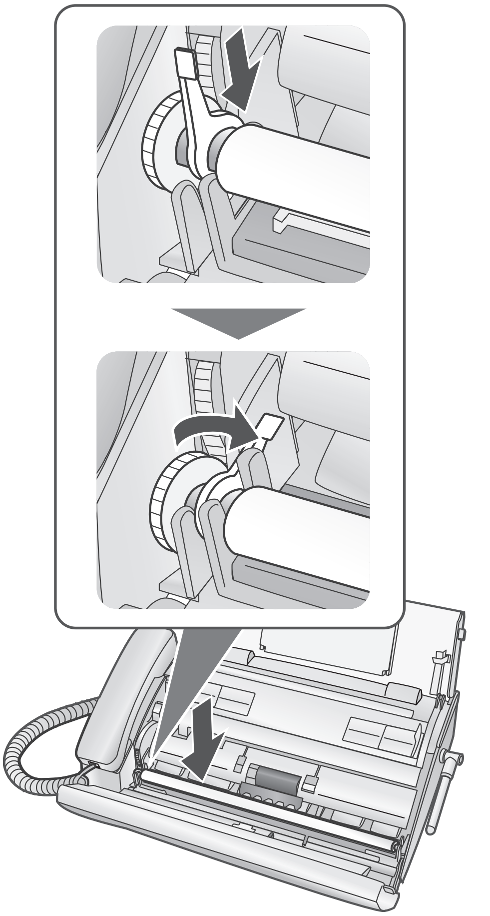
・ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

次ページへ

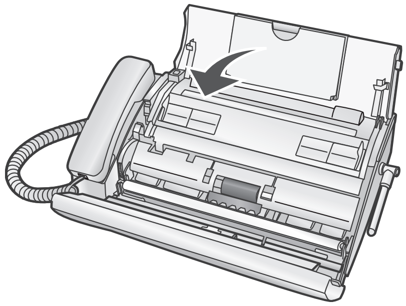
## 5 原稿送りローラーの右端を穴にさしこむ



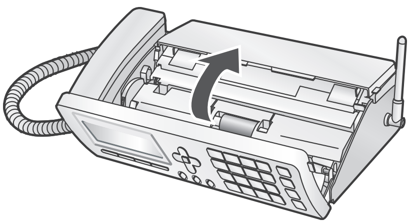
## 6 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



## 7 記録紙トレイを閉める



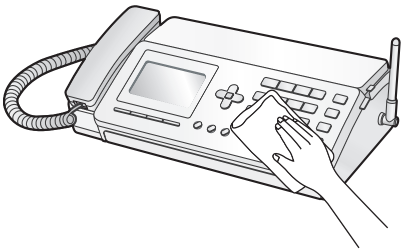
## 8 操作パネルを閉める



# お手入れのしかた

## 親機や子機を清掃する

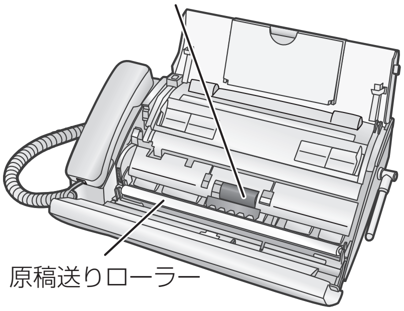
お手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。

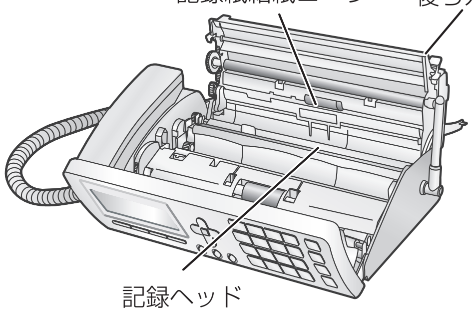




## 記録ヘッドやローラーを清掃する

原稿や記録紙に汚れがつくときは、親機内部の記録ヘッドやローラーを乾いた柔かい布で清掃してください。
ローラーの部分は回しながらふいてください。




後ろカバーの開けかた ☞ 32ページ 手順 **1** ～**2**

### 汚れが落ちないときは

・コピーして、まだ汚れているときは、もう一度清掃し直してください。
・コピーが正常で、受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側の読み取りが悪い場合があります。

### お知らせ

- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。
- 汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。
- 記録ヘッドは熱くなっている場合があります。電源コードを抜いてよく冷ましてから清掃してください。

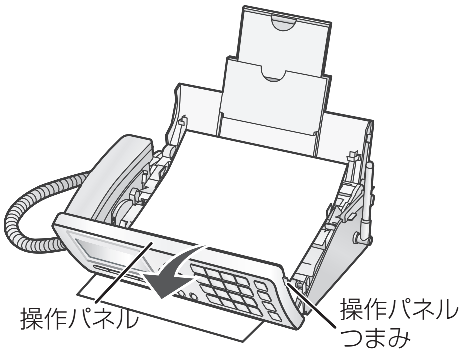
# 原稿や記録紙がつまったときは

## 原稿がつまったときは

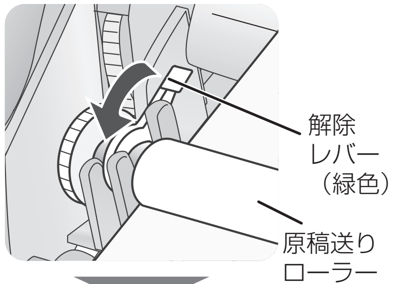
原稿がつまったときは、まず「原稿を取り出す」(☞92ページ) の操作（登録/文字切替 ▶ 0 わ 記号）をしてください。

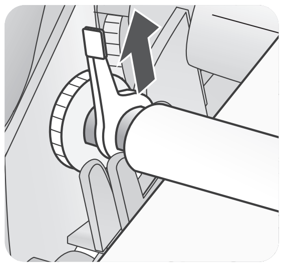
排出されないときは、次の手順で取り除いてください。記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

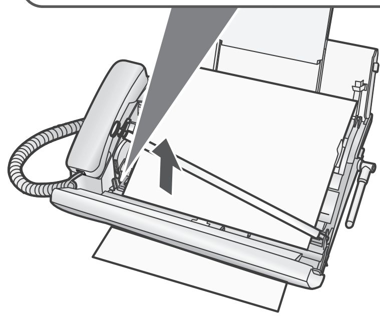
**1** 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす




**2** 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる

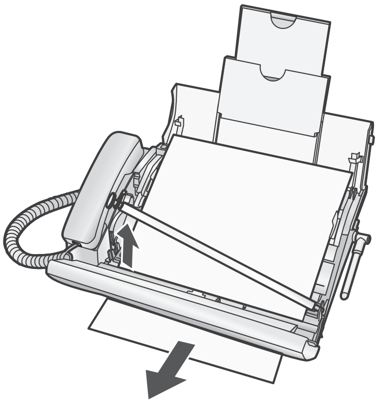




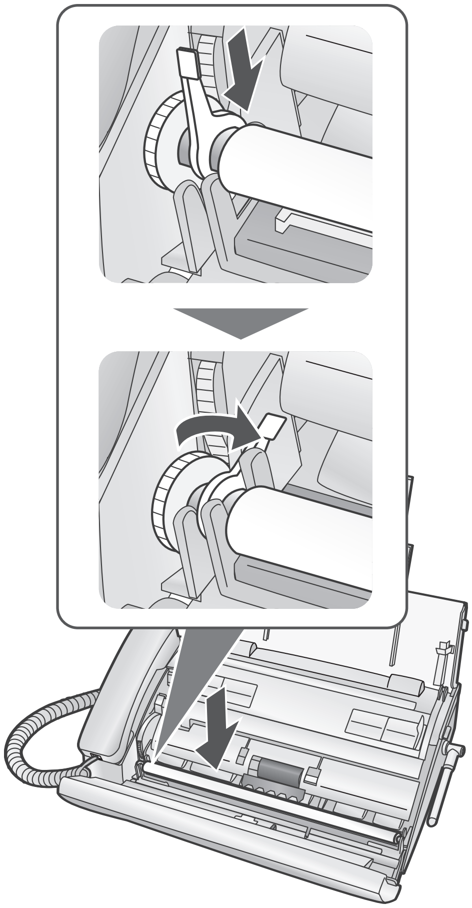
次ページへ

## 3 つまった原稿を取り除く



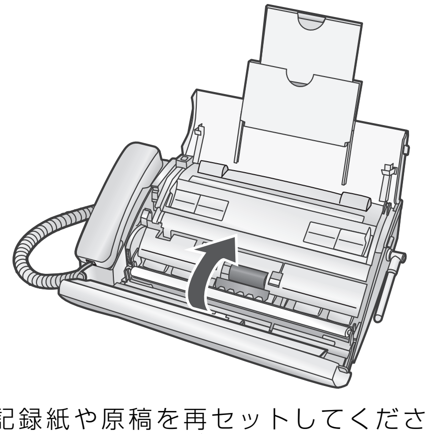
- つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っぱると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
- 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

## 4 原稿送りローラーを戻し、解除レバーを後ろに戻す



- 原稿送りローラーがはずれた場合は、ローラーの右端を穴にさしこんでから、左端（解除レバーの側）を戻してください。

## 5 操作パネルを閉める

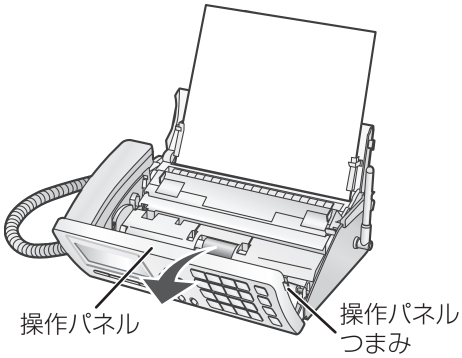


- 記録紙や原稿を再セットしてください（☞35、90ページ）。

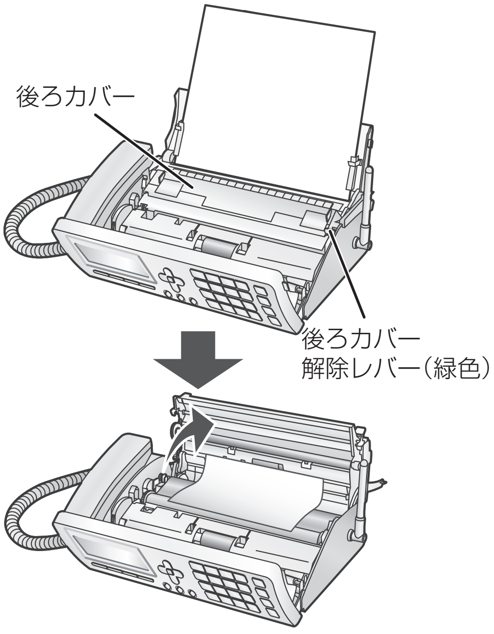
## 記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。
プリントの途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。
そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☞33〜34ページ）。
記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

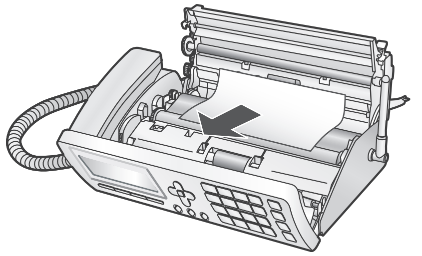
### 1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす




### 2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

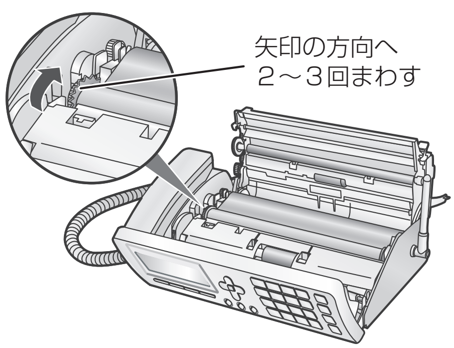



### 3 つまった記録紙を取り除く

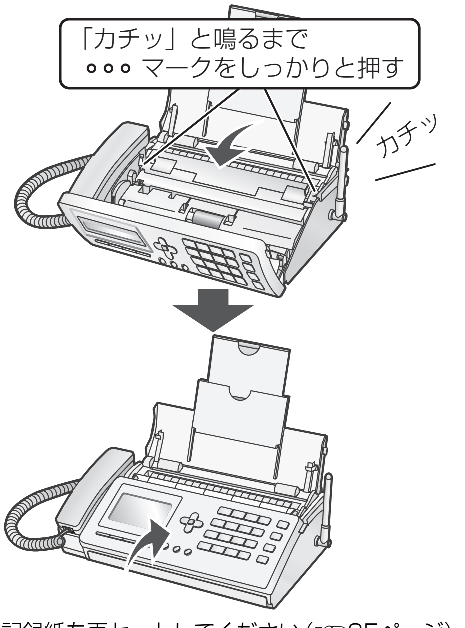


- 操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- 記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

### 4 インクリボンのたるみを取る




### 5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める




- 記録紙を再セットしてください（☞35ページ）。

# こんなときは（親機）

## 動作しない

| | |
|---|---|
| ●電話機コードや電源コードがはずれていませんか？<br>→電話機コード、電源コードをしっかりと接続します。それでも動作しないときは、お買いあげの販売店にご相談ください。 | 23 |
| 全く動作しないときなど、電源を入れなおしたり、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。 | 176 |

## 電話を…

| | | |
|---|---|---|
| かけられない | まずは「電話がかけられないときは…」をご確認いただき、お電話がかかるかどうかご確認ください。 | 52 ～ 53 |
| | ●電話回線の種類は正しく設定されていますか？<br>→正しく設定します。 | 28 |
| | ●停電になっていませんか？<br>→停電のときは電話をかけることはできません。 | 175 |
| | ●子機が使用中ではありませんか？<br>→ご使用が終わってから電話をかけます。 | − |
| | ●ISDNやADSLをお使いになっていませんか？<br>→ISDNをお使いのときは、回線種別を［トーン］に、ADSLをお使いのときはご契約の回線種別に設定してください。 | 28、<br>29 ～ 30 |
| | ●IP電話やひかり電話をお使いになっていませんか？<br>→IP電話やひかり電話をお使いのときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。 | − |
| | ●ひかり電話をお使いのときに携帯とくとくダイヤルを設定していませんか？<br>→携帯電話に電話がつながらなくなりますので、携帯とくとくダイヤルを［使用しない］に設定してください。 | 109 ～ 110 |
| 携帯電話にかけられない | ●ひかり電話をお使いのときに携帯とくとくダイヤルを設定していませんか？<br>→携帯電話に電話がつながらなくなりますので、携帯とくとくダイヤルを［使用しない］に設定してください。 | 109 ～ 110 |
| 受けられない | ●停電になっていませんか？<br>→停電のときは電話を受けることはできません。 | 175 |
| | ●子機を優先呼出に設定していませんか？<br>→優先呼出を解除します。 | 127 |
| | ●受信モードを［FAX専用］に設定していませんか？<br>→［FAX優先］または［設定しない］にします。 | 104 ～ 105 |
| | ●おやすみモードを設定していませんか？<br>→［使用しない］にします。 | 150 ～ 151 |
| | ●各種お断りを設定していませんか？<br>→［なし］に設定します。 | 147 ～ 156 |
| | ●モデムダイヤルインサービスを契約しているときは、親機で受けられない設定になっている可能性があります。 | 112 ～ 113 |

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。172ページも参照してください。

## 着信音が…

| | | |
|---|---|---|
| 鳴らない<br>（聞こえにくい） | ●着信音を「切」に設定していませんか？<br>（着信音が小さすぎませんか？）<br>→着信音の音量を変えます。<br>●子機を優先呼出に設定していませんか？<br>→優先呼出を解除します。<br>●受信モードを[FAX優先] または [FAX専用] に設定していませんか？<br>→[設定しない] に設定します。<br>●おやすみモードを設定していませんか？<br>→[使用しない] にします。<br>●各種お断りを設定していませんか？<br>→[なし] に設定します。 | 39<br>127<br>104～105<br>150～151<br>147～156 |
| 設定している音とちがう | ●ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分けの機能が働いている可能性があります。<br>●「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」をご利用のときは、固定の着信音で鳴ります。<br>●お買いあげ時は「誰からコール」と「どこからコール」が [使用する] になっています。「誰からコール」を[使用する] に設定していると、電話帳に登録している相手の名前を音声でお知らせします。電話帳に登録されていない相手からかかってくると、「どこからコール」で地域名や携帯電話、PHSからの電話であることを音声でお知らせします。<br>→「誰からコール」と「どこからコール」をやめたいときは、「誰からコール」を [使用しない] に設定してください。<br>→「どこからコール」だけをやめたいときは、「どこからコール」を [使用しない] に設定してください。<br>●受信モードを[FAX優先] にしていると、相手の方から電話がかかってきたときは[電話ベル音]が鳴ります。<br>●モデムダイヤルインサービスを契約しているときは、モデムダイヤルイン鳴り分けの機能が働いている可能性があります。 | 145<br>138～140<br>139<br>140<br>104<br>114～115 |

## スピーカー音が鳴らない（聞こえにくい）

| | |
|---|---|
| ●音量の設定が小さくなっていませんか？　→適当な大きさに調節します。 | 40 |

## おしゃべり電話帳（音声電話帳）、誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声が聞き取りにくい

| | |
|---|---|
| ●親機のスピーカー音量を大きくしたり、誰からコールや誰あてコールの場合、アクセントを変更します。 | 40、72、139 |
| ●音声合成システムで作った音なので、肉声に比べると聞き取りにくいことがあります。 | － |

## 通話中に…

| | | |
|---|---|---|
| 相手の方の声が聞こえにくい | ●受話音量が小さすぎたり、大きすぎたり（音が割れたり）しませんか？<br>→受話音量を調整します。 | 40 |
| こちら側の声が相手の方に届かない／聞き取りにくいと言われる | ●受話器の下の穴（マイク）を手でふさいでいませんか？<br>→ふさがないように正しく持ちます。<br>●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。<br>→送話音量を大きくします。 | －<br>41 |
| 雑音が入る | ●電話機コードと電源コードをいっしょに束ねていませんか？<br>→できるだけ離して接続します。<br>●受話音量が大きすぎると、雑音が入るときがあります。 | － |

### 通話中に…

| 症状 | 確認・対処 | ページ |
|---|---|---|
| 通話を録音できない | ●メモリーがいっぱいになっていませんか？<br>→メモリー受信データがあるときは、プリント／消去します。<br>→不要な録音を消去します。<br>●「戻って録音」と「今から録音」を同じ通話中に操作しようとしていませんか？<br>→「戻って録音」を録音すると、「今から録音」は使用できません。また、「今から録音」を録音すると、「戻って録音」は使用できません。 | <br>106～107<br>89<br><br><br>119、122 |
| 通話が途切れる | ●キャッチホン・ディスプレイをご利用でないのに、設定が[使用する] になっていませんか？<br>→キャッチホン・ディスプレイをご利用でない場合は、[使用しない] に設定します。 | <br><br>135 |

### 通話中や相手側で保留中に、突然ファクス受信に切り替わる

| | |
|---|---|
| ●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。<br>→頻繁におこるときは、おまかせ受信を [なし] にします。 | <br>180 |

### 原稿がまっすぐに入っていかない

| | |
|---|---|
| ●原稿ガイドは原稿の幅に合わせて調節されていますか？<br>→原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。<br>●原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていませんか？<br>→紙片などの異物を取り除きます。 | <br>90<br><br>– |

### 記録紙が…

| 症状 | 確認・対処 | ページ |
|---|---|---|
| よくつまる（送り込まれない）／<br>２枚以上送り込まれる | ●記録紙押さえの間にまっすぐセットしていますか？<br>→まっすぐセットしてください。<br>●よくさばいてからセットしていますか？<br>→よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。<br>→記録紙トレイを開いたときや、記録紙を追加するときも、いったん記録紙を取り出して、よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。<br>●記録紙を入れすぎていませんか？<br>→一度にセットできるのは15枚までです。<br>●当社推奨品をお使いですか？<br>→当社推奨品をお使いください。 | <br>35<br><br>35<br>35<br><br>35<br><br>177 |
| 白紙で出てくる | ●コピーをしているときは、原稿を裏向きにセットしていますか？<br>→正しくセットしてください。<br>●ファクス受信をしているときは、相手の方が原稿の裏表を間違えてセットしているかもしれません。<br>→相手の方に確認します。 | <br>90<br><br>– |

### コピーすると…

| 症状 | 確認・対処 | ページ |
|---|---|---|
| 白紙で出てくる | ●原稿が表向きにセットされていませんか？<br>→裏向きにセットします。 | <br>90 |
| 画像が悪い<br>（白や黒い線が入る） | ●記録ヘッドや読み取り部（ガラス）が汚れていませんか？<br>→汚れをふき取ります。<br>●記録紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社の推奨品をご使用ください。<br>●インクリボンは当社の純正品をお使いですか？<br>→当社の純正品をお使いください。 | <br>158～160<br><br>177<br><br>177 |

### ファクスを…

| 症状 | 原因・対処 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 送れない | ●原稿は正しくセットされていますか？<br>→正しくセットしてください。<br>●相手の方が、ファクス受信に切り替わっていないかもしれません。また、相手の方のファクスの記録紙がなくなっているかもしれません。<br>→相手の方に確認します。 | 90<br><br><br>– |
| 自動送信しない | ●「発信音検出」の設定を [なし] にするか、受話器を取って通話してください。<br>●相手の方が、ファクス受信に切り替わっていないかもしれません。<br>→相手の方に確認します。 | 181<br><br>– |
| 受けられない | ●メモリーがいっぱいになっていませんか？<br>→メモリー受信データをプリント／消去します。<br>→不要な録音を消去します。<br>→メモリー残量が充分でも、写真原稿などを受信すると、受信中にメモリーがいっぱいになる場合があります（受信データはメモリーに残っています）。このようなときは、FAX受信方法の設定を [記録紙受信] にしてください。<br>●記録紙をセットしていない状態で、FAX受信方法を [記録紙受信] にしていませんか？<br>→記録紙をセットしてから、相手の方にもう一度ファクスを送ってもらってください。<br>●留守設定などで、応答メッセージを流してファクスを受けるときは、「メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。<br>→それぞれの待ち時間の設定を長くしてください。 | 106～107<br>89<br>180<br><br>35<br><br>179 |

### ファクスを送信したが…

| 症状 | 原因・対処 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 相手の方の記録紙に何もプリントされない | ●原稿を表向きにセットしていませんか？<br>→原稿の送る面を裏向きにセットします。 | 90 |
| 相手の方に届いたファクスの画像が悪い | ●原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）が汚れていませんか？<br>→汚れをふき取ります。 | 158～160 |
| [応答がありません] と表示される | ●電話帳を使ってファクスを送るときは、相手の方がファクス受信に切り替わっていないと送れないことがあります。<br>→受話器を取ってから電話帳で電話をかけ、相手の方と通話してからFAX／コピーボタンを押します。 | 94 |

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。172ページも参照してください。

### ファクスを受信したが…

| 症状 | 原因・対処 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 記録紙が白紙で出てくる | ●相手の方がファクスを送るときに原稿の向きを裏表逆にセットしている場合もあります。<br>→相手の方に確認します。 | – |
| ファクスの画像が悪い | ●記録紙は当社の推奨品をお使いですか？<br>→当社の推奨品をご使用ください。<br>●インクリボンは当社の純正品をお使いですか？<br>→当社の純正品をお使いください。<br>●記録ヘッドや記録紙給紙ローラーは汚れていませんか？<br>→汚れをふき取ります。<br>●雷が鳴っていませんでしたか？<br>→回線の状態が悪くなっていることがあります。<br>●キャッチホンを利用していませんか？<br>→受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。 | 177<br>177<br>160<br>–<br>– |

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。172ページも参照してください。

### 各種サービスを受けられない

| | |
|---|---|
| ●ダイヤル回線で各種情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えましたか？<br>→各種情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えます。 | 51 |
| ●ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。<br>→各種契約会社にお問い合わせください。 | – |

### 留守モードに設定しても…

| | | |
|---|---|---|
| 留守ボタンを押しても留守設定できない<br>自分で作った応答メッセージが流れない<br>用件録音できない（用件録音されていない） | ●メモリーがいっぱいになっていませんか？<br>→メモリー受信データをプリント／消去します。<br>→不要な録音を消去します。 | 106～107<br>89 |
| 留守モードを解除して再生しても、留守ボタンが点滅している | ●未再生の録音がありませんか？<br>→未再生の録音を再生します。 | 87～88 |

### 設定しているのに、ディスプレイに [FAX 優先 ] や [FAX 専用 ] の表示が出ない

| | |
|---|---|
| ●留守モードに設定していませんか？<br>→留守設定を解除します。 | 84 |

### FAX 優先や FAX 専用にしているのに、着信時、留守の応答メッセージが流れてしまう

| | |
|---|---|
| ●留守モードに設定していませんか？<br>→留守設定を解除します。 | 84 |

### リモート操作ができない / 応答メッセージが流れない

| | |
|---|---|
| ●暗証番号を登録していますか？<br>→暗証番号を登録します。 | 133 |

### 日付・時刻の表示がおかしい

| | |
|---|---|
| ●停電や電源が切れたとき（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）は、日付・時刻の設定は保持されません。<br>→子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ日付・時刻が自動的に転送されます。 | 181 |
| →日付・時刻を設定し直します。 | 25 |

### ディスプレイに本機の商品案内が表示され音楽が流れる

| | |
|---|---|
| ●店頭などで商品案内に使用される「デモモード」が起動しています。<br>→デモ起動を [しない] に設定します。 | 183 |

# こんなときは（子機）

## 動作しない

| | |
|---|---|
| ●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。 | 36 |
| ●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機を戻して充電します。 | 36 ～ 37 |

## 電話をかけられない／受けられない

| | |
|---|---|
| ●親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？<br>→正しく接続します。 | 23 |
| ●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？<br>→他の電気製品から離れて親機を設置し、子機を使用します。 | 13 ～ 15 |
| ●親機のアンテナはきちんとまっすぐに立てていますか？<br>→アンテナをまっすぐに立ててください。 | 23 |
| ●別の所で親機や他の子機を使用していませんか？<br>→使用が終わってから電話をかけます。 | – |
| ●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機を戻して充電します。 | 36 ～ 37 |
| ●親機から離れすぎていませんか？<br>→電波が届く範囲で使います。 | 13 |
| ●電波が干渉しやすい環境で使っていませんか？<br>→少し動かしてみるか、場所を少し移動してみます。 | – |
| ●無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？<br>→親機、子機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。 | – |
| →それでも電話がつながらない場合は、電波干渉を起こしている可能性があるので、回避チャンネル設定を変更してみてください。 | 181 |
| ●停電になっていませんか？<br>→停電のときは電話をかけることはできません。 | 175 |

※ ADSLをご利用の場合、ADSLの影響を受けて上記の現象が起こることがあります。172ページも参照してください。

## 充電ができない

| | |
|---|---|
| ●充電器の電源コードがコンセントから外れていませんか？<br>●充電池のコネクタが外れていませんか？<br>→正しく接続します。 | 36 |

## 着信音が…

| | | |
|---|---|---|
| 鳴らない（聞こえにくい） | ●着信音を [切] や [小] に設定していませんか？<br>→着信音の音量を変えます。 | 42 |
| | ●充電池の容量が少なくなっていませんか？<br>→充電器に子機を戻して充電します。 | 36 ～ 37 |
| | ●親機や他の子機、PHS、携帯電話の充電器などと一緒に置いていませんか？<br>→できるだけ離して設置してください。 | 13 ～ 15 |
| | ●親機がコピー中、プリント中ではありませんか？<br>→コピーやプリントが終わらないと子機は使用できません。 | – |
| | ●ダイヤルインサービスを契約しているときは、特定の親機または子機のみ着信する設定にすると、他の親機または子機では着信音が鳴りません。<br>→設定を変更してください。 | 112 ～ 113 |
| | ●無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？<br>→「回避チャンネル設定」を変更してください。 | 181 |
| | →子機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。 | – |
| | ●「非通知／公衆電話／表示圏外お断り」「特定番号お断り」「迷惑電話お断り」「おやすみモード」が設定されていませんか？<br>→設定を解除してください。 | 147 ～ 156 |

### 着信音が…

| | | |
|---|---|---|
| 設定している音とちがう | ●ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分け機能が働いている場合があります。<br>●ダイヤルイン鳴り分けとナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けを同時に設定していませんか？<br>→同時に設定している場合は、ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分けが優先されます。 | 146<br>–<br>– |

### スピーカー音が聞こえにくい

| | |
|---|---|
| ●音量の設定が小さくなっていませんか？<br>→スピーカー音量を大きくします。 | 44 |

### 通話中に…

| | | |
|---|---|---|
| 相手の方の声が聞こえにくい | ●受話音量が小さくなってたり大きくなったりしていませんか？<br>→受話音量を調整します。 | 44 |
| こちら側の声が相手の方に届かない | ●子機の送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？<br>→ふさがないように正しく持ちます。<br>●回線の状態などによっては、聞こえにくい場合があります。<br>→送話音量を大きくします。 | –<br>41 |
| 受話音量が大きすぎる | ●受話音量が大きくなっていませんか？<br>→受話音量を調整します。 | 44 |
| 雑音が入る／相手の方の声がとぎれる／音が大きくなったり小さくなったりする | ●親機と子機が離れすぎていませんか？<br>→雑音が入らない位置で子機を使用します。<br>●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？<br>→他の電気製品から離れて親機を設置し、子機を使用します。<br>●親機のアンテナに電源コードや電話機コードを巻き付けていませんか？<br>→アンテナから電源コード、電話機コードを取ります。<br>●アンテナをまっすぐに立てていますか？<br>→アンテナをまっすぐに立てます。<br>●無線LAN機器やルータなどを、近くでお使いではありませんか？<br>→親機をそれらの機器からできるだけ離して設置してください。<br>→子機で通話中にノイズが入るときは、ノイズの入らない場所まで移動してください。<br>→それでもノイズが入る場合は、電波干渉を起こしている可能性があるので、回避チャンネル設定を変更してみてください。<br>●電波干渉を受けているときは、雑音が入ったり通話が切れてしまうことがあります。<br>→いったん電話を切り、もう一度通話してみて、異常がなければ故障ではありません。 | 13<br>13～15<br>13<br>23<br>–<br>–<br>181<br>– |

### 通話中や相手側で保留中に、突然ファクス受信に切り替わる

| | |
|---|---|
| ●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。<br>→頻繁におこるときは、おまかせ受信を [なし] にします。 | 180 |

### 登録していた日時が、自動的に変更される

| | |
|---|---|
| ●親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。たとえ親機の日時登録がまちがっていても、親機の登録が優先されます。<br>→親機の日時登録を正しく設定してください。<br>→親機の日時登録を転送したくないときは、時計バックアップを [使用しない] に設定してください。 | 45<br>181 |

# こんなときは（ナンバー・ディスプレイ）

## ナンバー・ディスプレイで…

| | | |
|---|---|---|
| 相手の方の電話番号が表示されない | ●ナンバー・ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。<br>●ナンバー･ディスプレイの設定を［使用する］にしていますか？<br>→［使用する］に設定します。<br>●ISDNをご利用で、ターミナルアダプタ（TA）が「ナンバー・ディスプレイを使用しない」設定になっていませんか？<br>→ターミナルアダプタ（TA）の設定を変更してください。<br>●IP電話、ひかり電話、構内交換機（PBX）、VoIPアダプタを使用していませんか？<br>→詳しくは契約電話会社にお問い合わせください。 | 136<br>137<br>－<br>－ |
| 電話帳に登録した相手の方の着信音が変わらない（着信鳴り分けができない） | ●電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？<br>→着信鳴り分け機能をご使用のときは、相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。<br>●「誰からコール」が設定されていませんか？<br>→着信鳴り分け機能と「誰からコール」は併用できません。ご使用になるときは、必ず「誰からコール」を［使用しない］に設定してください。 | 67、73～74<br>138～140 |
| こちら側の電話番号が相手の方の電話機等に表示されない | ●こちら側の電話番号を相手の方の電話機やファクスに表示する（通知する）／しないは、こちら側で現在お選びの通知方法によります。<br>また、相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用になっていることが必要です。 | － |

## ネーム・ディスプレイで…

| | | |
|---|---|---|
| 相手の方の名前や電話番号が表示されない | ●ネーム・ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とネーム・ディスプレイの契約が必要です。<br>●相手の方が発信者名の通知を申し込んでいないときは表示されません。ただし、電話番号が親機または子機の電話帳に登録している番号と一致すると、親機または子機の電話帳に登録している名前を表示します。<br>●相手の方が公衆電話･携帯電話･PHSや国際電話から電話をかけていませんか？<br>→相手の方が公衆電話・携帯電話・PHS や国際電話から電話をかけているときは、発信者名は表示されません。 | 157<br>－<br>－ |

## キャッチホン・ディスプレイで…

| | | |
|---|---|---|
| 相手の方の電話番号が表示されない | ●キャッチホン・ディスプレイの利用契約をされましたか？<br>→表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンⅡ、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。<br>●キャッチホン・ディスプレイとナンバー・ディスプレイを［使用する］に設定していますか？<br>→［使用する］に設定します。 | 135<br>135、137 |

# こんなときは（ひかり電話などの光回線／IP電話／ADSL／ISDN）

ひかり電話などの光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用の場合、ファクスを正しく設定し、動作に必要なサービス（ナンバー・ディスプレイなど）を契約していても、下記の現象が発生することがあります。

## ひかり電話などの光回線を使っていると…

| | | |
|---|---|---|
| 特定の番号だけつながらない | ●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。 | － |
| 携帯電話に電話がかけられない | ●ひかり電話をお使いのときに携帯とくとくダイヤルを設定すると、携帯電話にかけられなくなります。<br>→携帯とくとくダイヤルを［使用しない］に変更してください。 | 109～110 |
| ナンバー・ディスプレイが動作しない<br>ダイヤルインサービス（マイナンバー／追加番号）が動作しない | ●VoIPアダプタの設定が必要です。<br>→契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については契約電話会社にお問い合わせ願います。 | － |

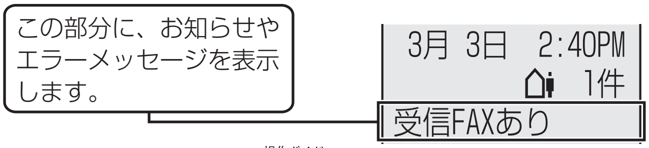
## IP 電話／ ADSL を使っていると…

| | | |
|---|---|---|
| 電話をかけられない | ●契約されている回線種別が合っていないと、0120（フリーダイヤル）などの番号にかからないことがあります。<br>→契約されている回線種別に設定してください。<br>●一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。 | 28<br>－ |
| ファクスの送受信ができない<br>電話やファクスを使っていないのに［外線使用中］などの表示が出る<br>ナンバー・ディスプレイが動作しない | ●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。<br>→改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。 | －<br>191 |
| 電話の声が聞こえにくい・雑音が入る<br>受話器を取ると「キーン」という音が出る | ●スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。<br>→改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。改善されないときは、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。 | －<br>191 |

## ISDNを使っていると…

| | | |
|---|---|---|
| 受話器を取ると「キーン」という音が出る | ●ターミナルアダプタの送話・受話音量を調節してください。それでも改善しないときは、ターミナルアダプタのメーカーへお問い合わせください。 | － |

# こんなときは（エラー表示／エラー音／停電）




・エラーメッセージが表示されている場合は、[操作ガイド 3] を押して対応を音声で確認することができます。
・お知らせやエラーメッセージが1行を超えるときは、1行ずつ交互に表示されます。

## お知らせ／エラー表示

| 表示／エラー音 | 対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| **受信 FAX あり**<br>**[ 受信 FAX] を押す** | ●メモリー受信したデータを、プリントしてください。 | 106～107 |
| **録音あり**<br>**[ 再生 ] を押す** | ●未再生の録音があります。再生してください。 | 87～88 |
| **未再生録音あり**<br>**[ 留守 ] を押す** | ●留守設定中に新しいメッセージが録音されています。留守設定を解除して、再生してください。 | 84、87～88 |
| **原稿づまり**<br>**取り除いて下さい** | ●[登録/文字切替] [0] と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。 | 161～162 |
| **通信エラー（1 ～ 15）**<br>また、「通信エラーがありました。」と聞こえる | ●相手の方に確認の上、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のお客様ご相談窓口までご連絡ください）。 | － |
| **プリンタが高温です**<br>または<br>**プリンタが高温の為**<br>**FAX 中断しました** | ●長時間連続してプリントやコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。 | － |
| **プリンタが異常です**<br>または<br>**プリンタが異常の為**<br>**FAX 中断しました** | ●記録部がエラーを起こしています。 | － |
| **プリンターエラー**<br>または<br>**プリンタエラーの為**<br>**FAX 中断しました** | ●プリント中にエラーが起こりました。 | － |
| **応答がありません** | ●「親機でお話ししてからファクスを送る」の方法で送信してください。 | 90～92 |

| 表示／エラー音 | 対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| **FAX 受信メモリー一杯<br>不要なファクスを消去** | ●メモリー受信した内容をプリントまたは消去します。<br>●不要な録音メッセージを消去します。 | 106～107<br>89 |
| **録音メモリー一杯<br>不要な録音を消去** | ●不要な録音メッセージを消去します。 | 89 |
| **外線自動応答中** | ●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。 | － |
| **外線使用中（1～4）**<br>また、「ツーツー」という音が聞こえる | ●子機を使用中です（1～4は子機番号）。子機の使用が終わるまでお待ちください。 | － |
| **記録紙切れの為<br>FAX 中断しました** | ●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください。記録紙をセットしてから、相手の方にもう一度ファクスを送ってもらってください。 | 35 |
| **子機確認ください** | ●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。 | － |
| **記録紙づまりの為<br>FAX 中断しました**<br>または<br>**記録紙づまり<br>取り除いてください** | ●つまった記録紙を取り除きます。 | 163 |
| **インクリボン切れの為<br>FAX 中断しました**<br>または<br>**インクリボン切れ<br>型番は UX-NR8G/GW** | ●インクリボンを交換します。<br>●緑色のギヤをまわして、インクリボンのたるみをとります。 | 33～34<br>32 |
| **後カバー開いています<br>閉めてください** | ●後ろカバーを閉め直します。 | 32～33 |
| **子機を増設します** | ●親機が子機増設登録モードになっています。<br>別売の増設子機を登録する場合は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。<br>●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。 | －<br>－ |

## 子機を使っているとき

| 表示／エラー音 | 対応 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 「ピーピー」 | ●親機や増設子機が使用中です。<br>●親機の電源コードを接続してください。<br>●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。<br>●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 | ー<br>23<br>13<br><br>ー |
| 「ピピピピ」 | ●名前の文字数やアラーム時刻の設定などが登録範囲を超えています。 | ー |
| 「ピピッ……ピピッ……」 | ●充電器に子機を戻して充電してください。約 1 分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。<br>長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。 | 36 |
| 子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる | ●雑音の少ないところでご使用ください。<br>●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。 | ー<br>181 |

## 停電になったとき

停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

| | |
|---|---|
| 電話機 | ●親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。<br>●子機を使用することはできません。<br>●各種サービスは働きません。<br>●ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。<br>●通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。 |
| 留守番 | ●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。<br>●外出先からのリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。<br>●停電になっても、録音内容は消えません。 |
| ファクス | ●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。<br>●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。<br>送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。<br>受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。<br>●メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。<br>●紙が詰まった場合は、161～163ページを参照し、用紙を取り除いてから再度操作してください。 |
| コピー | ●停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。 |
| 登録した内容 | ●電話帳などに登録されている内容は消えません。<br>●親機の日付・時刻の設定は消えてしまいます。<br>子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。<br>転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。 |

# 故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

- ・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
- ・ボタンが全く効かない。
- ・電話番号リストなどをプリントするとデータがみだれている。
- ・コピーなど、プリントができない状態が続く。
- ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。
修理やアフターサービスをお申しつけになる前に、下記の操作をお試しください。

また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 ☞178ページ）。

## 親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

① [停止] を約15秒以上押したままにする

② ディスプレイに［しばらくお待ちください］と表示されたら、[停止] から指を離す

・自動的に再起動が行われます。

・親機の日付・時刻の設定は消えてしまいます。
子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを［使用する］に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

・[停止] を約15秒以上押したままにしても再起動しない場合は、本機の電源を入れ直してください（☞下記）。

**再起動しても症状が改善されないときは…**

## 電源を入れなおしてみる

**親機を再起動しても改善されないときは、電源コードを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。**

・親機の日付・時刻の設定は消えてしまいます。
子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを［使用する］に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。
転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

**左の操作をしても症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）を行ってみてください。**
**【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、全てのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】**

## 親機を強制リセットする

① 電源コードを電源コンセントから抜く

② [FAX/コピー] と [停止] を同時に押したまま、電源コードを電源コンセントに差し込む

③ ディスプレイに［メモリークリア中］と表示されたら、[FAX/コピー] と [停止] から指を離す

・強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。

・電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください。（☞25ページ）

・強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。
電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、お買いあげの販売店へお申しつけください。

# 別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。
**このデジタルコードレスファクシミリを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。** 純正品以外のインクリボン、推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用されるとプリントがかすれたり、薄くなることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

| 品名 | 形名 | サイズ | 数量 | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|---|
| **ファクシミリ用普通紙** | PP110MA4 | A4サイズ | 250枚 | 630円（税抜価格600円） |

| 品名 | 形名 | サイズ | 数量 | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|---|
| **インクリボン（ギヤ付きタイプ）** | UX-NR8G | A4幅×33m | 1本 | 1,312円（税抜価格1,250円） |
| | UX-NR8GW | A4幅×33m | 2本1組 | 2,415円（税抜価格2,300円） |

ギヤなしタイプのインクリボンは、使用することができません。

| 品名 | 形名 | 部品コード | 流通コード | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|---|
| **子機用充電池※（ニッケル水素電池）** | A-002 | UBATMA002AFZZ | 142 932 0070 | 1,800 円（税抜価格1,715円） |

※シャープエンジニアリング（株）扱い

| 品名 | 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|---|
| **増設子機**（☞118ページ） | JD-KS11 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| | JD-KS15 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| | JD-KS17 | 16,800円（税抜価格16,000円） |
| | JD-KS21 | 19,950円（税抜価格19,000円） |
| | JD-KS25 | 19,950円（税抜価格19,000円） |

| 品名 | 形名 | 希望小売価格 |
|---|---|---|
| **テレビドアホンユニット** | DZ-MH70 | 57,750円（税抜価格55,000円） |
| **ターミナルボックス（ドアホン接続用）** | DZ-T20-WH（白） | 10,500円（税抜価格10,000円） |
| **テレビドアホン対応ターミナルボックス（ドアホン接続用）** | DZ-T30-W（白） | 14,490円（税抜価格13,800円） |
| **ドアホン** | DZ-H30-T（ブラウン） | 4,200円（税抜価格4,000円） |

| 種類 | 部品コード | 流通コード | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|
| **延長コード（モジュラープラグつき）** | | | |
| 5ｍ（2芯）（白） | QCNWG0121AFSA | 142 512 0331 | 535円（税抜価格510円） |
| 10m（2芯）（白） | QCNWG0122AFSA | 142 512 0332 | 819円（税抜価格780円） |
| **ターミナルボックスDZ-T20と、このファクシミリの親機を接続するコード** | | | |
| 5ｍ（6芯）（グレー） | QCNWG0282AFSA | 142 512 0668 | 1,050円（税抜価格1,000円） |
| 10m（6芯）（グレー） | QCNWG0283AFSA | 142 512 0669 | 1,890円（税抜価格1,800円） |
| **ターミナルボックスDZ-T30と、このファクシミリの親機を接続するコード** | | | |
| 5ｍ（6芯）（白） | QCNWG0321AFSA | 142 512 0776 | 1,050円（税抜価格1,000円） |
| 10m（6芯）（白） | QCNWG0322AFSA | 142 512 0777 | 1,890円（税抜価格1,800円） |

**お知らせ**

●希望小売価格は2008年1月現在のものです。
●小さい原稿を送信するときに使用するキャリアシートはご使用になれません。

# 登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

**登録データ初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。**

## 親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外クリア）

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を4回押す

③ 9ら 2か と順番に押す

④ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・電話帳の内容、誰あてコール設定、日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

## 親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳消去）

① キャッチ/消去 を押す

② 7ま 2か と順番に押す

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

・電話帳がすべて消えます。誰あてコール設定は工場出荷時に戻ります。

## 子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

① [決定] を押す

② [上下] で［システム設定］を選び [決定] を押す

```
 電話帳転送
 電池残量
▶システム設定
```

③ [上下] で［登録初期化］を選び [決定] を２回押す

```
 LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
 電波ｻﾎﾟｰﾄ
▶登録初期化
```

・途中でやめるとき：切

・子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

**子機の電話帳に登録した内容をすべて消去するには（☞75ページ）**

### お知らせ

●親機登録データ初期化をしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

# 特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。

## 応答メッセージ待ち時間

留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4秒] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 1あ を2回押す

④ [1秒] を選ぶときは 1あ を押す

[2秒] を選ぶときは 2か を押す

[4秒] を選ぶときは 3さ を押す

[8秒] を選ぶときは 4た を押す

⑤ 停止 を押す

## 発信音待ち時間

応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4秒] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 1あ 2か と順番に押す

④ [1秒] を選ぶときは 1あ を押す

[2秒] を選ぶときは 2か を押す

[4秒] を選ぶときは 3さ を押す

[8秒] を選ぶときは 4た を押す

⑤ 停止 を押す

## お声拝聴

留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 1あ 3さ と順番に押す

④ [あり] を選ぶときは 1あ を押す

[なし] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## 録音時間

留守録の録音時間を設定することができます。
工場出荷時の設定は [30秒] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 1あ 4た と順番に押す

④ [30秒] を選ぶときは 1あ を押す

[1分] を選ぶときは 2か を押す

[2分] を選ぶときは 3さ を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## FAX受信方法

ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。

**[メモリー受信]**：
受信した内容をメモリーに記録してから、自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき､受信データはメモリーに保存されています。

**[記録紙受信]**：
受信した内容を、直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれてプリントされることがあります。

工場出荷時の設定は [メモリー受信] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 2か 1あ と順番に押す

④ [メモリー受信] を選ぶときは 1あ を押す

[記録紙受信] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## おまかせ受信

相手の方が自動送信の場合（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 2か 3さ と順番に押す

④ [あり] を選ぶときは 1あ を押す

[なし] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## 縮小受信

ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小してプリントする機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。
[なし] に設定した場合、相手の方がA4サイズで送信していても､受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれてプリントされることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 2か 4た と順番に押す

④ [あり]を選ぶときは 1あ を押す

[なし]を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 発信音検出

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。
自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。
工場出荷時の設定は [あり] です。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を4回押す

③ 2か 5な と順番に押す

④ [あり] を選ぶときは 1あ を押す

[なし] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## キータッチ音

親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は [あり] です。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を4回押す

③ 3さ 5な と順番に押す

④ [あり] を選ぶときは 1あ を押す

[なし] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## 回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LANなど）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。
工場出荷時の設定は [チャンネル6] です。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を4回押す

③ 4た を押す

④ [チャンネル1]を選ぶときは 1あ を押す

[チャンネル6]を選ぶときは 2か を押す

[チャンネル11]を選ぶときは 3さ を押す

⑤ 停止 を押す

・無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

## 時計バックアップ

停電などで親機の日時登録が消えたときに、子機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったり、子機の日時登録が消えたときに、親機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったりする機能の設定ができます。親機や子機の日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは、日時を転送できません。
工場出荷時の設定は [使用する] です。

① 登録/文字切替 を押す

② ＃ を4回押す

③ 5な 1あ と順番に押す

④ [使用する] を選ぶときは 1あ を押す

[使用しない] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ機能の利用設定ができます。
ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、[使用する] に設定します。
構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは [使用しない] に設定します。
工場出荷時の設定は [使用する] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 6は を押す

④ [使用する] を選ぶときは 1あ を押す

[使用しない] を選ぶときは 2か を押す

⑤ 停止 を押す

## キャッチホン切替時間

キャッチ/消去ボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。
交換機の種類などによっては、キャッチ/消去ボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。
工場出荷時の設定は [0.8秒] です。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 7ま 2か と順番に押す

④ [0.4秒] を選ぶときは 1あ を押す

[0.6秒] を選ぶときは 2か を押す

[0.8秒] を選ぶときは 3さ を押す

⑤ 停止 を押す

## 携帯とくとくダイヤルご利用時のIP電話利用

IP電話をご利用の方が携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信するための設定が必要です（通常の発信はIP電話を利用して行われます）。
IP電話機能を解除して、一般回線を選択するのに必要な番号（加入電話選択番号）を登録できます。
工場出荷時の設定は [なし] です。IP電話をご利用でない方は、この設定を [あり] にしないでください。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 8や 1あ と順番に押す

④ [あり] を選ぶときは 1あ を押す

[なし] を選ぶときは 2か を押し⑦へ

⑤ 番号を入力する（最大6ケタ）（例：「0000」など）

⑥ 決定 を押す

⑦ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

## 携帯とくとくダイヤルで利用する携帯番号帯登録

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話番号の頭4ケタとして、あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、新たに登録してください。番号は最大30 件まで登録できます。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 8や 2か と順番に押す

**登録するときは**

④ 登録/文字切替 を押す

⑤ 番号を入力する（4ケタ）

⑥ 決定 を押す

⑦ 停止 を押す

**消去するときは**

④ 十字キー で番号を選ぶ

⑤ キャッチ/消去 を2回押す

⑥ 停止 を押す

## 携帯とくとくダイヤル機能の現在の設定表示

携帯とくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 8や 3さ と順番に押す

④ 設定の内容を確認する

⑤ 停止 を押す

## デモ起動

商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。

① 登録/文字切替 を押す

② # を4回押す

③ 0わ記号 を押す

④ [しない]を選ぶときは 1あ を押す

[する（回線連動）]を選ぶときは 2か を押す

[する（常に実行）]を選ぶときは 3さ を押す

⑤ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・１つ前に戻るとき：キャッチ/消去

特別設定について

ご参考に

# 区点コード一覧表

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

| 区点1~3桁目 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | | (スペース) | 、 | 。 | ， | ． | ・ | ： | ； | ？ |
| 011 | ！ | ゛ | ゜ | ´ | ｀ | ¨ | ＾ | ￣ | ＿ | ヽ |
| 012 | ヾ | ゝ | ゞ | 〃 | 仝 | 々 | 〆 | 〇 | ー | ― |
| 013 | ‐ | ／ | ＼ | ～ | ∥ | ｜ | … | ‥ | ‘ | ’ |
| 014 | “ | ” | （ | ） | 〔 | 〕 | ［ | ］ | ｛ | ｝ |
| 015 | 〈 | 〉 | 《 | 》 | 「 | 」 | 『 | 』 | 【 | 】 |
| 016 | ＋ | － | ± | × | ÷ | ＝ | ≠ | ＜ | ＞ | ≦ |
| 017 | ≧ | ∞ | ∴ | ♂ | ♀ | ° | ′ | ″ | ℃ | ￥ |
| 018 | ＄ | ￠ | ￡ | ％ | ＃ | ＆ | ＊ | ＠ | § | ☆ |
| 019 | ★ | ○ | ● | ◎ | ◇ | | | | | |
| 020 | | ◆ | □ | ■ | △ | ▲ | ▽ | ▼ | ※ | 〒 |
| 021 | → | ← | ↑ | ↓ | 〓 | | | | | |
| 022 | | | | | | | ∈ | ∋ | ⊆ | ⊇ |
| 023 | ⊂ | ⊃ | ∪ | ∩ | | | | | | |
| 024 | | | ∧ | ∨ | ￢ | ⇒ | ⇔ | ∀ | ∃ | |
| 025 | | | | | | | | | | |
| 026 | ∠ | ⊥ | ⌒ | ∂ | ∇ | ≡ | ≒ | ≪ | ≫ | √ |
| 027 | ∽ | ∝ | ∵ | ∫ | ∬ | | | | | |
| 028 | | | Å | ‰ | ♯ | ♭ | ♪ | † | ‡ | ¶ |
| 029 | | | | | ◯ | | | | | |
| 030 | | | | | | | | | | |
| 031 | | | | | | | ０ | １ | ２ | ３ |
| 032 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | | | | |
| 033 | | | | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ | Ｆ | Ｇ |
| 034 | Ｈ | Ｉ | Ｊ | Ｋ | Ｌ | Ｍ | Ｎ | Ｏ | Ｐ | Ｑ |
| 035 | Ｒ | Ｓ | Ｔ | Ｕ | Ｖ | Ｗ | Ｘ | Ｙ | Ｚ | |
| 036 | | | | | | ａ | ｂ | ｃ | ｄ | ｅ |
| 037 | ｆ | ｇ | ｈ | ｉ | ｊ | ｋ | ｌ | ｍ | ｎ | ｏ |
| 038 | ｐ | ｑ | ｒ | ｓ | ｔ | ｕ | ｖ | ｗ | ｘ | ｙ |
| 039 | ｚ | | | | | | | | | |
| 040 | | ぁ | あ | ぃ | い | ぅ | う | ぇ | え | ぉ |
| 041 | お | か | が | き | ぎ | く | ぐ | け | げ | こ |
| 042 | ご | さ | ざ | し | じ | す | ず | せ | ぜ | そ |
| 043 | ぞ | た | だ | ち | ぢ | っ | つ | づ | て | で |
| 044 | と | ど | な | に | ぬ | ね | の | は | ば | ぱ |
| 045 | ひ | び | ぴ | ふ | ぶ | ぷ | へ | べ | ぺ | ほ |
| 046 | ぼ | ぽ | ま | み | む | め | も | ゃ | や | ゅ |
| 047 | ゆ | ょ | よ | ら | り | る | れ | ろ | ゎ | わ |
| 048 | ゐ | ゑ | を | ん | | | | | | |
| 049 | | | | | | | | | | |
| 050 | | ァ | ア | ィ | イ | ゥ | ウ | ェ | エ | ォ |
| 051 | オ | カ | ガ | キ | ギ | ク | グ | ケ | ゲ | コ |
| 052 | ゴ | サ | ザ | シ | ジ | ス | ズ | セ | ゼ | ソ |
| 053 | ゾ | タ | ダ | チ | ヂ | ッ | ツ | ヅ | テ | デ |
| 054 | ト | ド | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | バ | パ |
| 055 | ヒ | ビ | ピ | フ | ブ | プ | ヘ | ベ | ペ | ホ |
| 056 | ボ | ポ | マ | ミ | ム | メ | モ | ャ | ヤ | ュ |
| 057 | ユ | ョ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | ロ | ヮ | ワ |
| 058 | ヰ | ヱ | ヲ | ン | ヴ | ヵ | ヶ | | | |
| 059 | | | | | | | | | | |
| 060 | | Α | Β | Γ | Δ | Ε | Ζ | Η | Θ | Ι |
| 061 | Κ | Λ | Μ | Ν | Ξ | Ο | Π | Ρ | Σ | Τ |
| 062 | Υ | Φ | Χ | Ψ | Ω | | | | | |
| 063 | | | | α | β | γ | δ | ε | ζ | η |
| 064 | θ | ι | κ | λ | μ | ν | ξ | ο | π | ρ |
| 065 | σ | τ | υ | φ | χ | ψ | ω | | | |
| 070 | | А | Б | В | Г | Д | Е | Ё | Ж | З |
| 071 | И | Й | К | Л | М | Н | О | П | Р | С |
| 072 | Т | У | Ф | Х | Ц | Ч | Ш | Щ | Ъ | Ы |
| 073 | Ь | Э | Ю | Я | | | | | | |
| 074 | | | | | | | | | | а |
| 075 | б | в | г | д | е | ё | ж | з | и | й |
| 076 | к | л | м | н | о | п | р | с | т | у |
| 077 | ф | х | ц | ч | ш | щ | ъ | ы | ь | э |
| 078 | ю | я | | | | | | | | |
| 079 | | | | | | | | | | |
| 080 | | ─ | │ | ┌ | ┐ | ┘ | └ | ├ | ┬ | ┤ |
| 081 | ┴ | ┼ | ━ | ┃ | ┏ | ┓ | ┛ | ┗ | ┣ | ┳ |
| 082 | ┫ | ┻ | ╋ | ┠ | ┯ | ┨ | ┷ | ┿ | ┝ | ┰ |
| 083 | ┥ | ┸ | ╂ | | | | | | | |
| －－あ－－ | | | | | | | | | | |
| 160 | | 亜 | 唖 | 娃 | 阿 | 哀 | 愛 | 挨 | 姶 | 逢 |
| 161 | 葵 | 茜 | 穐 | 悪 | 握 | 渥 | 旭 | 葦 | 芦 | 鯵 |
| 162 | 梓 | 圧 | 斡 | 扱 | 宛 | 姐 | 虻 | 飴 | 絢 | 綾 |
| 163 | 鮎 | 或 | 粟 | 袷 | 安 | 庵 | 按 | 暗 | 案 | 闇 |
| 164 | 鞍 | 杏 | | | | | | | | |
| －－い－－ | | | | | | | | | | |
| 164 | | | 以 | 伊 | 位 | 依 | 偉 | 囲 | 夷 | 委 |
| 165 | 威 | 尉 | 惟 | 意 | 慰 | 易 | 椅 | 為 | 畏 | 異 |
| 166 | 移 | 維 | 緯 | 胃 | 萎 | 衣 | 謂 | 違 | 遺 | 医 |
| 167 | 井 | 亥 | 域 | 育 | 郁 | 磯 | 一 | 壱 | 溢 | 逸 |
| 168 | 稲 | 茨 | 芋 | 鰯 | 允 | 印 | 咽 | 員 | 因 | 姻 |
| 169 | 引 | 飲 | 淫 | 胤 | 蔭 | | | | | |
| 170 | | 院 | 陰 | 隠 | 韻 | 吋 | | | | |
| －－う－－ | | | | | | | | | | |
| 170 | | | | | | | 右 | 宇 | 烏 | 羽 |
| 171 | 迂 | 雨 | 卯 | 鵜 | 窺 | 丑 | 碓 | 臼 | 渦 | 嘘 |
| 172 | 唄 | 欝 | 蔚 | 鰻 | 姥 | 厩 | 浦 | 瓜 | 閏 | 噂 |
| 173 | 云 | 運 | 雲 | | | | | | | |
| －－え－－ | | | | | | | | | | |
| 173 | | | | 荏 | 餌 | 叡 | 営 | 嬰 | 影 | 映 |
| 174 | 曳 | 栄 | 永 | 泳 | 洩 | 瑛 | 盈 | 穎 | 頴 | 英 |
| 175 | 衛 | 詠 | 鋭 | 液 | 疫 | 益 | 駅 | 悦 | 謁 | 越 |
| 176 | 閲 | 榎 | 厭 | 円 | 園 | 堰 | 奄 | 宴 | 延 | 怨 |
| 177 | 掩 | 援 | 沿 | 演 | 炎 | 焔 | 煙 | 燕 | 猿 | 縁 |
| 178 | 艶 | 苑 | 薗 | 遠 | 鉛 | 鴛 | 塩 | | | |
| －－お－－ | | | | | | | | | | |
| 178 | | | | | | | | 於 | 汚 | 甥 |
| 179 | 凹 | 央 | 奥 | 往 | 応 | | | | | |
| 180 | | 押 | 旺 | 横 | 欧 | 殴 | 王 | 翁 | 襖 | 鴬 |
| 181 | 鴎 | 黄 | 岡 | 沖 | 荻 | 億 | 屋 | 憶 | 臆 | 桶 |
| 182 | 牡 | 乙 | 俺 | 卸 | 恩 | 温 | 穏 | 音 | | |
| －－か－－ | | | | | | | | | | |
| 182 | | | | | | | | | 下 | 化 |
| 183 | 仮 | 何 | 伽 | 価 | 佳 | 加 | 可 | 嘉 | 夏 | 嫁 |
| 184 | 家 | 寡 | 科 | 暇 | 果 | 架 | 歌 | 河 | 火 | 珂 |
| 185 | 禍 | 禾 | 稼 | 箇 | 花 | 苛 | 茄 | 荷 | 華 | 菓 |
| 186 | 蝦 | 課 | 嘩 | 貨 | 迦 | 過 | 霞 | 蚊 | 俄 | 峨 |
| 187 | 我 | 牙 | 画 | 臥 | 芽 | 蛾 | 賀 | 雅 | 餓 | 駕 |
| 188 | 介 | 会 | 解 | 回 | 塊 | 壊 | 廻 | 快 | 怪 | 悔 |
| 189 | 恢 | 懐 | 戒 | 拐 | 改 | | | | | |
| 190 | | 魁 | 晦 | 械 | 海 | 灰 | 界 | 皆 | 絵 | 芥 |
| 191 | 蟹 | 開 | 階 | 貝 | 凱 | 劾 | 外 | 咳 | 害 | 崖 |
| 192 | 慨 | 概 | 涯 | 碍 | 蓋 | 街 | 該 | 鎧 | 骸 | 浬 |
| 193 | 馨 | 蛙 | 垣 | 柿 | 蛎 | 鈎 | 劃 | 嚇 | 各 | 廓 |
| 194 | 拡 | 撹 | 格 | 核 | 殻 | 獲 | 確 | 穫 | 覚 | 角 |
| 195 | 赫 | 較 | 郭 | 閣 | 隔 | 革 | 学 | 岳 | 楽 | 額 |
| 196 | 顎 | 掛 | 笠 | 樫 | 橿 | 梶 | 鰍 | 潟 | 割 | 喝 |
| 197 | 恰 | 括 | 活 | 渇 | 滑 | 葛 | 褐 | 轄 | 且 | 鰹 |
| 198 | 叶 | 椛 | 樺 | 鞄 | 株 | 兜 | 竃 | 蒲 | 釜 | 鎌 |
| 199 | 噛 | 鴨 | 栢 | 茅 | 萱 | | | | | |
| 200 | | 粥 | 刈 | 苅 | 瓦 | 乾 | 侃 | 冠 | 寒 | 刊 |
| 201 | 勘 | 勧 | 巻 | 喚 | 堪 | 姦 | 完 | 官 | 寛 | 干 |
| 202 | 幹 | 患 | 感 | 慣 | 憾 | 換 | 敢 | 柑 | 桓 | 棺 |
| 203 | 款 | 歓 | 汗 | 漢 | 澗 | 潅 | 環 | 甘 | 監 | 看 |
| 204 | 竿 | 管 | 簡 | 緩 | 缶 | 翰 | 肝 | 艦 | 莞 | 観 |
| 205 | 諌 | 貫 | 還 | 鑑 | 間 | 閑 | 関 | 陥 | 韓 | 館 |
| 206 | 舘 | 丸 | 含 | 岸 | 巌 | 玩 | 癌 | 眼 | 岩 | 翫 |
| 207 | 贋 | 雁 | 頑 | 顔 | 願 | | | | | |
| －－き－－ | | | | | | | | | | |
| 207 | | | | | | 企 | 伎 | 危 | 喜 | 器 |
| 208 | 基 | 奇 | 嬉 | 寄 | 岐 | 希 | 幾 | 忌 | 揮 | 机 |
| 209 | 旗 | 既 | 期 | 棋 | 棄 | | | | | |
| 210 | | 機 | 帰 | 毅 | 気 | 汽 | 畿 | 祈 | 季 | 稀 |
| 211 | 紀 | 徽 | 規 | 記 | 貴 | 起 | 軌 | 輝 | 飢 | 騎 |
| 212 | 鬼 | 亀 | 偽 | 儀 | 妓 | 宜 | 戯 | 技 | 擬 | 欺 |
| 213 | 犠 | 疑 | 祇 | 義 | 蟻 | 誼 | 議 | 掬 | 菊 | 鞠 |
| 214 | 吉 | 吃 | 喫 | 桔 | 橘 | 詰 | 砧 | 杵 | 黍 | 却 |
| 215 | 客 | 脚 | 虐 | 逆 | 丘 | 久 | 仇 | 休 | 及 | 吸 |
| 216 | 宮 | 弓 | 急 | 救 | 朽 | 求 | 汲 | 泣 | 灸 | 球 |
| 217 | 究 | 窮 | 笈 | 級 | 糾 | 給 | 旧 | 牛 | 去 | 居 |
| 218 | 巨 | 拒 | 拠 | 挙 | 渠 | 虚 | 許 | 距 | 鋸 | 漁 |
| 219 | 禦 | 魚 | 亨 | 享 | 京 | | | | | |
| 220 | | 供 | 侠 | 僑 | 兇 | 競 | 共 | 凶 | 協 | 匡 |
| 221 | 卿 | 叫 | 喬 | 境 | 峡 | 強 | 彊 | 怯 | 恐 | 恭 |
| 222 | 挟 | 教 | 橋 | 況 | 狂 | 狭 | 矯 | 胸 | 脅 | 興 |
| 223 | 蕎 | 郷 | 鏡 | 響 | 饗 | 驚 | 仰 | 凝 | 尭 | 暁 |
| 224 | 業 | 局 | 曲 | 極 | 玉 | 桐 | 粁 | 僅 | 勤 | 均 |
| 225 | 巾 | 錦 | 斤 | 欣 | 欽 | 琴 | 禁 | 禽 | 筋 | 緊 |
| 226 | 芹 | 菌 | 衿 | 襟 | 謹 | 近 | 金 | 吟 | 銀 | |
| －－く－－ | | | | | | | | | | |
| 226 | | | | | | | | | | 九 |
| 227 | 倶 | 句 | 区 | 狗 | 玖 | 矩 | 苦 | 躯 | 駆 | 駈 |
| 228 | 駒 | 具 | 愚 | 虞 | 喰 | 空 | 偶 | 寓 | 遇 | 隅 |
| 229 | 串 | 櫛 | 釧 | 屑 | 屈 | | | | | |
| 230 | | 掘 | 窟 | 沓 | 靴 | 轡 | 窪 | 熊 | 隈 | 粂 |
| 231 | 栗 | 繰 | 桑 | 鍬 | 勲 | 君 | 薫 | 訓 | 群 | 軍 |
| 232 | 郡 | | | | | | | | | |
| －－け－－ | | | | | | | | | | |
| 232 | | 卦 | 袈 | 祁 | 係 | 傾 | 刑 | 兄 | 啓 | 圭 |
| 233 | 珪 | 型 | 契 | 形 | 径 | 恵 | 慶 | 慧 | 憩 | 掲 |
| 234 | 携 | 敬 | 景 | 桂 | 渓 | 畦 | 稽 | 系 | 経 | 継 |
| 235 | 繋 | 罫 | 茎 | 荊 | 蛍 | 計 | 詣 | 警 | 軽 | 頚 |
| 236 | 鶏 | 芸 | 迎 | 鯨 | 劇 | 戟 | 撃 | 激 | 隙 | 桁 |
| 237 | 傑 | 欠 | 決 | 潔 | 穴 | 結 | 血 | 訣 | 月 | 件 |
| 238 | 倹 | 倦 | 健 | 兼 | 券 | 剣 | 喧 | 圏 | 堅 | 嫌 |
| 239 | 建 | 憲 | 懸 | 拳 | 捲 | | | | | |
| 240 | | 検 | 権 | 牽 | 犬 | 献 | 研 | 硯 | 絹 | 県 |
| 241 | 肩 | 見 | 謙 | 賢 | 軒 | 遣 | 鍵 | 険 | 顕 | 験 |
| 242 | 鹸 | 元 | 原 | 厳 | 幻 | 弦 | 減 | 源 | 玄 | 現 |
| 243 | 絃 | 舷 | 言 | 諺 | 限 | | | | | |
| －－こ－－ | | | | | | | | | | |
| 243 | | | | | | 乎 | 個 | 古 | 呼 | 固 |
| 244 | 姑 | 孤 | 己 | 庫 | 弧 | 戸 | 故 | 枯 | 湖 | 狐 |
| 245 | 糊 | 袴 | 股 | 胡 | 菰 | 虎 | 誇 | 跨 | 鈷 | 雇 |
| 246 | 顧 | 鼓 | 五 | 互 | 伍 | 午 | 呉 | 吾 | 娯 | 後 |
| 247 | 御 | 悟 | 梧 | 檎 | 瑚 | 碁 | 語 | 誤 | 護 | 醐 |
| 248 | 乞 | 鯉 | 交 | 佼 | 侯 | 候 | 倖 | 光 | 公 | 功 |
| 249 | 効 | 勾 | 厚 | 口 | 向 | | | | | |
| 250 | | 后 | 喉 | 坑 | 垢 | 好 | 孔 | 孝 | 宏 | 工 |
| 251 | 巧 | 巷 | 幸 | 広 | 庚 | 康 | 弘 | 恒 | 慌 | 抗 |
| 252 | 拘 | 控 | 攻 | 昂 | 晃 | 更 | 杭 | 校 | 梗 | 構 |
| 253 | 江 | 洪 | 浩 | 港 | 溝 | 甲 | 皇 | 硬 | 稿 | 糠 |
| 254 | 紅 | 紘 | 絞 | 綱 | 耕 | 考 | 肯 | 肱 | 腔 | 膏 |
| 255 | 航 | 荒 | 行 | 衡 | 講 | 貢 | 購 | 郊 | 酵 | 鉱 |
| 256 | 砿 | 鋼 | 閤 | 降 | 項 | 香 | 高 | 鴻 | 剛 | 劫 |
| 257 | 号 | 合 | 壕 | 拷 | 濠 | 豪 | 轟 | 麹 | 克 | 刻 |
| 258 | 告 | 国 | 穀 | 酷 | 鵠 | 黒 | 獄 | 漉 | 腰 | 甑 |
| 259 | 忽 | 惚 | 骨 | 狛 | 込 | | | | | |
| 260 | | 此 | 頃 | 今 | 困 | 坤 | 墾 | 婚 | 恨 | 懇 |
| 261 | 昏 | 昆 | 根 | 梱 | 混 | 痕 | 紺 | 艮 | 魂 | |
| －－さ－－ | | | | | | | | | | |
| 261 | | | | | | | | | | 些 |
| 262 | 佐 | 叉 | 唆 | 嵯 | 左 | 差 | 査 | 沙 | 瑳 | 砂 |
| 263 | 詐 | 鎖 | 裟 | 坐 | 座 | 挫 | 債 | 催 | 再 | 最 |
| 264 | 哉 | 塞 | 妻 | 宰 | 彩 | 才 | 採 | 栽 | 歳 | 済 |
| 265 | 災 | 采 | 犀 | 砕 | 砦 | 祭 | 斎 | 細 | 菜 | 裁 |
| 266 | 載 | 際 | 剤 | 在 | 材 | 罪 | 財 | 冴 | 坂 | 阪 |
| 267 | 堺 | 榊 | 肴 | 咲 | 崎 | 埼 | 碕 | 鷺 | 作 | 削 |
| 268 | 咋 | 搾 | 昨 | 朔 | 柵 | 窄 | 策 | 索 | 錯 | 桜 |
| 269 | 鮭 | 笹 | 匙 | 冊 | 刷 | | | | | |
| 270 | | 察 | 拶 | 撮 | 擦 | 札 | 殺 | 薩 | 雑 | 皐 |
| 271 | 鯖 | 捌 | 錆 | 鮫 | 皿 | 晒 | 三 | 傘 | 参 | 山 |
| 272 | 惨 | 撒 | 散 | 桟 | 燦 | 珊 | 産 | 算 | 纂 | 蚕 |
| 273 | 讃 | 賛 | 酸 | 餐 | 斬 | 暫 | 残 | | | |
| －－し－－ | | | | | | | | | | |
| 273 | | | | | | | | 仕 | 仔 | 伺 |
| 274 | 使 | 刺 | 司 | 史 | 嗣 | 四 | 士 | 始 | 姉 | 姿 |
| 275 | 子 | 屍 | 市 | 師 | 志 | 思 | 指 | 支 | 孜 | 斯 |
| 276 | 施 | 旨 | 枝 | 止 | 死 | 氏 | 獅 | 祉 | 私 | 糸 |
| 277 | 紙 | 紫 | 肢 | 脂 | 至 | 視 | 詞 | 詩 | 試 | 誌 |
| 278 | 諮 | 資 | 賜 | 雌 | 飼 | 歯 | 事 | 似 | 侍 | 児 |
| 279 | 字 | 寺 | 慈 | 持 | 時 | | | | | |
| 280 | | 次 | 滋 | 治 | 爾 | 璽 | 痔 | 磁 | 示 | 而 |
| 281 | 耳 | 自 | 蒔 | 辞 | 汐 | 鹿 | 式 | 識 | 鴫 | 竺 |
| 282 | 軸 | 宍 | 雫 | 七 | 叱 | 執 | 失 | 嫉 | 室 | 悉 |
| 283 | 湿 | 漆 | 疾 | 質 | 実 | 蔀 | 篠 | 偲 | 柴 | 芝 |
| 284 | 屡 | 蕊 | 縞 | 舎 | 写 | 射 | 捨 | 赦 | 斜 | 煮 |
| 285 | 社 | 紗 | 者 | 謝 | 車 | 遮 | 蛇 | 邪 | 借 | 勺 |
| 286 | 尺 | 杓 | 灼 | 爵 | 酌 | 釈 | 錫 | 若 | 寂 | 弱 |
| 287 | 惹 | 主 | 取 | 守 | 手 | 朱 | 殊 | 狩 | 珠 | 種 |
| 288 | 腫 | 趣 | 酒 | 首 | 儒 | 受 | 呪 | 寿 | 授 | 樹 |
| 289 | 綬 | 需 | 囚 | 収 | 周 | | | | | |
| 290 | | 宗 | 就 | 州 | 修 | 愁 | 拾 | 洲 | 秀 | 秋 |
| 291 | 終 | 繍 | 習 | 臭 | 舟 | 蒐 | 衆 | 襲 | 讐 | 蹴 |
| 292 | 輯 | 週 | 酋 | 酬 | 集 | 醜 | 什 | 住 | 充 | 十 |
| 293 | 従 | 戎 | 柔 | 汁 | 渋 | 獣 | 縦 | 重 | 銃 | 叔 |
| 294 | 夙 | 宿 | 淑 | 祝 | 縮 | 粛 | 塾 | 熟 | 出 | 術 |
| 295 | 述 | 俊 | 峻 | 春 | 瞬 | 竣 | 舜 | 駿 | 准 | 循 |
| 296 | 旬 | 楯 | 殉 | 淳 | 準 | 潤 | 盾 | 純 | 巡 | 遵 |
| 297 | 醇 | 順 | 処 | 初 | 所 | 暑 | 曙 | 渚 | 庶 | 緒 |
| 298 | 署 | 書 | 薯 | 藷 | 諸 | 助 | 叙 | 女 | 序 | 徐 |
| 299 | 恕 | 鋤 | 除 | 傷 | 償 | | | | | |
| 300 | | 勝 | 匠 | 升 | 召 | 哨 | 商 | 唱 | 嘗 | 奨 |
| 301 | 妾 | 娼 | 宵 | 将 | 小 | 少 | 尚 | 庄 | 床 | 廠 |
| 302 | 彰 | 承 | 抄 | 招 | 掌 | 捷 | 昇 | 昌 | 昭 | 晶 |
| 303 | 松 | 梢 | 樟 | 樵 | 沼 | 消 | 渉 | 湘 | 焼 | 焦 |
| 304 | 照 | 症 | 省 | 硝 | 礁 | 祥 | 称 | 章 | 笑 | 粧 |
| 305 | 紹 | 肖 | 菖 | 蒋 | 蕉 | 衝 | 裳 | 訟 | 証 | 詔 |
| 306 | 詳 | 象 | 賞 | 醤 | 鉦 | 鍾 | 鐘 | 障 | 鞘 | 上 |
| 307 | 丈 | 丞 | 乗 | 冗 | 剰 | 城 | 場 | 壌 | 嬢 | 常 |
| 308 | 情 | 擾 | 条 | 杖 | 浄 | 状 | 畳 | 穣 | 蒸 | 譲 |
| 309 | 醸 | 錠 | 嘱 | 埴 | 飾 | | | | | |
| 310 | | 拭 | 植 | 殖 | 燭 | 織 | 職 | 色 | 触 | 食 |
| 311 | 蝕 | 辱 | 尻 | 伸 | 信 | 侵 | 唇 | 娠 | 寝 | 審 |
| 312 | 心 | 慎 | 振 | 新 | 晋 | 森 | 榛 | 浸 | 深 | 申 |
| 313 | 疹 | 真 | 神 | 秦 | 紳 | 臣 | 芯 | 薪 | 親 | 診 |
| 314 | 身 | 辛 | 進 | 針 | 震 | 人 | 仁 | 刃 | 塵 | 壬 |
| 315 | 尋 | 甚 | 尽 | 腎 | 訊 | 迅 | 陣 | 靭 | | |
| －－す－－ | | | | | | | | | | |
| 315 | | | | | | | | | 笥 | 諏 |
| 316 | 須 | 酢 | 図 | 厨 | 逗 | 吹 | 垂 | 帥 | 推 | 水 |
| 317 | 炊 | 睡 | 粋 | 翠 | 衰 | 遂 | 酔 | 錐 | 錘 | 随 |
| 318 | 瑞 | 髄 | 崇 | 嵩 | 数 | 枢 | 趨 | 雛 | 据 | 杉 |
| 319 | 椙 | 菅 | 頗 | 雀 | 裾 | | | | | |
| 320 | | 澄 | 摺 | 寸 | | | | | | |
| －－せ－－ | | | | | | | | | | |
| 320 | | | | | 世 | 瀬 | 畝 | 是 | 凄 | 制 |
| 321 | 勢 | 姓 | 征 | 性 | 成 | 政 | 整 | 星 | 晴 | 棲 |
| 322 | 栖 | 正 | 清 | 牲 | 生 | 盛 | 精 | 聖 | 声 | 製 |
| 323 | 西 | 誠 | 誓 | 請 | 逝 | 醒 | 青 | 静 | 斉 | 税 |
| 324 | 脆 | 隻 | 席 | 惜 | 戚 | 斥 | 昔 | 析 | 石 | 積 |
| 325 | 籍 | 績 | 脊 | 責 | 赤 | 跡 | 蹟 | 碩 | 切 | 拙 |
| 326 | 接 | 摂 | 折 | 設 | 窃 | 節 | 説 | 雪 | 絶 | 舌 |
| 327 | 蝉 | 仙 | 先 | 千 | 占 | 宣 | 専 | 尖 | 川 | 戦 |
| 328 | 扇 | 撰 | 栓 | 栴 | 泉 | 浅 | 洗 | 染 | 潜 | 煎 |
| 329 | 煽 | 旋 | 穿 | 箭 | 線 | | | | | |
| 330 | | 繊 | 羨 | 腺 | 舛 | 船 | 薦 | 詮 | 賎 | 践 |
| 331 | 選 | 遷 | 銭 | 銑 | 閃 | 鮮 | 前 | 善 | 漸 | 然 |
| 332 | 全 | 禅 | 繕 | 膳 | 糎 | | | | | |
| －－そ－－ | | | | | | | | | | |
| 332 | | | | | | 噌 | 塑 | 岨 | 措 | 曾 |
| 333 | 曽 | 楚 | 狙 | 疏 | 疎 | 礎 | 祖 | 租 | 粗 | 素 |
| 334 | 組 | 蘇 | 訴 | 阻 | 遡 | 鼠 | 僧 | 創 | 双 | 叢 |
| 335 | 倉 | 喪 | 壮 | 奏 | 爽 | 宋 | 層 | 匝 | 惣 | 想 |
| 336 | 捜 | 掃 | 挿 | 掻 | 操 | 早 | 曹 | 巣 | 槍 | 槽 |
| 337 | 漕 | 燥 | 争 | 痩 | 相 | 窓 | 糟 | 総 | 綜 | 聡 |
| 338 | 草 | 荘 | 葬 | 蒼 | 藻 | 装 | 走 | 送 | 遭 | 鎗 |
| 339 | 霜 | 騒 | 像 | 増 | 憎 | | | | | |
| 340 | | 臓 | 蔵 | 贈 | 造 | 促 | 側 | 則 | 即 | 息 |
| 341 | 捉 | 束 | 測 | 足 | 速 | 俗 | 属 | 賊 | 族 | 続 |
| 342 | 卒 | 袖 | 其 | 揃 | 存 | 孫 | 尊 | 損 | 村 | 遜 |
| －－た－－ | | | | | | | | | | |
| 343 | 他 | 多 | 太 | 汰 | 詑 | 唾 | 堕 | 妥 | 惰 | 打 |
| 344 | 柁 | 舵 | 楕 | 陀 | 駄 | 騨 | 体 | 堆 | 対 | 耐 |
| 345 | 岱 | 帯 | 待 | 怠 | 態 | 戴 | 替 | 泰 | 滞 | 胎 |
| 346 | 腿 | 苔 | 袋 | 貸 | 退 | 逮 | 隊 | 黛 | 鯛 | 代 |
| 347 | 台 | 大 | 第 | 醍 | 題 | 鷹 | 滝 | 瀧 | 卓 | 啄 |
| 348 | 宅 | 托 | 択 | 拓 | 沢 | 濯 | 琢 | 託 | 鐸 | 濁 |
| 349 | 諾 | 茸 | 凧 | 蛸 | 只 | | | | | |
| 350 | | 叩 | 但 | 達 | 辰 | 奪 | 脱 | 巽 | 竪 | 辿 |
| 351 | 棚 | 谷 | 狸 | 鱈 | 樽 | 誰 | 丹 | 単 | 嘆 | 坦 |
| 352 | 担 | 探 | 旦 | 歎 | 淡 | 湛 | 炭 | 短 | 端 | 箪 |
| 353 | 綻 | 耽 | 胆 | 蛋 | 誕 | 鍛 | 団 | 壇 | 弾 | 断 |
| 354 | 暖 | 檀 | 段 | 男 | 談 | | | | | |
| －－ち－－ | | | | | | | | | | |
| 354 | | | | | | 値 | 知 | 地 | 弛 | 恥 |
| 355 | 智 | 池 | 痴 | 稚 | 置 | 致 | 蜘 | 遅 | 馳 | 築 |
| 356 | 畜 | 竹 | 筑 | 蓄 | 逐 | 秩 | 窒 | 茶 | 嫡 | 着 |
| 357 | 中 | 仲 | 宙 | 忠 | 抽 | 昼 | 柱 | 注 | 虫 | 衷 |
| 358 | 註 | 酎 | 鋳 | 駐 | 樗 | 瀦 | 猪 | 苧 | 著 | 貯 |
| 359 | 丁 | 兆 | 凋 | 喋 | 寵 | | | | | |
| 360 | | 帖 | 帳 | 庁 | 弔 | 張 | 彫 | 徴 | 懲 | 挑 |
| 361 | 暢 | 朝 | 潮 | 牒 | 町 | 眺 | 聴 | 脹 | 腸 | 蝶 |
| 362 | 調 | 諜 | 超 | 跳 | 銚 | 長 | 頂 | 鳥 | 勅 | 捗 |
| 363 | 直 | 朕 | 沈 | 珍 | 賃 | 鎮 | 陳 | | | |
| －－つ－－ | | | | | | | | | | |
| 363 | | | | | | | | 津 | 墜 | 椎 |
| 364 | 槌 | 追 | 鎚 | 痛 | 通 | 塚 | 栂 | 掴 | 槻 | 佃 |
| 365 | 漬 | 柘 | 辻 | 蔦 | 綴 | 鍔 | 椿 | 潰 | 坪 | 壷 |
| 366 | 嬬 | 紬 | 爪 | 吊 | 釣 | 鶴 | | | | |
| －－て－－ | | | | | | | | | | |
| 366 | | | | | | | 亭 | 低 | 停 | 偵 |
| 367 | 剃 | 貞 | 呈 | 堤 | 定 | 帝 | 底 | 庭 | 廷 | 弟 |
| 368 | 悌 | 抵 | 挺 | 提 | 梯 | 汀 | 碇 | 禎 | 程 | 締 |
| 369 | 艇 | 訂 | 諦 | 蹄 | 逓 | | | | | |
| 370 | | 邸 | 鄭 | 釘 | 鼎 | 泥 | 摘 | 擢 | 敵 | 滴 |
| 371 | 的 | 笛 | 適 | 鏑 | 溺 | 哲 | 徹 | 撤 | 轍 | 迭 |
| 372 | 鉄 | 典 | 填 | 天 | 展 | 店 | 添 | 纏 | 甜 | 貼 |
| 373 | 転 | 顛 | 点 | 伝 | 殿 | 澱 | 田 | 電 | | |
| －－と－－ | | | | | | | | | | |
| 373 | | | | | | | | | 兎 | 吐 |
| 374 | 堵 | 塗 | 妬 | 屠 | 徒 | 斗 | 杜 | 渡 | 登 | 菟 |
| 375 | 賭 | 途 | 都 | 鍍 | 砥 | 砺 | 努 | 度 | 土 | 奴 |
| 376 | 怒 | 倒 | 党 | 冬 | 凍 | 刀 | 唐 | 塔 | 塘 | 套 |
| 377 | 宕 | 島 | 嶋 | 悼 | 投 | 搭 | 東 | 桃 | 梼 | 棟 |
| 378 | 盗 | 淘 | 湯 | 涛 | 灯 | 燈 | 当 | 痘 | 祷 | 等 |
| 379 | 答 | 筒 | 糖 | 統 | 到 | | | | | |
| 380 | | 董 | 蕩 | 藤 | 討 | 謄 | 豆 | 踏 | 逃 | 透 |
| 381 | 鐙 | 陶 | 頭 | 騰 | 闘 | 働 | 動 | 同 | 堂 | 導 |
| 382 | 憧 | 撞 | 洞 | 瞳 | 童 | 胴 | 萄 | 道 | 銅 | 峠 |
| 383 | 鴇 | 匿 | 得 | 徳 | 涜 | 特 | 督 | 禿 | 篤 | 毒 |
| 384 | 独 | 読 | 栃 | 橡 | 凸 | 突 | 椴 | 届 | 鳶 | 苫 |
| 385 | 寅 | 酉 | 瀞 | 噸 | 屯 | 惇 | 敦 | 沌 | 豚 | 遁 |
| 386 | 頓 | 呑 | 曇 | 鈍 | | | | | | |
| －－な－－ | | | | | | | | | | |
| 386 | | | | | 奈 | 那 | 内 | 乍 | 凪 | 薙 |
| 387 | 謎 | 灘 | 捺 | 鍋 | 楢 | 馴 | 縄 | 畷 | 南 | 楠 |
| 388 | 軟 | 難 | 汝 | | | | | | | |
| －－に－－ | | | | | | | | | | |
| 388 | | | | 二 | 尼 | 弐 | 迩 | 匂 | 賑 | 肉 |
| 389 | 虹 | 廿 | 日 | 乳 | 入 | | | | | |
| 390 | | 如 | 尿 | 韮 | 任 | 妊 | 忍 | 認 | | |
| －－ぬ～の－－ | | | | | | | | | | |
| 390 | | | | | | | | | 濡 | 禰 |
| 391 | 祢 | 寧 | 葱 | 猫 | 熱 | 年 | 念 | 捻 | 撚 | 燃 |
| 392 | 粘 | 乃 | 廼 | 之 | 埜 | 嚢 | 悩 | 濃 | 納 | 能 |
| 393 | 脳 | 膿 | 農 | 覗 | 蚤 | | | | | |
| －－は－－ | | | | | | | | | | |
| 393 | | | | | | 巴 | 把 | 播 | 覇 | 杷 |
| 394 | 波 | 派 | 琶 | 破 | 婆 | 罵 | 芭 | 馬 | 俳 | 廃 |
| 395 | 拝 | 排 | 敗 | 杯 | 盃 | 牌 | 背 | 肺 | 輩 | 配 |
| 396 | 倍 | 培 | 媒 | 梅 | 楳 | 煤 | 狽 | 買 | 売 | 賠 |
| 397 | 陪 | 這 | 蝿 | 秤 | 矧 | 萩 | 伯 | 剥 | 博 | 拍 |
| 398 | 柏 | 泊 | 白 | 箔 | 粕 | 舶 | 薄 | 迫 | 曝 | 漠 |
| 399 | 爆 | 縛 | 莫 | 駁 | 麦 | | | | | |
| 400 | | 函 | 箱 | 硲 | 箸 | 肇 | 筈 | 櫨 | 幡 | 肌 |
| 401 | 畑 | 畠 | 八 | 鉢 | 溌 | 発 | 醗 | 髪 | 伐 | 罰 |
| 402 | 抜 | 筏 | 閥 | 鳩 | 噺 | 塙 | 蛤 | 隼 | 伴 | 判 |
| 403 | 半 | 反 | 叛 | 帆 | 搬 | 斑 | 板 | 氾 | 汎 | 版 |
| 404 | 犯 | 班 | 畔 | 繁 | 般 | 藩 | 販 | 範 | 釆 | 煩 |
| 405 | 頒 | 飯 | 挽 | 晩 | 番 | 盤 | 磐 | 蕃 | 蛮 | |
| －－ひ－－ | | | | | | | | | | |
| 405 | | | | | | | | | | 匪 |
| 406 | 卑 | 否 | 妃 | 庇 | 彼 | 悲 | 扉 | 批 | 披 | 斐 |
| 407 | 比 | 泌 | 疲 | 皮 | 碑 | 秘 | 緋 | 罷 | 肥 | 被 |
| 408 | 誹 | 費 | 避 | 非 | 飛 | 樋 | 簸 | 備 | 尾 | 微 |
| 409 | 枇 | 毘 | 琵 | 眉 | 美 | | | | | |
| 410 | | 鼻 | 柊 | 稗 | 匹 | 疋 | 髭 | 彦 | 膝 | 菱 |
| 411 | 肘 | 弼 | 必 | 畢 | 筆 | 逼 | 桧 | 姫 | 媛 | 紐 |
| 412 | 百 | 謬 | 俵 | 彪 | 標 | 氷 | 漂 | 瓢 | 票 | 表 |
| 413 | 評 | 豹 | 廟 | 描 | 病 | 秒 | 苗 | 錨 | 鋲 | 蒜 |
| 414 | 蛭 | 鰭 | 品 | 彬 | 斌 | 浜 | 瀕 | 貧 | 賓 | 頻 |
| 415 | 敏 | 瓶 | | | | | | | | |
| －－ふ－－ | | | | | | | | | | |
| 415 | | | 不 | 付 | 埠 | 夫 | 婦 | 富 | 冨 | 布 |
| 416 | 府 | 怖 | 扶 | 敷 | 斧 | 普 | 浮 | 父 | 符 | 腐 |
| 417 | 膚 | 芙 | 譜 | 負 | 賦 | 赴 | 阜 | 附 | 侮 | 撫 |
| 418 | 武 | 舞 | 葡 | 蕪 | 部 | 封 | 楓 | 風 | 葺 | 蕗 |
| 419 | 伏 | 副 | 復 | 幅 | 服 | | | | | |
| 420 | | 福 | 腹 | 複 | 覆 | 淵 | 弗 | 払 | 沸 | 仏 |
| 421 | 物 | 鮒 | 分 | 吻 | 噴 | 墳 | 憤 | 扮 | 焚 | 奮 |
| 422 | 粉 | 糞 | 紛 | 雰 | 文 | 聞 | | | | |
| －－へ－－ | | | | | | | | | | |
| 422 | | | | | | | 丙 | 併 | 兵 | 塀 |
| 423 | 幣 | 平 | 弊 | 柄 | 並 | 蔽 | 閉 | 陛 | 米 | 頁 |
| 424 | 僻 | 壁 | 癖 | 碧 | 別 | 瞥 | 蔑 | 箆 | 偏 | 変 |
| 425 | 片 | 篇 | 編 | 辺 | 返 | 遍 | 便 | 勉 | 娩 | 弁 |
| 426 | 鞭 | | | | | | | | | |
| －－ほ－－ | | | | | | | | | | |
| 426 | | 保 | 舗 | 鋪 | 圃 | 捕 | 歩 | 甫 | 補 | 輔 |
| 427 | 穂 | 募 | 墓 | 慕 | 戊 | 暮 | 母 | 簿 | 菩 | 倣 |
| 428 | 俸 | 包 | 呆 | 報 | 奉 | 宝 | 峰 | 峯 | 崩 | 庖 |
| 429 | 抱 | 捧 | 放 | 方 | 朋 | | | | | |
| 430 | | 法 | 泡 | 烹 | 砲 | 縫 | 胞 | 芳 | 萌 | 蓬 |
| 431 | 蜂 | 褒 | 訪 | 豊 | 邦 | 鋒 | 飽 | 鳳 | 鵬 | 乏 |
| 432 | 亡 | 傍 | 剖 | 坊 | 妨 | 帽 | 忘 | 忙 | 房 | 暴 |
| 433 | 望 | 某 | 棒 | 冒 | 紡 | 肪 | 膨 | 謀 | 貌 | 貿 |
| 434 | 鉾 | 防 | 吠 | 頬 | 北 | 僕 | 卜 | 墨 | 撲 | 朴 |
| 435 | 牧 | 睦 | 穆 | 釦 | 勃 | 没 | 殆 | 堀 | 幌 | 奔 |
| 436 | 本 | 翻 | 凡 | 盆 | | | | | | |
| －－ま－－ | | | | | | | | | | |
| 436 | | | | | 摩 | 磨 | 魔 | 麻 | 埋 | 妹 |
| 437 | 昧 | 枚 | 毎 | 哩 | 槙 | 幕 | 膜 | 枕 | 鮪 | 柾 |
| 438 | 鱒 | 桝 | 亦 | 俣 | 又 | 抹 | 末 | 沫 | 迄 | 侭 |
| 439 | 繭 | 麿 | 万 | 慢 | 満 | | | | | |
| 440 | | 漫 | 蔓 | | | | | | | |
| －－み－－ | | | | | | | | | | |
| 440 | | | | 味 | 未 | 魅 | 巳 | 箕 | 岬 | 密 |
| 441 | 蜜 | 湊 | 蓑 | 稔 | 脈 | 妙 | 粍 | 民 | 眠 | |
| －－む－－ | | | | | | | | | | |
| 441 | | | | | | | | | | 務 |
| 442 | 夢 | 無 | 牟 | 矛 | 霧 | 鵡 | 椋 | 婿 | 娘 | |
| －－め－－ | | | | | | | | | | |
| 442 | | | | | | | | | | 冥 |
| 443 | 名 | 命 | 明 | 盟 | 迷 | 銘 | 鳴 | 姪 | 牝 | 滅 |
| 444 | 免 | 棉 | 綿 | 緬 | 面 | 麺 | | | | |
| －－も－－ | | | | | | | | | | |
| 444 | | | | | | | 摸 | 模 | 茂 | 妄 |
| 445 | 孟 | 毛 | 猛 | 盲 | 網 | 耗 | 蒙 | 儲 | 木 | 黙 |
| 446 | 目 | 杢 | 勿 | 餅 | 尤 | 戻 | 籾 | 貰 | 問 | 悶 |
| 447 | 紋 | 門 | 匁 | | | | | | | |
| －－や－－ | | | | | | | | | | |
| 447 | | | | 也 | 冶 | 夜 | 爺 | 耶 | 野 | 弥 |
| 448 | 矢 | 厄 | 役 | 約 | 薬 | 訳 | 躍 | 靖 | 柳 | 薮 |
| 449 | 鑓 | | | | | | | | | |
| －－ゆ－－ | | | | | | | | | | |
| 449 | | 愉 | 愈 | 油 | 癒 | | | | | |
| 450 | | 諭 | 輸 | 唯 | 佑 | 優 | 勇 | 友 | 宥 | 幽 |
| 451 | 悠 | 憂 | 揖 | 有 | 柚 | 湧 | 涌 | 猶 | 猷 | 由 |
| 452 | 祐 | 裕 | 誘 | 遊 | 邑 | 郵 | 雄 | 融 | 夕 | |
| －－よ－－ | | | | | | | | | | |
| 452 | | | | | | | | | | 予 |
| 453 | 余 | 与 | 誉 | 輿 | 預 | 傭 | 幼 | 妖 | 容 | 庸 |
| 454 | 揚 | 揺 | 擁 | 曜 | 楊 | 様 | 洋 | 溶 | 熔 | 用 |
| 455 | 窯 | 羊 | 耀 | 葉 | 蓉 | 要 | 謡 | 踊 | 遥 | 陽 |
| 456 | 養 | 慾 | 抑 | 欲 | 沃 | 浴 | 翌 | 翼 | 淀 | |
| －－ら－－ | | | | | | | | | | |
| 456 | | | | | | | | | | 羅 |
| 457 | 螺 | 裸 | 来 | 莱 | 頼 | 雷 | 洛 | 絡 | 落 | 酪 |
| 458 | 乱 | 卵 | 嵐 | 欄 | 濫 | 藍 | 蘭 | 覧 | | |
| －－り－－ | | | | | | | | | | |
| 458 | | | | | | | | | 利 | 吏 |
| 459 | 履 | 李 | 梨 | 理 | 璃 | | | | | |
| 460 | | 痢 | 裏 | 裡 | 里 | 離 | 陸 | 律 | 率 | 立 |
| 461 | 葎 | 掠 | 略 | 劉 | 流 | 溜 | 琉 | 留 | 硫 | 粒 |
| 462 | 隆 | 竜 | 龍 | 侶 | 慮 | 旅 | 虜 | 了 | 亮 | 僚 |
| 463 | 両 | 凌 | 寮 | 料 | 梁 | 涼 | 猟 | 療 | 瞭 | 稜 |
| 464 | 糧 | 良 | 諒 | 遼 | 量 | 陵 | 領 | 力 | 緑 | 倫 |
| 465 | 厘 | 林 | 淋 | 燐 | 琳 | 臨 | 輪 | 隣 | 鱗 | 麟 |
| －－る～れ－－ | | | | | | | | | | |
| 466 | 瑠 | 塁 | 涙 | 累 | 類 | 令 | 伶 | 例 | 冷 | 励 |
| 467 | 嶺 | 怜 | 玲 | 礼 | 苓 | 鈴 | 隷 | 零 | 霊 | 麗 |
| 468 | 齢 | 暦 | 歴 | 列 | 劣 | 烈 | 裂 | 廉 | 恋 | 憐 |
| 469 | 漣 | 煉 | 簾 | 練 | 聯 | | | | | |
| 470 | | 蓮 | 連 | 錬 | | | | | | |
| －－ろ－－ | | | | | | | | | | |
| 470 | | | | | 呂 | 魯 | 櫓 | 炉 | 賂 | 路 |
| 471 | 露 | 労 | 婁 | 廊 | 弄 | 朗 | 楼 | 榔 | 浪 | 漏 |
| 472 | 牢 | 狼 | 篭 | 老 | 聾 | 蝋 | 郎 | 六 | 麓 | 禄 |
| 473 | 肋 | 録 | 論 | | | | | | | |
| －－わ－－ | | | | | | | | | | |
| 473 | | | | 倭 | 和 | 話 | 歪 | 賄 | 脇 | 惑 |
| 474 | 枠 | 鷲 | 亙 | 亘 | 鰐 | 詫 | 藁 | 蕨 | 椀 | 湾 |
| 475 | 碗 | 腕 | | | | | | | | |
| 476 | | | | | | | | | | |
| 477 | | | | | | | | | | |
| 478 | | | | | | | | | | |
| 479 | | | | | | | | | | |
| 480 | | 弌 | 丐 | 丕 | 个 | 丱 | 丶 | 丼 | 丿 | 乂 |
| 481 | 乖 | 乘 | 亂 | 亅 | 豫 | 亊 | 舒 | 弍 | 于 | 亞 |
| 482 | 亟 | 亠 | 亢 | 亰 | 亳 | 亶 | 从 | 仍 | 仄 | 仆 |
| 483 | 仂 | 仗 | 仞 | 仭 | 仟 | 价 | 伉 | 佚 | 估 | 佛 |
| 484 | 佝 | 佗 | 佇 | 佶 | 侈 | 侏 | 侘 | 佻 | 佩 | 佰 |
| 485 | 侑 | 佯 | 來 | 侖 | 儘 | 俔 | 俟 | 俎 | 俘 | 俛 |
| 486 | 俑 | 俚 | 俐 | 俤 | 俥 | 倚 | 倨 | 倔 | 倪 | 倥 |
| 487 | 倅 | 伜 | 俶 | 倡 | 倩 | 倬 | 俾 | 俯 | 們 | 倆 |
| 488 | 偃 | 假 | 會 | 偕 | 偐 | 偈 | 做 | 偖 | 偬 | 偸 |
| 489 | 傀 | 傚 | 傅 | 傴 | 傲 | | | | | |
| 490 | | 僉 | 僊 | 傳 | 僂 | 僖 | 僞 | 僥 | 僭 | 僣 |
| 491 | 僮 | 價 | 僵 | 儉 | 儁 | 儂 | 儖 | 儕 | 儔 | 儚 |
| 492 | 儡 | 儺 | 儷 | 儼 | 儻 | 儿 | 兀 | 兒 | 兌 | 兔 |
| 493 | 兢 | 竸 | 兩 | 兪 | 兮 | 冀 | 冂 | 囘 | 册 | 冉 |
| 494 | 冏 | 冑 | 冓 | 冕 | 冖 | 冤 | 冦 | 冢 | 冩 | 冪 |
| 495 | 冫 | 决 | 冱 | 冲 | 冰 | 况 | 冽 | 凅 | 凉 | 凛 |
| 496 | 几 | 處 | 凩 | 凭 | 凰 | 凵 | 凾 | 刄 | 刋 | 刔 |
| 497 | 刎 | 刧 | 刪 | 刮 | 刳 | 刹 | 剏 | 剄 | 剋 | 剌 |
| 498 | 剞 | 剔 | 剪 | 剴 | 剩 | 剳 | 剿 | 剽 | 劍 | 劔 |
| 499 | 劒 | 剱 | 劈 | 劑 | 辨 | | | | | |
| 500 | | 辧 | 劬 | 劭 | 劼 | 劵 | 勁 | 勍 | 勗 | 勞 |
| 501 | 勣 | 勦 | 飭 | 勠 | 勳 | 勵 | 勸 | 勹 | 匆 | 匈 |

区点コード一覧表

ご参考に

# 区点コード一覧表

| 区点1～3桁目 | 区点4桁目 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 502 | 甸 | 匍 | 匐 | 匏 | 匕 | 匚 | 匣 | 匯 | 匱 | 匳 |
| 503 | 匸 | 區 | 卆 | 卅 | 丗 | 卉 | 卍 | 凖 | 卞 | 卩 |
| 504 | 卮 | 夘 | 卻 | 卷 | 厂 | 厖 | 厠 | 厦 | 厥 | 厮 |
| 505 | 厰 | 厶 | 參 | 簒 | 雙 | 叟 | 曼 | 燮 | 叮 | 叨 |
| 506 | 叭 | 叺 | 吁 | 吽 | 呀 | 听 | 吭 | 吼 | 吮 | 吶 |
| 507 | 吩 | 吝 | 呎 | 咏 | 呵 | 咎 | 呟 | 呱 | 呷 | 呰 |
| 508 | 咒 | 呻 | 咀 | 呶 | 咄 | 咐 | 咆 | 哇 | 咢 | 咸 |
| 509 | 咥 | 咬 | 哄 | 哈 | 咨 | | | | | |
| 510 | | 咫 | 哂 | 咤 | 咾 | 咼 | 哘 | 哥 | 哦 | 唏 |
| 511 | 唔 | 哽 | 哮 | 哭 | 哺 | 哢 | 唹 | 啀 | 啣 | 啌 |
| 512 | 售 | 啜 | 啅 | 啖 | 啗 | 唸 | 唳 | 啝 | 喙 | 喀 |
| 513 | 咯 | 喊 | 喟 | 啻 | 啾 | 喘 | 喞 | 單 | 啼 | 喃 |
| 514 | 喩 | 喇 | 喨 | 嗚 | 嗅 | 嗟 | 嗄 | 嗜 | 嗤 | 嗔 |
| 515 | 嘔 | 嗷 | 嘖 | 嗾 | 嗽 | 嘛 | 嗹 | 噎 | 噐 | 營 |
| 516 | 嘴 | 嘶 | 嘲 | 嘸 | 噫 | 噤 | 嘯 | 噬 | 噪 | 嚆 |
| 517 | 嚀 | 嚊 | 嚠 | 嚔 | 嚏 | 嚥 | 嚮 | 嚶 | 嚴 | 囂 |
| 518 | 嚼 | 囁 | 囃 | 囀 | 囈 | 囎 | 囑 | 囓 | 囗 | 囮 |
| 519 | 囹 | 圀 | 囿 | 圄 | 圉 | | | | | |
| 520 | | 圈 | 國 | 圍 | 圓 | 團 | 圖 | 嗇 | 圜 | 圦 |
| 521 | 圷 | 圸 | 坎 | 圻 | 址 | 坏 | 坩 | 埀 | 垈 | 坡 |
| 522 | 坿 | 垉 | 垓 | 垠 | 垳 | 垤 | 垪 | 垰 | 埃 | 埆 |
| 523 | 埔 | 埒 | 埓 | 堊 | 埖 | 埣 | 堋 | 堙 | 堝 | 塲 |
| 524 | 堡 | 塢 | 塋 | 塰 | 毀 | 塒 | 堽 | 塹 | 墅 | 墹 |
| 525 | 墟 | 墫 | 墺 | 壞 | 墻 | 墸 | 墮 | 壅 | 壓 | 壑 |
| 526 | 壗 | 壙 | 壘 | 壥 | 壜 | 壤 | 壟 | 壯 | 壺 | 壹 |
| 527 | 壻 | 壼 | 壽 | 夂 | 夊 | 夐 | 夛 | 梦 | 夥 | 夬 |
| 528 | 夭 | 夲 | 夸 | 夾 | 竒 | 奕 | 奐 | 奎 | 奚 | 奘 |
| 529 | 奢 | 奠 | 奧 | 奬 | 奩 | | | | | |
| 530 | | 奸 | 妁 | 妝 | 佞 | 侫 | 妣 | 妲 | 姆 | 姨 |
| 531 | 姜 | 妍 | 姙 | 姚 | 娥 | 娟 | 娑 | 娜 | 娉 | 娚 |
| 532 | 婀 | 婬 | 婉 | 娵 | 娶 | 婢 | 婪 | 媚 | 媼 | 媾 |
| 533 | 嫋 | 嫂 | 媽 | 嫣 | 嫗 | 嫦 | 嫩 | 嫖 | 嫺 | 嫻 |
| 534 | 嬌 | 嬋 | 嬖 | 嬲 | 嫐 | 嬪 | 嬶 | 嬾 | 孃 | 孅 |
| 535 | 孀 | 孑 | 孕 | 孚 | 孛 | 孥 | 孩 | 孰 | 孳 | 孵 |
| 536 | 學 | 斈 | 孺 | 宀 | 它 | 宦 | 宸 | 寃 | 寇 | 寉 |
| 537 | 寔 | 寐 | 寤 | 實 | 寢 | 寞 | 寥 | 寫 | 寰 | 寶 |
| 538 | 寳 | 尅 | 將 | 專 | 對 | 尓 | 尠 | 尢 | 尨 | 尸 |
| 539 | 尹 | 屁 | 屆 | 屎 | 屓 | | | | | |
| 540 | | 屐 | 屏 | 孱 | 屬 | 屮 | 乢 | 屶 | 屹 | 岌 |
| 541 | 岑 | 岔 | 妛 | 岫 | 岻 | 岶 | 岼 | 岷 | 峅 | 岾 |
| 542 | 峇 | 峙 | 峩 | 峽 | 峺 | 峭 | 嶌 | 峪 | 崋 | 崕 |
| 543 | 崗 | 嵜 | 崟 | 崛 | 崑 | 崔 | 崢 | 崚 | 崙 | 崘 |
| 544 | 嵌 | 嵒 | 嵎 | 嵋 | 嵬 | 嵳 | 嵶 | 嶇 | 嶄 | 嶂 |
| 545 | 嶢 | 嶝 | 嶬 | 嶮 | 嶽 | 嶐 | 嶷 | 嶼 | 巉 | 巍 |
| 546 | 巓 | 巒 | 巖 | 巛 | 巫 | 已 | 巵 | 帋 | 帚 | 帙 |
| 547 | 帑 | 帛 | 帶 | 帷 | 幄 | 幃 | 幀 | 幎 | 幗 | 幔 |
| 548 | 幟 | 幢 | 幤 | 幇 | 幵 | 并 | 幺 | 麼 | 广 | 庠 |
| 549 | 廁 | 廂 | 廈 | 廐 | 廏 | | | | | |
| 550 | | 廖 | 廣 | 廝 | 廚 | 廛 | 廢 | 廡 | 廨 | 廩 |
| 551 | 廬 | 廱 | 廳 | 廰 | 廴 | 廸 | 廾 | 弃 | 弉 | 彝 |
| 552 | 彜 | 弋 | 弑 | 弖 | 弩 | 弭 | 弸 | 彁 | 彈 | 彌 |
| 553 | 彎 | 弯 | 彑 | 彖 | 彗 | 彙 | 彡 | 彭 | 彳 | 彷 |
| 554 | 徃 | 徂 | 彿 | 徊 | 很 | 徑 | 徇 | 從 | 徙 | 徘 |
| 555 | 徠 | 徨 | 徭 | 徼 | 忖 | 忻 | 忤 | 忸 | 忱 | 忝 |
| 556 | 悳 | 忿 | 怡 | 恠 | 怙 | 怐 | 怩 | 怎 | 怱 | 怛 |
| 557 | 怕 | 怫 | 怦 | 怏 | 怺 | 恚 | 恁 | 恪 | 恷 | 恟 |
| 558 | 恊 | 恆 | 恍 | 恣 | 恃 | 恤 | 恂 | 恬 | 恫 | 恙 |
| 559 | 悁 | 悍 | 惧 | 悃 | 悚 | | | | | |
| 560 | | 悄 | 悛 | 悖 | 悗 | 悒 | 悧 | 悋 | 惡 | 悸 |
| 561 | 惠 | 惓 | 悴 | 忰 | 悽 | 惆 | 悵 | 惘 | 慍 | 愕 |
| 562 | 愆 | 惶 | 惷 | 愀 | 惴 | 惺 | 愃 | 愡 | 惻 | 惱 |
| 563 | 愍 | 愎 | 慇 | 愾 | 愨 | 愧 | 慊 | 愿 | 愼 | 愬 |
| 564 | 愴 | 愽 | 慂 | 慄 | 慳 | 慷 | 慘 | 慙 | 慚 | 慫 |
| 565 | 慴 | 慯 | 慥 | 慱 | 慟 | 慝 | 慓 | 慵 | 憙 | 憖 |
| 566 | 憇 | 憬 | 憔 | 憚 | 憊 | 憑 | 憫 | 憮 | 懌 | 懊 |
| 567 | 應 | 懷 | 懈 | 懃 | 懆 | 憺 | 懋 | 罹 | 懍 | 懦 |
| 568 | 懣 | 懶 | 懺 | 懴 | 懿 | 懽 | 懼 | 懾 | 戀 | 戈 |
| 569 | 戉 | 戍 | 戌 | 戔 | 戛 | | | | | |
| 570 | | 戞 | 戡 | 截 | 戮 | 戰 | 戲 | 戳 | 扁 | 扎 |
| 571 | 扞 | 扣 | 扛 | 扠 | 扨 | 扼 | 抂 | 抉 | 找 | 抒 |
| 572 | 抓 | 抖 | 拔 | 抃 | 抔 | 拗 | 拑 | 抻 | 拏 | 拿 |
| 573 | 拆 | 擔 | 拈 | 拜 | 拌 | 拊 | 拂 | 拇 | 抛 | 拉 |
| 574 | 挌 | 拮 | 拱 | 挧 | 挂 | 挈 | 拯 | 拵 | 捐 | 挾 |
| 575 | 捍 | 搜 | 捏 | 掖 | 掎 | 掀 | 掫 | 捶 | 掣 | 掏 |
| 576 | 掉 | 掟 | 掵 | 捫 | 捩 | 掾 | 揩 | 揀 | 揆 | 揣 |
| 577 | 揉 | 插 | 揶 | 揄 | 搖 | 搴 | 搆 | 搓 | 搦 | 搶 |
| 578 | 攝 | 搗 | 搨 | 搏 | 摧 | 摯 | 摶 | 摎 | 攪 | 撕 |
| 579 | 撓 | 撥 | 撩 | 撈 | 撼 | | | | | |
| 580 | | 據 | 擒 | 擅 | 擇 | 撻 | 擘 | 擂 | 擱 | 擧 |
| 581 | 舉 | 擠 | 擡 | 抬 | 擣 | 擯 | 攬 | 擶 | 擴 | 擲 |
| 582 | 擺 | 攀 | 擽 | 攘 | 攜 | 攅 | 攤 | 攣 | 攫 | 攴 |
| 583 | 攵 | 攷 | 收 | 攸 | 畋 | 效 | 敖 | 敕 | 敍 | 敘 |
| 584 | 敞 | 敝 | 敲 | 數 | 斂 | 斃 | 變 | 斛 | 斟 | 斫 |
| 585 | 斷 | 旃 | 旆 | 旁 | 旄 | 旌 | 旒 | 旛 | 旙 | 无 |
| 586 | 旡 | 旱 | 杲 | 昊 | 昃 | 旻 | 杳 | 昵 | 昶 | 昴 |
| 587 | 昜 | 晏 | 晄 | 晉 | 晁 | 晞 | 晝 | 晤 | 晧 | 晨 |
| 588 | 晟 | 晢 | 晰 | 暃 | 暈 | 暎 | 暉 | 暄 | 暘 | 暝 |
| 589 | 曁 | 暹 | 曉 | 暾 | 暼 | | | | | |
| 590 | | 曄 | 暸 | 曖 | 曚 | 曠 | 昿 | 曦 | 曩 | 曰 |
| 591 | 曵 | 曷 | 朏 | 朖 | 朞 | 朦 | 朧 | 霸 | 朮 | 朿 |
| 592 | 朶 | 杁 | 朸 | 朷 | 杆 | 杞 | 杠 | 杙 | 杣 | 杤 |
| 593 | 枉 | 杰 | 枩 | 杼 | 杪 | 枌 | 枋 | 枦 | 枡 | 枅 |
| 594 | 枷 | 柯 | 枴 | 柬 | 枳 | 柩 | 枸 | 柤 | 柞 | 柝 |
| 595 | 柢 | 柮 | 枹 | 柎 | 柆 | 柧 | 檜 | 栞 | 框 | 栩 |
| 596 | 桀 | 桍 | 栲 | 桎 | 梳 | 栫 | 桙 | 档 | 桷 | 桿 |
| 597 | 梟 | 梏 | 梭 | 梔 | 條 | 梛 | 梃 | 檮 | 梹 | 桴 |
| 598 | 梵 | 梠 | 梺 | 椏 | 梍 | 桾 | 椁 | 棊 | 椈 | 棘 |
| 599 | 椢 | 椦 | 棡 | 椌 | 棍 | | | | | |
| 600 | | 棔 | 棧 | 棕 | 椶 | 椒 | 椄 | 棗 | 棣 | 椥 |
| 601 | 棹 | 棠 | 棯 | 椨 | 椪 | 椚 | 椣 | 椡 | 棆 | 楹 |
| 602 | 楷 | 楜 | 楸 | 楫 | 楔 | 楾 | 楮 | 椹 | 楴 | 椽 |
| 603 | 楙 | 椰 | 楡 | 楞 | 楝 | 榁 | 楪 | 榲 | 榮 | 槐 |
| 604 | 榿 | 槁 | 槓 | 榾 | 槎 | 寨 | 槊 | 槝 | 榻 | 槃 |
| 605 | 榧 | 樮 | 榑 | 榠 | 榜 | 榕 | 榴 | 槞 | 槨 | 樂 |
| 606 | 樛 | 槿 | 權 | 槹 | 槲 | 槧 | 樅 | 榱 | 樞 | 槭 |
| 607 | 樔 | 槫 | 樊 | 樒 | 櫁 | 樣 | 樓 | 橄 | 樌 | 橲 |
| 608 | 樶 | 橸 | 橇 | 橢 | 橙 | 橦 | 橈 | 樸 | 樢 | 檐 |
| 609 | 檍 | 檠 | 檄 | 檢 | 檣 | | | | | |
| 610 | | 檗 | 蘗 | 檻 | 櫃 | 櫂 | 檸 | 檳 | 檬 | 櫞 |
| 611 | 櫑 | 櫟 | 檪 | 櫚 | 櫪 | 櫻 | 欅 | 蘖 | 櫺 | 欒 |
| 612 | 欖 | 鬱 | 欟 | 欸 | 欷 | 盜 | 欹 | 飮 | 歇 | 歃 |
| 613 | 歉 | 歐 | 歙 | 歔 | 歛 | 歟 | 歡 | 歸 | 歹 | 歿 |
| 614 | 殀 | 殄 | 殃 | 殍 | 殘 | 殕 | 殞 | 殤 | 殪 | 殫 |
| 615 | 殯 | 殲 | 殱 | 殳 | 殷 | 殼 | 毆 | 毋 | 毓 | 毟 |
| 616 | 毬 | 毫 | 毳 | 毯 | 麾 | 氈 | 氓 | 气 | 氛 | 氤 |
| 617 | 氣 | 汞 | 汕 | 汢 | 汪 | 沂 | 沍 | 沚 | 沁 | 沛 |
| 618 | 汾 | 汨 | 汳 | 沒 | 沐 | 泄 | 泱 | 泓 | 沽 | 泗 |
| 619 | 泅 | 泝 | 沮 | 沱 | 沾 | | | | | |
| 620 | | 沺 | 泛 | 泯 | 泙 | 泪 | 洟 | 衍 | 洶 | 洫 |
| 621 | 洽 | 洸 | 洙 | 洵 | 洳 | 洒 | 洌 | 浣 | 涓 | 浤 |
| 622 | 浚 | 浹 | 浙 | 涎 | 涕 | 濤 | 涅 | 淹 | 渕 | 渊 |
| 623 | 涵 | 淇 | 淦 | 涸 | 淆 | 淬 | 淞 | 淌 | 淨 | 淒 |
| 624 | 淅 | 淺 | 淙 | 淤 | 淕 | 淪 | 淮 | 渭 | 湮 | 渮 |
| 625 | 渙 | 湲 | 湟 | 渾 | 渣 | 湫 | 渫 | 湶 | 湍 | 渟 |
| 626 | 湃 | 渺 | 湎 | 渤 | 滿 | 渝 | 游 | 溂 | 溪 | 溘 |
| 627 | 滉 | 溷 | 滓 | 溽 | 溯 | 滄 | 溲 | 滔 | 滕 | 溏 |
| 628 | 溥 | 滂 | 溟 | 潁 | 漑 | 灌 | 滬 | 滸 | 滾 | 漿 |
| 629 | 滲 | 漱 | 滯 | 漲 | 滌 | | | | | |
| 630 | | 漾 | 漓 | 滷 | 澆 | 潺 | 潸 | 澁 | 澀 | 潯 |
| 631 | 潛 | 濳 | 潭 | 澂 | 潼 | 潘 | 澎 | 澑 | 濂 | 潦 |
| 632 | 澳 | 澣 | 澡 | 澤 | 澹 | 濆 | 澪 | 濟 | 濕 | 濬 |
| 633 | 濔 | 濘 | 濱 | 濮 | 濛 | 瀉 | 瀋 | 濺 | 瀑 | 瀁 |
| 634 | 瀏 | 濾 | 瀛 | 瀚 | 潴 | 瀝 | 瀘 | 瀟 | 瀰 | 瀾 |
| 635 | 瀲 | 灑 | 灣 | 炙 | 炒 | 炯 | 烱 | 炬 | 炸 | 炳 |
| 636 | 炮 | 烟 | 烋 | 烝 | 烙 | 焉 | 烽 | 焜 | 焙 | 煥 |
| 637 | 煕 | 熈 | 煦 | 煢 | 煌 | 煖 | 煬 | 熏 | 燻 | 熄 |
| 638 | 熕 | 熨 | 熬 | 燗 | 熹 | 熾 | 燒 | 燉 | 燔 | 燎 |
| 639 | 燠 | 燬 | 燧 | 燵 | 燼 | | | | | |
| 640 | | 燹 | 燿 | 爍 | 爐 | 爛 | 爨 | 爭 | 爬 | 爰 |
| 641 | 爲 | 爻 | 爼 | 爿 | 牀 | 牆 | 牋 | 牘 | 牴 | 牾 |
| 642 | 犂 | 犁 | 犇 | 犒 | 犖 | 犢 | 犧 | 犹 | 犲 | 狃 |
| 643 | 狆 | 狄 | 狎 | 狒 | 狢 | 狠 | 狡 | 狹 | 狷 | 倏 |
| 644 | 猗 | 猊 | 猜 | 猖 | 猝 | 猴 | 猯 | 猩 | 猥 | 猾 |
| 645 | 獎 | 獏 | 默 | 獗 | 獪 | 獨 | 獰 | 獸 | 獵 | 獻 |
| 646 | 獺 | 珈 | 玳 | 珎 | 玻 | 珀 | 珥 | 珮 | 珞 | 璢 |
| 647 | 琅 | 瑯 | 琥 | 珸 | 琲 | 琺 | 瑕 | 琿 | 瑟 | 瑙 |
| 648 | 瑁 | 瑜 | 瑩 | 瑰 | 瑣 | 瑪 | 瑶 | 瑾 | 璋 | 璞 |
| 649 | 璧 | 瓊 | 瓏 | 瓔 | 珱 | | | | | |
| 650 | | 瓠 | 瓣 | 瓧 | 瓩 | 瓮 | 瓲 | 瓰 | 瓱 | 瓸 |
| 651 | 瓷 | 甄 | 甃 | 甅 | 甌 | 甎 | 甍 | 甕 | 甓 | 甞 |
| 652 | 甦 | 甬 | 甼 | 畄 | 畍 | 畊 | 畉 | 畛 | 畆 | 畚 |
| 653 | 畩 | 畤 | 畧 | 畫 | 畭 | 畸 | 當 | 疆 | 疇 | 畴 |
| 654 | 疊 | 疉 | 疂 | 疔 | 疚 | 疝 | 疥 | 疣 | 痂 | 疳 |
| 655 | 痃 | 疵 | 疽 | 疸 | 疼 | 疱 | 痍 | 痊 | 痒 | 痙 |
| 656 | 痣 | 痞 | 痾 | 痿 | 痼 | 瘁 | 痰 | 痺 | 痲 | 痳 |
| 657 | 瘋 | 瘍 | 瘉 | 瘟 | 瘧 | 瘠 | 瘡 | 瘢 | 瘤 | 瘴 |
| 658 | 瘰 | 瘻 | 癇 | 癈 | 癆 | 癜 | 癘 | 癡 | 癢 | 癨 |
| 659 | 癩 | 癪 | 癧 | 癬 | 癰 | | | | | |
| 660 | | 癲 | 癶 | 癸 | 發 | 皀 | 皃 | 皈 | 皋 | 皎 |
| 661 | 皖 | 皓 | 皙 | 皚 | 皰 | 皴 | 皸 | 皹 | 皺 | 盂 |
| 662 | 盍 | 盖 | 盒 | 盞 | 盡 | 盥 | 盧 | 盪 | 蘯 | 盻 |
| 663 | 眈 | 眇 | 眄 | 眩 | 眤 | 眞 | 眥 | 眦 | 眛 | 眷 |
| 664 | 眸 | 睇 | 睚 | 睨 | 睫 | 睛 | 睥 | 睿 | 睾 | 睹 |
| 665 | 瞎 | 瞋 | 瞑 | 瞠 | 瞞 | 瞰 | 瞶 | 瞹 | 瞿 | 瞼 |
| 666 | 瞽 | 瞻 | 矇 | 矍 | 矗 | 矚 | 矜 | 矣 | 矮 | 矼 |
| 667 | 砌 | 砒 | 礦 | 砠 | 礪 | 硅 | 碎 | 硴 | 碆 | 硼 |
| 668 | 碚 | 碌 | 碣 | 碵 | 碪 | 碯 | 磑 | 磆 | 磋 | 磔 |
| 669 | 碾 | 碼 | 磅 | 磊 | 磬 | | | | | |
| 670 | | 磧 | 磚 | 磽 | 磴 | 礇 | 礒 | 礑 | 礙 | 礬 |
| 671 | 礫 | 祀 | 祠 | 祗 | 祟 | 祚 | 祕 | 祓 | 祺 | 祿 |
| 672 | 禊 | 禝 | 禧 | 齋 | 禪 | 禮 | 禳 | 禹 | 禺 | 秉 |
| 673 | 秕 | 秧 | 秬 | 秡 | 秣 | 稈 | 稍 | 稘 | 稙 | 稠 |
| 674 | 稟 | 禀 | 稱 | 稻 | 稾 | 稷 | 穃 | 穗 | 穉 | 穡 |
| 675 | 穢 | 穩 | 龝 | 穰 | 穹 | 穽 | 窈 | 窗 | 窕 | 窘 |
| 676 | 窖 | 窩 | 竈 | 窰 | 窶 | 竅 | 竄 | 窿 | 邃 | 竇 |
| 677 | 竊 | 竍 | 竏 | 竕 | 竓 | 站 | 竚 | 竝 | 竡 | 竢 |
| 678 | 竦 | 竭 | 竰 | 笂 | 笏 | 笊 | 笆 | 笳 | 笘 | 笙 |
| 679 | 笞 | 笵 | 笨 | 笶 | 筐 | | | | | |
| 680 | | 筺 | 笄 | 筍 | 笋 | 筌 | 筅 | 筵 | 筥 | 筴 |
| 681 | 筧 | 筰 | 筱 | 筬 | 筮 | 箝 | 箘 | 箟 | 箍 | 箜 |
| 682 | 箚 | 箋 | 箒 | 箏 | 筝 | 箙 | 篋 | 篁 | 篌 | 篏 |
| 683 | 箴 | 篆 | 篝 | 篩 | 簑 | 簔 | 篦 | 篥 | 籠 | 簀 |
| 684 | 簇 | 簓 | 篳 | 篷 | 簗 | 簍 | 篶 | 簣 | 簧 | 簪 |
| 685 | 簟 | 簷 | 簫 | 簽 | 籌 | 籃 | 籔 | 籏 | 籀 | 籐 |
| 686 | 籘 | 籟 | 籤 | 籖 | 籥 | 籬 | 籵 | 粃 | 粐 | 粤 |
| 687 | 粭 | 粢 | 粫 | 粡 | 粨 | 粳 | 粲 | 粱 | 粮 | 粹 |
| 688 | 粽 | 糀 | 糅 | 糂 | 糘 | 糒 | 糜 | 糢 | 鬻 | 糯 |
| 689 | 糲 | 糴 | 糶 | 糺 | 紆 | | | | | |
| 690 | | 紂 | 紜 | 紕 | 紊 | 絅 | 絋 | 紮 | 紲 | 紿 |
| 691 | 紵 | 絆 | 絳 | 絖 | 絎 | 絲 | 絨 | 絮 | 絏 | 絣 |
| 692 | 經 | 綉 | 絛 | 綏 | 絽 | 綛 | 綺 | 綮 | 綣 | 綵 |
| 693 | 緇 | 綽 | 綫 | 總 | 綢 | 綯 | 緜 | 綸 | 綟 | 綰 |
| 694 | 緘 | 緝 | 緤 | 緞 | 緻 | 緲 | 緡 | 縅 | 縊 | 縣 |
| 695 | 縡 | 縒 | 縱 | 縟 | 縉 | 縋 | 縢 | 繆 | 繦 | 縻 |
| 696 | 縵 | 縹 | 繃 | 縷 | 縲 | 縺 | 繧 | 繝 | 繖 | 繞 |
| 697 | 繙 | 繚 | 繹 | 繪 | 繩 | 繼 | 繻 | 纃 | 緕 | 繽 |
| 698 | 辮 | 繿 | 纈 | 纉 | 續 | 纒 | 纐 | 纓 | 纔 | 纖 |
| 699 | 纎 | 纛 | 纜 | 缸 | 缺 | | | | | |
| 700 | | 罅 | 罌 | 罍 | 罎 | 罐 | 网 | 罕 | 罔 | 罘 |
| 701 | 罟 | 罠 | 罨 | 罩 | 罧 | 罸 | 羂 | 羆 | 羃 | 羈 |
| 702 | 羇 | 羌 | 羔 | 羞 | 羝 | 羚 | 羣 | 羯 | 羲 | 羹 |
| 703 | 羮 | 羶 | 羸 | 譱 | 翅 | 翆 | 翊 | 翕 | 翔 | 翡 |
| 704 | 翦 | 翩 | 翳 | 翹 | 飜 | 耆 | 耄 | 耋 | 耒 | 耘 |
| 705 | 耙 | 耜 | 耡 | 耨 | 耿 | 耻 | 聊 | 聆 | 聒 | 聘 |
| 706 | 聚 | 聟 | 聢 | 聨 | 聳 | 聲 | 聰 | 聶 | 聹 | 聽 |
| 707 | 聿 | 肄 | 肆 | 肅 | 肛 | 肓 | 肚 | 肭 | 冐 | 肬 |
| 708 | 胛 | 胥 | 胙 | 胝 | 胄 | 胚 | 胖 | 脉 | 胯 | 胱 |
| 709 | 脛 | 脩 | 脣 | 脯 | 腋 | | | | | |
| 710 | | 隋 | 腆 | 脾 | 腓 | 腑 | 胼 | 腱 | 腮 | 腥 |
| 711 | 腦 | 腴 | 膃 | 膈 | 膊 | 膀 | 膂 | 膠 | 膕 | 膤 |
| 712 | 膣 | 腟 | 膓 | 膩 | 膰 | 膵 | 膾 | 膸 | 膽 | 臀 |
| 713 | 臂 | 膺 | 臉 | 臍 | 臑 | 臙 | 臘 | 臈 | 臚 | 臟 |
| 714 | 臠 | 臧 | 臺 | 臻 | 臾 | 舁 | 舂 | 舅 | 與 | 舊 |
| 715 | 舍 | 舐 | 舖 | 舩 | 舫 | 舸 | 舳 | 艀 | 艙 | 艘 |
| 716 | 艝 | 艚 | 艟 | 艤 | 艢 | 艨 | 艪 | 艫 | 舮 | 艱 |
| 717 | 艷 | 艸 | 艾 | 芍 | 芒 | 芫 | 芟 | 芻 | 芬 | 苡 |
| 718 | 苣 | 苟 | 苒 | 苴 | 苳 | 苺 | 莓 | 范 | 苻 | 苹 |
| 719 | 苞 | 茆 | 苜 | 茉 | 苙 | | | | | |
| 720 | | 茵 | 茴 | 茖 | 茲 | 茱 | 荀 | 茹 | 荐 | 荅 |
| 721 | 茯 | 茫 | 茗 | 茘 | 莅 | 莚 | 莪 | 莟 | 莢 | 莖 |
| 722 | 茣 | 莎 | 莇 | 莊 | 荼 | 莵 | 荳 | 荵 | 莠 | 莉 |
| 723 | 莨 | 菴 | 萓 | 菫 | 菎 | 菽 | 萃 | 菘 | 萋 | 菁 |
| 724 | 菷 | 萇 | 菠 | 菲 | 萍 | 萢 | 萠 | 莽 | 萸 | 蔆 |
| 725 | 菻 | 葭 | 萪 | 萼 | 蕚 | 蒄 | 葷 | 葫 | 蒭 | 葮 |
| 726 | 蒂 | 葩 | 葆 | 萬 | 葯 | 葹 | 萵 | 蓊 | 葢 | 蒹 |
| 727 | 蒿 | 蒟 | 蓙 | 蓍 | 蒻 | 蓚 | 蓐 | 蓁 | 蓆 | 蓖 |
| 728 | 蒡 | 蔡 | 蓿 | 蓴 | 蔗 | 蔘 | 蔬 | 蔟 | 蔕 | 蔔 |
| 729 | 蓼 | 蕀 | 蕣 | 蕘 | 蕈 | | | | | |
| 730 | | 蕁 | 蘂 | 蕋 | 蕕 | 薀 | 薤 | 薈 | 薑 | 薊 |
| 731 | 薨 | 蕭 | 薔 | 薛 | 藪 | 薇 | 薜 | 蕷 | 蕾 | 薐 |
| 732 | 藉 | 薺 | 藏 | 薹 | 藐 | 藕 | 藝 | 藥 | 藜 | 藹 |
| 733 | 蘊 | 蘓 | 蘋 | 藾 | 藺 | 蘆 | 蘢 | 蘚 | 蘰 | 蘿 |
| 734 | 虍 | 乕 | 虔 | 號 | 虧 | 虱 | 蚓 | 蚣 | 蚩 | 蚪 |
| 735 | 蚋 | 蚌 | 蚶 | 蚯 | 蛄 | 蛆 | 蚰 | 蛉 | 蠣 | 蚫 |
| 736 | 蛔 | 蛞 | 蛩 | 蛬 | 蛟 | 蛛 | 蛯 | 蜒 | 蜆 | 蜈 |
| 737 | 蜀 | 蜃 | 蛻 | 蜑 | 蜉 | 蜍 | 蛹 | 蜊 | 蜴 | 蜿 |
| 738 | 蜷 | 蜻 | 蜥 | 蜩 | 蜚 | 蝠 | 蝟 | 蝸 | 蝌 | 蝎 |
| 739 | 蝴 | 蝗 | 蝨 | 蝮 | 蝙 | | | | | |
| 740 | | 蝓 | 蝣 | 蝪 | 蠅 | 螢 | 螟 | 螂 | 螯 | 蟋 |
| 741 | 螽 | 蟀 | 蟐 | 雖 | 螫 | 蟄 | 螳 | 蟇 | 蟆 | 螻 |
| 742 | 蟯 | 蟲 | 蟠 | 蠏 | 蠍 | 蟾 | 蟶 | 蟷 | 蠎 | 蟒 |
| 743 | 蠑 | 蠖 | 蠕 | 蠢 | 蠡 | 蠱 | 蠶 | 蠹 | 蠧 | 蠻 |
| 744 | 衄 | 衂 | 衒 | 衙 | 衞 | 衢 | 衫 | 袁 | 衾 | 袞 |
| 745 | 衵 | 衽 | 袵 | 衲 | 袂 | 袗 | 袒 | 袮 | 袙 | 袢 |
| 746 | 袍 | 袤 | 袰 | 袿 | 袱 | 裃 | 裄 | 裔 | 裘 | 裙 |
| 747 | 裝 | 裹 | 褂 | 裼 | 裴 | 裨 | 裲 | 褄 | 褌 | 褊 |
| 748 | 褓 | 襃 | 褞 | 褥 | 褪 | 褫 | 襁 | 襄 | 褻 | 褶 |
| 749 | 褸 | 襌 | 褝 | 襠 | 襞 | | | | | |
| 750 | | 襦 | 襤 | 襭 | 襪 | 襯 | 襴 | 襷 | 襾 | 覃 |
| 751 | 覈 | 覊 | 覓 | 覘 | 覡 | 覩 | 覦 | 覬 | 覯 | 覲 |
| 752 | 覺 | 覽 | 覿 | 觀 | 觚 | 觜 | 觝 | 觧 | 觴 | 觸 |
| 753 | 訃 | 訖 | 訐 | 訌 | 訛 | 訝 | 訥 | 訶 | 詁 | 詛 |
| 754 | 詒 | 詆 | 詈 | 詼 | 詭 | 詬 | 詢 | 誅 | 誂 | 誄 |
| 755 | 誨 | 誡 | 誑 | 誥 | 誦 | 誚 | 誣 | 諄 | 諍 | 諂 |
| 756 | 諚 | 諫 | 諳 | 諧 | 諤 | 諱 | 謔 | 諠 | 諢 | 諷 |
| 757 | 諞 | 諛 | 謌 | 謇 | 謚 | 諡 | 謖 | 謐 | 謗 | 謠 |
| 758 | 謳 | 鞫 | 謦 | 謫 | 謾 | 謨 | 譁 | 譌 | 譏 | 譎 |
| 759 | 證 | 譖 | 譛 | 譚 | 譫 | | | | | |
| 760 | | 譟 | 譬 | 譯 | 譴 | 譽 | 讀 | 讌 | 讎 | 讒 |
| 761 | 讓 | 讖 | 讙 | 讚 | 谺 | 豁 | 谿 | 豈 | 豌 | 豎 |
| 762 | 豐 | 豕 | 豢 | 豬 | 豸 | 豺 | 貂 | 貉 | 貅 | 貊 |
| 763 | 貍 | 貎 | 貔 | 豼 | 貘 | 戝 | 貭 | 貪 | 貽 | 貲 |
| 764 | 貳 | 貮 | 貶 | 賈 | 賁 | 賤 | 賣 | 賚 | 賽 | 賺 |
| 765 | 賻 | 贄 | 贅 | 贊 | 贇 | 贏 | 贍 | 贐 | 齎 | 贓 |
| 766 | 賍 | 贔 | 贖 | 赧 | 赭 | 赱 | 赳 | 趁 | 趙 | 跂 |
| 767 | 趾 | 趺 | 跏 | 跚 | 跖 | 跌 | 跛 | 跋 | 跪 | 跫 |
| 768 | 跟 | 跣 | 跼 | 踈 | 踉 | 跿 | 踝 | 踞 | 踐 | 踟 |
| 769 | 蹂 | 踵 | 踰 | 踴 | 蹊 | | | | | |
| 770 | | 蹇 | 蹉 | 蹌 | 蹐 | 蹈 | 蹙 | 蹤 | 蹠 | 踪 |
| 771 | 蹣 | 蹕 | 蹶 | 蹲 | 蹼 | 躁 | 躇 | 躅 | 躄 | 躋 |
| 772 | 躊 | 躓 | 躑 | 躔 | 躙 | 躪 | 躡 | 躬 | 躰 | 軆 |
| 773 | 躱 | 躾 | 軅 | 軈 | 軋 | 軛 | 軣 | 軼 | 軻 | 軫 |
| 774 | 軾 | 輊 | 輅 | 輕 | 輒 | 輙 | 輓 | 輜 | 輟 | 輛 |
| 775 | 輌 | 輦 | 輳 | 輻 | 輹 | 轅 | 轂 | 輾 | 轌 | 轉 |
| 776 | 轆 | 轎 | 轗 | 轜 | 轢 | 轣 | 轤 | 辜 | 辟 | 辣 |
| 777 | 辭 | 辯 | 辷 | 迚 | 迥 | 迢 | 迪 | 迯 | 邇 | 迴 |
| 778 | 逅 | 迹 | 迺 | 逑 | 逕 | 逡 | 逍 | 逞 | 逖 | 逋 |
| 779 | 逧 | 逶 | 逵 | 逹 | 迸 | | | | | |
| 780 | | 遏 | 遐 | 遑 | 遒 | 逎 | 遉 | 逾 | 遖 | 遘 |
| 781 | 遞 | 遨 | 遯 | 遶 | 隨 | 遲 | 邂 | 遽 | 邁 | 邀 |
| 782 | 邊 | 邉 | 邏 | 邨 | 邯 | 邱 | 邵 | 郢 | 郤 | 扈 |
| 783 | 郛 | 鄂 | 鄒 | 鄙 | 鄲 | 鄰 | 酊 | 酖 | 酘 | 酣 |
| 784 | 酥 | 酩 | 酳 | 酲 | 醋 | 醉 | 醂 | 醢 | 醫 | 醯 |
| 785 | 醪 | 醵 | 醴 | 醺 | 釀 | 釁 | 釉 | 釋 | 釐 | 釖 |
| 786 | 釟 | 釡 | 釛 | 釼 | 釵 | 釶 | 鈞 | 釿 | 鈔 | 鈬 |
| 787 | 鈕 | 鈑 | 鉞 | 鉗 | 鉅 | 鉉 | 鉤 | 鉈 | 銕 | 鈿 |
| 788 | 鉋 | 鉐 | 銜 | 銖 | 銓 | 銛 | 鉚 | 鋏 | 銹 | 銷 |
| 789 | 鋩 | 錏 | 鋺 | 鍄 | 錮 | | | | | |
| 790 | | 錙 | 錢 | 錚 | 錣 | 錺 | 錵 | 錻 | 鍜 | 鍠 |
| 791 | 鍼 | 鍮 | 鍖 | 鎰 | 鎬 | 鎭 | 鎔 | 鎹 | 鏖 | 鏗 |
| 792 | 鏨 | 鏥 | 鏘 | 鏃 | 鏝 | 鏐 | 鏈 | 鏤 | 鐚 | 鐔 |
| 793 | 鐓 | 鐃 | 鐇 | 鐐 | 鐶 | 鐫 | 鐵 | 鐡 | 鐺 | 鑁 |
| 794 | 鑒 | 鑄 | 鑛 | 鑠 | 鑢 | 鑞 | 鑪 | 鈩 | 鑰 | 鑵 |
| 795 | 鑷 | 鑽 | 鑚 | 鑼 | 鑾 | 钁 | 鑿 | 閂 | 閇 | 閊 |
| 796 | 閔 | 閖 | 閘 | 閙 | 閠 | 閨 | 閧 | 閭 | 閼 | 閻 |
| 797 | 閹 | 閾 | 闊 | 濶 | 闃 | 闍 | 闌 | 闕 | 闔 | 闖 |
| 798 | 關 | 闡 | 闥 | 闢 | 阡 | 阨 | 阮 | 阯 | 陂 | 陌 |
| 799 | 陏 | 陋 | 陷 | 陜 | 陞 | | | | | |
| 800 | | 陝 | 陟 | 陦 | 陲 | 陬 | 隍 | 隘 | 隕 | 隗 |
| 801 | 險 | 隧 | 隱 | 隲 | 隰 | 隴 | 隶 | 隸 | 隹 | 雎 |
| 802 | 雋 | 雉 | 雍 | 襍 | 雜 | 霍 | 雕 | 雹 | 霄 | 霆 |
| 803 | 霈 | 霓 | 霎 | 霑 | 霏 | 霖 | 霙 | 霤 | 霪 | 霰 |
| 804 | 霹 | 霽 | 霾 | 靄 | 靆 | 靈 | 靂 | 靉 | 靜 | 靠 |
| 805 | 靤 | 靦 | 靨 | 勒 | 靫 | 靱 | 靹 | 鞅 | 靼 | 鞁 |
| 806 | 靺 | 鞆 | 鞋 | 鞏 | 鞐 | 鞜 | 鞨 | 鞦 | 鞣 | 鞳 |
| 807 | 鞴 | 韃 | 韆 | 韈 | 韋 | 韜 | 韭 | 齏 | 韲 | 竟 |
| 808 | 韶 | 韵 | 頏 | 頌 | 頸 | 頤 | 頡 | 頷 | 頽 | 顆 |
| 809 | 顏 | 顋 | 顫 | 顯 | 顰 | | | | | |
| 810 | | 顱 | 顴 | 顳 | 颪 | 颯 | 颱 | 颶 | 飄 | 飃 |
| 811 | 飆 | 飩 | 飫 | 餃 | 餉 | 餒 | 餔 | 餘 | 餡 | 餝 |
| 812 | 餞 | 餤 | 餠 | 餬 | 餮 | 餽 | 餾 | 饂 | 饉 | 饅 |
| 813 | 饐 | 饋 | 饑 | 饒 | 饌 | 饕 | 馗 | 馘 | 馥 | 馭 |
| 814 | 馮 | 馼 | 駟 | 駛 | 駝 | 駘 | 駑 | 駭 | 駮 | 駱 |
| 815 | 駲 | 駻 | 駸 | 騁 | 騏 | 騅 | 駢 | 騙 | 騫 | 騷 |
| 816 | 驅 | 驂 | 驀 | 驃 | 騾 | 驕 | 驍 | 驛 | 驗 | 驟 |
| 817 | 驢 | 驥 | 驤 | 驩 | 驫 | 驪 | 骭 | 骰 | 骼 | 髀 |
| 818 | 髏 | 髑 | 髓 | 體 | 髞 | 髟 | 髢 | 髣 | 髦 | 髯 |
| 819 | 髫 | 髮 | 髴 | 髱 | 髷 | | | | | |
| 820 | | 髻 | 鬆 | 鬘 | 鬚 | 鬟 | 鬢 | 鬣 | 鬥 | 鬧 |
| 821 | 鬨 | 鬩 | 鬪 | 鬮 | 鬯 | 鬲 | 魄 | 魃 | 魏 | 魍 |
| 822 | 魎 | 魑 | 魘 | 魴 | 鮓 | 鮃 | 鮑 | 鮖 | 鮗 | 鮟 |
| 823 | 鮠 | 鮨 | 鮴 | 鯀 | 鯊 | 鮹 | 鯆 | 鯏 | 鯑 | 鯒 |
| 824 | 鯣 | 鯢 | 鯤 | 鯔 | 鯡 | 鰺 | 鯲 | 鯱 | 鯰 | 鰕 |
| 825 | 鰔 | 鰉 | 鰓 | 鰌 | 鰆 | 鰈 | 鰒 | 鰊 | 鰄 | 鰮 |
| 826 | 鰛 | 鰥 | 鰤 | 鰡 | 鰰 | 鱇 | 鰲 | 鱆 | 鰾 | 鱚 |
| 827 | 鱠 | 鱧 | 鱶 | 鱸 | 鳧 | 鳬 | 鳰 | 鴉 | 鴈 | 鳫 |
| 828 | 鴃 | 鴆 | 鴪 | 鴦 | 鶯 | 鴣 | 鴟 | 鵄 | 鴕 | 鴒 |
| 829 | 鵁 | 鴿 | 鴾 | 鵆 | 鵈 | | | | | |
| 830 | | 鵝 | 鵞 | 鵤 | 鵑 | 鵐 | 鵙 | 鵲 | 鶉 | 鶇 |
| 831 | 鶫 | 鵯 | 鵺 | 鶚 | 鶤 | 鶩 | 鶲 | 鷄 | 鷁 | 鶻 |
| 832 | 鶸 | 鶺 | 鷆 | 鷏 | 鷂 | 鷙 | 鷓 | 鷸 | 鷦 | 鷭 |
| 833 | 鷯 | 鷽 | 鸚 | 鸛 | 鸞 | 鹵 | 鹹 | 鹽 | 麁 | 麈 |
| 834 | 麋 | 麌 | 麒 | 麕 | 麑 | 麝 | 麥 | 麩 | 麸 | 麪 |
| 835 | 麭 | 靡 | 黌 | 黎 | 黏 | 黐 | 黔 | 黜 | 點 | 黝 |
| 836 | 黠 | 黥 | 黨 | 黯 | 黴 | 黶 | 黷 | 黹 | 黻 | 黼 |
| 837 | 黽 | 鼇 | 鼈 | 皷 | 鼕 | 鼡 | 鼬 | 鼾 | 齊 | 齒 |
| 838 | 齔 | 齣 | 齟 | 齠 | 齡 | 齦 | 齧 | 齬 | 齪 | 齷 |
| 839 | 齲 | 齶 | 龕 | 龜 | 龠 | | | | | |
| 840 | | 堯 | 槇 | 遙 | 瑤 | 凜 | 熙 | | | |

# 仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

### ファクシミリ部

| | |
|---|---|
| 形名 | UX-D28CL／UX-D28CW<br>送受信兼用卓上型 |
| 使用回線 | 一般加入電話回線、NCC回線、<br>Fネット（16Hz対応のみ） |
| 圧縮方式 | ＭＨ・MMR・独自圧縮 |
| 通信モード | G3・ECM　＊１ |
| 走査方式 | 密着イメージセンサー方式 |
| 走査線密度 | 主：8ドット／mm（普通字、小さな字、精細、写真）<br>副：3.85本／mm（普通字）<br>7.7本／mm（小さな字、写真）<br>15.4 本／ mm（精細）＊２ |
| 記録方式 | 熱転写記録方式 |
| 表示装置 | バックライト付液晶ディスプレイ<br>漢字３行+ピクト |
| 通信速度 | 14400/12000/9600/7200/4800/2400 bit/s<br>: 自動フォールバック |
| 電送時間 | 約9秒　＊３ |
| 中間調伝送 | 有り（64階調） |
| 記録紙サイズ | A4サイズ |
| 最大記録有効幅 | 205mm |
| 最大送信原稿幅 | 210mm |
| 読み取り有効幅 | 205mm |
| 受信メモリー | A4標準原稿 約52枚（普通字モード時）＊4 |

### コードレス部（子機）

| | |
|---|---|
| 充電完了時間 | 約10時間 |
| 使用可能時間<br>（充電完了後） | 待受時：約200時間　＊5<br>通話時：約6時間　＊6 |
| 表示装置 | 液晶ディスプレイ<br>漢字４行＋ピクト |
| 増設可能子機 | JD-KS11,JD-KS15,JD-KS17,<br>JD-KS21,JD-KS25 |

### 電話部

| | 親機 | 子機 |
|---|---|---|
| ダイヤル形式 | 押しボタン式パルスダイヤル<br>／押しボタン式トーンダイヤル | |
| 選択信号種別 | DP信号（10PPS／20PPS）<br>／PB信号（DTMF） | |
| 呼び出し方式 | トーンリンガー（着信音）呼び出し<br>／（音量切替式） | |
| 電話番号の記憶容量 | 電話帳：100人分<br>(32桁以内)×2番号<br>再ダイヤル：20局 | 電話帳：100人分<br>(24桁以内)×2番号<br>再ダイヤル：10局 |

### 留守録部

| | |
|---|---|
| 自作メッセージ | １件 |
| 用件録音時間 | 約15分（自作メッセージ１件、メモリー受信データ含む）<br>用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。 |

### 共通部

| | 親機 | 子機 | 充電器 |
|---|---|---|---|
| 寸法 | 約296（幅）× 181（奥行）× 86（高さ）mm<br>受話器、突起部、アンテナを除く<br>約296（幅）× 244（奥行）× 253（高さ）mm<br>記録紙トレイ伸長時　突起部、アンテナを除く | 約44（幅）×35（奥行）×169（高さ）mm | 約75（幅）×93（奥行）×27（高さ）mm |
| 質量 | 約 2.2kg　受話器、インクリボンを含む | 約150g　充電池含む | 約130g |
| 電源 | ＡＣ100Ｖ±10Ｖ　50／60Hz | DC3.6Ｖ、600mAh<br>（ニッケル水素電池）＊7 | 入力：ＡＣ100Ｖ±10Ｖ<br>50／60Hz |
| 消費電力<br>（100VAC） | 約0.7W（ディスプレイ非表示の待機時）<br>約90W（動作時最大） | 約0.9W（急速充電中）<br>約0.7W（待機時） | |
| 直流抵抗 | 159Ω | ― | ― |
| 静電容量 | 1.0μF以下 | ― | ― |
| 使用環境 | 温度　5℃～35℃　　相対湿度　30%～85%RH | | |

＊１　本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
＊２　ITU-T( 国際規格 ) 準拠
＊３　A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 × 3.85 本／ mm）で高速モード（14400 bit ／ s）、ECM モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊４　受信原稿によっては、１枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
＊５　待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊６「電波サポート」を [ 設定 ] にした場合は、子機の連続通話時間が約４時間になります。また、[ 自動 ] にした場合は、約４～６時間になります。
＊７　充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、お買いあげ販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

# 登録／設定早見表

## 登録／設定項目一覧表（親機）

ボタン操作で登録・設定の項目を選ぶことができます。

| | 機能名／機能の説明 | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 初期登録 | **日付・時刻**<br>日付と時刻を登録できます。 | 登録/文字切替 1あ 1あ | 45 |
| | **発信元番号**<br>ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。 | 登録/文字切替 1あ 2か | 47 |
| | **発信元名**<br>ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。 | 登録/文字切替 1あ 3さ | 48 |
| | **回線種別選択**<br>電話回線の種別を設定できます。 | 登録/文字切替 1あ 4た | 28 |
| | **携帯トクトクダイヤル**<br>携帯とくとくダイヤル機能の設定ができます。 | 登録/文字切替 1あ 5な | 109 |
| | **デカ文字着信**<br>着信時の文字の大きさを変更できます。 | 登録/文字切替 1あ 6は | 126 |
| | **着信設定ガイド**<br>着信時の設定を自動的に行うガイドを利用できます。 | 登録/文字切替 1あ 7ま | 98 |
| 着信音／誰から | **親機着信音選択**<br>親機の着信音を設定できます。 | 登録/文字切替 2か 1あ | 39 |
| | **誰からコール　誰からコール**<br>着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。 | 登録/文字切替 2か 2か 1あ | 139 |
| | **誰からコール　誰あてコール設定**<br>誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。 | 登録/文字切替 2か 2か 2か | 139 |
| | **鳴分け着信音　電話帳**<br>電話帳に登録している方からの着信音の設定ができます。 | 登録/文字切替 2か 3さ 1あ | 145 |
| | **鳴分け着信音　非通知**<br>非通知からの着信音の設定ができます。 | 登録/文字切替 2か 3さ 2か | 145 |
| | **鳴分け着信音　公衆電話**<br>公衆電話からの着信音の設定ができます。 | 登録/文字切替 2か 3さ 3さ | 145 |
| | **鳴分け着信音　表示圏外**<br>表示圏外からの着信音の設定ができます。 | 登録/文字切替 2か 3さ 4た | 145 |
| 電話帳設定 | **電話帳新規登録**<br>親機の電話帳に登録できます。 | 登録/文字切替 3さ 1あ | 67 |
| | **子機転送**<br>親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。 | 登録/文字切替 3さ 2か | 80 |
| | **音声電話帳**<br>電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。 | 登録/文字切替 3さ 3さ | 71 |
| 留守番電話設定 | **用件録音全消去**<br>録音したメッセージをすべて消去できます。 | 登録/文字切替 4た 1あ | 89 |
| | **留守時応答回数**<br>留守モード時の着信音の回数を設定できます。 | 登録/文字切替 4た 2か | 83 |
| | **在宅時応答回数**<br>留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。 | 登録/文字切替 4た 3さ | 102 |
| | **応答メッセージ　固定メッセージ**<br>固定メッセージの種類を選択できます。 | 登録/文字切替 4た 4た 1あ | 83 |

| 機能名／機能の説明 | | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 留守番電話設定 | **応答メッセージ　自作メッセージ　録音**<br>留守モード時の応答メッセージを録音できます。 | 登録/文字切替 4た 4た 2か 1あ | 86 |
| | **応答メッセージ　自作メッセージ　再生**<br>録音した応答メッセージを再生することができます。 | 登録/文字切替 4た 4た 2か 2か | 86 |
| | **応答メッセージ　自作メッセージ　消去**<br>録音した応答メッセージを消去することができます。 | 登録/文字切替 4た 4た 2か 3さ | 86 |
| | **リモート暗証番号**<br>外出先からのリモート操作を行うための暗証番号を登録／消去できます。 | 登録/文字切替 4た 5な | 133 |
| お断り設定 | **非通知お断り**<br>「非通知お断り」の設定ができます。 | 登録/文字切替 5な 1あ | 147 |
| | **公衆電話お断り**<br>「公衆電話お断り」の設定ができます。 | 登録/文字切替 5な 2か | 147 |
| | **表示圏外お断り**<br>「表示圏外お断り」の設定ができます。 | 登録/文字切替 5な 3さ | 147 |
| | **お断り番号登録**<br>「お断り番号」を登録できます。 | 登録/文字切替 5な 4た | 148 |
| | **チャイム後自動設定**<br>「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする・しないの設定ができます。 | 登録/文字切替 5な 5な | 156 |
| ダイヤルイン設定 | **番号登録**<br>ダイヤルインに追加する番号を登録できます。 | 登録/文字切替 6は 1あ | 112 |
| | **番号消去**<br>ダイヤルインに追加した番号を消去できます。 | 登録/文字切替 6は 2か | 113 |
| | **ダイヤルイン機能**<br>ダイヤルイン機能の設定ができます。 | 登録/文字切替 6は 3さ | 112 |
| | **FAX時応答回数**<br>ダイヤルインのFAX切替を行うまでの着信音の回数を設定できます。 | 登録/文字切替 6は 4た | 114 |
| | **ダイヤルイン着信音**<br>ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。 | 登録/文字切替 6は 5な | 114 |
| | **設定内容表示**<br>ダイヤルインの設定内容を表示できます。 | 登録/文字切替 6は 6は | 113 |
| **液晶濃度調整**<br>液晶ディスプレイの濃度を調整できます。 | | 登録/文字切替 7ま | 126 |
| **メモリー残量表示**<br>FAX受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。 | | 登録/文字切替 8や | 87 |

| 機能名／機能の説明 | | 操作 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 印刷 | **着信記録リスト**<br>着信記録の一覧をプリントできます。 | 登録/文字切替 9ら 1あ | 141 |
| | **電話番号リスト**<br>電話帳に登録されている相手先の一覧をプリントできます。 | 登録/文字切替 9ら 2か | 69 |
| | **お断り番号リスト**<br>お断りに登録されている番号の一覧をプリントできます。 | 登録/文字切替 9ら 3さ | 149 |
| **原稿排出**<br>セットしている原稿を排出できます。 | | 登録/文字切替 0わ記号 | 92 |

## 機能項目一覧表（子機）

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

| 機能名 | 機能の説明 | 参照ページ |
|---|---|---|
| **留守番電話　用件再生** | 録音されている内容を再生できます。 | 88 |
| **留守番電話　留守設定切替** | 留守番電話を設定できます。 | 82、84 |
| **留守番電話　全消去** | 留守録メッセージを全て消去できます。 | 89 |
| **優先呼出** | 優先呼出の設定ができます。 | 127 |
| **着信音量** | 着信音の大きさを変更できます。 | 42 |
| **着信音色** | 着信音の種類を変更できます。 | 43 |
| **着信鳴り分け** | 着信鳴り分け機能の設定ができます。 | 116、146 |
| **アラーム** | アラームを鳴らす時刻の設定ができます。 | 128 |
| **電話帳転送** | 電話帳を親機や別の子機に転送できます。 | 81 |
| **電池残量** | 充電池の電池残量が確認できます。 | 36 |
| **システム設定　日時登録** | 日付・時刻を登録できます。 | 46 |
| **システム設定　キータッチ音出力** | ボタン操作音の設定ができます。 | 127 |
| **システム設定　クイック通話** | クイック通話の設定ができます。 | 127 |
| **システム設定　使用者表示** | 子機の使用者名を登録できます。 | 49 |
| **システム設定　LCD コントラスト** | ディスプレイのコントラストを調整できます。 | 127 |
| **システム設定　電波サポート** | 電波サポートの設定ができます。 | 127 |
| **システム設定　登録初期化** | 登録・設定した内容を全て工場出荷時に戻すことができます。 | 178 |
| **全消去　再ダイヤル** | 再ダイヤルを全て消去できます。 | 57 |
| **全消去　着信記録** | 着信記録を全て消去できます。 | 144 |
| **全消去　電話帳** | 電話帳を全て消去できます。 | 75 |

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 保証書（裏表紙）

● 保証期間は、お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

● 当社は、デジタルコードレスファクシミリの補修用性能部品を製品の製造打切後、７年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口（☞191ページ）にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは　持込修理

●「こまったときは」（☞158〜176ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |

**愛情点検**

**長年ご使用のデジタルコードレスファクシミリの点検を!**

**このような症状はありませんか？**

●電源コードが異常に熱い
●コゲくさい臭いがする
●電源コードに深いキズや変形がある
●その他の異常や故障がある

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口のご案内

**修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、お買い上げの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。**
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン　シャープ　お問い合わせ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/

## 使い方や修理のご相談

**【お客様相談センター】**

**0120 - 663 - 700**

携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

| | |
|---|---|
| 東日本相談室 | 〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 |
| 電話：043 - 351 - 1822 | FAX：043 - 299 - 8280 |
| 西日本相談室 | 〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72 |
| 電話：06 - 6792 - 1583 | FAX：06 - 6792 - 5993 |

## 「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、**当社指定の運送業者**がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

### ご利用料金

※サービスエリア：日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除く。

■運送費

| | |
|---|---|
| 保証期間内 | 無　料 |
| 保証期間外 | 1,000円+梱包資材費+代引き手数料 |

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

| | |
|---|---|
| 保証期間内 | 無料（保証書記載の「保証規定」に準じます） |
| 保証期間外 | 有料（修理内容により異なります） |

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

### お申し込み

**【お客様相談センター】（0120-663-700）にお電話でお申し込みください。**

①

### お引き取り

**当社指定の運送業者がお引き取りに伺います。**

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 午前中 | 12:00～14:00 | 14:00～16:00 | 16:00～18:00 | 18:00～21:00 |

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は当社指定の運送業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

②

### 修理・お届け

**修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。**

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
■当社指定の運送業者が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金（修理料金+利用料）を指定運送業者に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

# さくいん

メ　モ

**本機の使用周波数に関わるご注意**

切り取って、増設した親機や充電器の近くに貼ってお使いください。

**本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

●電子レンジ、産業・科学・医療用機器など

●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●アマチュア無線局（免許を要する無線局）

・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン シャープ　お問い合わせ 検索

http://www.sharp.co.jp/support/

## 使い方や修理のご相談

**【お客様相談センター】**

**0120 - 663 - 700**

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

| | |
|---|---|
| **東日本相談室** | 〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 |
| 電話：043 - 351 - 1822 | FAX：043 - 299 - 8280 |
| **西日本相談室** | 〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72 |
| 電話：06 - 6792 - 1583 | FAX：06 - 6792 - 5993 |

## 「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、**当社指定の運送業者**がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

電話でのお申し込みにあたっては191ページの「ご利用料金」「お引き取り時間」「修理・お届け」を併せてご確認のうえご依頼ください。

### お申し込み

**【お客様相談センター】（0120-663-700）にお電話でお申し込みください。**

# シャープ株式会社


本　　　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田2丁目13番１号


ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

PRINTED WITH SOY INK™

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。


Printed in Malaysia
UX-D28CL/UX-D28CW　08B②　TINSJ4613XHTA